資料－６

根　室　市

市民意識調査報告書

令和元年８月

根　　室　　市

目　次

１．調査の目的 1
２．調査の方法 1
３．調査の結果 1
　３．１　調査票の回収結果 1
　３．２　回答者の属性 1
　３．３　根室市の印象についての市民意識 6
　３．４　居住の満足度についての市民意識 8
　３．５　保健医療について 13
　３．６　少子化・子育て支援について 25
　３．７　高齢者支援について 32
　３．８　社会福祉全般について 43
　３．９　交通について 45
　３．１０　生活環境について 51
　３．１１　防災・減災対策について 61
　３．１２　学校教育・社会教育について 65
　３．１３　スポーツ・レクリエーション・文化について 73
　３．１４　産業の振興について 78
　３．１５　情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか） 83
　３．１６　市民協働について（「誰もが何か１つを受け持つ」とした場合に参加する活動） 87
　３．１７　市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法） 91
　３．１８　男女共同参画について 94
　３．１９　「ワーク・ライフ・バランス」の認知度 96
４．市民意識調査結果のまとめ 98
５．総合計画における成果目標及び総合戦略におけるＫＰＩの動向 101
６．根室市創生総合戦略の評価 104
　６．１　基本目標別の政策評価の検討 104
　６．２　まとめ 126

資　料　編 129
　資料１　市民意識調査自由回答 130
　資料２．市民アンケート調査票 153

１．調査の目的

根室市では、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じた対応が不可欠である。

本調査は、根室市民約 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施することにより、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として平成 28 年度より毎年実施しているものである。

２．調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に約 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標、及び根室市創生総合戦略における市民意識に関するＫＰＩに係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

なお、今年度調査は、選択項目の見直し、複数回答設問の単回答設問化、市の施策に対する認知度の設問追加等の修正を行った昨年度の調査票を原則とし、施策認知度に関する設問に関しては、新たな施策を勘案して入れ替え等を行っている。

ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、これまでの調査との継続性を確保し、その達成状況と課題について検討した。

３．調査の結果

３．１　調査票の回収結果

アンケート調査の回収数は 798 票であり、有効回収率は 26.2%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,047	805	798	26.2%

３．２　回答者の属性

（１）地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が、全体の 81.7%を占め、西部地区住民及び東部地区住民はそれぞれ、6.3%、9.6%であった。

令和元年度調査

	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	652	50	77	19	798
	81.7%	6.3%	9.6%	2.4%	100.0%

なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

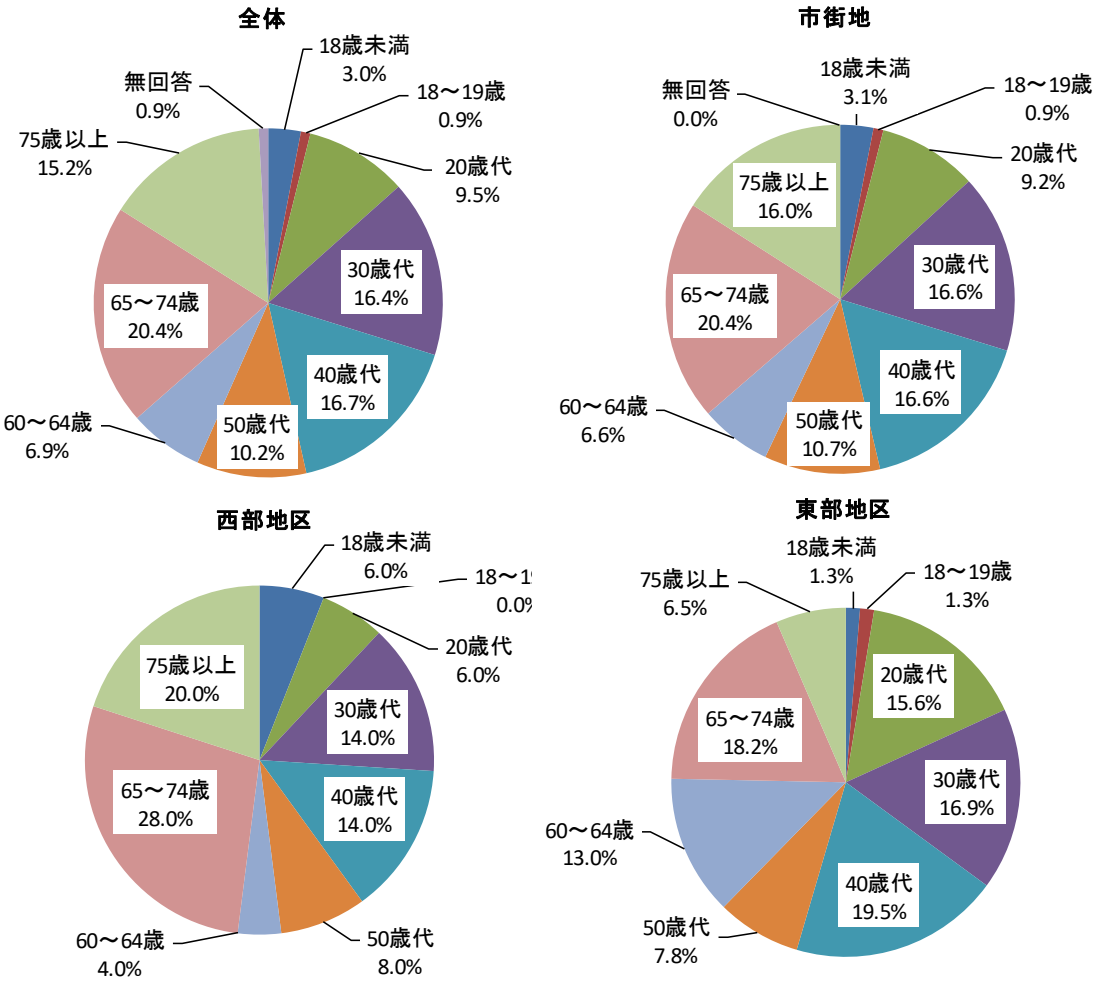
地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、槍昔、春国岱
東部地区	友知、双沖、歯舞、珸瑤瑁、納沙布、温根元、豊里、牧の内

（２）年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、今年度調査も各年齢階層から回答が得られている状況となっており、市街地地区及び西部地区では 65~74 歳が、東部地区では 40 歳代の割合がやや高い傾向がみられている。

前回調査と比較すると 40～50 歳代の割合がやや減少し 30 歳代以下及び 60 歳以上の割合がやや増加しているものの、大きな変化はない。



令和元年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	20	3	1	0	24
18～19歳	6	0	1	0	7
20歳代	60	3	12	1	76
30歳代	108	7	13	3	131
40歳代	108	7	15	3	133
50歳代	70	4	6	1	81
60～64歳	43	2	10	0	55
65～74歳	133	14	14	2	163
75歳以上	104	10	5	2	121
無回答	0	0	0	7	7
計	652	50	77	19	798
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	3.1%	6.0%	1.3%	0.0%	3.0%
18～19歳	0.9%	0.0%	1.3%	0.0%	0.9%
20歳代	9.2%	6.0%	15.6%	5.3%	9.5%
30歳代	16.6%	14.0%	16.9%	15.8%	16.4%
40歳代	16.6%	14.0%	19.5%	15.8%	16.7%
50歳代	10.7%	8.0%	7.8%	5.3%	10.2%
60～64歳	6.6%	4.0%	13.0%	0.0%	6.9%
65～74歳	20.4%	28.0%	18.2%	10.5%	20.4%
75歳以上	16.0%	20.0%	6.5%	10.5%	15.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	36.8%	0.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢層	平成 28 年度調査 構成比(a) (%)	平成 29 年度調査 構成比(b) (%)	平成 30 年度調査 構成比(c) (%)	令和元年度調査 構成比(d) (%)	増減率 (ポイント) b−a	増減率 (ポイント) c−b	増減率 (ポイント) d−c
30歳代以下	31.2%	29.8%	29.4%	29.3%	−1.4	−0.4	−0.1
40～50歳代	30.7%	27.3%	29.7%	26.8%	−3.4	+2.4	−2.9
60歳以上	37.9%	42.3%	40.3%	42.5%	+4.4	−2.0	+2.2

注：無回答を除く

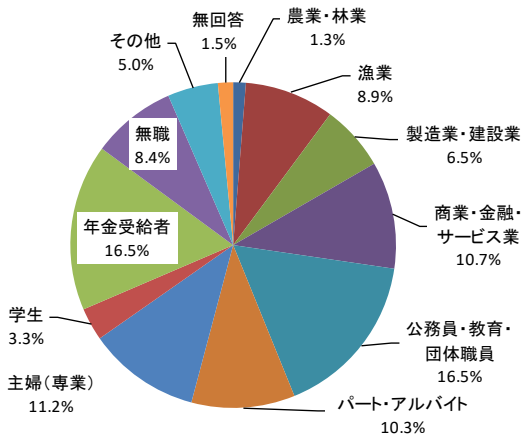
（３）職業別構成

職業別構成をみると、全体では公務員・教育・団体職員、年金受給者、専業主婦、商業・金融サービス業、パート・アルバイトの順で多くなっているが、地区別で差がみられている。

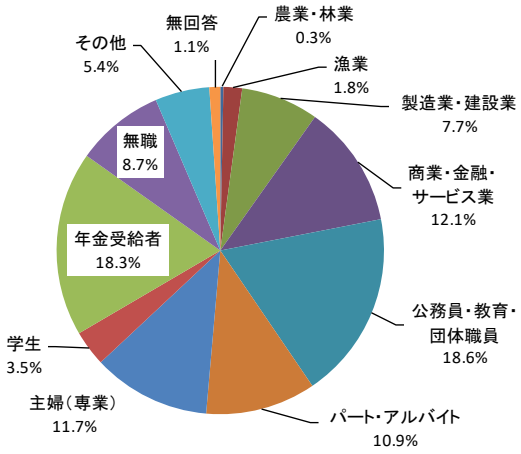
市街地では、他の地区に比して公務員・教育・団体職員、年金受給者のほか、商業・金融・サービス業、パート・アルバイトが多い。西部地区では、漁業、農業・林業、専業主婦、年金受給者が多いが、他の地区に比して農業・林業の割合が高い。また、東部地区は漁業が 64.9%と最も多くなっているなど、それぞれの地区で特徴がみられている。

このような地区別の職業構成の違いはこれまでの調査結果とほぼ同様となっている。

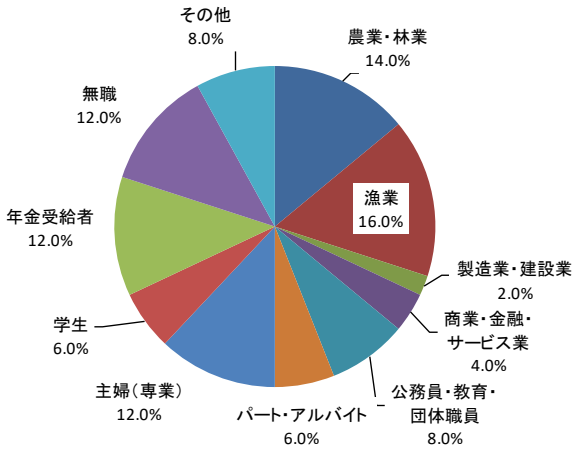
全体



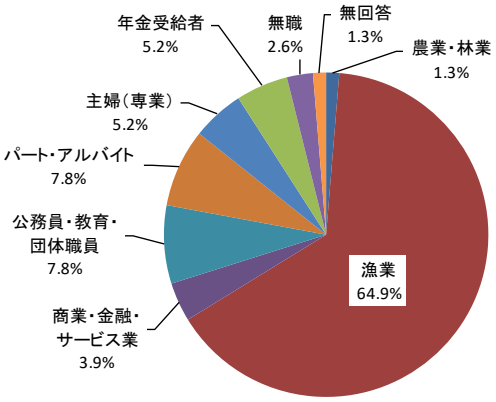
市街地



西部地区



東部地区

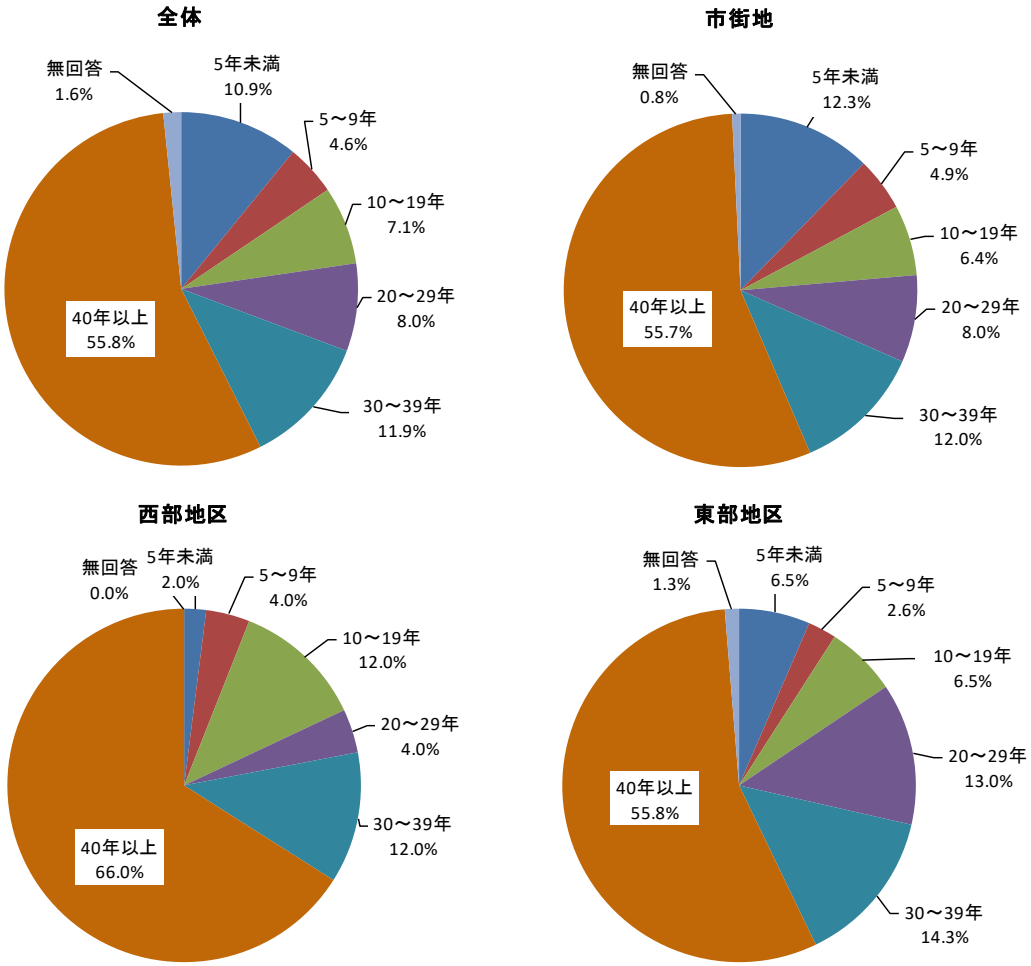


令和元年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	2	7	1	0	10
漁業	12	8	50	1	71
製造業・建設業	50	1	0	1	52
商業・金融・サービス業	79	2	3	1	85
公務員・教育・団体職員	121	4	6	1	132
パート・アルバイト	71	3	6	2	82
主婦（専業）	76	6	4	3	89
学生	23	3	0	0	26
年金受給者	119	6	4	3	132
無職	57	6	2	2	67
その他	35	4	0	1	40
無回答	7	0	1	4	12
計	652	50	77	19	798
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.3%	14.0%	1.3%	0.0%	1.3%
漁業	1.8%	16.0%	64.9%	5.3%	8.9%
製造業・建設業	7.7%	2.0%	0.0%	5.3%	6.5%
商業・金融・サービス業	12.1%	4.0%	3.9%	5.3%	10.7%
公務員・教育・団体職員	18.6%	8.0%	7.8%	5.3%	16.5%
パート・アルバイト	10.9%	6.0%	7.8%	10.5%	10.3%
主婦（専業）	11.7%	12.0%	5.2%	15.8%	11.2%
学生	3.5%	6.0%	0.0%	0.0%	3.3%
年金受給者	18.3%	12.0%	5.2%	15.8%	16.5%
無職	8.7%	12.0%	2.6%	10.5%	8.4%
その他	5.4%	8.0%	0.0%	5.3%	5.0%
無回答	1.1%	0.0%	1.3%	21.1%	1.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（４）居住年数

根室市での居住年数についてみると、これまでの調査結果と同様に、どの地区も 40 年以上居住している回答者の割合が最も高く、また、市街地では 5 年未満の回答者の割合が他の地区よりもやや高い。



令和元年度調査

	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	80	1	5	1	87
5～9年	32	2	2	1	37
10～19年	42	6	5	4	57
20～29年	52	2	10	0	64
30～39年	78	6	11	0	95
40年以上	363	33	43	6	445
無回答	5	0	1	7	13
計	652	50	77	19	798
	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	12.3%	2.0%	6.5%	5.3%	10.9%
5～9年	4.9%	4.0%	2.6%	5.3%	4.6%
10～19年	6.4%	12.0%	6.5%	21.1%	7.1%
20～29年	8.0%	4.0%	13.0%	0.0%	8.0%
30～39年	12.0%	12.0%	14.3%	0.0%	11.9%
40年以上	55.7%	66.0%	55.8%	31.6%	55.8%
無回答	0.8%	0.0%	1.3%	36.8%	1.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

３．３　根室市の印象についての市民意識

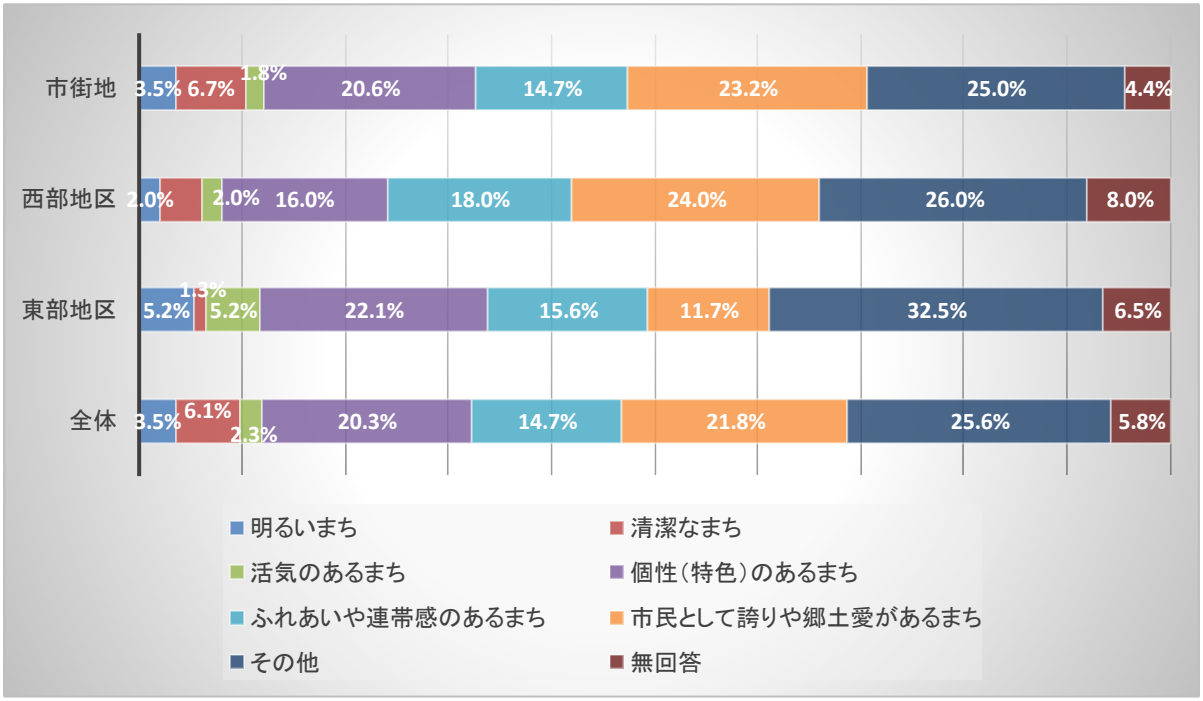
根室市のイメージとして最も回答割合が高かったのは、市民全体では「その他」で、次いで「市民として誇りや郷土愛があるまち」であった。「その他」はすべての地区で最も多くなっている。

地区別では、市街地住民は、「その他」が最も高く 25.0%となっており、次いで「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 23.2%となっている。

西部地区は「その他」が 26.0%で、次いで、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が 24.0%となっている。

東部地区は「その他」が 32.5%で、次いで「個性（特色）」あるまち」が、22.1%となっている。

「その他」の内容としては、昨年度の調査結果とほぼ同じで、「活気がない」「寂しい」「何もないまち」「暗いまち」といったマイナスイメージをあげる回答が多かった。そのほかには、「自然が豊か」「漁業のまち」「歴史のまち」といったプラスイメージをあげる回答もみられている。



「その他」であげられているマイナスイメージを除く、プラスイメージについてみると「市民として誇りや郷土愛があるまち」の回答割合が高くなっており、概ね、過去調査と同様の結果となっている。

過去調査結果（平成 28 年、29 年調査結果は得点換算）

	平成28年度調査得点				平成29年度調査得点			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	2.07	2.24	2.32	2.12	1.98	2.22	2.04	2.00
清潔なまち	2.40	2.36	2.31	2.39	2.35	2.48	2.02	2.33
活気のあるまち	1.72	1.91	1.89	1.76	1.56	1.83	1.53	1.58
個性（特色）のあるまち	2.45	2.47	2.70	2.48	2.47	2.52	1.84	2.42
ふれあいや連帯感のあるまち	2.73	2.74	2.81	2.74	2.48	2.52	2.40	2.47
市民として誇りや郷土愛があるまち	2.93	3.05	2.68	2.93	2.84	2.85	2.70	2.82

	平成30年度調査結果				令和元年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.2%	3.8%	3.8%	4.1%	3.5%	2.0%	5.2%	3.5%
清潔なまち	5.7%	0.0%	1.9%	5.1%	6.7%	4.0%	1.3%	6.1%
活気のあるまち	1.4%	1.9%	15.1%	2.3%	1.8%	2.0%	5.2%	2.3%
個性（特色）のあるまち	17.3%	35.8%	20.8%	18.9%	20.6%	16.0%	22.1%	20.3%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.2%	9.4%	13.2%	14.5%	14.7%	18.0%	15.6%	14.7%
市民として誇りや郷土愛があるまち	21.6%	24.5%	17.0%	21.3%	23.2%	24.0%	11.7%	21.8%

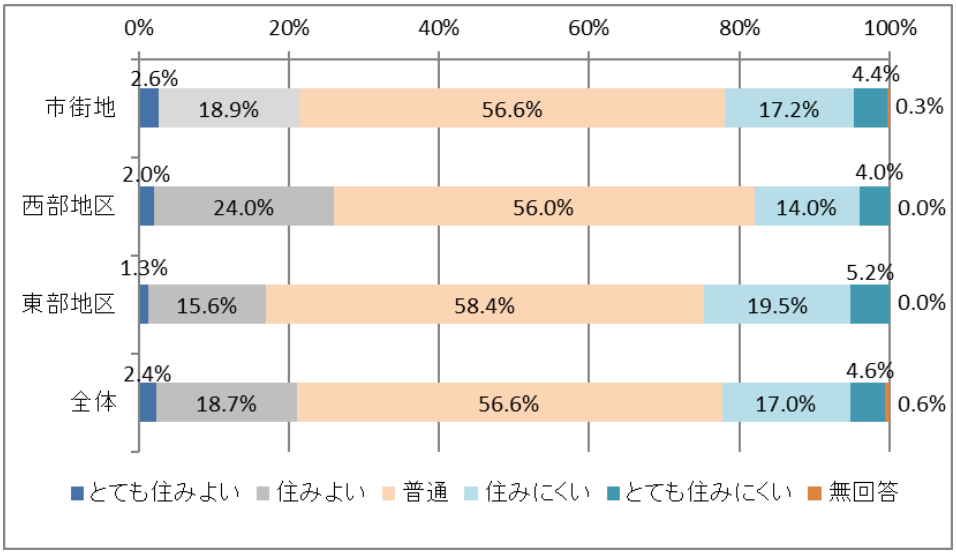
注：平成 28 年度及び 29 年度調査は、各イメージごとに、そう思うかどうかを問う設問であったため、「そう思う」を 5 点、「やや思う」を 4 点、「さほど思わない」を 2 点、「思わない」を 1 点、「わからない」を 3 点として、平均得点を算出した。

３．４　居住の満足度についての市民意識

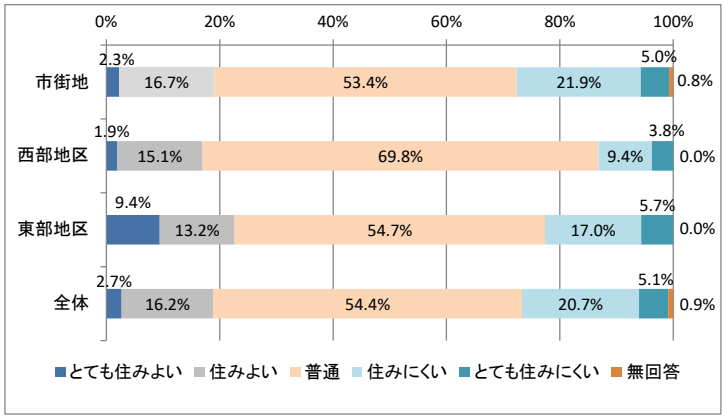
（１）居住の満足度（住みやすいと思っているか）

根室市を住みよいまちと思っているかについてみると、市民全体では「とても住みよい」「住みよい」を合わせた割合は 21.1%となっており、これまでの調査結果の中で最も高くなっている。地区別でみても市街地及び西部地区は、前回までの調査をやや上回る結果となっている。

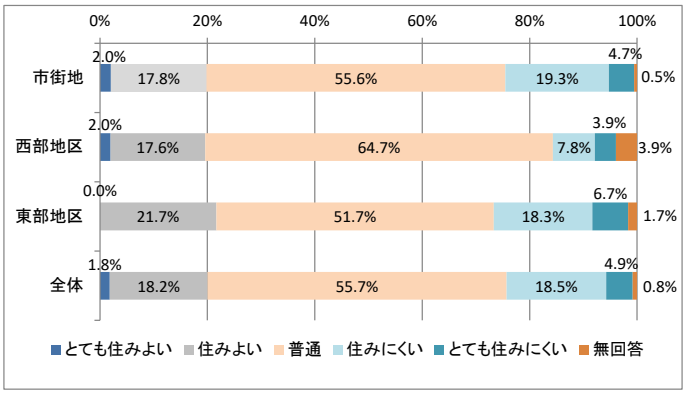
＜令和元年度調査＞



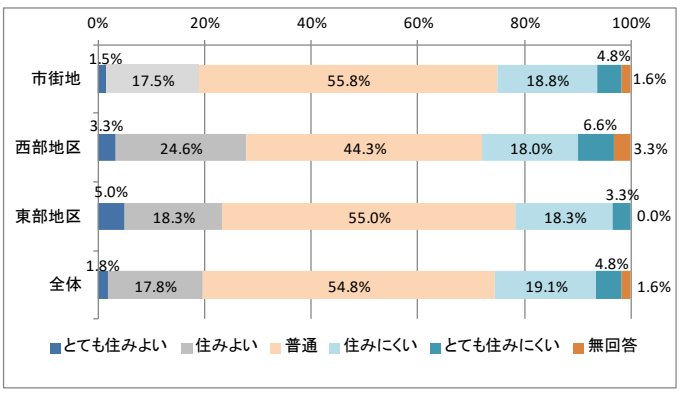
＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



＜平成 28 年度調査＞

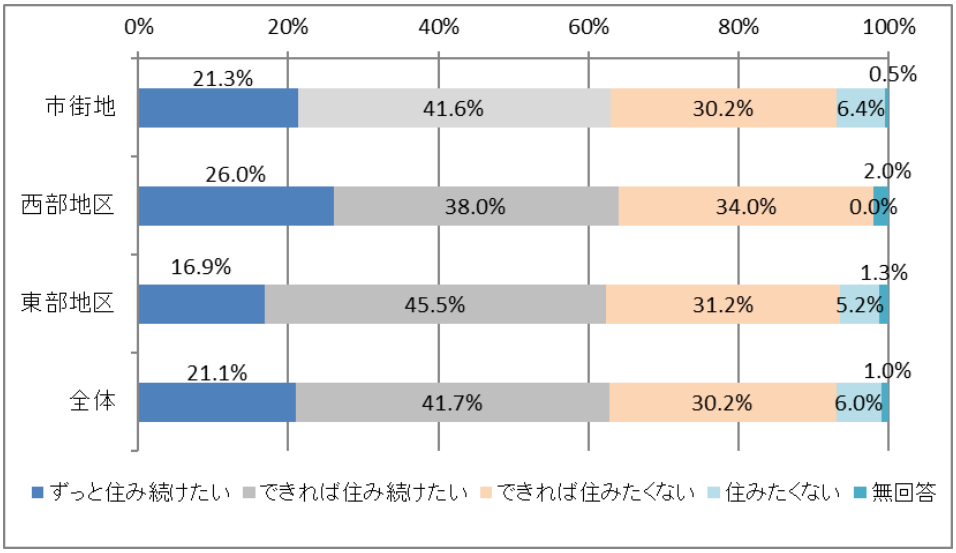


（２）定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

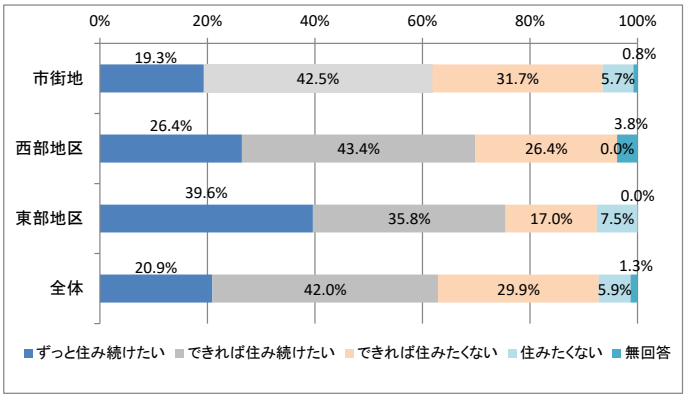
例年、根室市の住みやすさについては、否定的な回答が多いものの、住み続けたいかどうかについては、各地区とも 60%を超えていた。

昨年度までの調査結果と同様に、根室市民の定住意向の高さが把握された。

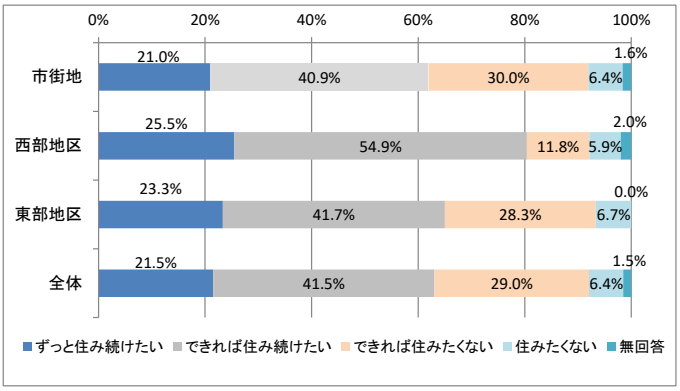
＜令和元年度調査＞



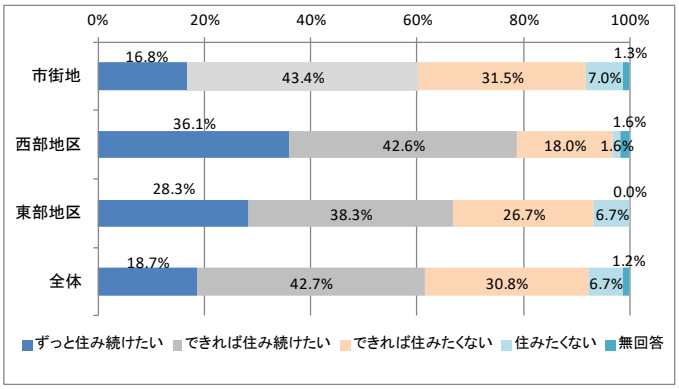
＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



＜平成 28 年度調査＞



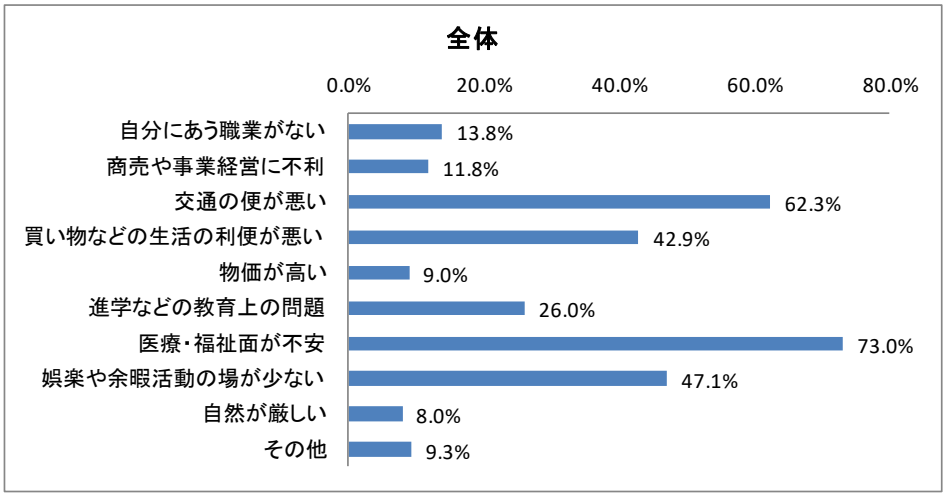
（３）住み続けたくない理由

①根室市全体

根室市に住み続けたくないとする住民割合は、全体で 40%近くになっており、前回までの調査結果とほぼ同程度となっている。この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が 73.0%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順となっており、これら 4 項目が上位にあげられている状況は、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。

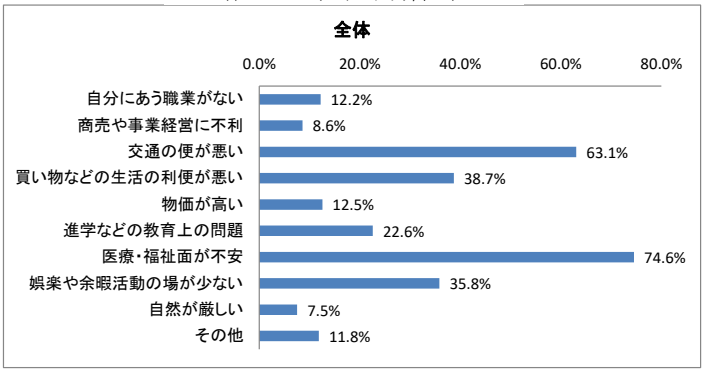
＜令和元年度調査＞

住み続けたくないとする回答数：
全体　289（地区不明含む）



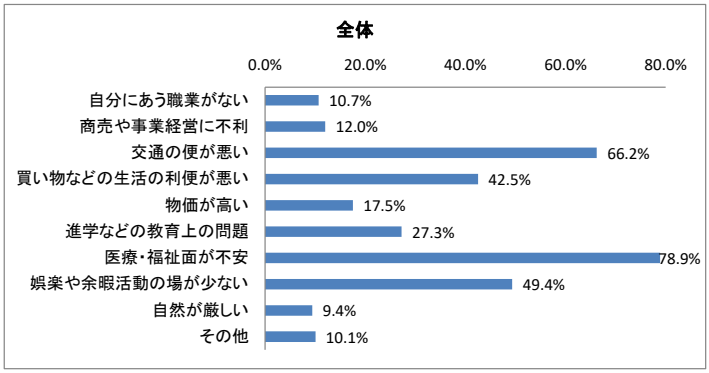
＜平成 30 年度調査＞

住み続けたくないとする回答数：
全体　279（地区不明含む）



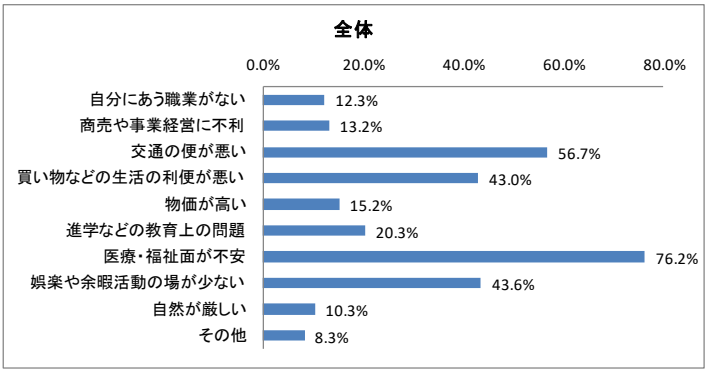
＜平成 29 年度調査＞

住み続けたくないとする回答数：
全体　308（地区不明含む）



＜平成 28 年度調査＞

住み続けたくないとする回答数：
全体　349（地区不明含む）



注：各年度の調査とも３つまでの選択を求めている

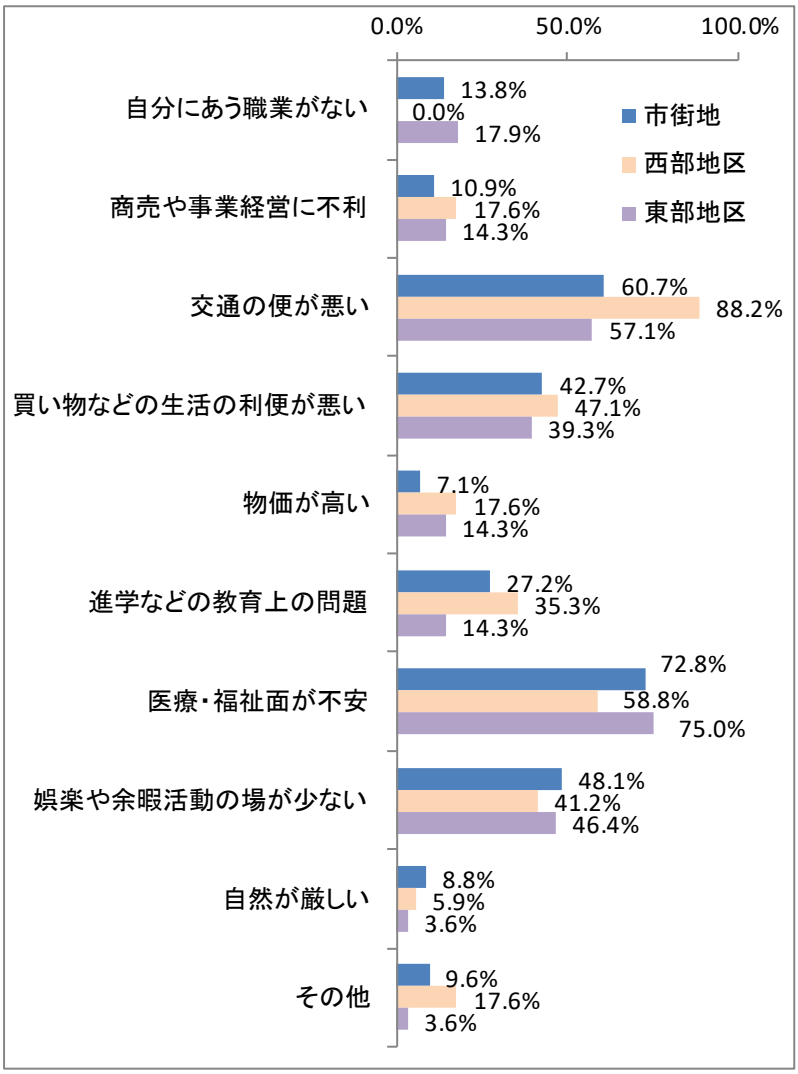
②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」は、前回までの調査結果と同様に、すべての地区で高くなっている。

例年、西部地区は「交通の便が悪い」と回答する割合は他地区に比して高くなっているが、今回の調査では、「医療・福祉面での不安」を上回る回答率となっている。

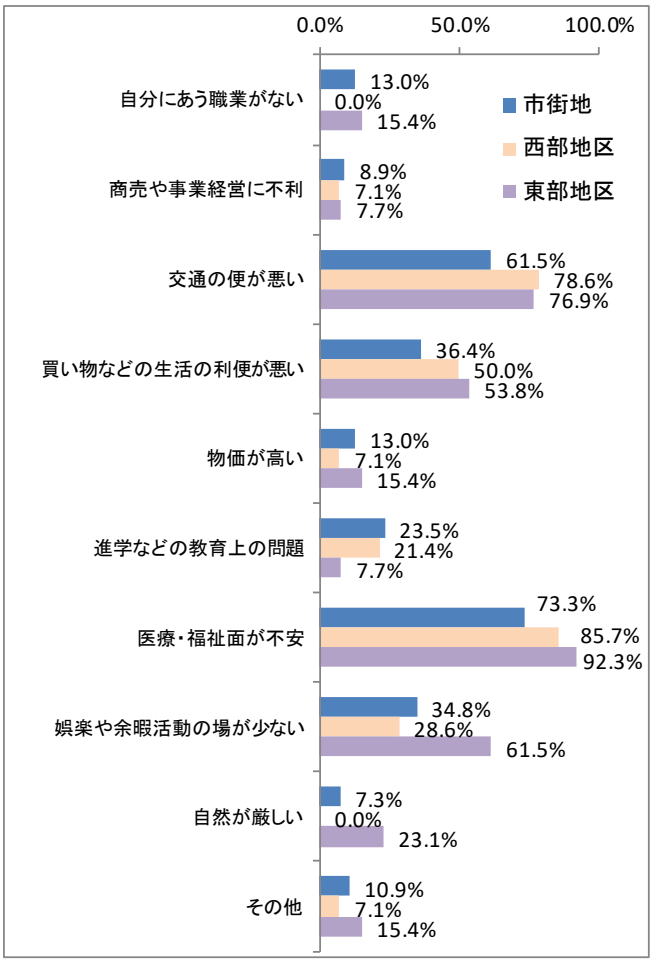
一方、「買い物等の生活利便性が悪い」や「娯楽や余暇活動の場が少ない」を住み続けたくないとする理由にあげる地区ごとの割合は、調査年度により変動がみられるものの、上位にあげられている傾向は同様となっている。

＜令和元年度調査＞



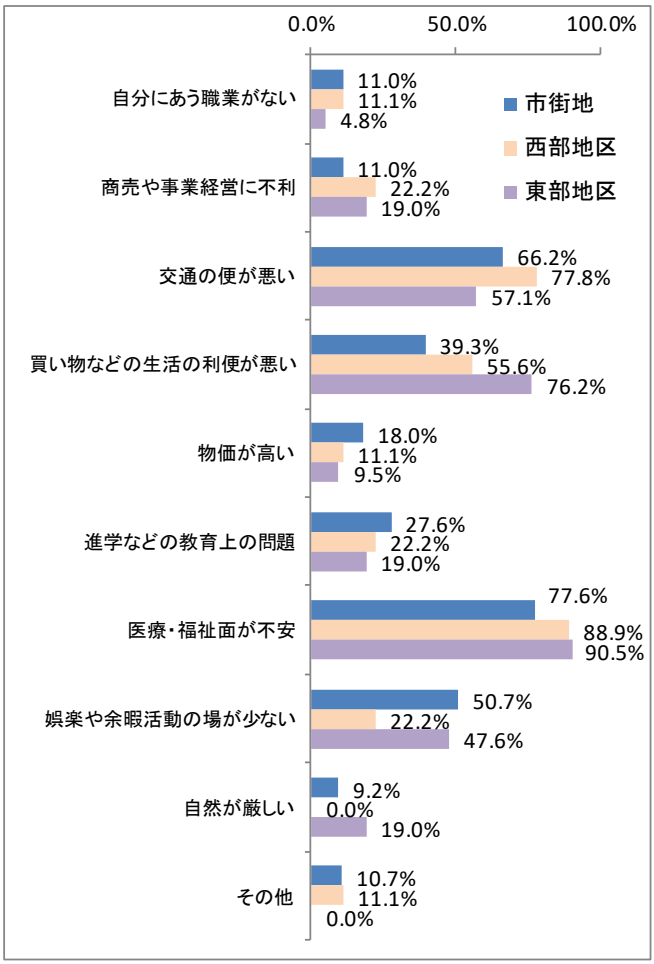
住み続けたくないとする回答数
市街地　：239 件
西部地区：　17 件
東部地区：　28 件

＜平成 30 年度調査＞



住み続けたくないとする回答数
　市街地　：247 件
　西部地区：　14 件
　東部地区：　13 件

＜平成 29 年度調査＞



住み続けたくないとする回答数
　市街地　：272 件
　西部地区：　9 件
　東部地区：　21 件

注：本設問は３つまでの選択を求めている

３．５　保健医療について

（１）現在の健康状態

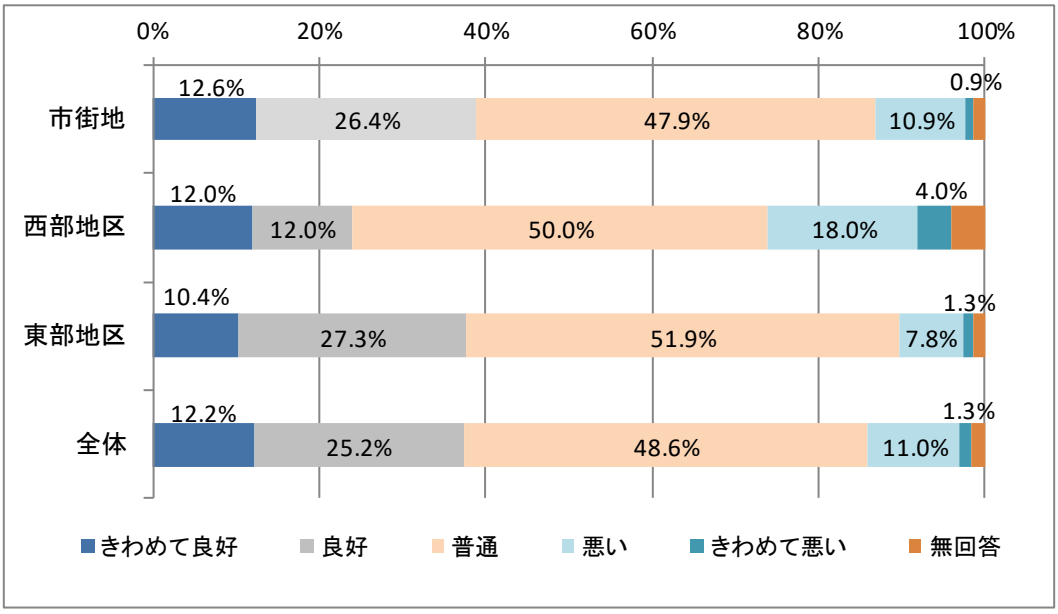
現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」「良好」を合わせた「良好」であるとする割合は、回答者全体で 37.4%となっており、これに対して「悪い」及び「きわめて悪い」とする回答は 12.3%となっている。「良好」であるとする割合は、西部地区で低い傾向がみられている。

一方、60 歳以上の回答者についてみると、「良好」の割合は 20%程度まで低下しているものの、「悪い」とする回答も 20%程度に留まっている。

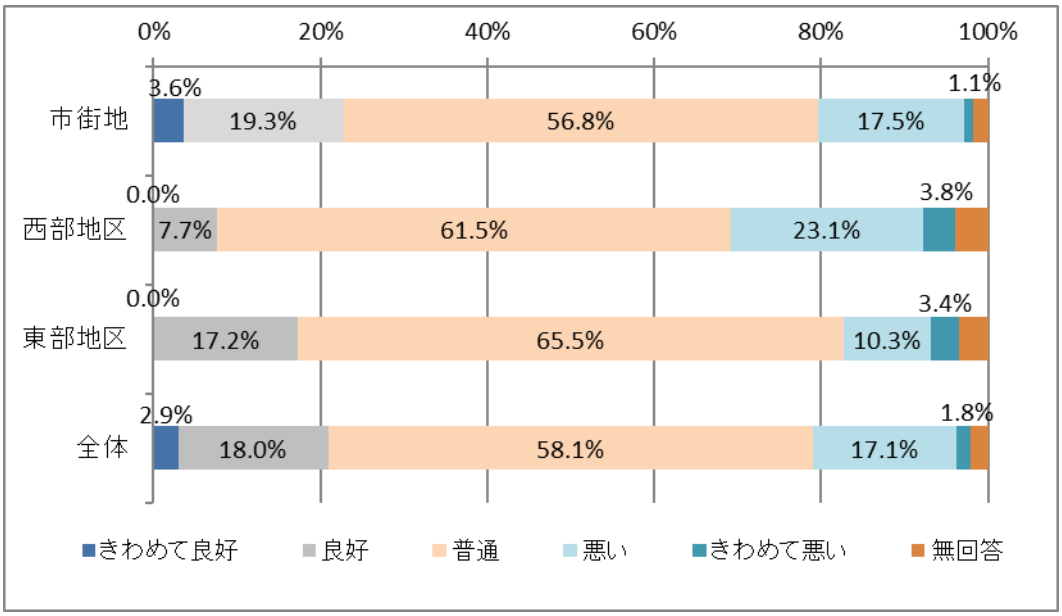
この結果は、これまでの調査とほぼ同様の結果となっている。

＜令和元年度調査＞

（全年齢層）

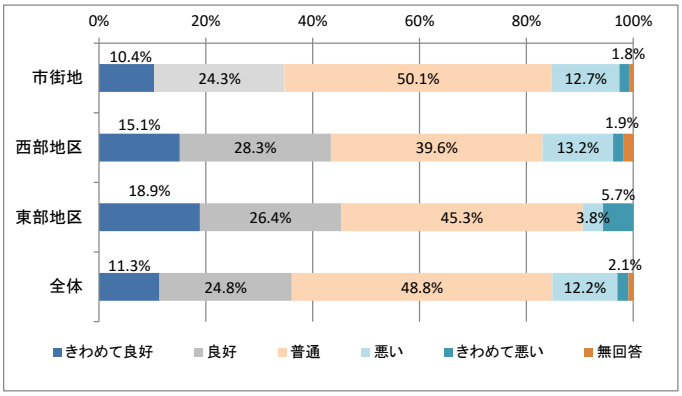


（60 歳以上）

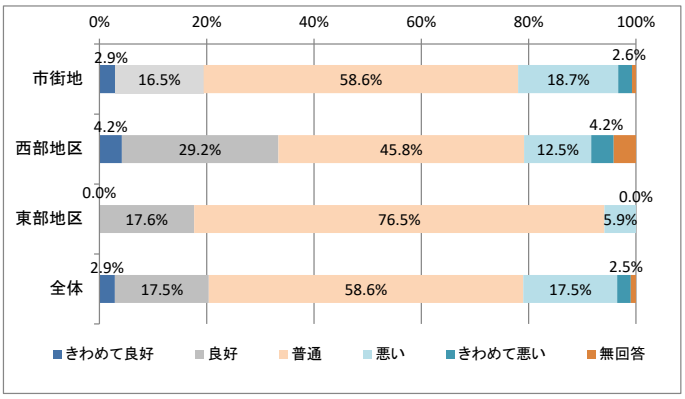


＜平成 30 年度調査＞

（全年齢層）

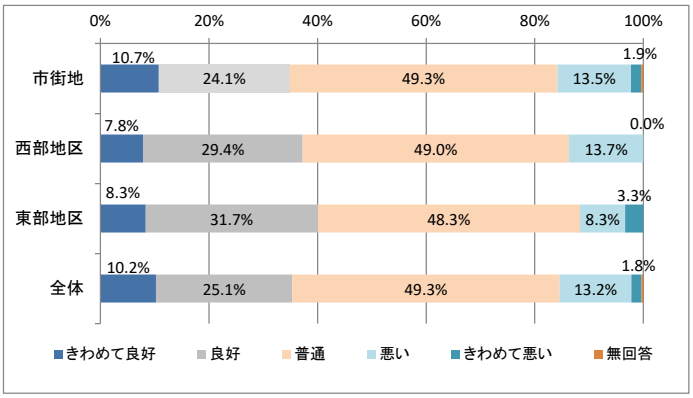


（60 歳以上）

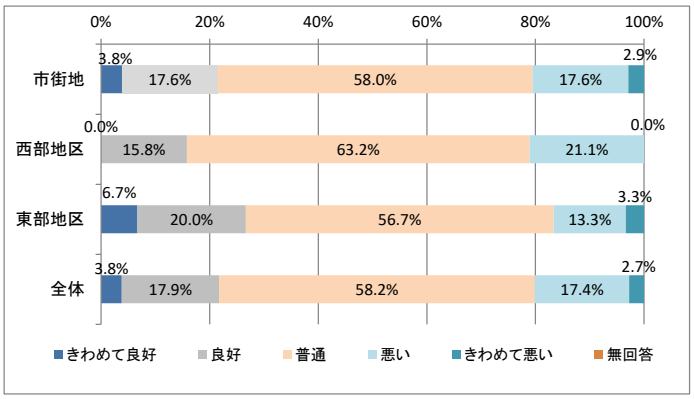


＜平成 29 年度調査＞

（全年齢層）



（60 歳以上）



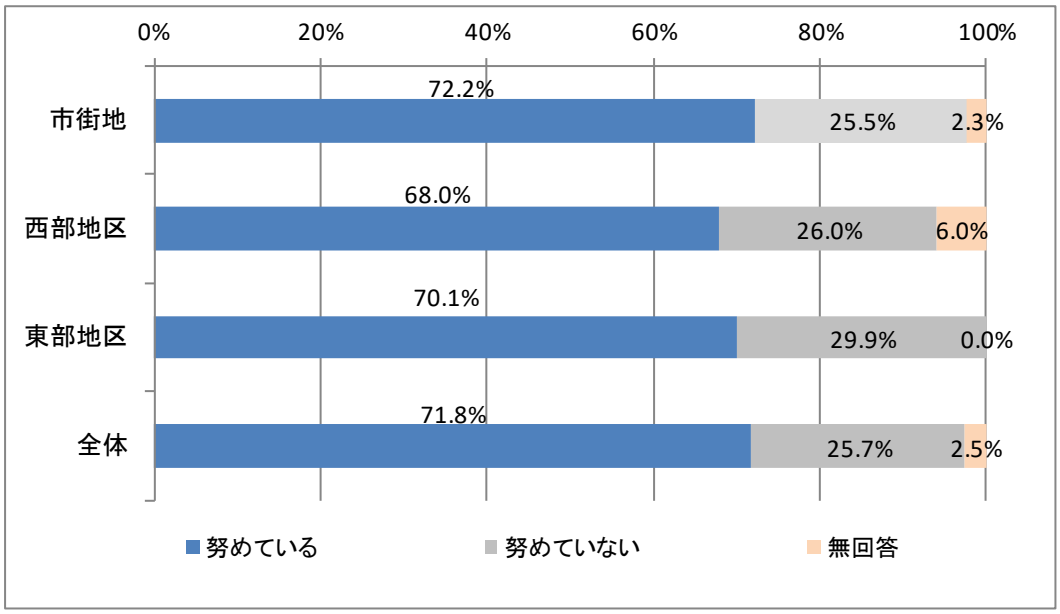
（２）健康管理

日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では 71.8%が、60 歳以上の回答者では 83.2%が「努めている」としているなど、健康管理への意識が高い状況が把握される。ただし、東部地区では 60 歳以上の回答者で「努めている」割合が低くなっている。

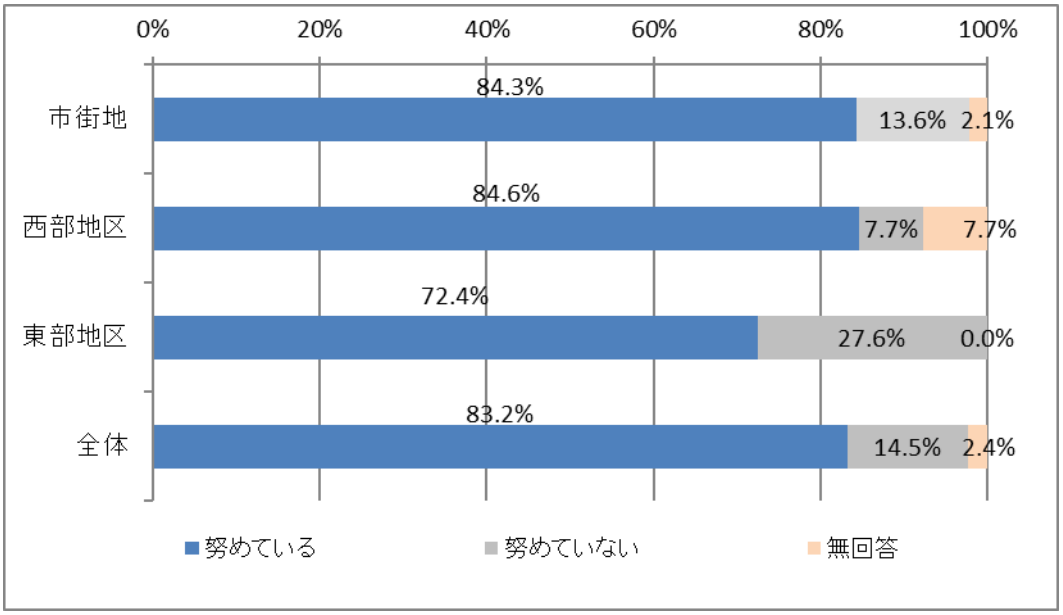
平成 30 年度までの調査結果と比較すると、全年齢層、60 歳以上の回答者とも、健康管理に「努めている」とする割合は、同水準を維持している。

＜令和元年度調査＞

（全年齢層）

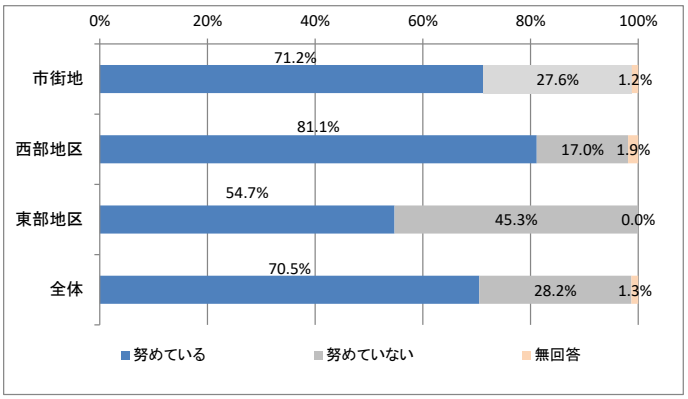


（60 歳以上）



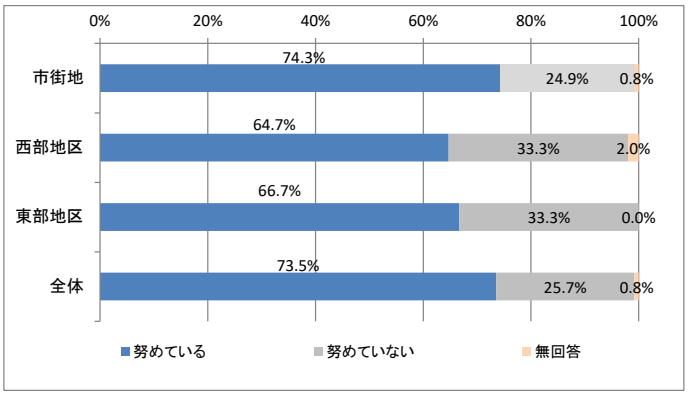
＜平成 30 年度調査＞

（全年齢層）

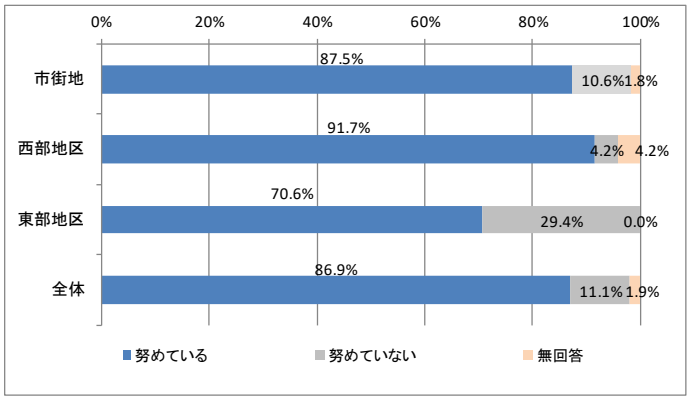


＜平成 29 年度調査＞

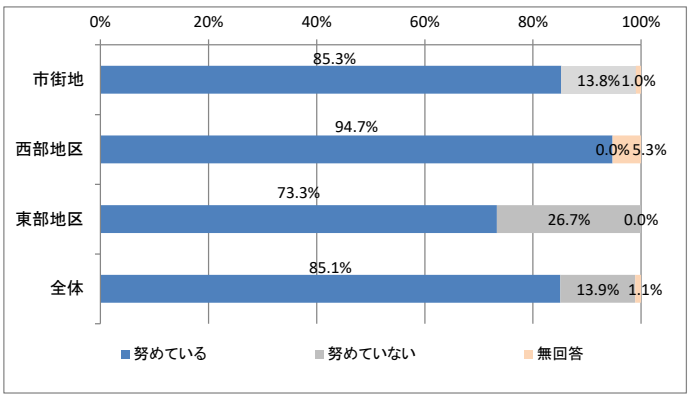
（全年齢層）



（60 歳以上）



（60 歳以上）



（３）30 分以上の運動の実施状況

１日 30 分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く 38.3%となっている反面、週に１日以上（「毎日」「週に２日以上」「週に１日程度」の合計）運動している割合は、51.9%と半数を超えている。

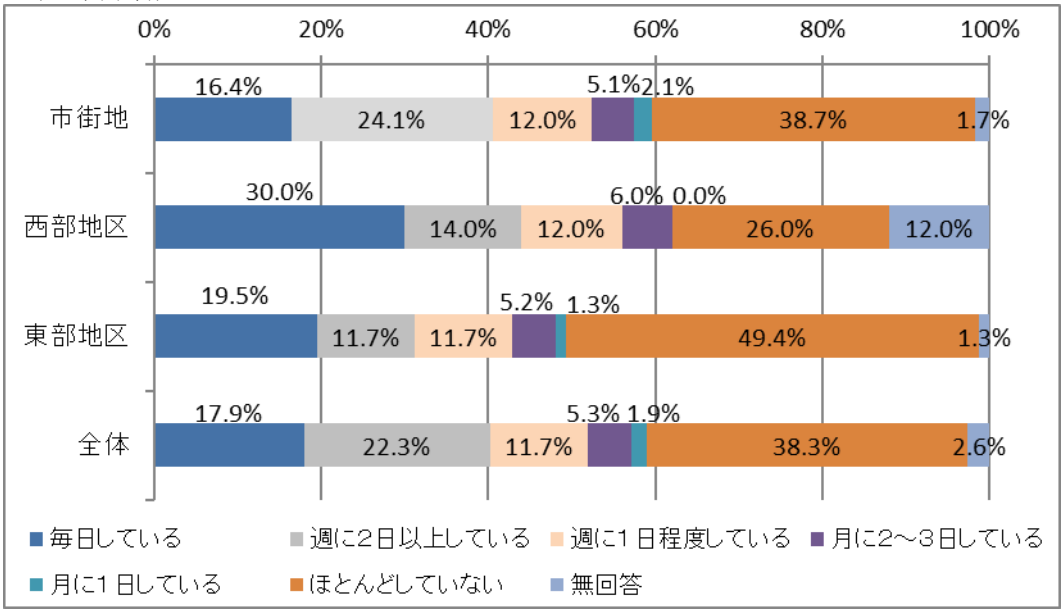
一方、60 歳以上の回答者についてみると、「ほとんどしていない」が 29.8%と最も多くなっており、週に１日以上運動している割合は 61.9%と、市民全体よりも高い割合を示している。

地区別でみると、総じて東部地区で実施している住民の割合が低くなっている。昨年度調査では西部地区で運動を行っていないとする回答割合が高くなっていたが、サンプル数が少ないため評価には至らない。

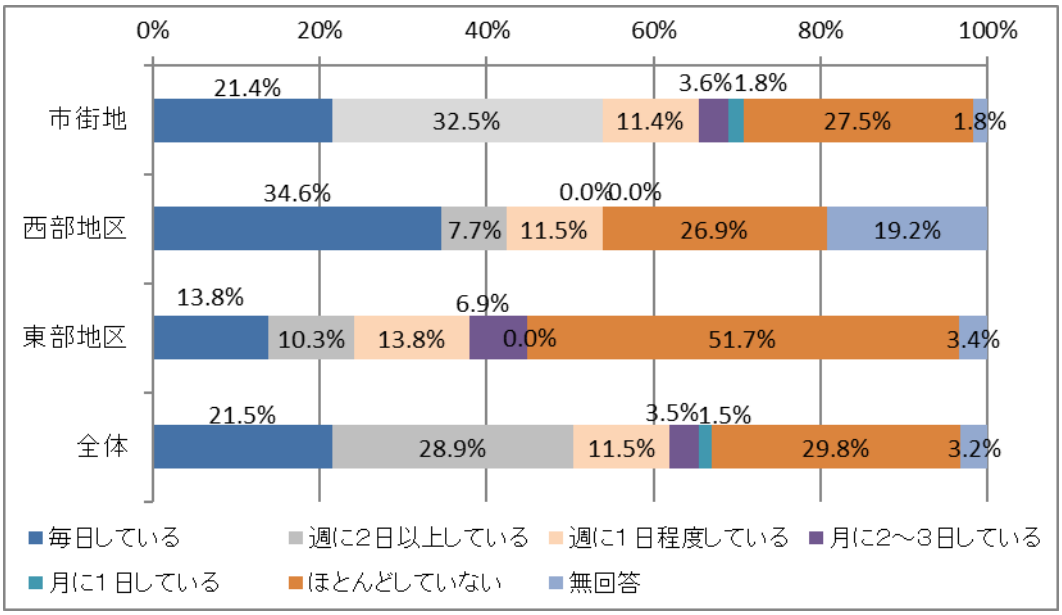
このように、サンプル数の都合によって地区別での変動がみられるものの、30 分以上の運動を週１日以上実施している市民の割合は、ほぼこれまでの調査結果と同様となっている。

＜令和元年度調査＞

（全年齢層）

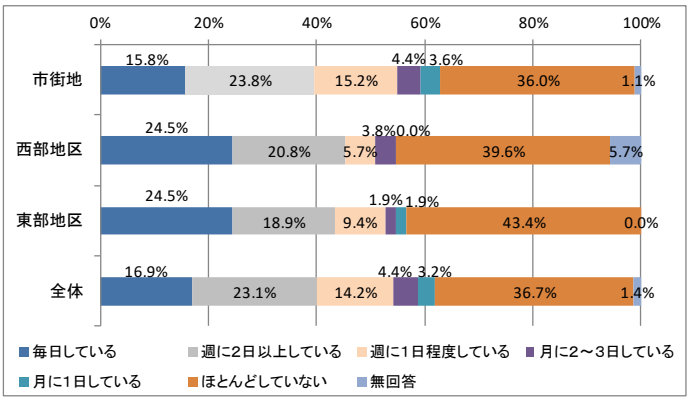


（60 歳以上）



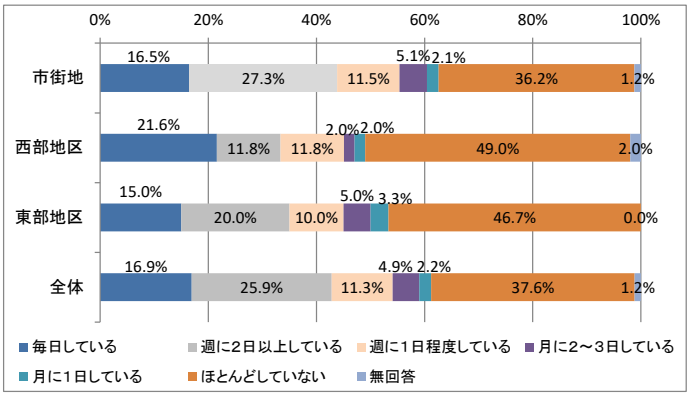
＜平成 30 年度調査＞

（全年齢層）

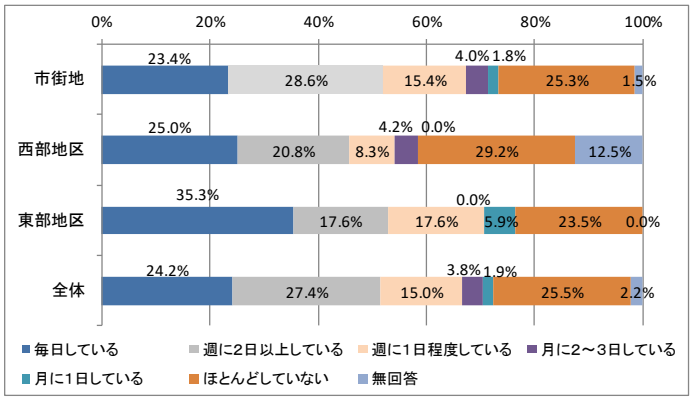


＜平成 29 年度調査＞

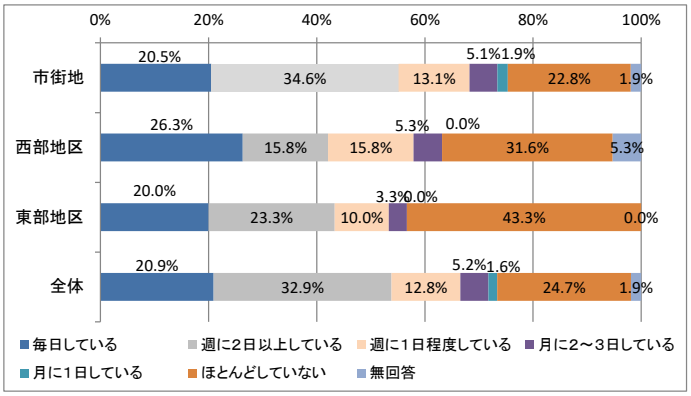
（全年齢層）



（60 歳以上）



（60 歳以上）



（４）市立根室病院の分娩再開の認知度について

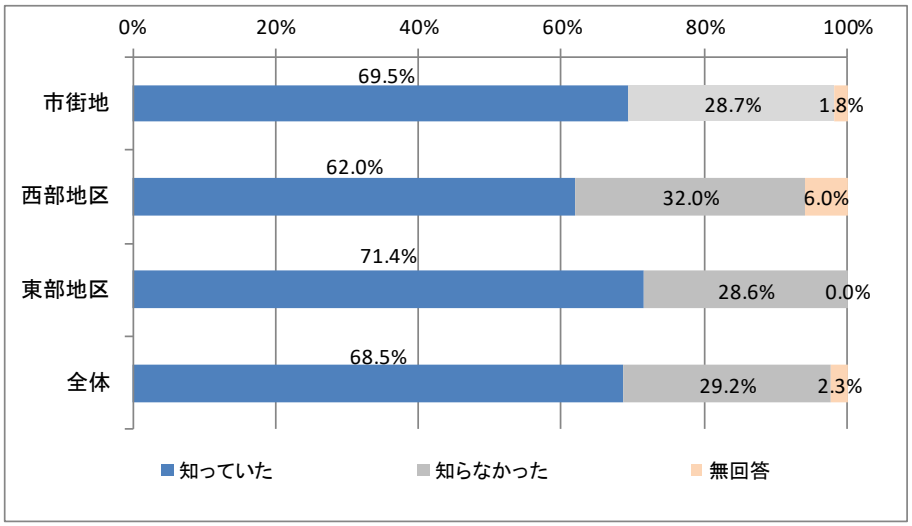
本設問は、平成 30 年度調査から追加した項目である。

根室市では、平成 29 年 4 月 1 日から経産婦の方を対象に分娩を再開しているが、そうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、68.5%の方が「知っていた」としており、平成 30 年度調査時の認知度よりも低下している。

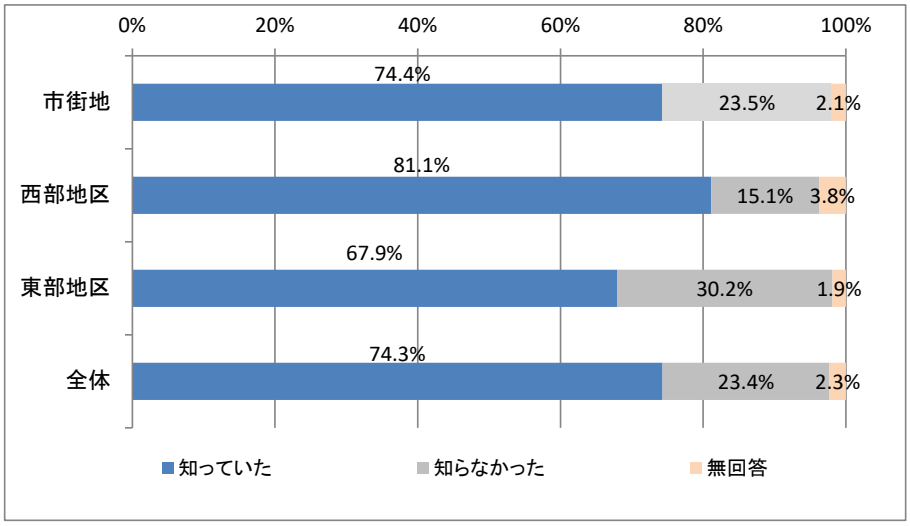
年齢階層別でみても総じて認知度が低くなっており、特に 20 歳代以下で低くなっている。これは、認知度が低下したとみるより、分娩再開の認知度としては、概ね平成 30 年度調査の認知度と今回調査の認知度の平均的な認知度と評価する方が適切と考えられる。

市立根室病院の分娩再開の認知度

（令和元年度調査）



（平成 30 年度調査）



年齢階層別分娩開始の認知度

（令和元年度調査）

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代（20歳代～40歳代）
知っていた	9	43	93	103	58	239	2	547	239
知らなかった	20	33	36	30	21	90	3	233	99
無回答	2	0	2	0	2	10	2	18	2
計	31	76	131	133	81	339	7	798	340
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代（20歳代～40歳代）
知っていた	29.0%	56.6%	71.0%	77.4%	71.6%	70.5%	28.6%	68.5%	70.3%
知らなかった	64.5%	43.4%	27.5%	22.6%	25.9%	26.5%	42.9%	29.2%	29.1%
無回答	6.5%	0.0%	1.5%	0.0%	2.5%	2.9%	28.6%	2.3%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（平成 30 年度調査）

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代（20歳代～40歳代）
知っていた	12	58	94	99	78	236	2	579	251
知らなかった	15	21	27	27	24	67	1	182	75
無回答	1	0	1	1	2	11	2	18	2
計	28	79	122	127	104	314	5	779	328
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代（20歳代～40歳代）
知っていた	42.9%	73.4%	77.0%	78.0%	75.0%	75.2%	40.0%	74.3%	76.5%
知らなかった	53.6%	26.6%	22.1%	21.3%	23.1%	21.3%	20.0%	23.4%	22.9%
無回答	3.6%	0.0%	0.8%	0.8%	1.9%	3.5%	40.0%	2.3%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

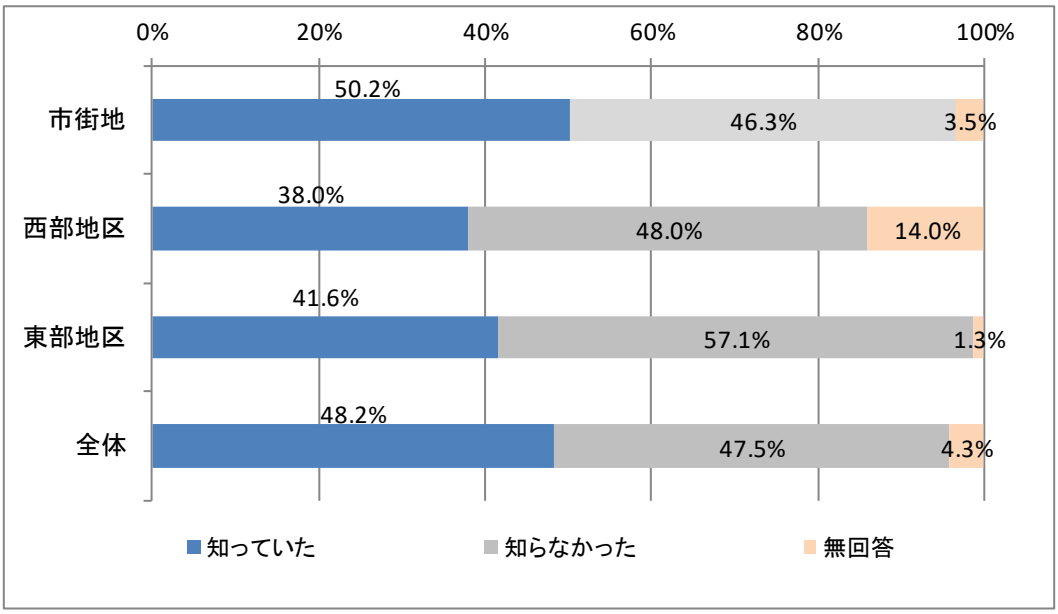
（５）施策に対する認知度

①全体

根室市では現在、医師及び医療従事者として働くことを希望する学生等に対する修学資金の貸付制度を実施しているが、この制度に関する主要施策についての認知度についてみると、回答者全体では、概ね 50%程度の認知度であることが把握された。

しかし、市街地区住民の認知度に比して、西部地区、東部地区住民の認知度は低い。

人材確保対策（医師及び医療従事者として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付制度の認知度



（６）根室市の医療環境に対する満足度

市内の病院などの医療環境に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、6.7%となっており、平成 30 年度調査の結果よりもやや低下している。

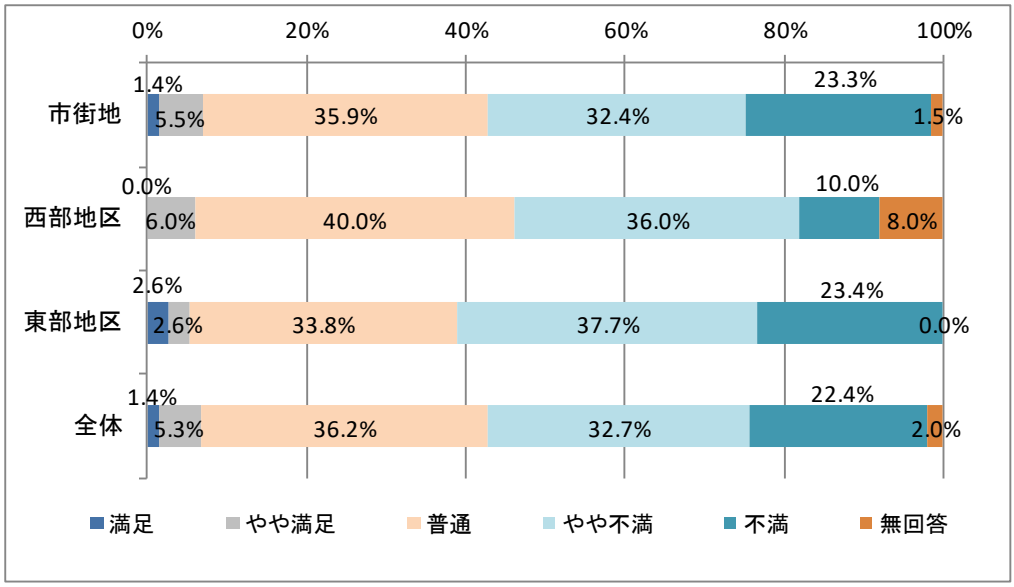
地域別も同様で、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 6.9%、西部地区及び東部地区で 5.2%～6.0%となっており、すべての地区で満足度が低下している。

今回調査の結果とこれまでの調査結果を比較すると、市立病院での分娩が可能となった平成 30 年度調査以降、「普通」の回答割合が高くなっており（平成 28 年度調査で 17.0%、平成 29 年度調査で 21.9%）、普通以上の満足度を感じている住民が概ね 40%となっている。

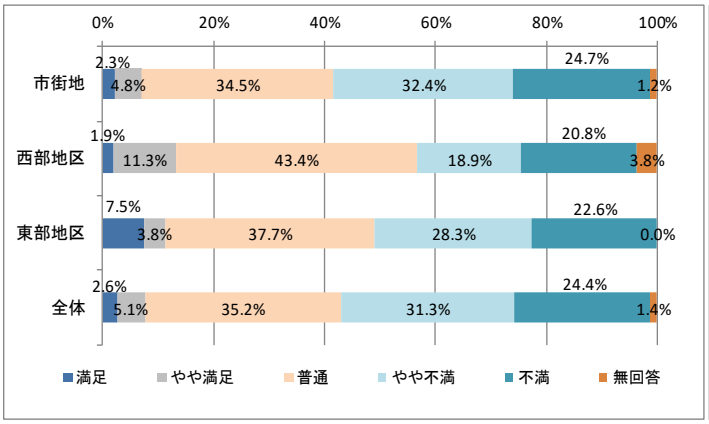
しかし、今回調査の結果と昨年度調査の結果を比較すると、「満足」とする回答が特に低下している状況となっている。

根室市の医療環境に対する満足度

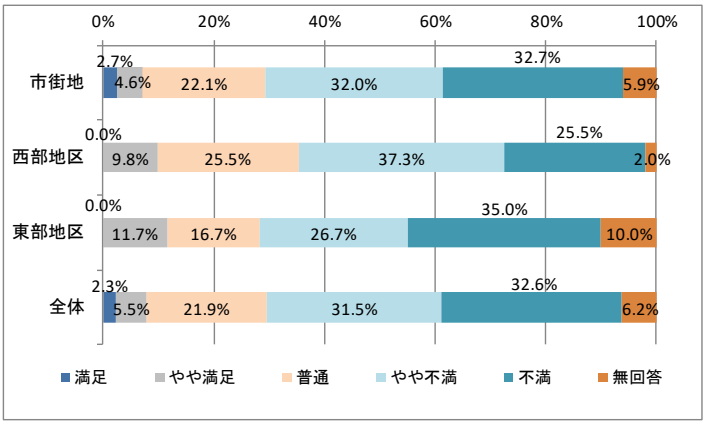
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



（７）保健医療政策について

①市民全体

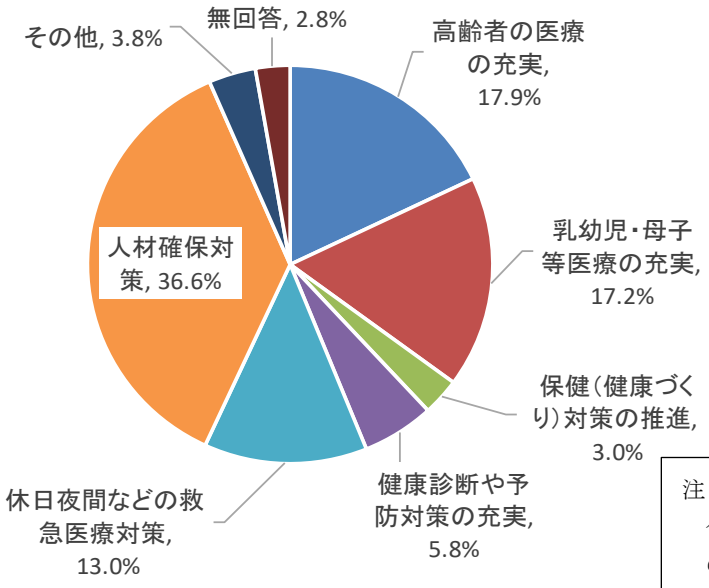
根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を１つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「人材確保対策」が最も多く、36.6%を占めた。

この「人材確保対策」は、今年度調査から追加した項目である。昨年度までの調査における自由回答において、初産の分娩も可能となるような産婦人科医の数に対する要望をはじめ、出張医に頼らざるを得ない状況から脱するための常駐医の確保や看護師の充実などに対する要望が多かったことがその理由である。

これに次いで、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」が続いており、この傾向は昨年度調査と同様である。

＜令和元年度調査＞

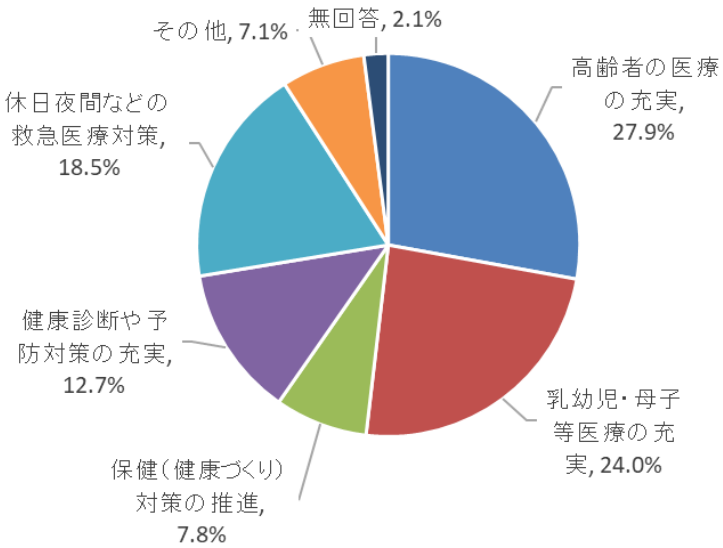
回答者全体



注：自由回答の内容を反映させ、今回調査から「人材確保対策」の項目を追加した。

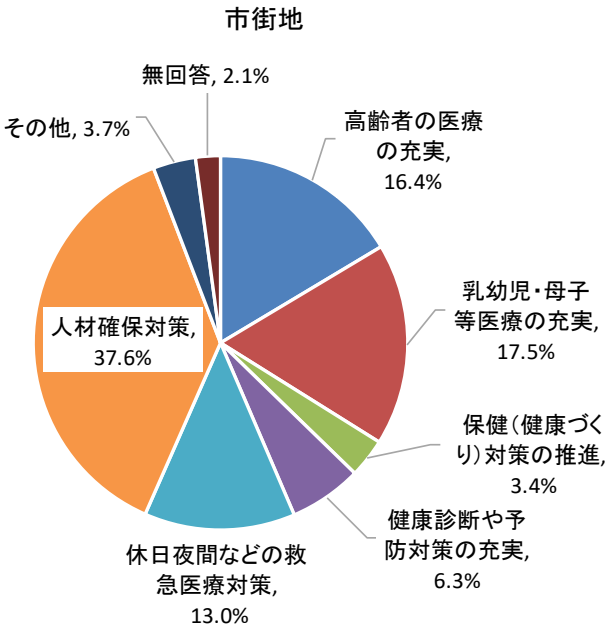
＜平成 30 年度調査＞

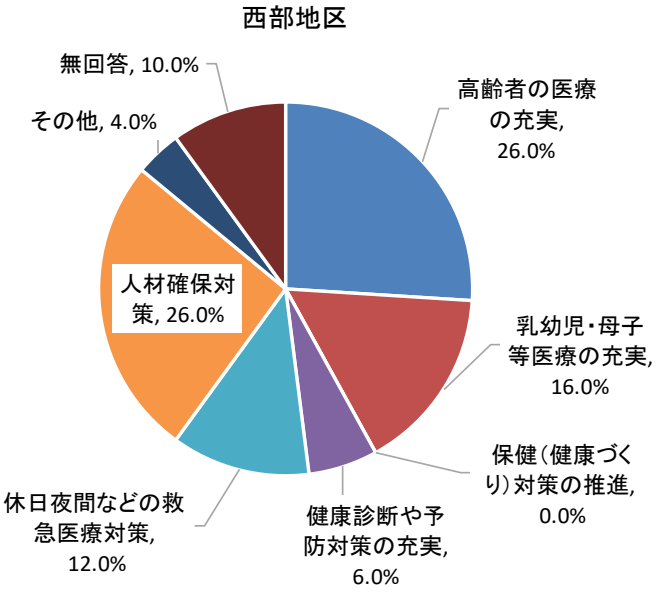
回答者全体

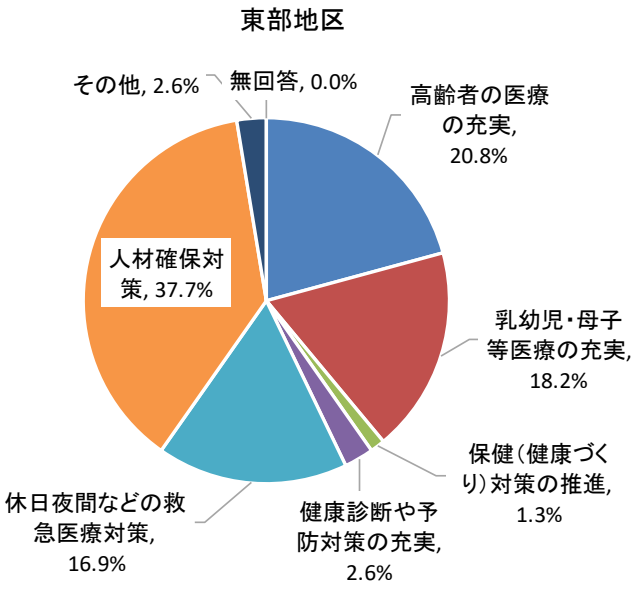


②地区別

「人材確保対策」、「高齢者の医療の充実」、「乳幼児・母子等医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」に対する要望の高さは、各地区とも同様の結果となっているが、「高齢者の医療の充実」に対する要望は、市街地に比して西部地区、東部地区が高くなっている。







３．６　少子化・子育て支援について

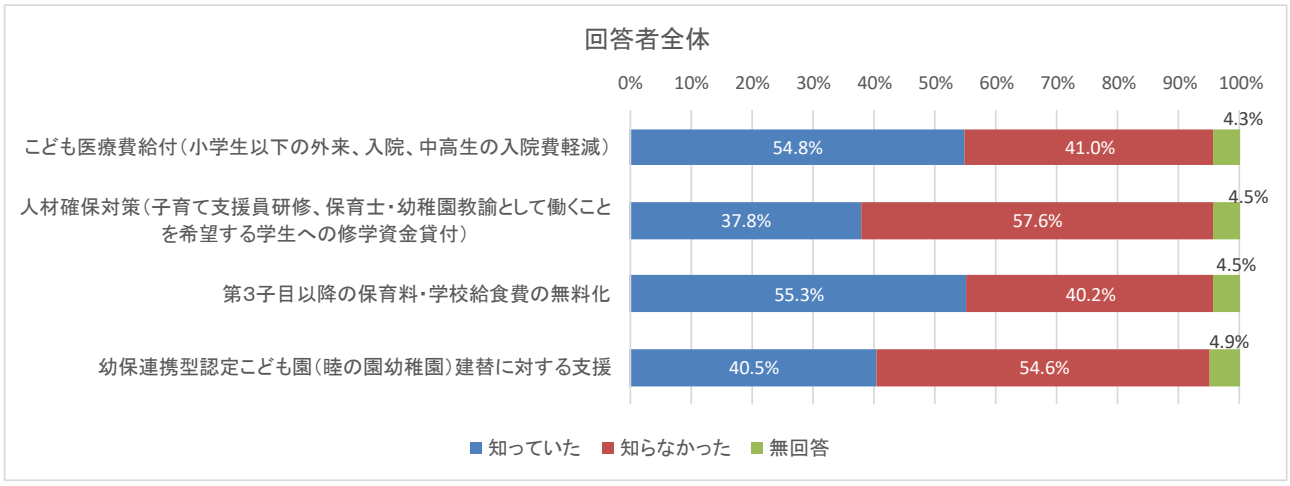
（１）施策に対する認知度

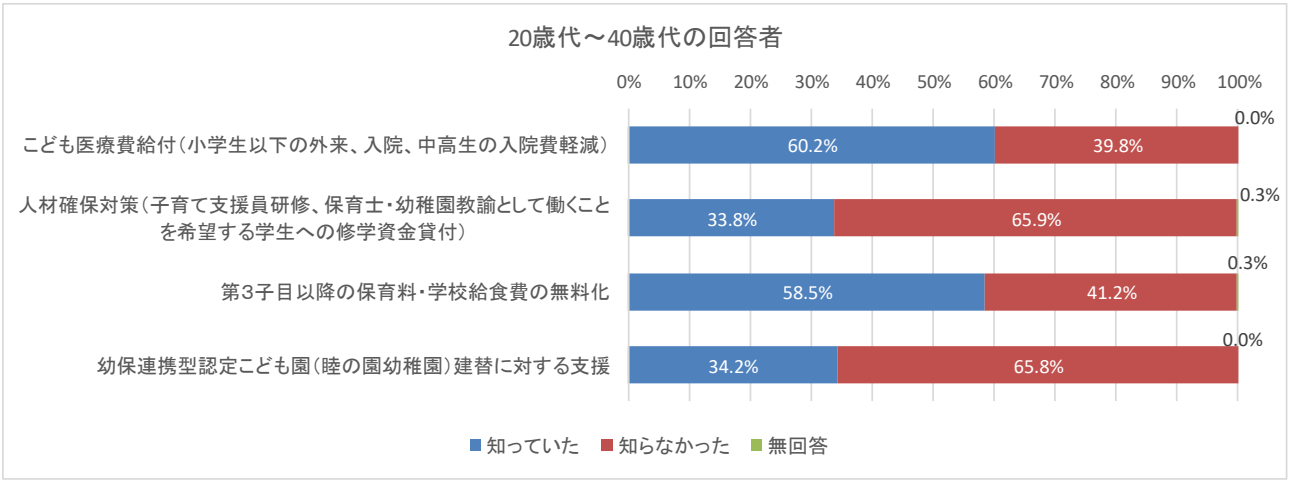
①全体

根室市で実施している「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策についての認知度についてみると、回答者全体では、「こども医療費給付」、「第３子目以降の保育料・学校給食費の無料化」への認知度が比較的高く、特に20歳代～40歳代の子育て世代での認知度が高い。

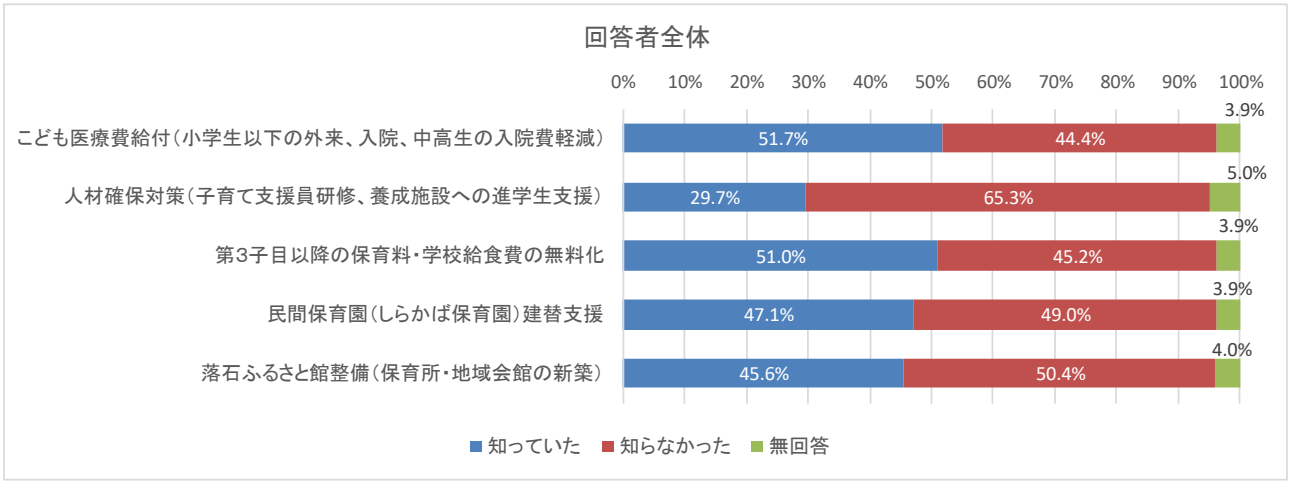
平成30年度調査との共通選択肢について比較すると、「こども医療費給付」、「人材確保対策」、「第３子目以降の保育料・学校給食費の無料化」のいずれの施策も今回調査結果の方が高くなっており、着実に認知度が高まってきている状況が把握される。

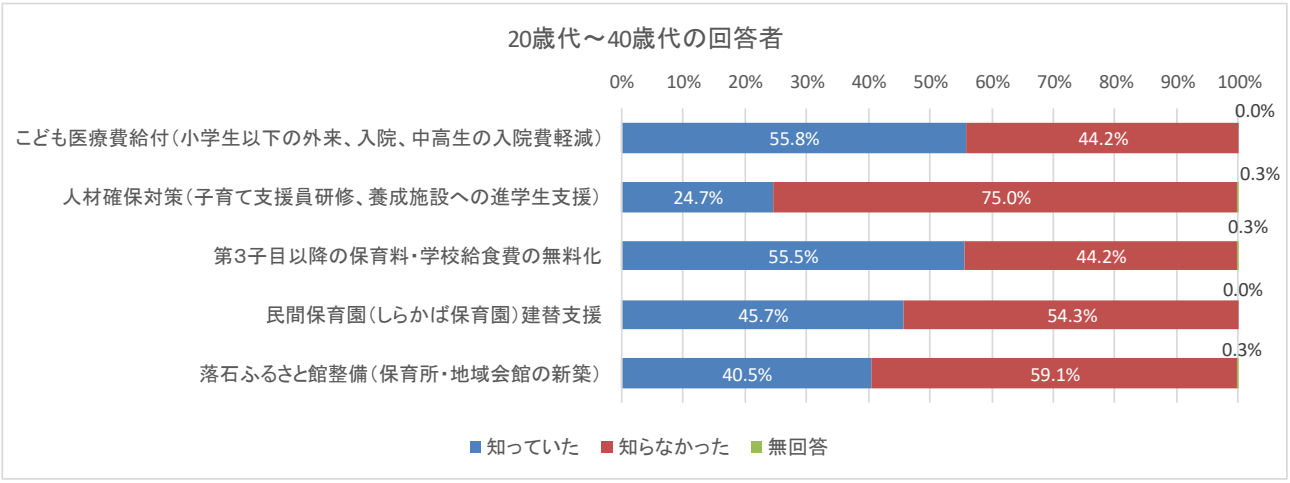
令和元年度調査結果





平成 30 年度調査結果



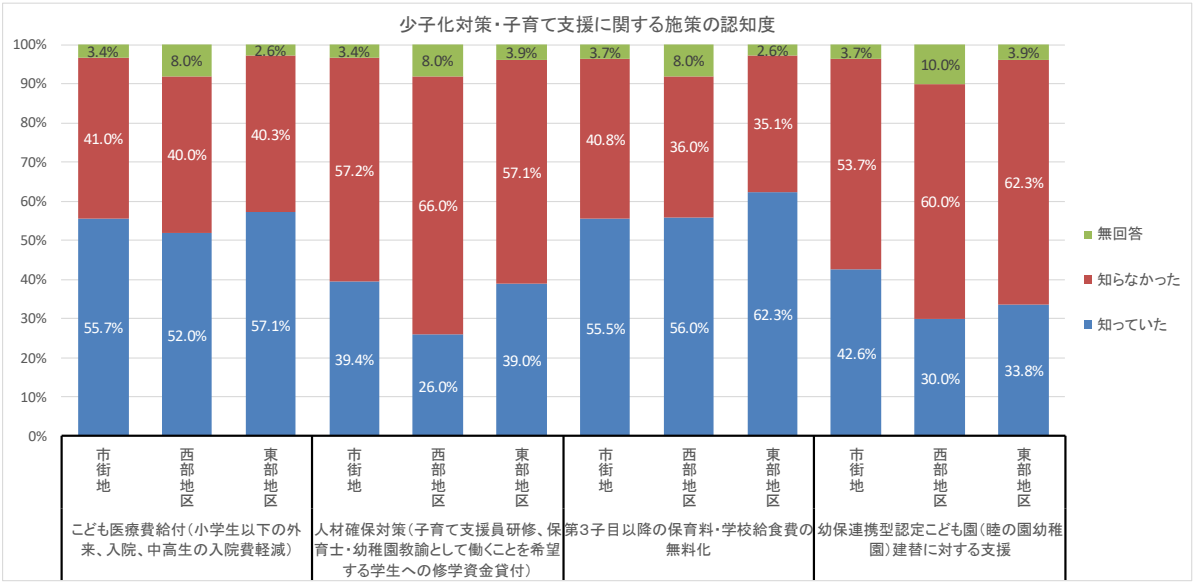


②地区別

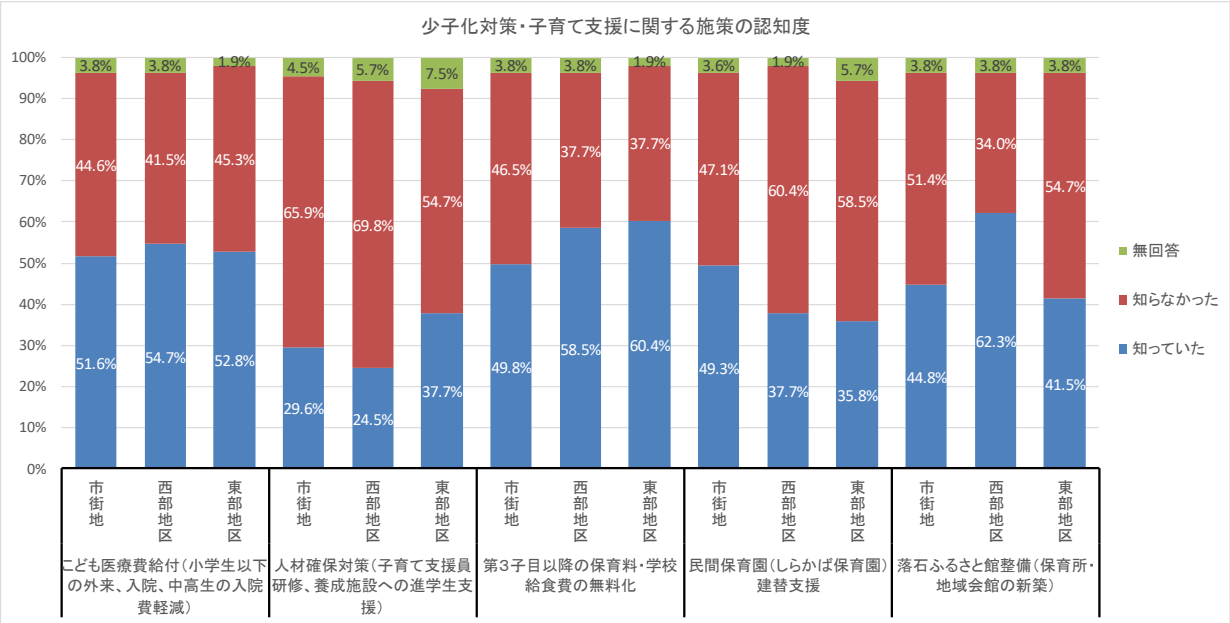
「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策についての認知度は、地区別での大きな差はみられていない。

また、昨年度調査と比較すると、特に、「こども医療費給付」、「第 3 子目以降の保育料・学校給食費の無料化」といった経済的支援に関しては、どの地区とも認知度が向上している。

令和元年度の地区別認知度調査結果



平成 30 年度の地区別認知度調査結果



（２）乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

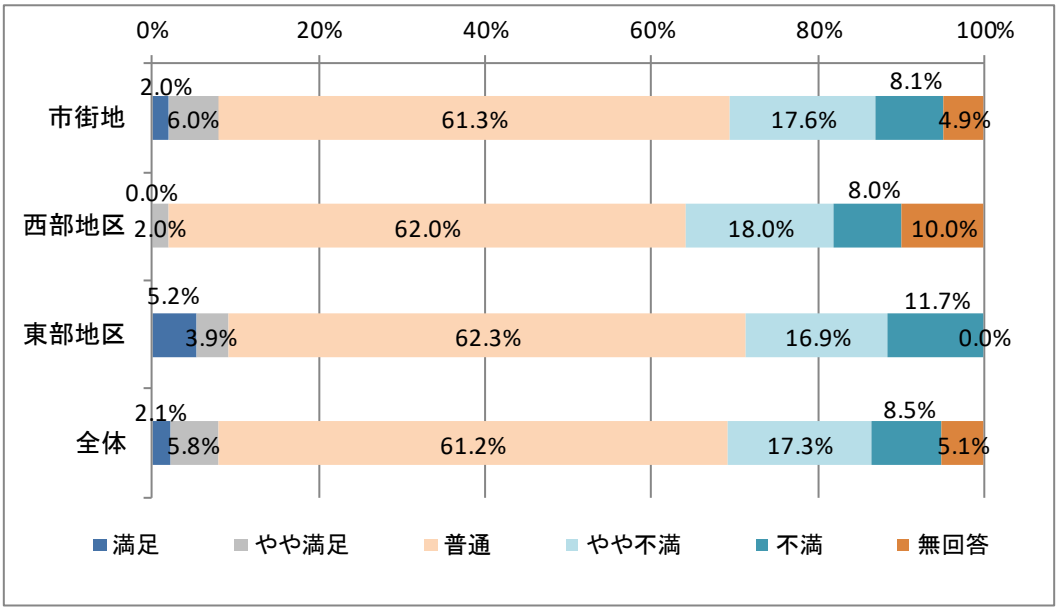
乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、7.9%となっており、平成 30 年度までの調査の結果を上回っている。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は西部地区と東部地区で減少しているものの市街地では 8.0%と増加している。

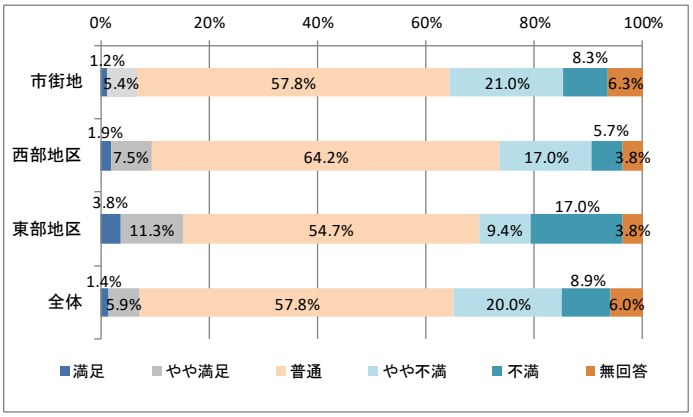
平成 30 年度の調査結果では、それ以前の結果と比較して「満足」と「やや満足」が増加しただけでなく、「普通」の回答割合が高くなっていたが、今回の結果は、さらにこの傾向が強まっている。

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

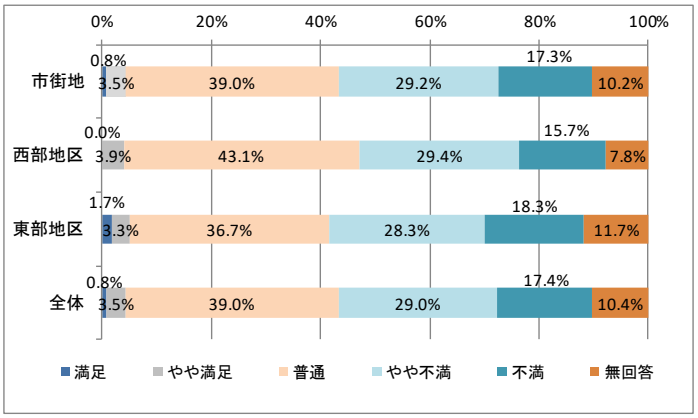
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



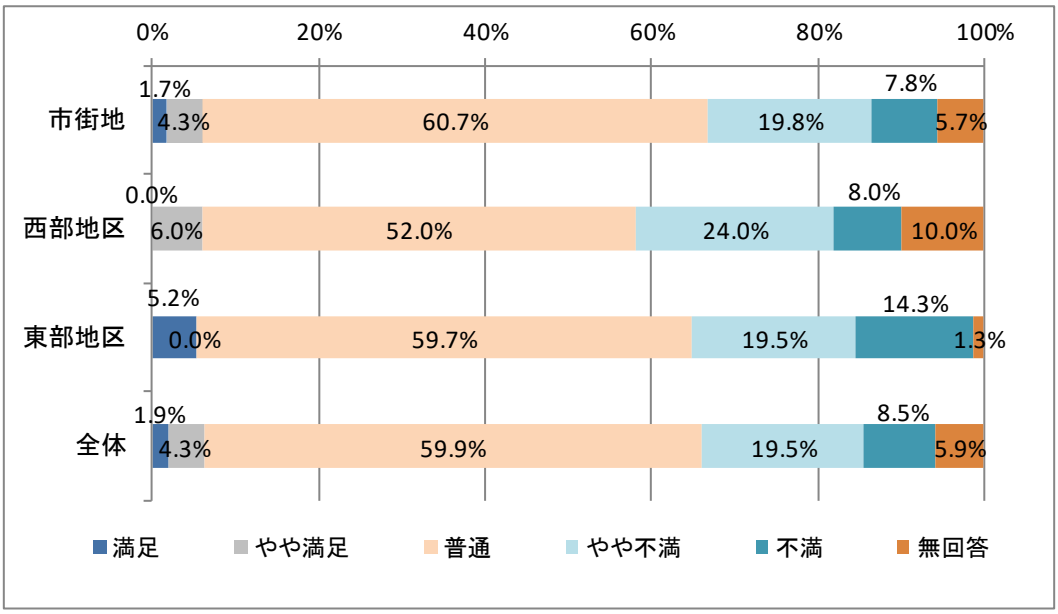
（３）子育てのための環境や支援に対する満足度

子育てのための環境や支援に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、6.2%となっており、平成 30 年度までの調査の結果よりもやや向上している。

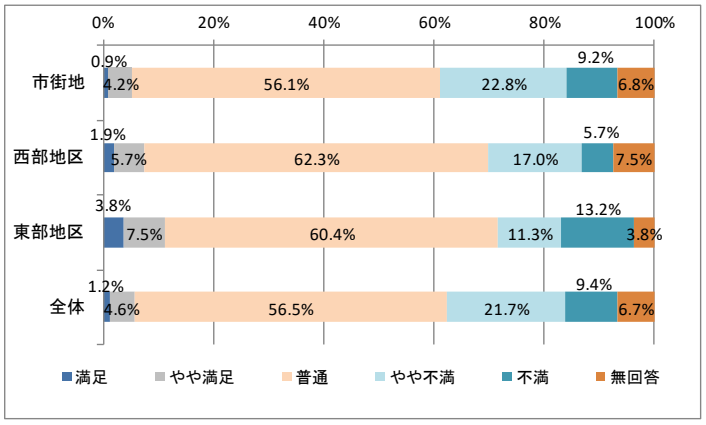
地域別でみると、平成 30 年度調査と比して「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区と東部地区では低下したが市街地ではやや増加した。

今回調査の結果と平成 30 年度の調査結果を比較すると、この項目でも「普通」の回答割合が高くなってきており、特に市街地でこの傾向が強く、市街地住民の子育てのための環境や支援に対する不満度合いが低下してきている状況がうかがえる。

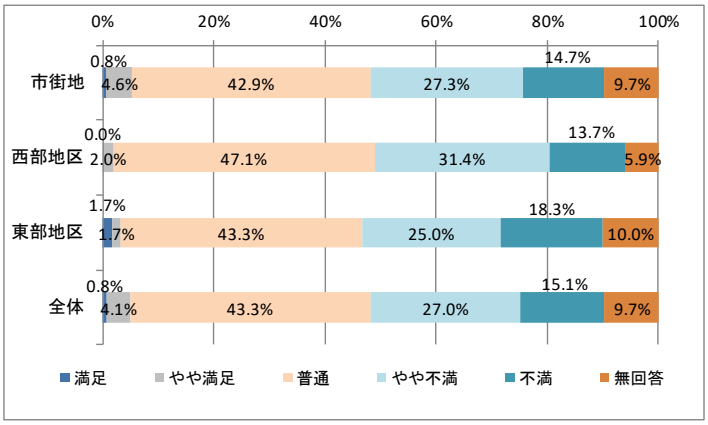
子育てのための環境や支援に対する満足度



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



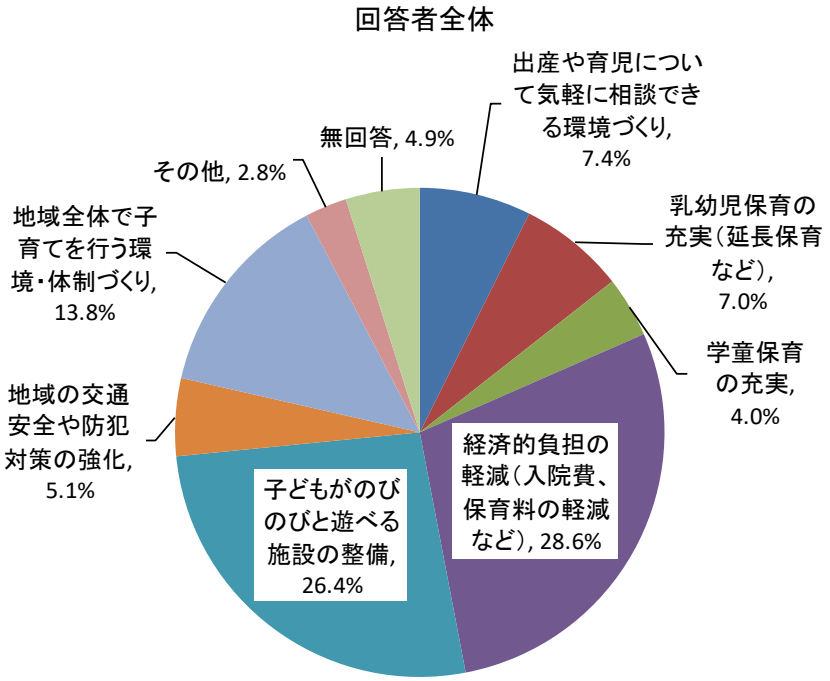
（４）少子化・子育て支援策

①市民全体

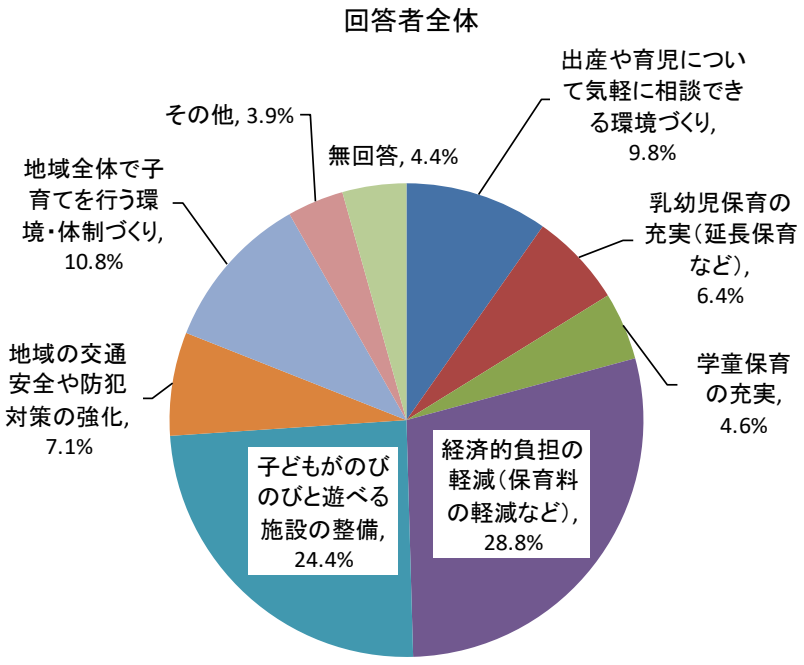
根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を１つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「経済的負担の軽減」が最も多く、28.6%を占めた。次いで、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が 26.4%、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が 13.8%、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」が 7.4%の順であった。

この結果は、平成 30 年度の調査とほぼ同様の結果であった。

＜令和元年度調査＞



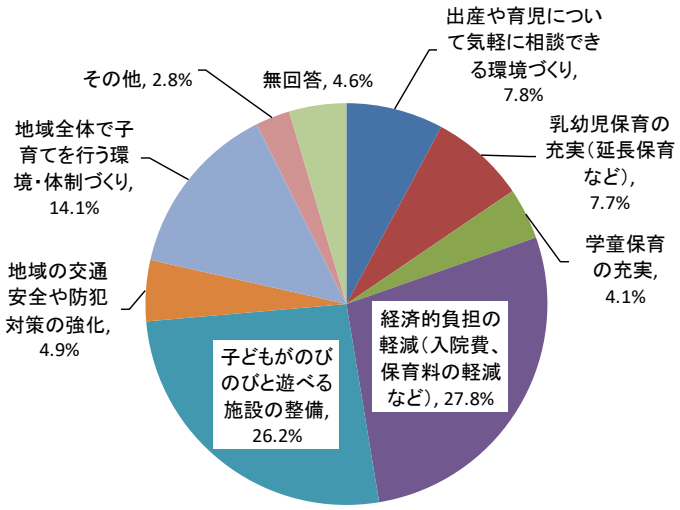
＜平成 30 年度調査＞



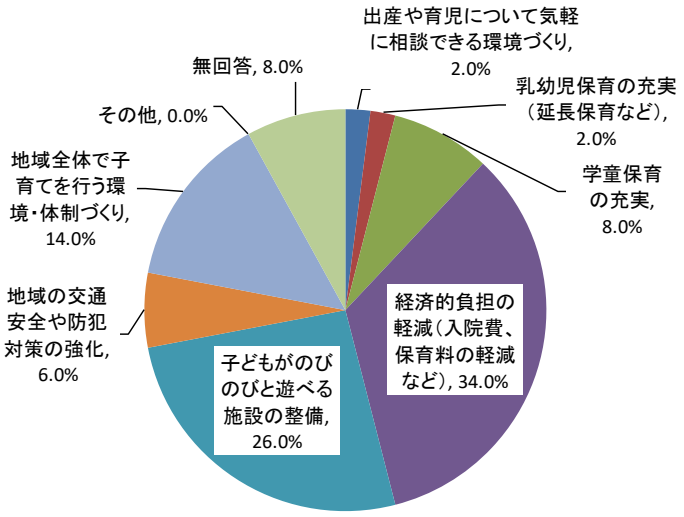
②地区別

いずれの地区も「経済的負担の軽減」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」に対する要望が高くなっている。これに次いで西部地区では「学童保育の充実」が高くなっている。西部地区における「学童保育の充実」への要望の高さは平成 30 年度調査の結果も同様であった。

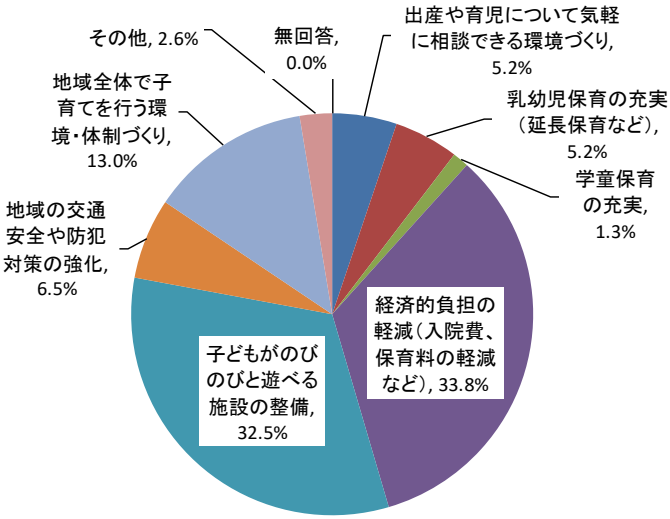
市街地



西部地区



東部地区



３．７　高齢者支援について

（１）趣味・楽しみ、生きがいの有無

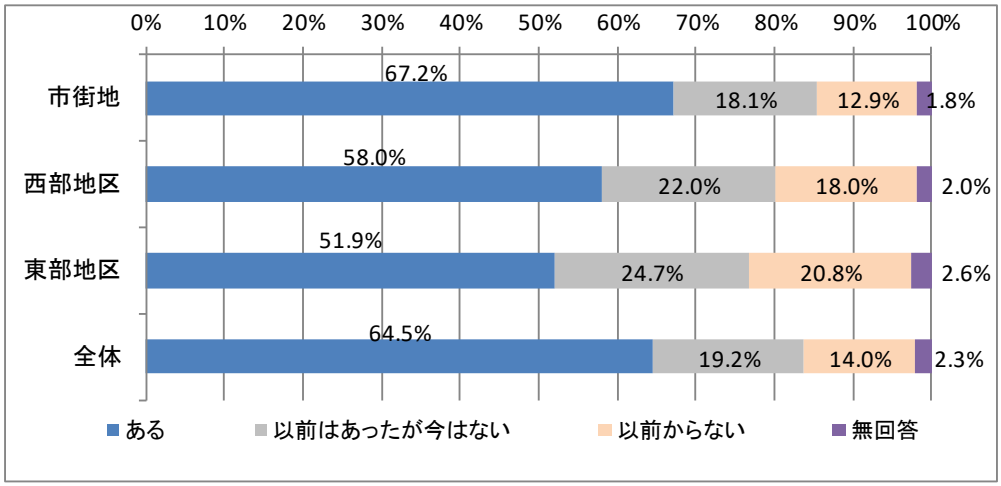
趣味・楽しみ、生きがいの有無について、回答者全体についてみると 64.5%が「ある」としており、平成 30 年度調査の結果と比較すると、市街地で増加したものの西部地区と東部地区で減少している。ただし、西部地区及び東部地区の回答数が市街地に比して極めて少ないことに留意する必要がある。

60 歳以上の回答者に着目すると、平成 30 年度調査において市街地住民の「ある」とする回答割合がそれ以前の調査結果に比して大きく減少していたが、今回調査の結果では再び増加していることから調査時点の違いによる誤差変動と考えられる。

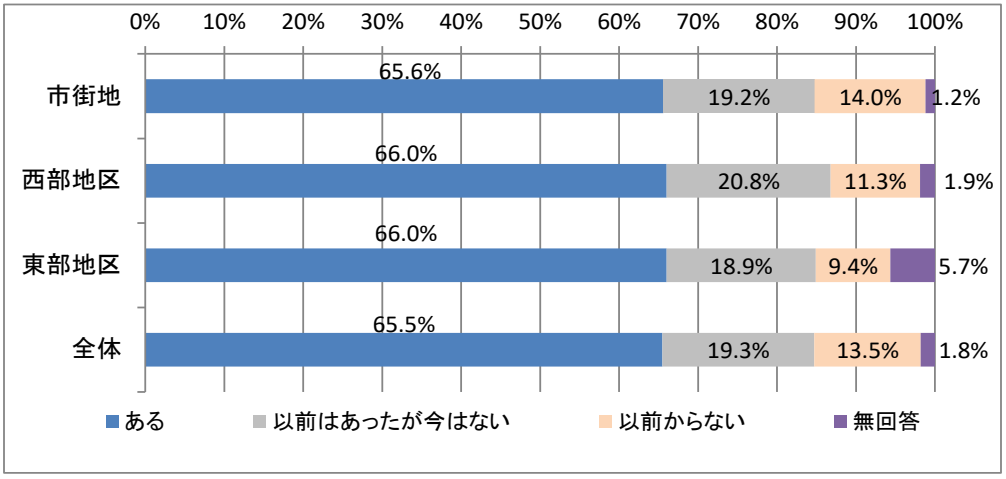
しかし、60 歳以上の「ある」とする回答者の割合は、市民全体の割合に比して低くなっており、この傾向は、平成 30 年度調査の結果と同様となっている。

市民全体の趣味・楽しみ・生きがいの有無

＜令和元年度調査＞

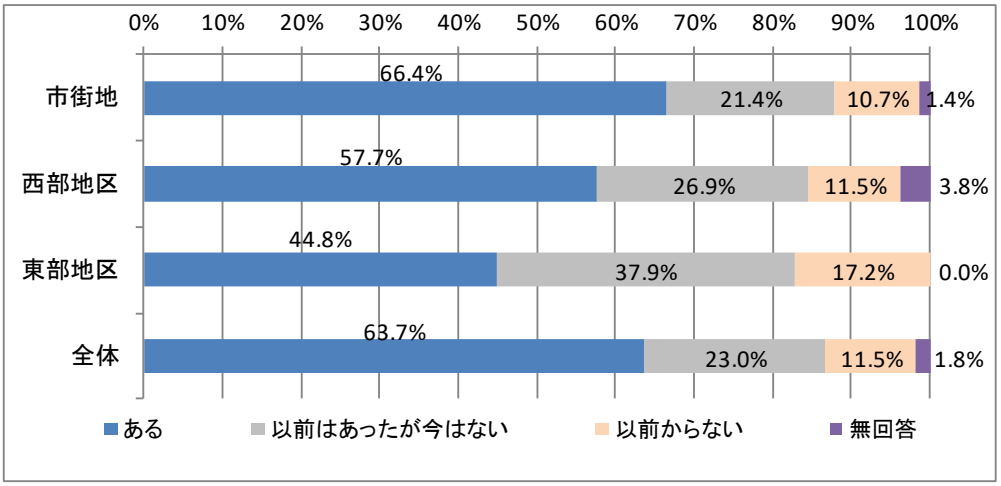


＜平成 30 年度調査＞

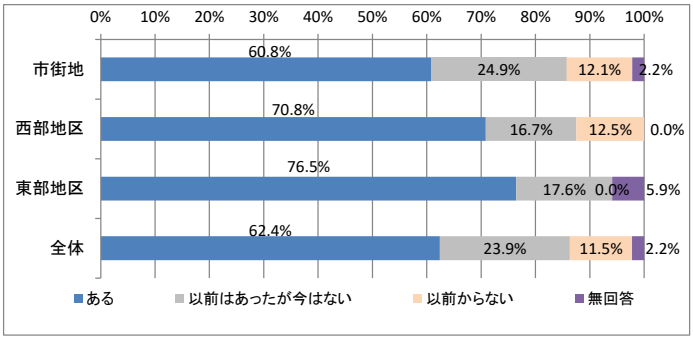


60 歳以上住民の趣味・楽しみ・生きがいの有無

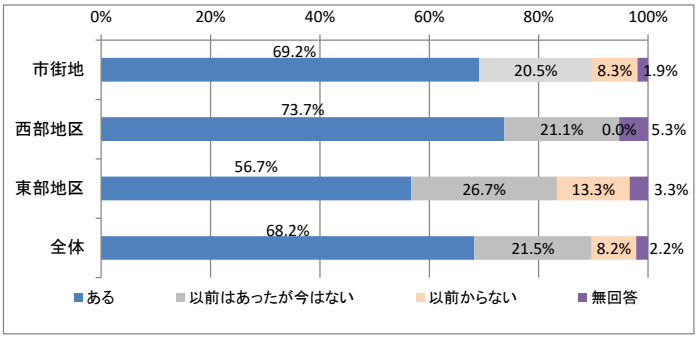
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



（２）町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

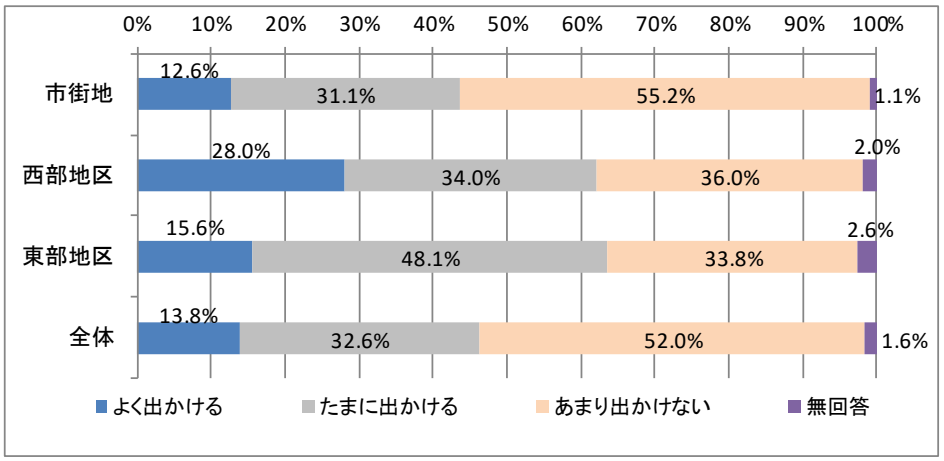
町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについて、回答者全体でみると、「よく出かける」は、市街地で 12.6%、西部地区及び東部地区でそれぞれ 28.0%、15.6%となっており、「たまに出かける」を含めた「出かける」とする回答割合では、各地区とも平成 30 年度調査結果を上回った。特に、西部地区及び東部地区で参加率が高くなっている。

60 歳以上の回答者に着目すると、平成 30 年度調査の結果と同様に回答者全体よりも参加率は高く、特に西部地区及び東部地区で高くなっている。

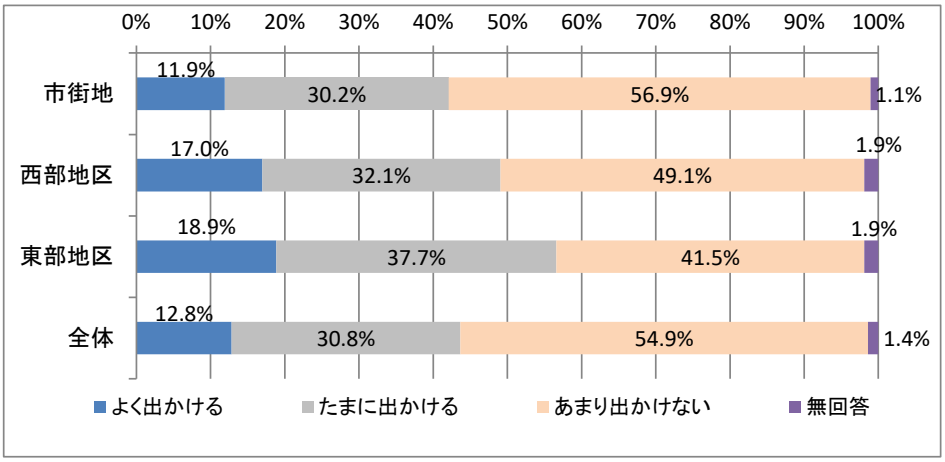
平成 30 年度までの調査の結果と比較すると、60 歳以上の参加状況は、やや高まってきている状況がうかがえる。

市民全体の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

＜令和元年度調査＞

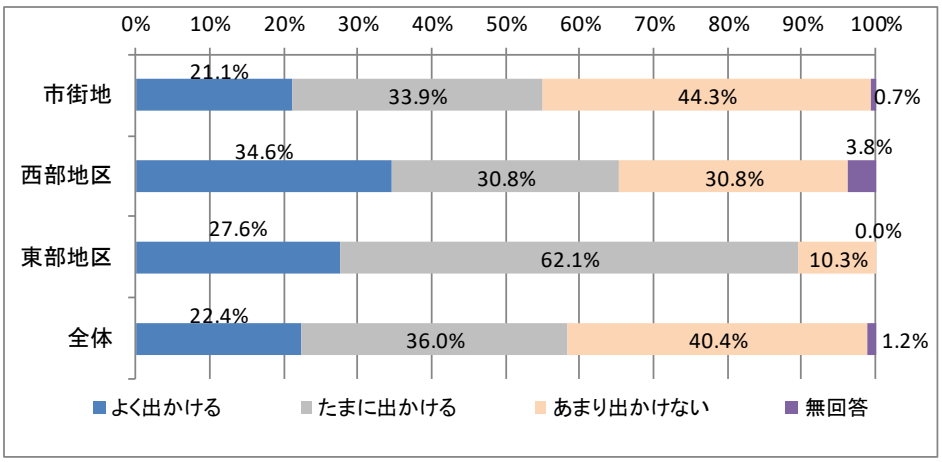


＜平成 30 年度調査＞

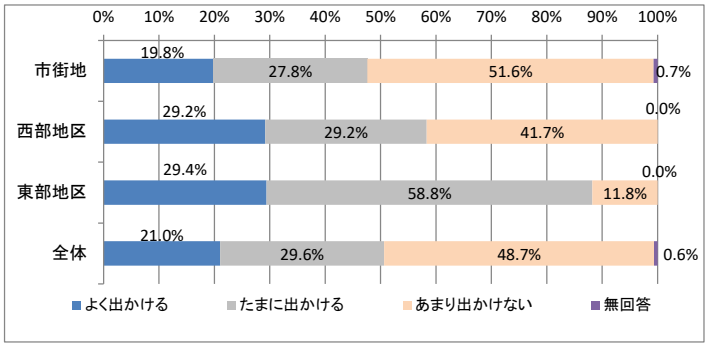


60 歳以上住民の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

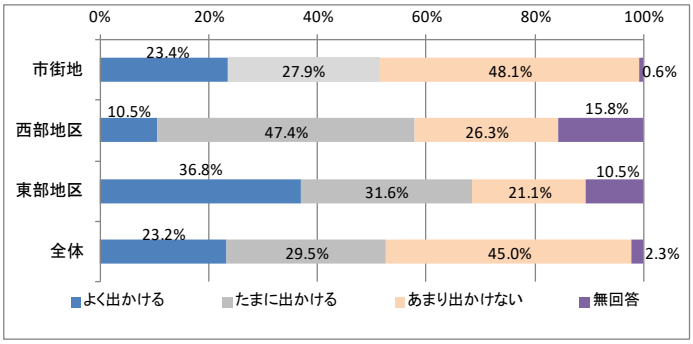
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



（３）施策に対する認知度

①全体

根室市で実施している「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度についてみると、市民全体では、「高齢者見守りボランティア事業」で 46.5%の認知度となっているが、「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては 20%台の認知度に留まっている。

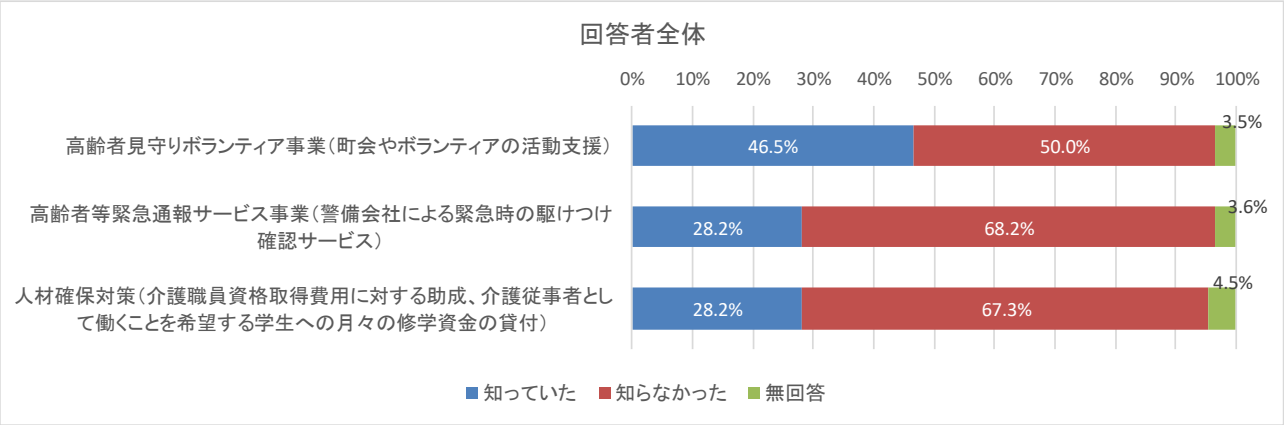
しかし、同じ施策を対象とした平成 30 年度調査の結果と比較すると 3 つの施策とも認知度は高まっている。

一方、65 歳以上の回答者の認知度をみると、「高齢者見守りボランティア事業」が 48.2%、「高齢者等緊急通報サービス事業」が 30.3%の認知度となっており、回答者全体での認知度を上回っていることが把握された。

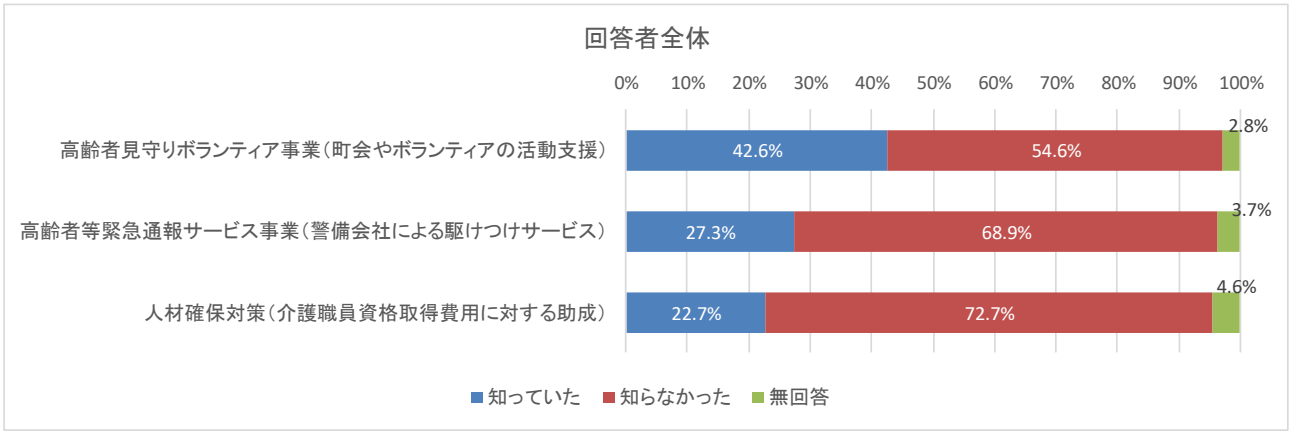
しかし、平成 30 年度調査の結果と比較すると、65 歳以上の住民の認知度は今回調査の方が低い。

市民全体における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

＜令和元年度調査＞

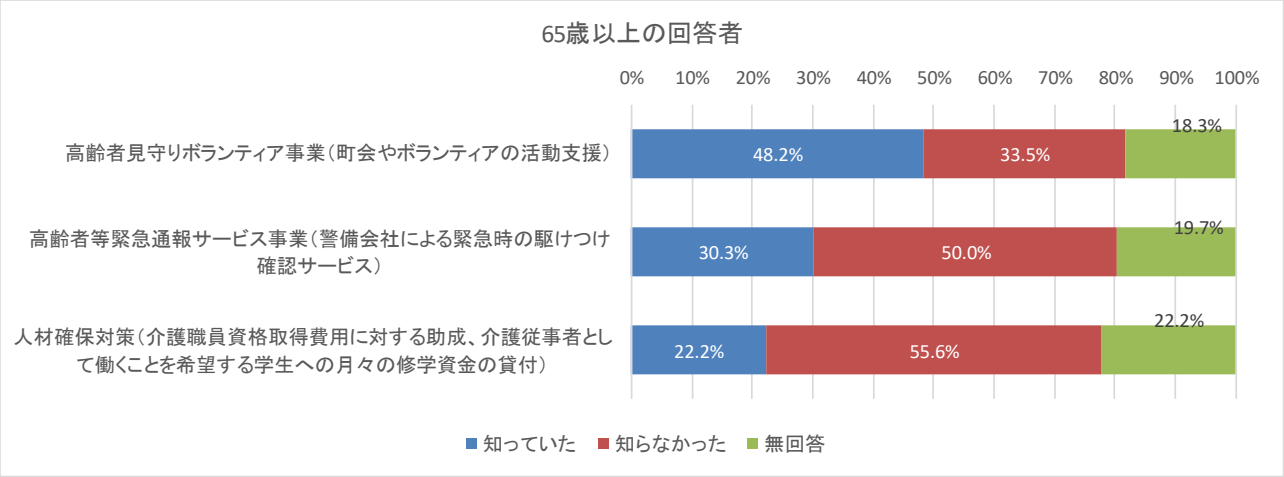


＜平成 30 度調査＞

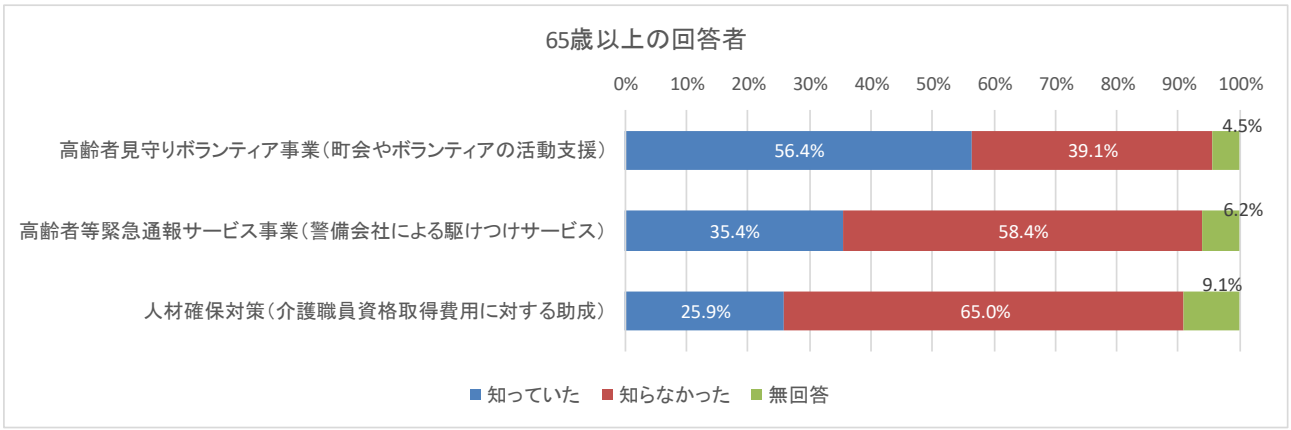


65 歳以上住民における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 度調査＞

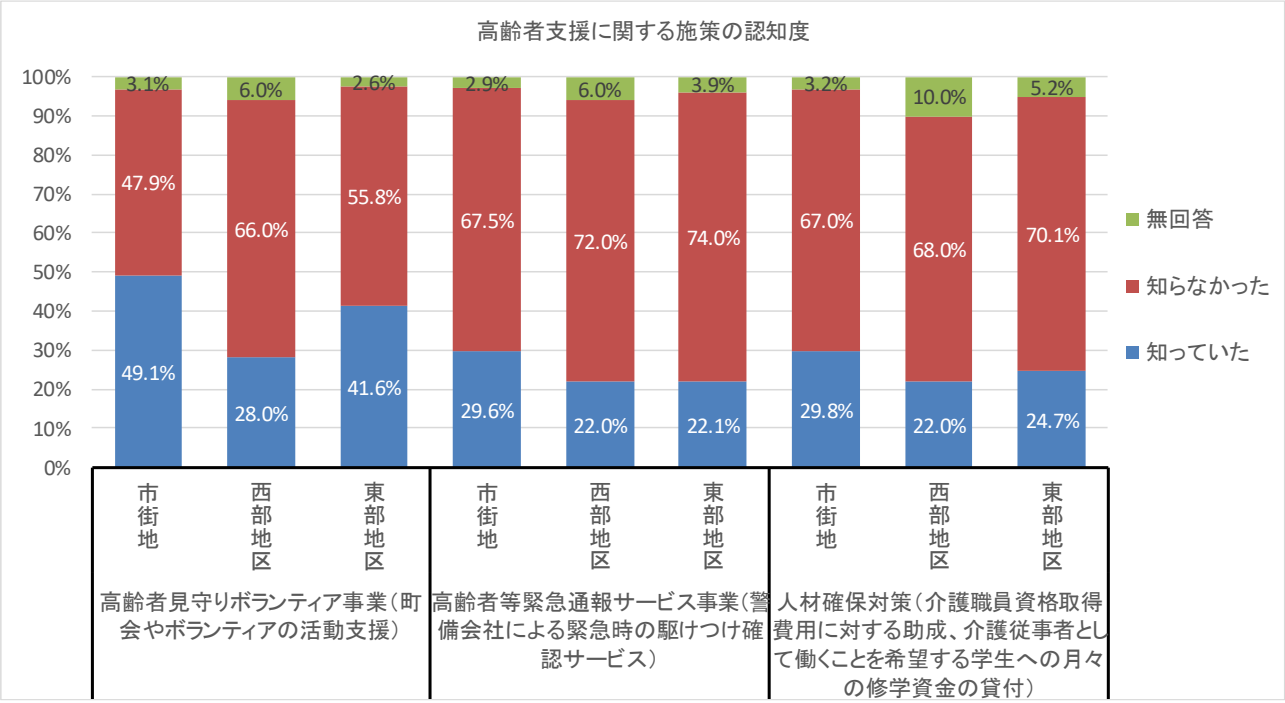


②地区別

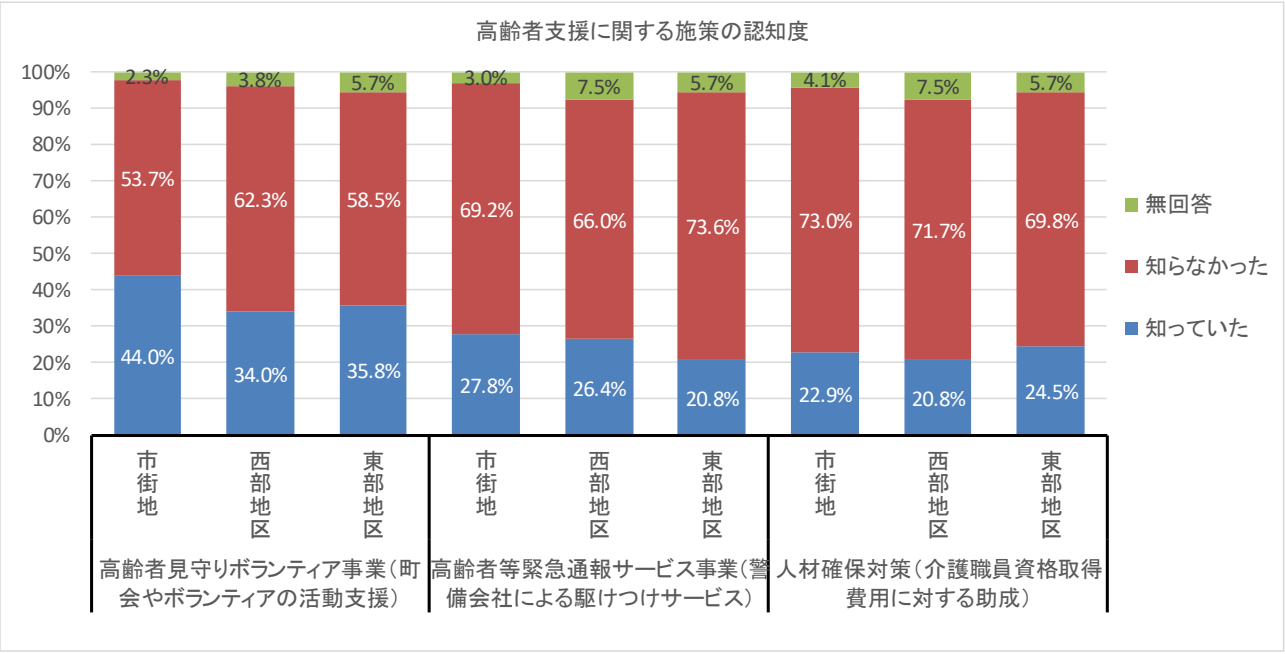
高齢者支援に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、いずれの地区も「高齢者見守りボランティア事業」が最も認知度が高く、28～49%となっている。

「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては、平成 30 年度調査の結果と同様に総じて認知度が低くなっているものの、認知度が高まっている状況が把握された。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



（４）高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

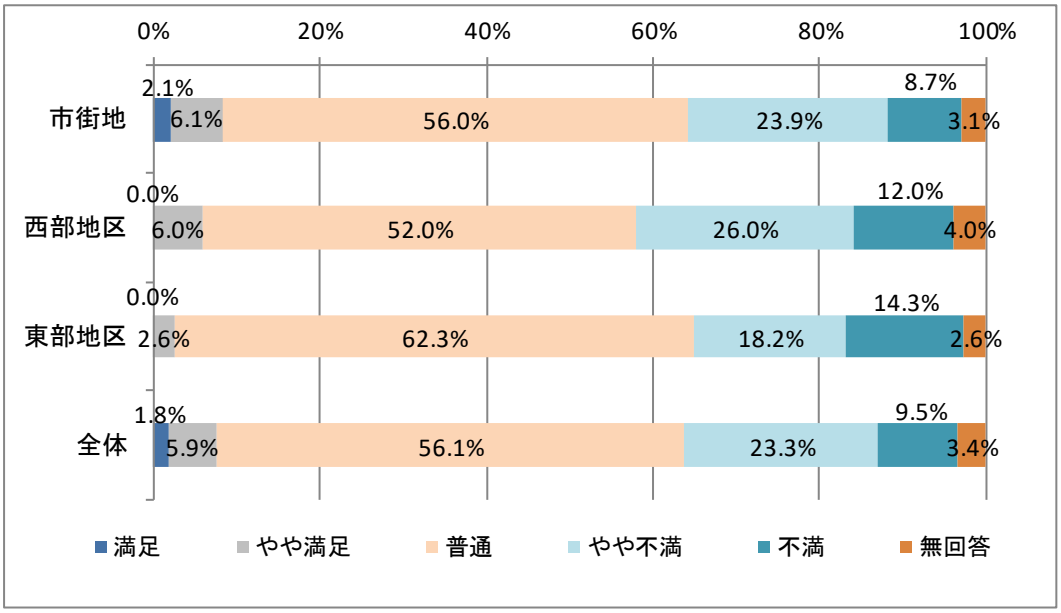
高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、7.7%となっており、平成 30 年度までの調査の結果とほぼ同様となっている。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 8.2%程度と平成 30 年度調査結果よりも増加し、平成 29 年度調査結果とほぼ同水準となっている。

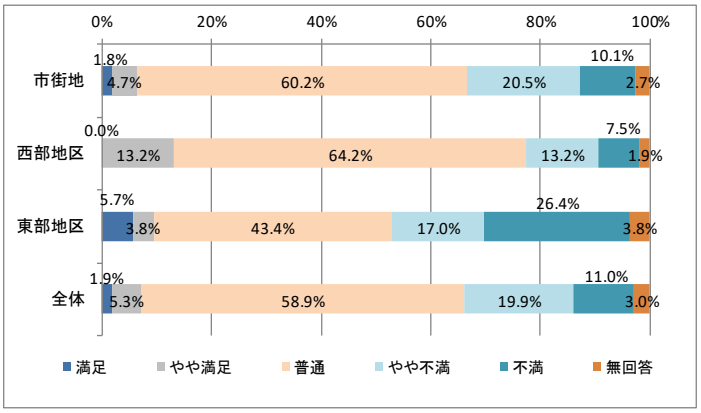
今回調査の結果も平成 30 年度の調査結果と同様に「普通」の回答割合が 60%前後と高くなっており、「普通」以上の満足度であるとする割合は 63.8%とほぼ同水準となっている。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

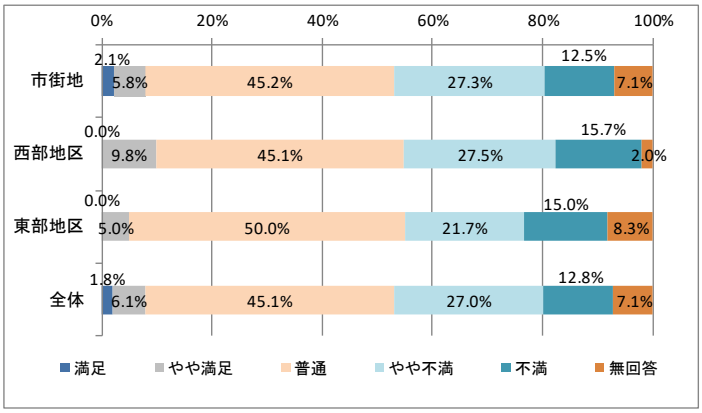
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



（５）高齢者のための福祉施制度の状況に対する満足度

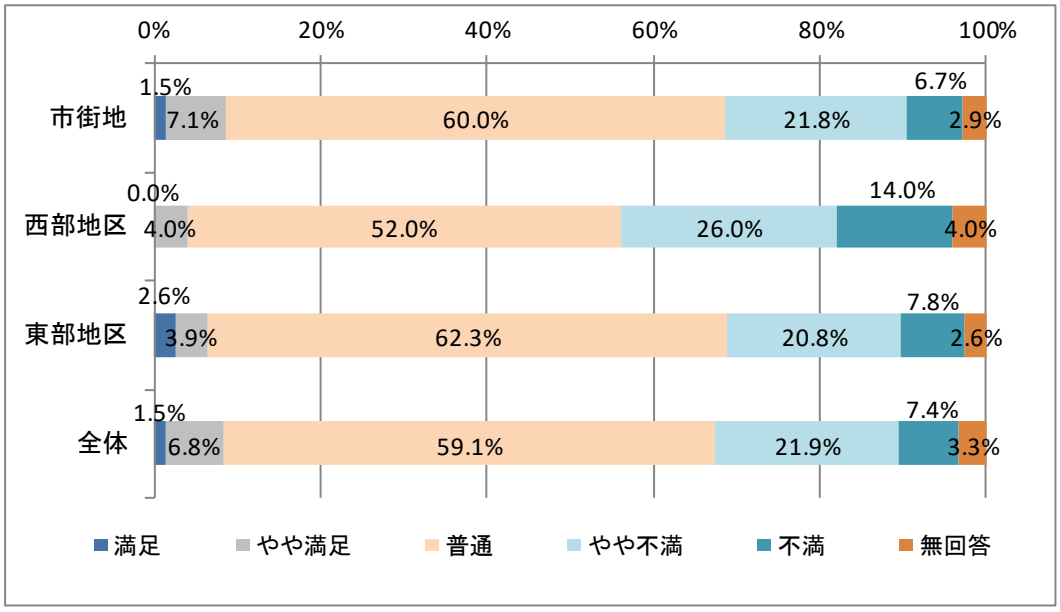
高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合は、8.3%となっており、平成 30 年度調査の結果よりも高くなっている。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 8.6%程度と平成 30 年度調査結果よりも増加している。

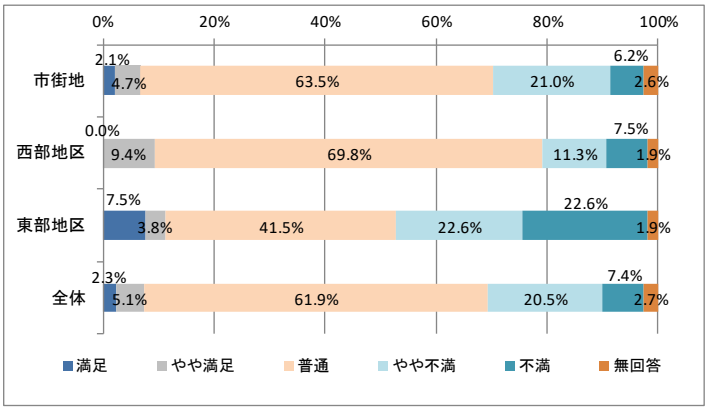
本設問でも「普通」の回答割合が 60%前後と高くなっており、「普通」以上の満足度であるとする割合は 67.4%と昨年度調査の結果とほぼ同水準となっている。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

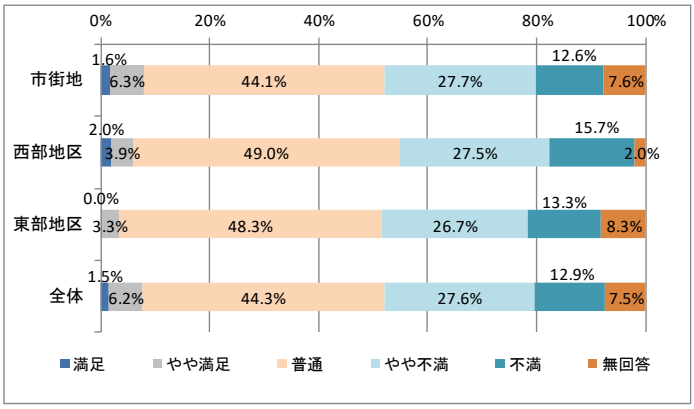
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



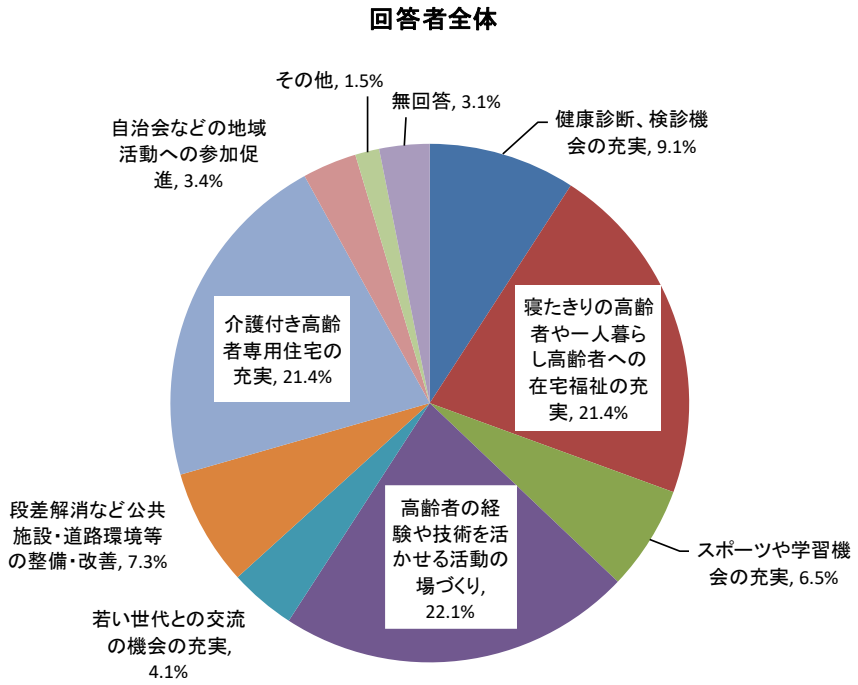
（６）高齢者にとって重要と思う施策について

①市民全体

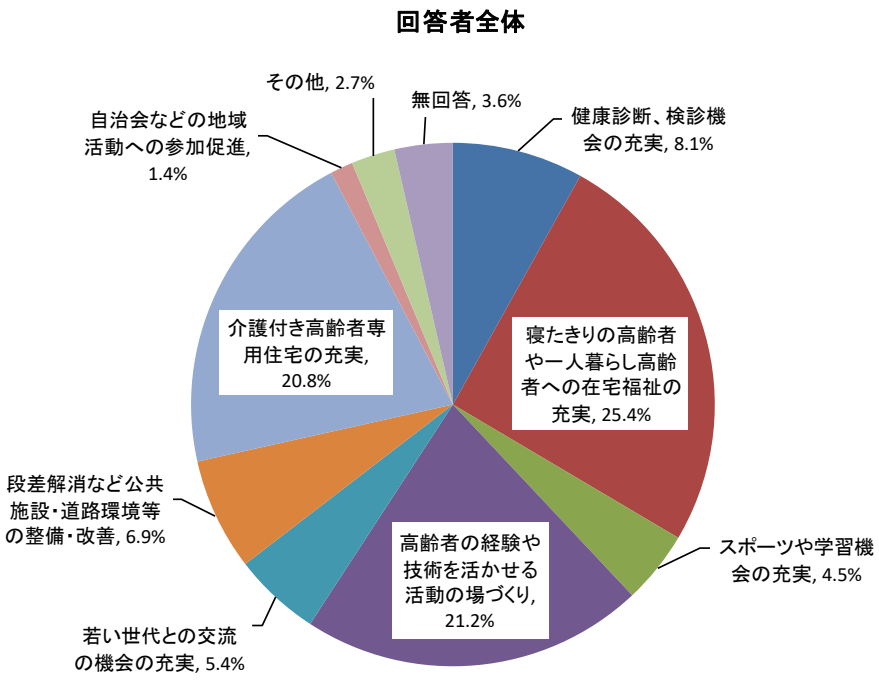
今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が最も多く、次いで、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」と「介護付き高齢者専用住宅の充実」となっている。

平成 30 年度調査の結果と比較すると、順位は異なるが「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」に対する要望が多い傾向は同様の結果であった。

＜令和元年度調査＞



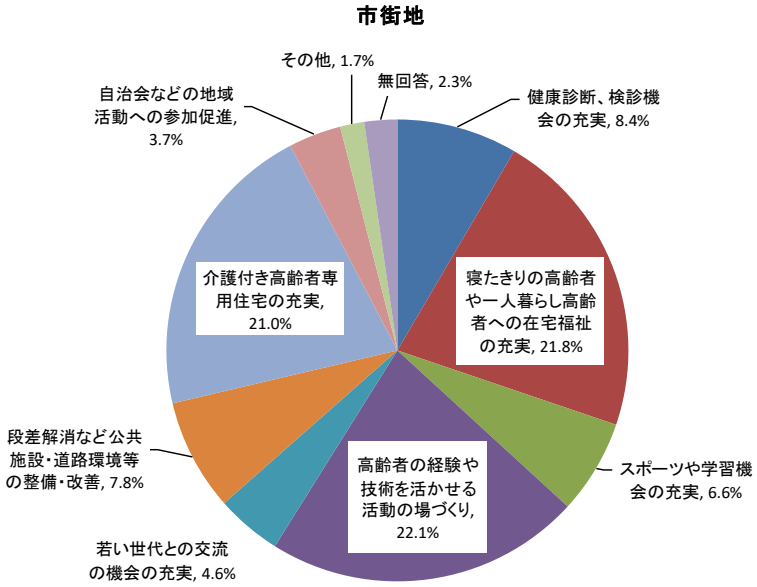
＜平成 30 年度調査＞

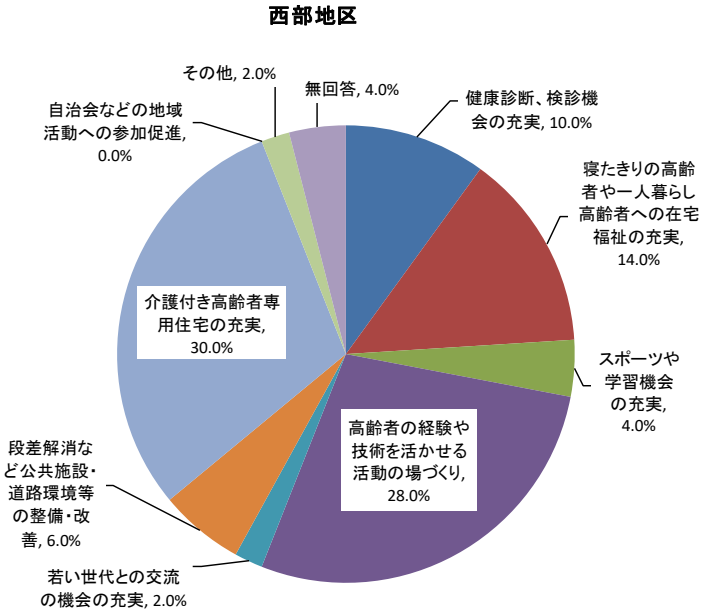


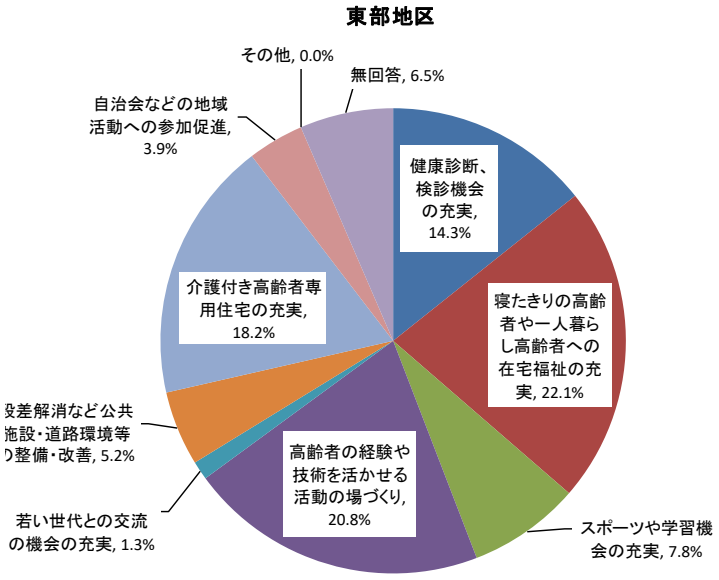
②地区別

市街地は「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が、西部地区は「介護付き高齢者専用住宅の充実」が、東部地区は「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」に対する要望が最も高くなっている。

このように地区によって異なっているものの、昨年度調査では 3 地区とも「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」が最も多くなっていたことからも、上位の項目の順位ではなくこれら 3 項目がほぼ同様に重要視されているという状況にあるものと考えられる。





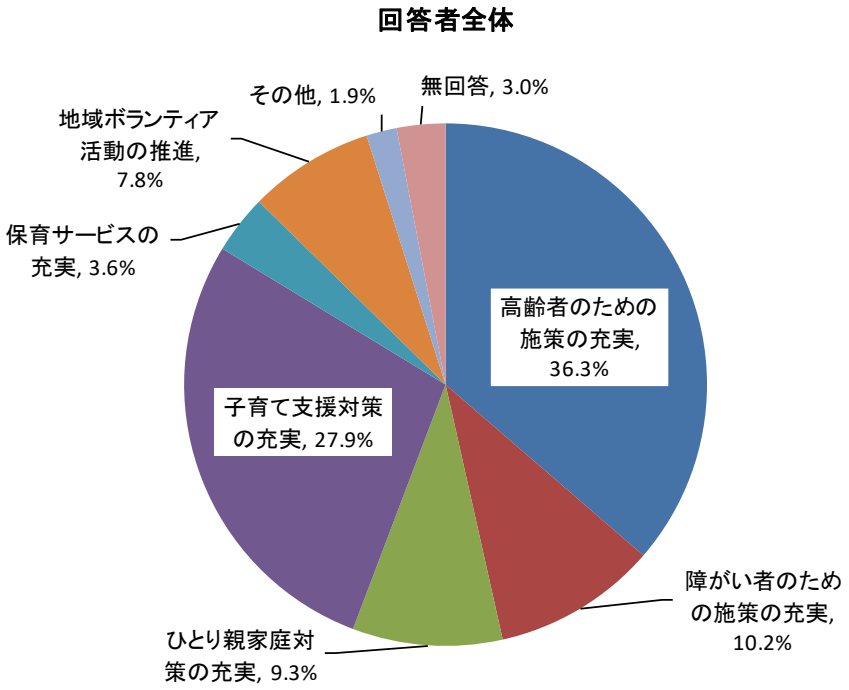


３．８　社会福祉全般について

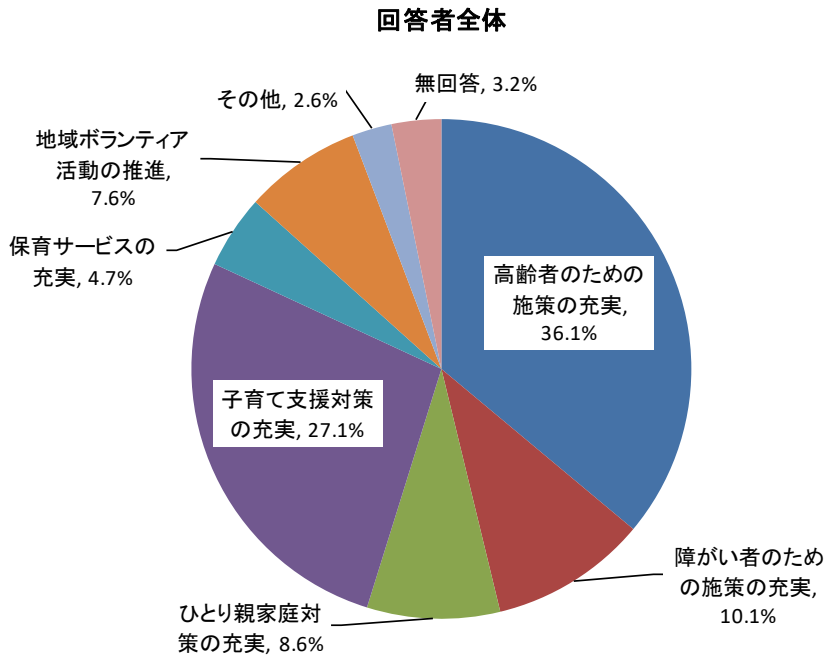
（１）市民全体

社会福祉に関しては、平成 30 年度調査とほぼ同様の結果となっており、「高齢者のための施策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策の充実」、「障がい者のための施策の充実」の順となっている。

＜令和元年度調査>



＜平成 30 年度調査>

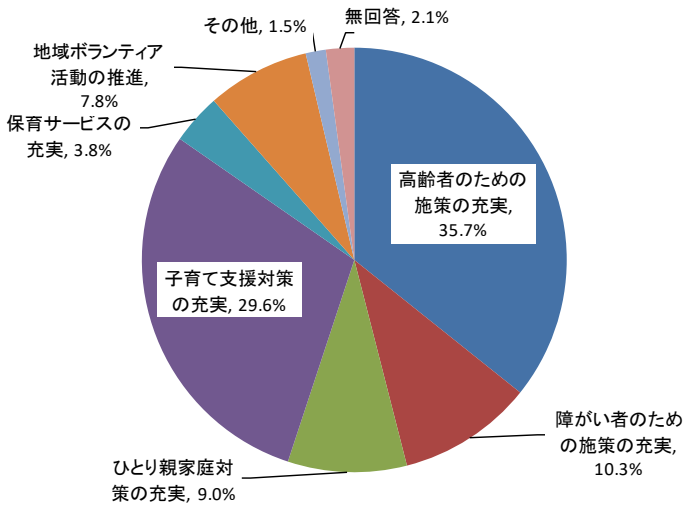


（２）地区別

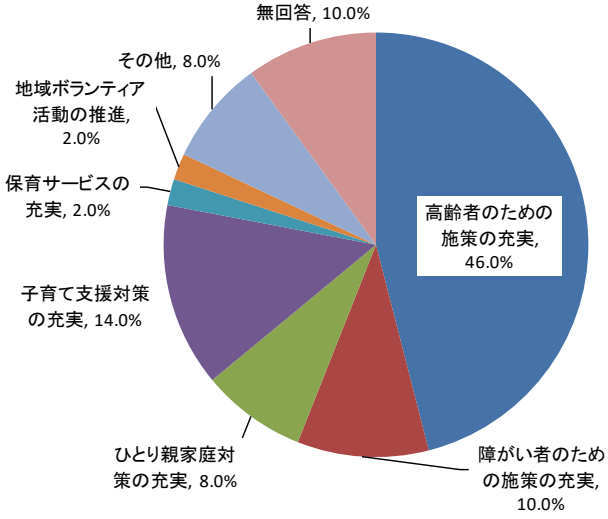
各地区とも「高齢者のための施策の充実」が最も高く、次いで「子育て支援対策」、「障がい者のための施策」、「ひとり親家庭対策の充実」の順となっている。

最も回答数の多い市街地は、ほぼ昨年度調査の結果と同様となっている。

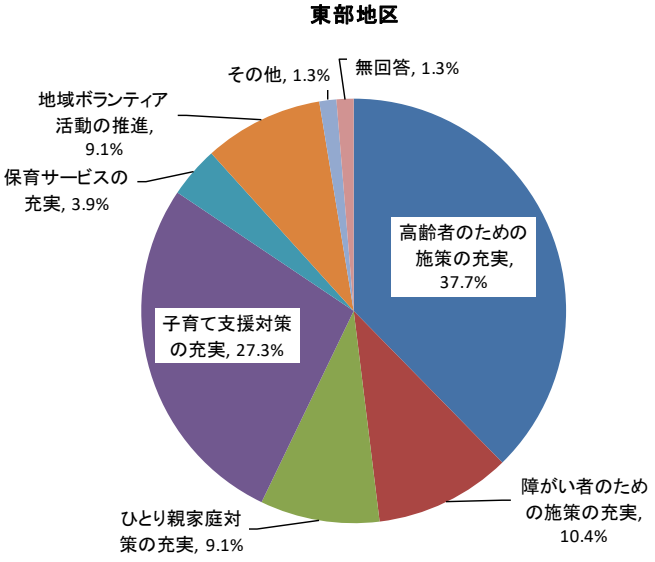
市街地



西部地区



東部地区

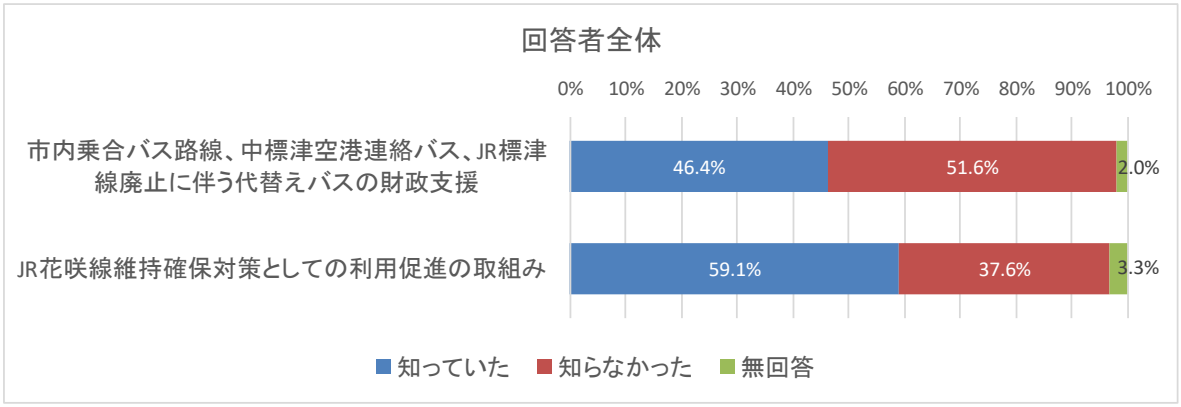


３．９　交通について

（１）施策に対する認知度

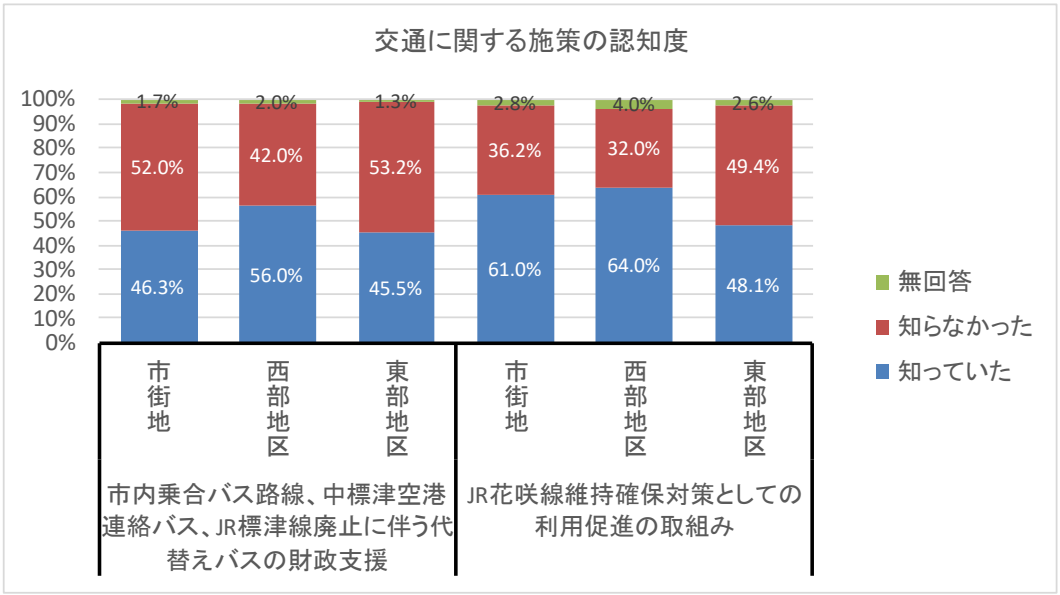
①全体

根室市で実施している交通に関する主要施策についての認知度についてみると、回答者全体では、「バスの財政支援」に関しては 46.4%の認知度にとどまっているが、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」に関しては 59.1%と比較的高い認知度であった。



②地区別

交通に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、JR 花咲線維持確保対策に関しては、市街地、西部地区住民で 6 割を超える認知度を示しているが、バスの財政支援に関しては西部地区住民でのみ 5 割以上の認知度を示していた。



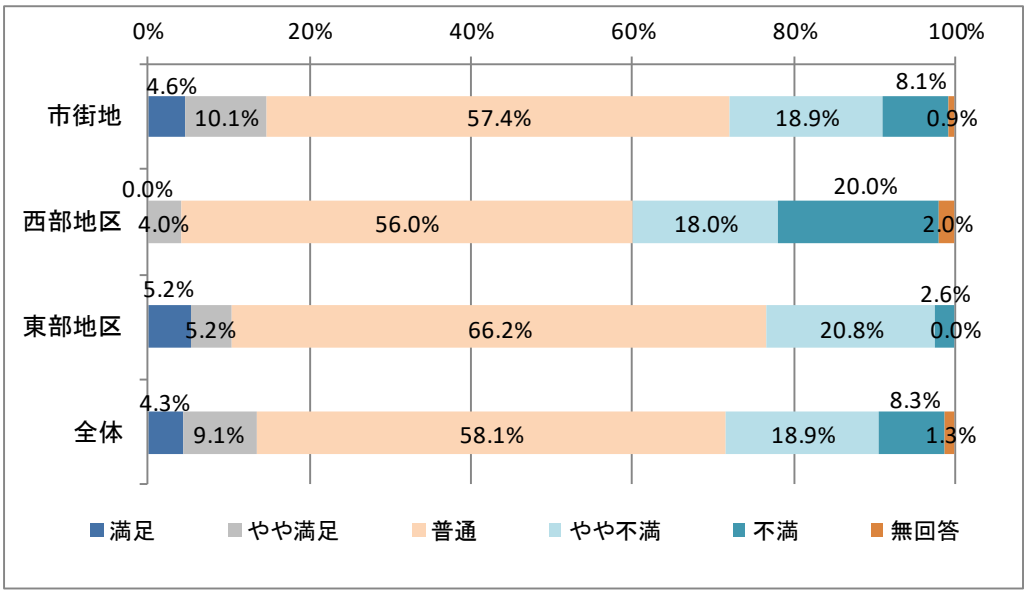
（２）市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

市内の幹線道路の整備状況に対する市民全体の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 13.4%となっており、平成 30 年度調査の結果とほぼ同水準となっている。

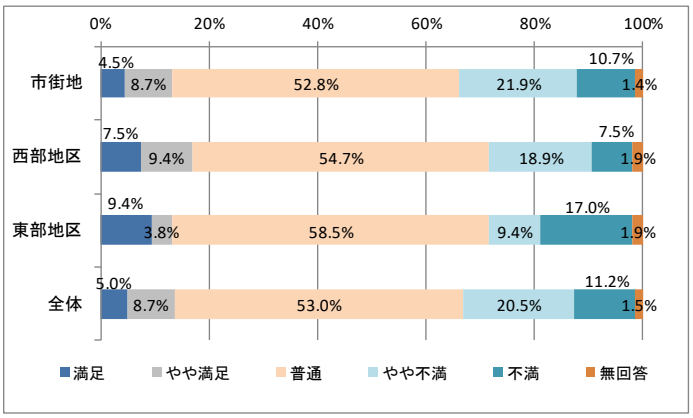
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 14.7%と平成 30 年度調査の結果より向上しているが、西部地区及び東部地区では低下している。

平成 30 年度の調査結果と比較すると、「普通」以上の満足度であるとする回答割合がさらに高くなっている。

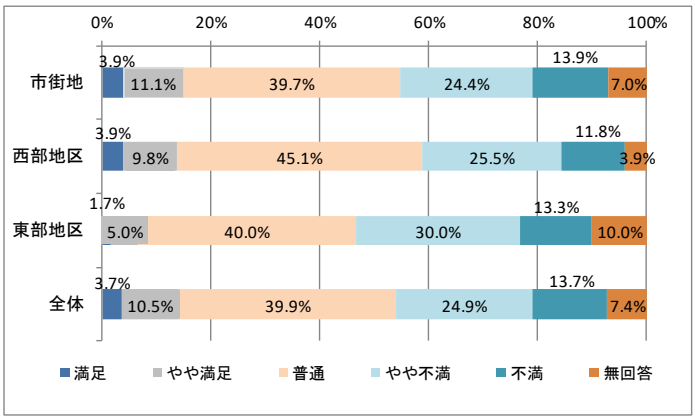
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



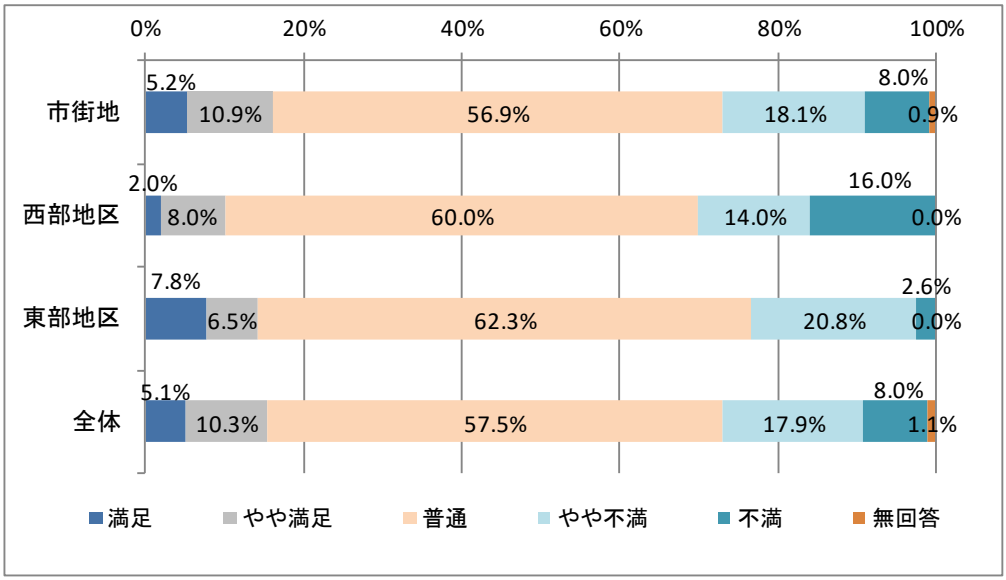
（３）市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 15.4%となっており、平成 30 年度調査の結果と比較すると、市街地住民の満足度が高まったことを反映して、やや向上している。

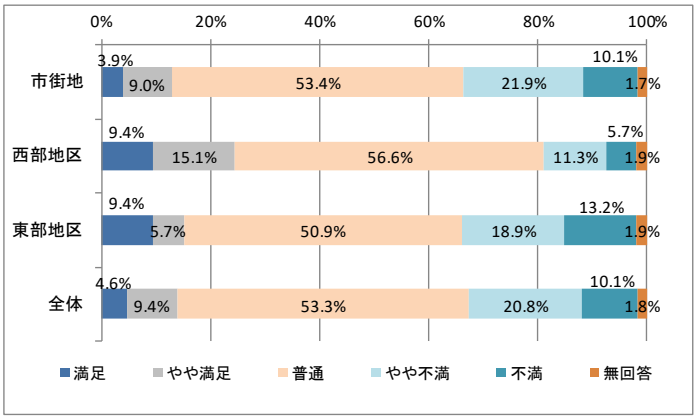
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 16.1%と平成 30 年度調査までの結果より向上しているが、西部地区及び東部地区では低下の傾向がみられている。

平成 30 年度調査の結果と比較すると、「普通」以上の満足度であるとする割合がさらに高くなっている。

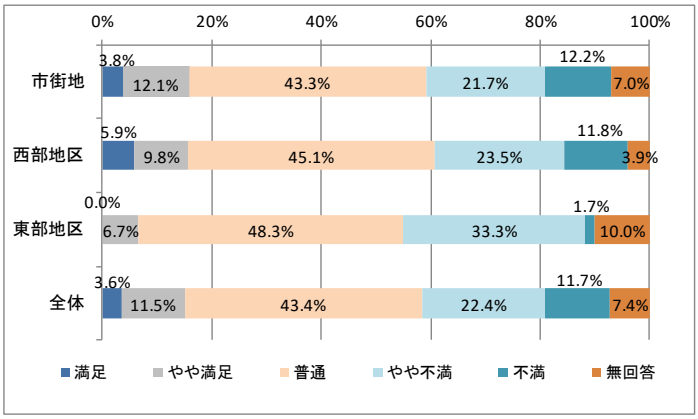
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



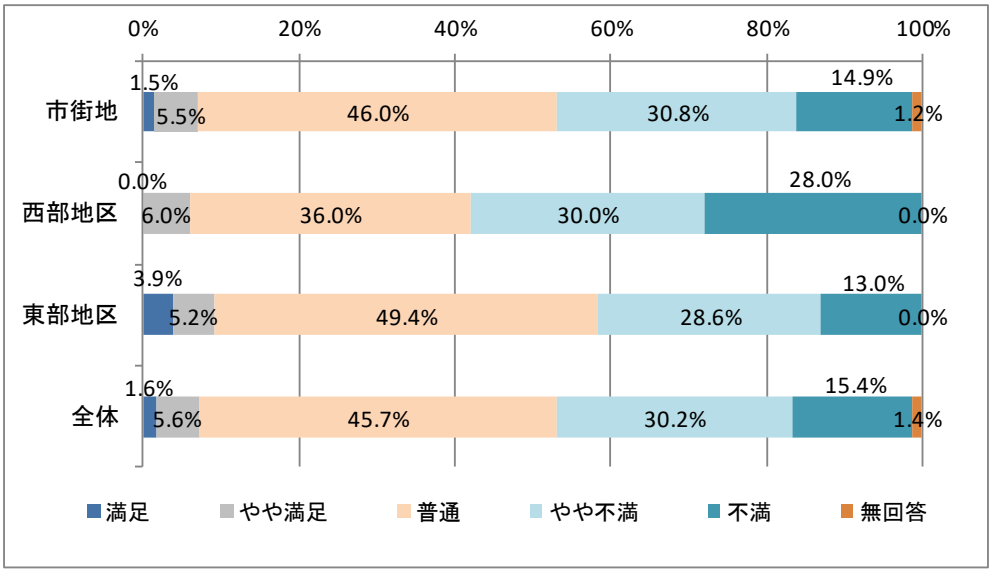
（４）公共交通機関の利便性に対する満足度

公共交通機関の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 7.2%となっており、平成 30 年度までの調査結果よりやや増加となっている。

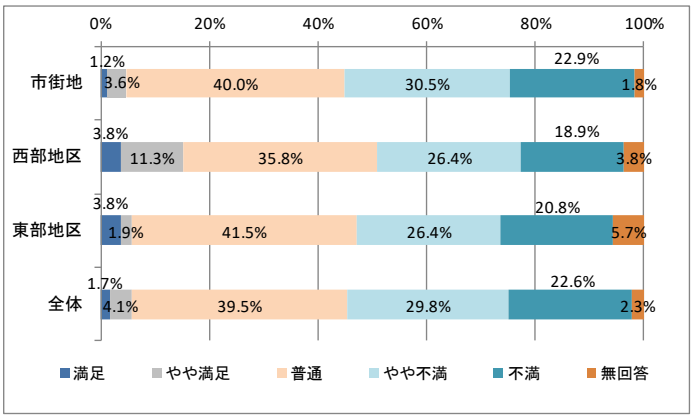
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で 7.0%、東部地区で 9.1%と平成 30 年度調査の結果よりも向上しているが、西部地区では低下の傾向がみられた。

また、「普通」以上の満足度であるとする割合は平成 30 年度までの調査結果よりもさらに高くなっている。

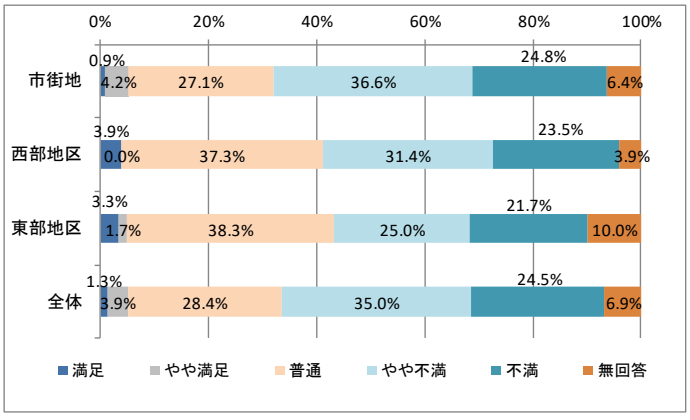
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



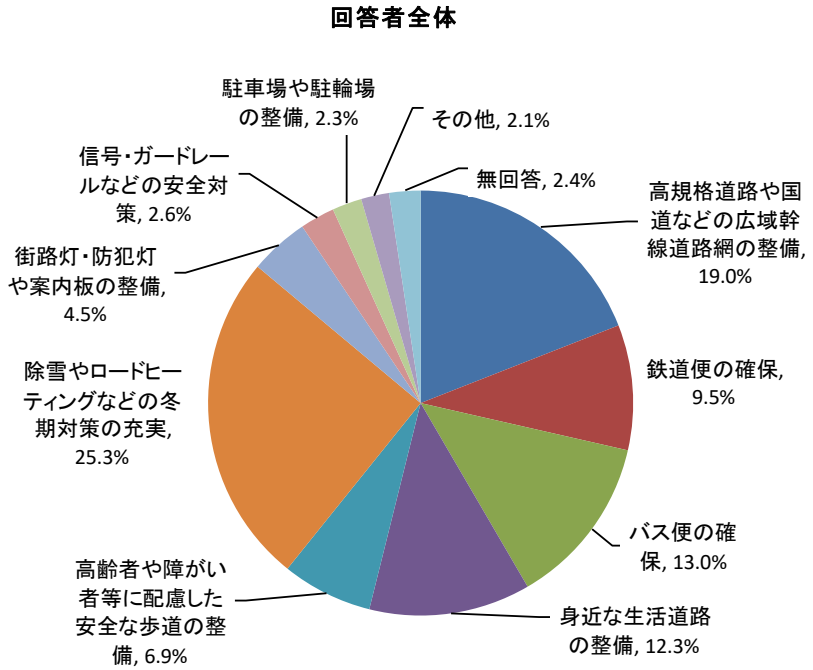
（５）交通に関する施策について

①市民全体

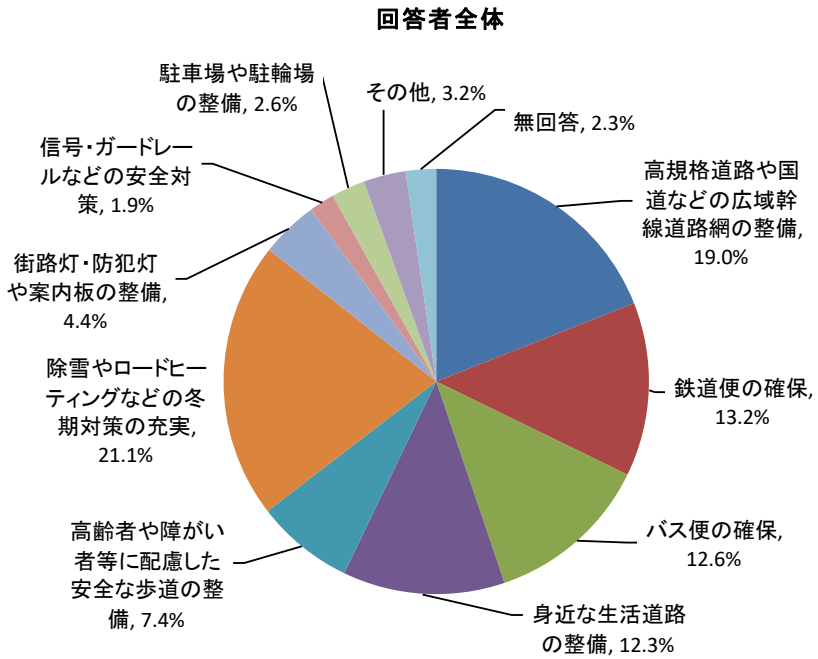
道路交通について今後重点的に取り組むべきと考える施策を 1 つ回答してもらった結果をみると、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「バス便の確保」、「身近な生活道路の整備」、「鉄道便の確保」の順となっている。

平成 30 年度の調査結果でも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」、「鉄道便の確保」、「バス便の確保」、「身近な生活道路の整備」が上位にあがっており、ほぼ同様の結果となっている。

＜令和元年度調査＞



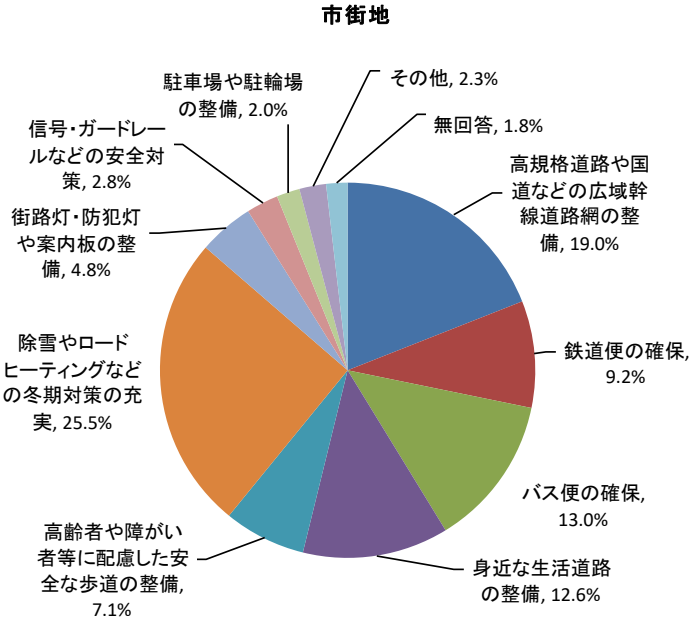
＜平成 30 年度調査＞

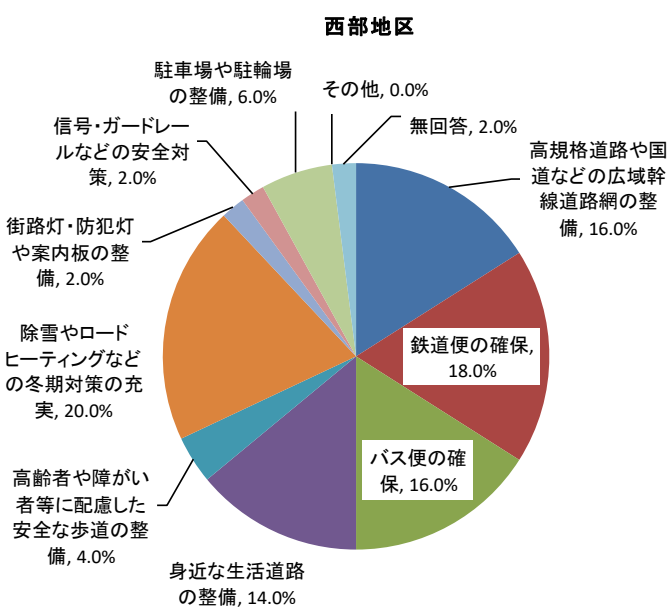


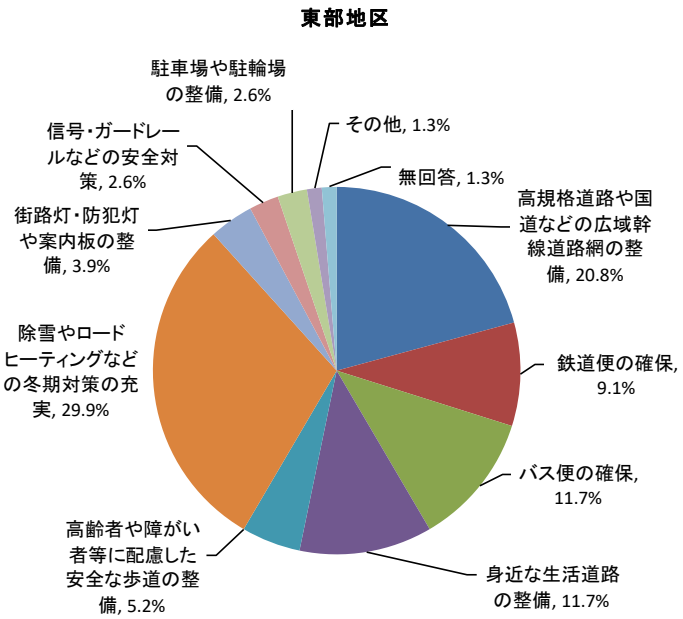
②地区別

各地区とも「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多くなっている。

これに次いで、市街地及び東部地区では、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「バス便の確保」、「身近な生活道路の整備」の順となっており、西部地区では、「鉄道便の確保」、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「バス便の確保」の順となっている。







３．１０　生活環境について

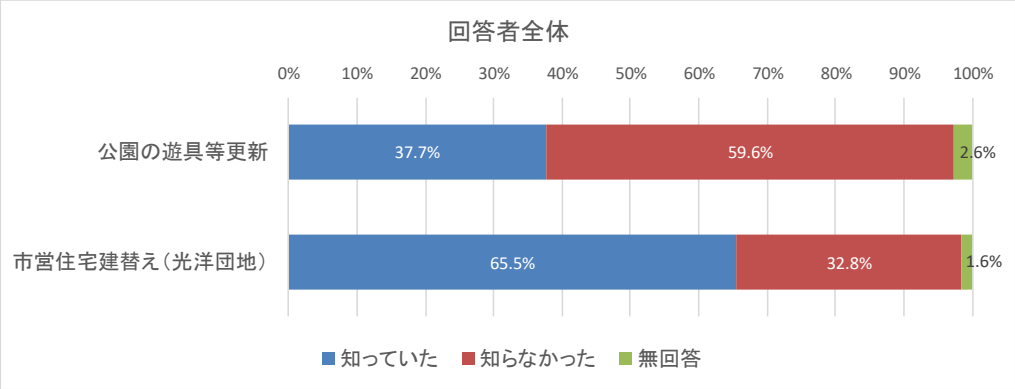
（１）施策に対する認知度

①全体

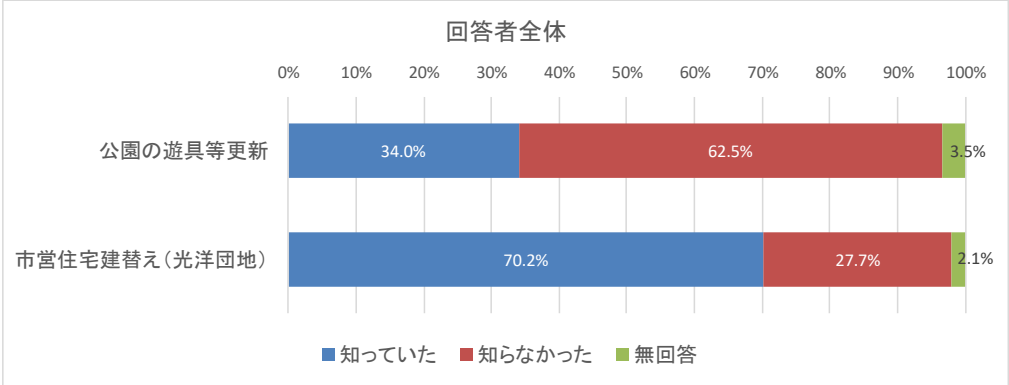
根室市で実施している生活環境に関する主要施策についての認知度についてみると、回答者全体では、「市営住宅建替え（光洋団地）」で 65.5%と高い認知度となっているが、「公園の遊具等更新」に関しては 37.7%の認知度に留まっている。

同じ設問で調査を実施した平成 30 年度の結果と比較すると、光洋団地の建替えに関してはやや低下しているものの、公園の遊具等更新に関しては、やや高まった。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



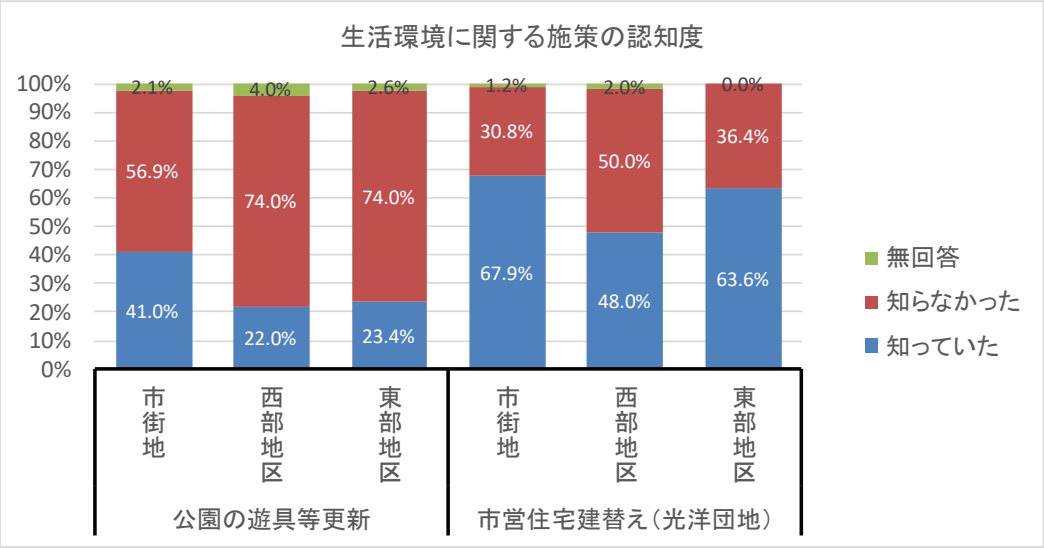
②地区別

生活環境に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、ほぼ平成 30 年度調査の結果と同様の結果であった。

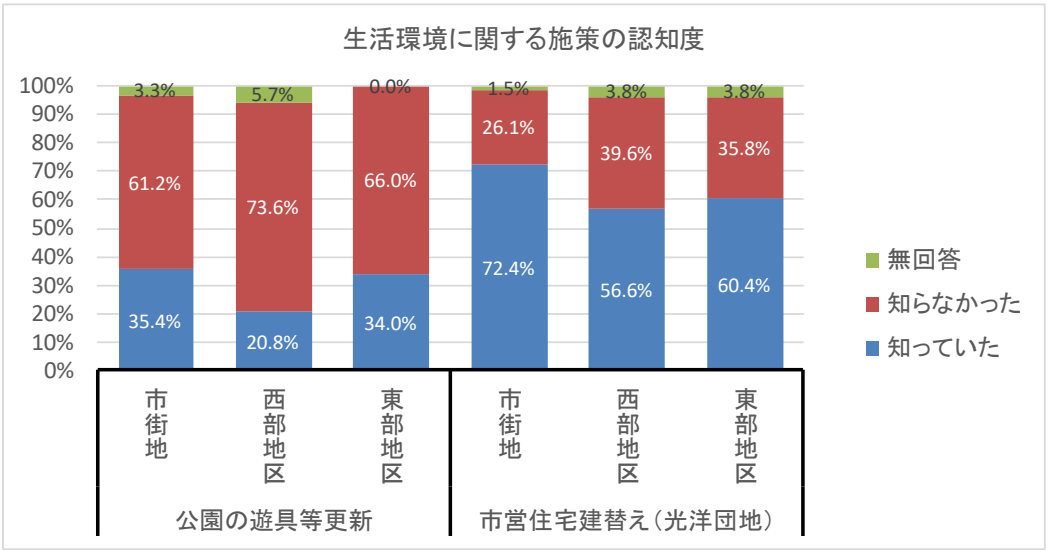
「市営住宅建替え（光洋団地）」に関しては整備施設が所在する地区とそうではない地区の住民で認知度が異なっていた。また、「公園の遊具等更新」に関しては、いずれの地区も低水準の認知であった。

しかし、公園の遊具等更新に関しては市街地住民の認知度がやや向上しており、関心の高まりがうかがえる。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



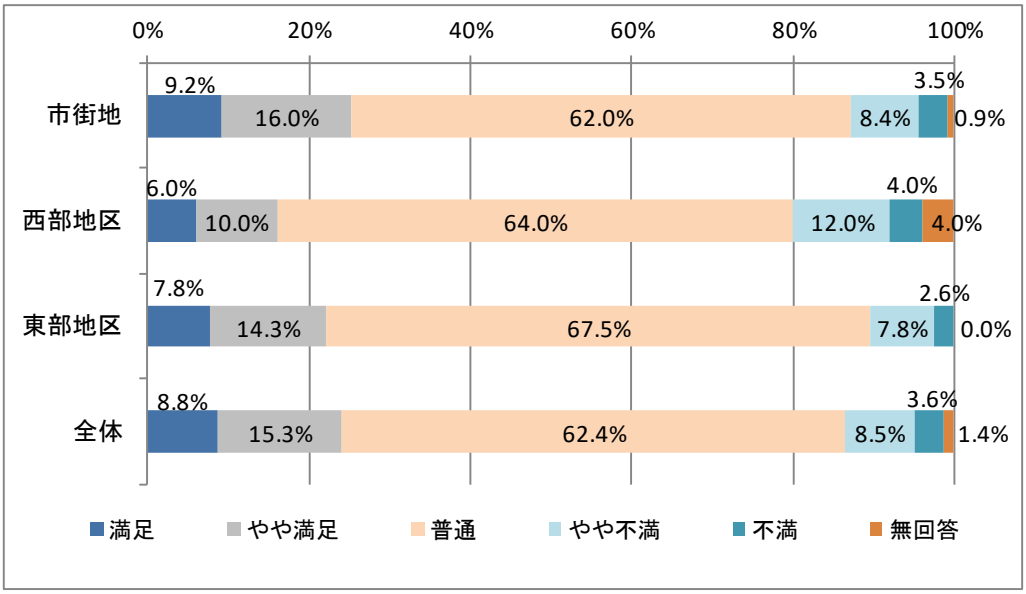
（２）郊外の森林環境に対する満足度

郊外の森林環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 24.1%となっており、平成 30 年度の調査結果と同水準であった。

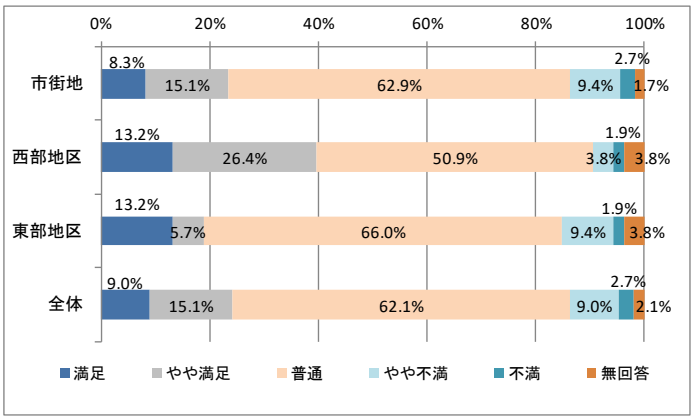
また、「普通」以上であるとする評価の割合も 86.5%とほぼ平成 30 年度調査と同水準であった。

地域別でみると、市街地での評価が平成 30 年度の調査結果よりも高くなっている。

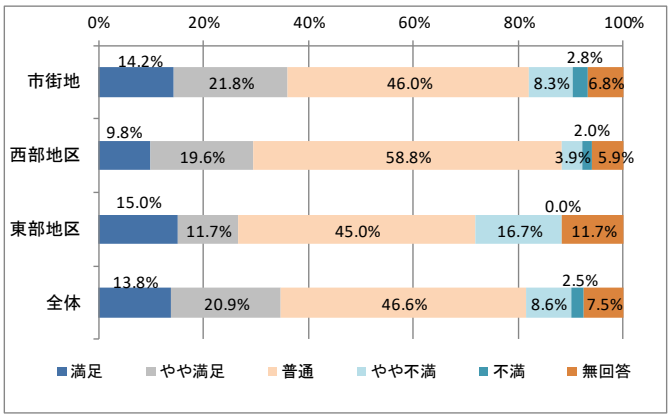
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



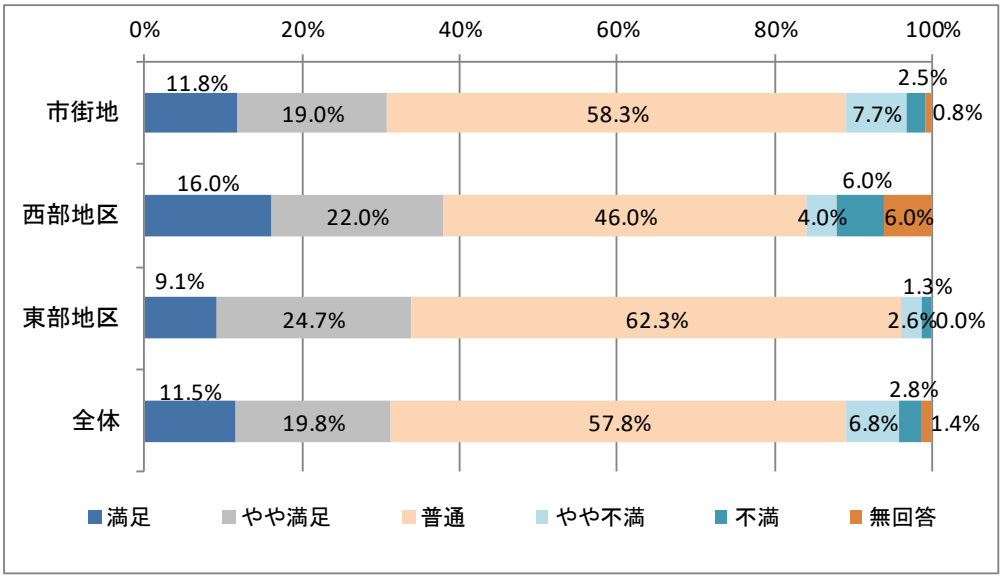
（３）住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 31.3%となっており、平成 30 年度の調査結果よりやや向上している。

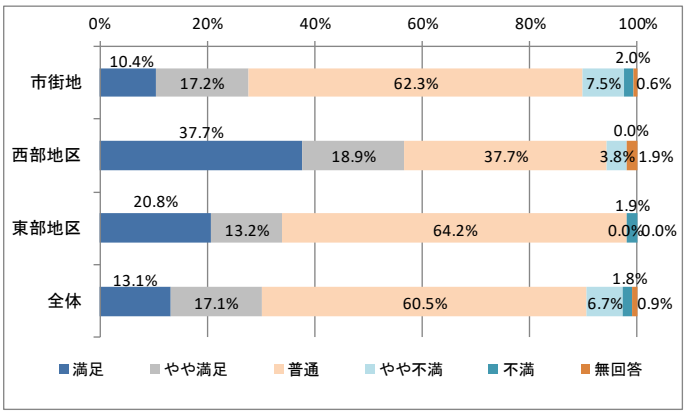
また、郊外の森林環境に対する評価と同様に、「普通」以上の評価の割合が高く、ほぼ平成 30 年度調査の結果と同水準となっている。

地域別でみると、西部地区での評価が平成 30 年度の調査結果よりも低下し、市街地での評価が高まっている。

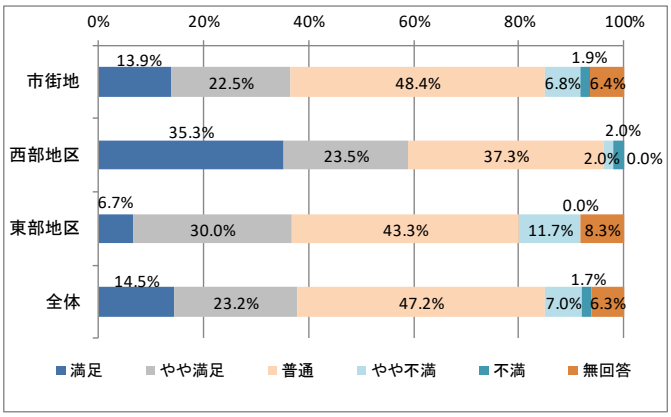
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



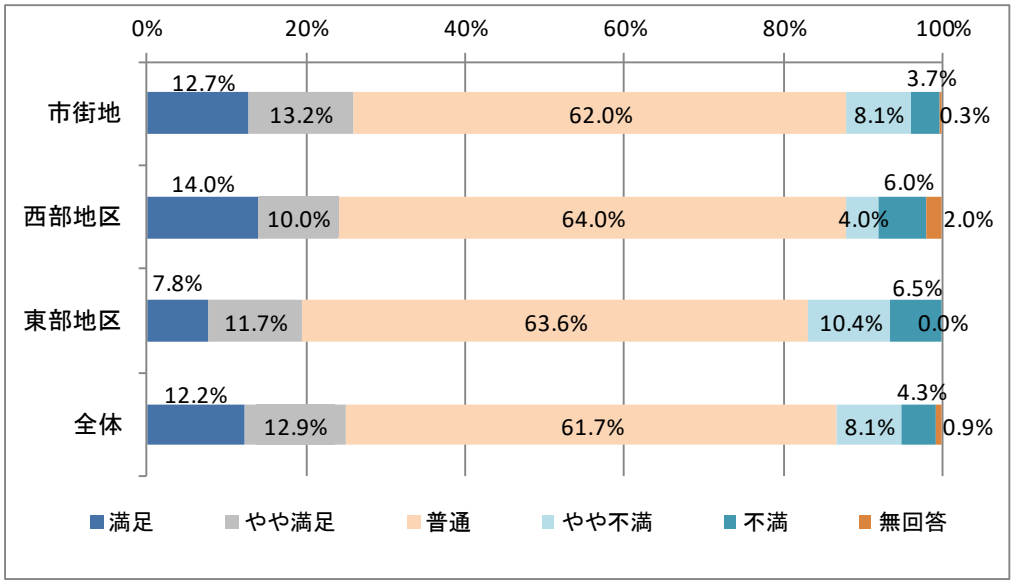
（４）上水道の整備状況に対する満足度

市内の上水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 25.1%となっており、平成 30 年度の調査結果よりやや向上している。

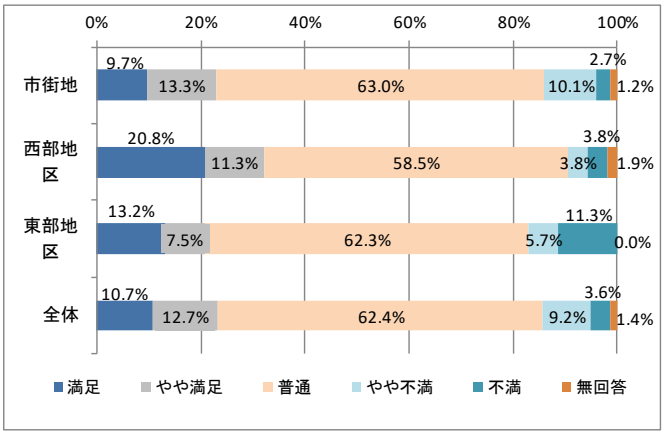
また、「普通」以上とする評価の割合も昨年度よりもやや向上している。

地域別でみると、西部地区での評価が平成 30 年度の調査結果よりも低下し、市街地での評価が高まっている。

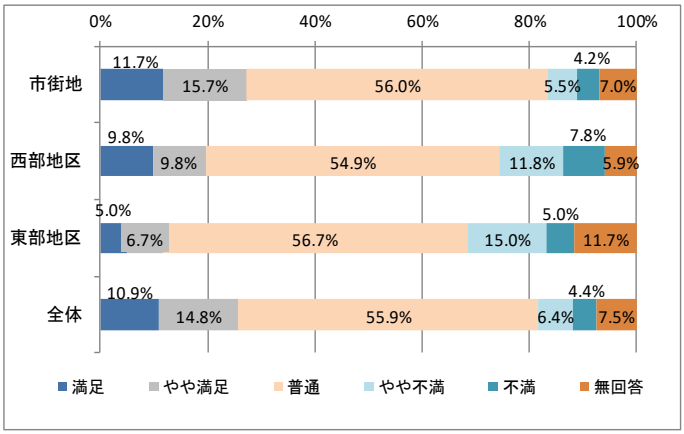
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



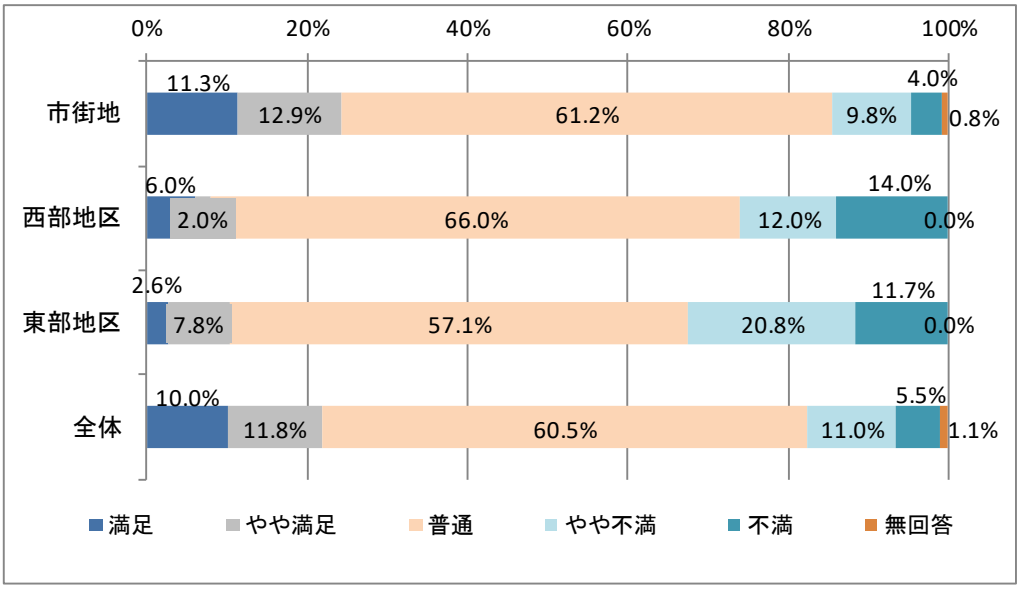
（５）下水道の整備状況に対する満足度

市内の下水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 21.8%となっており、平成 30 年度の調査結果とほぼ同水準であった。

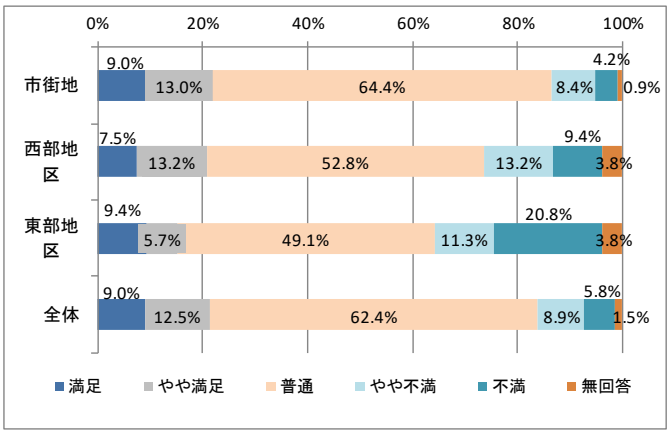
また、「普通」以上とする評価も平成 30 年度調査の結果とほぼ同水準となっている。

地域別でみると、西部地区や東部地区での評価が平成 30 年度の調査結果に比して低下している。

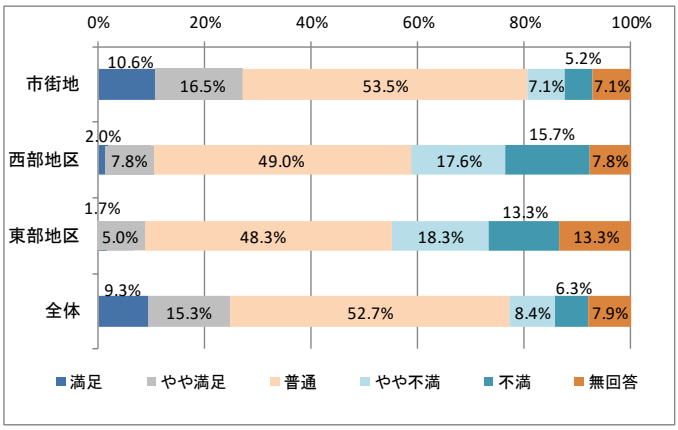
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



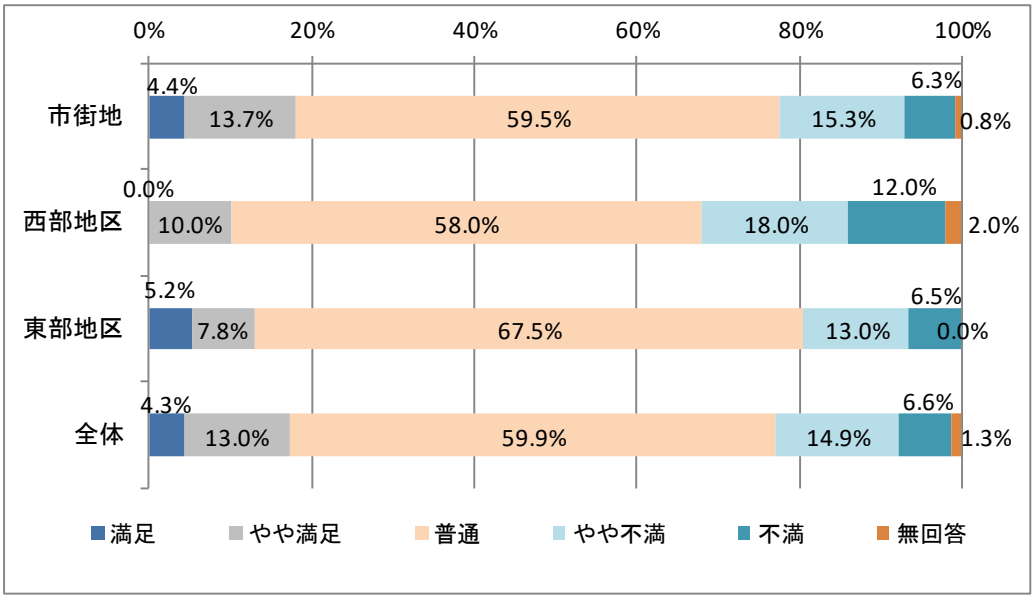
（６）公園や広場の利用のしやすさに対する満足度

市内の公園や広場の利用のしやすさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 17.3%となっており、平成 30 年度の調査結果よりやや向上している。

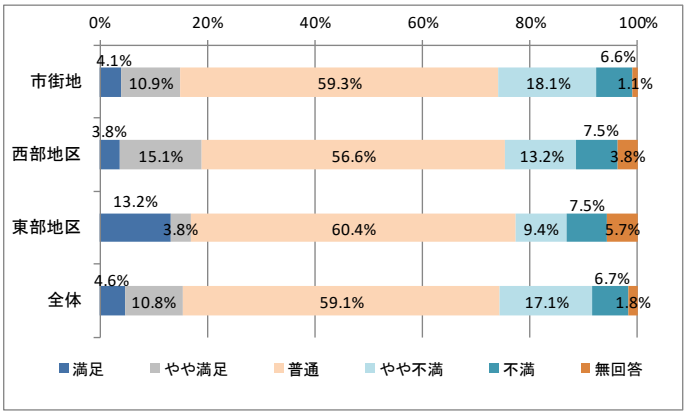
また、他の生活環境に対する評価と同様、「普通」以上とする評価の割合もほぼ昨年度調査の結果と同水準となっている。

地域別でみると、平成 30 年度調査の結果と比して、西部地区及び東部地区での評価が低下し、市街地での評価がやや向上している。

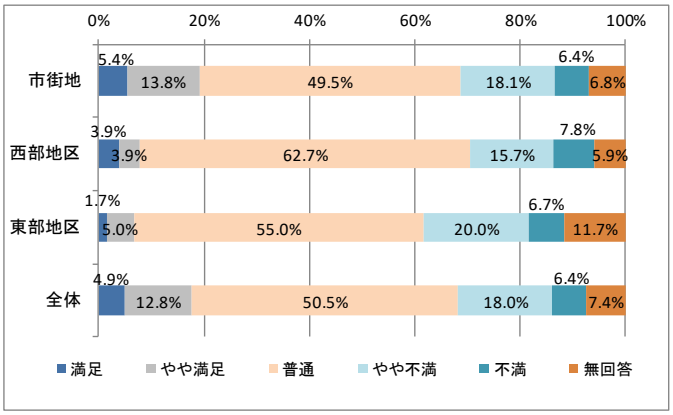
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



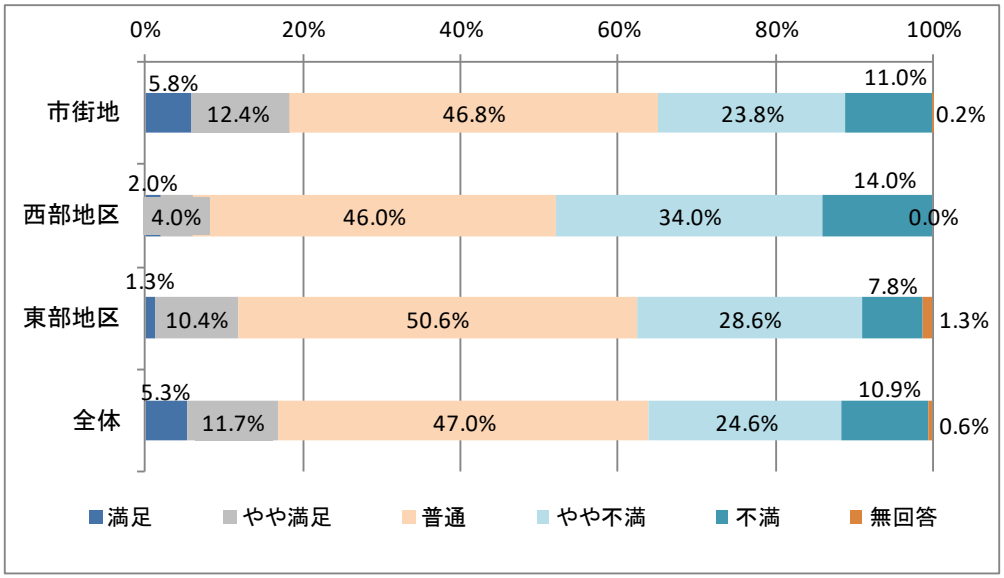
（７）買い物の利便性に対する満足度

市内の買い物の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 17.0%となっており、平成 30 年度の調査結果よりも向上している。

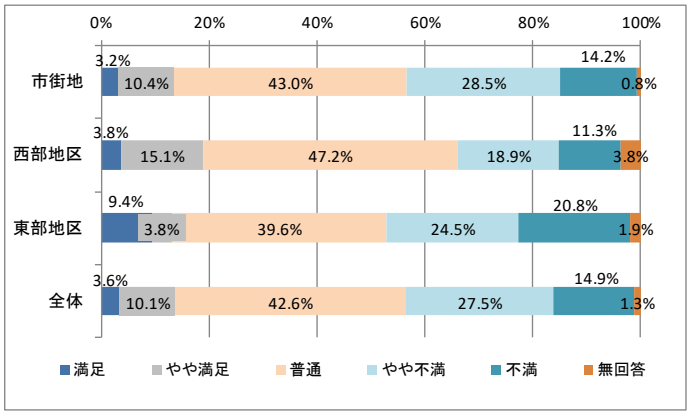
また、「普通」とする評価を加えた「普通」以上の評価の割合も 60%を超えており昨年度調査を上回っている。

しかし、地域別でみると、市街地住民の評価が向上したものの西部地区や東部地区での評価は低下した。

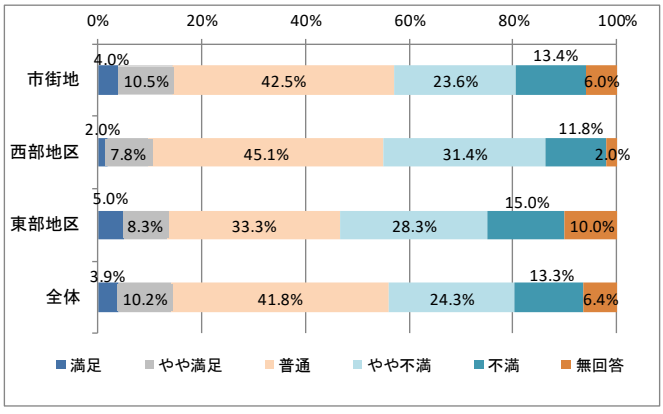
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



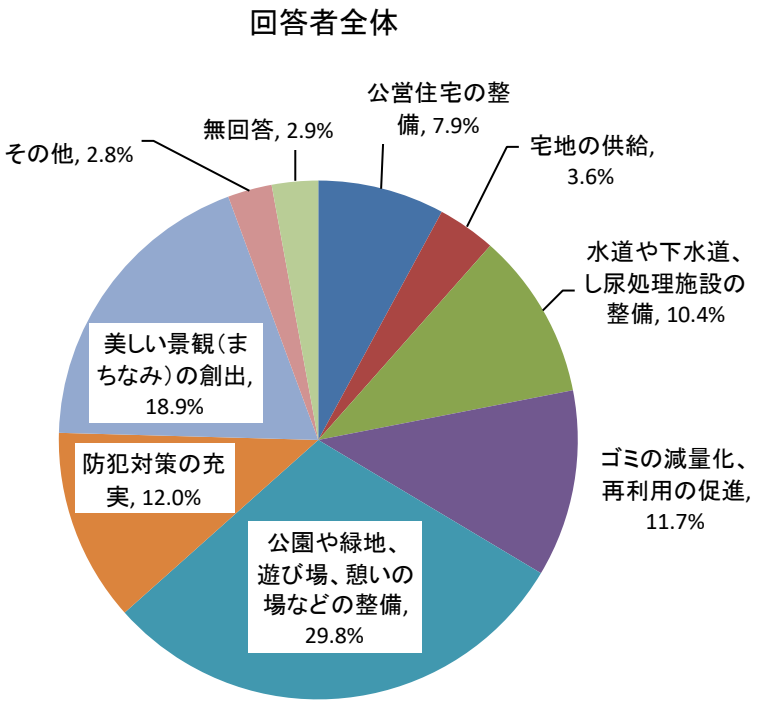
（８）生活環境に関する施策について

①市民全体

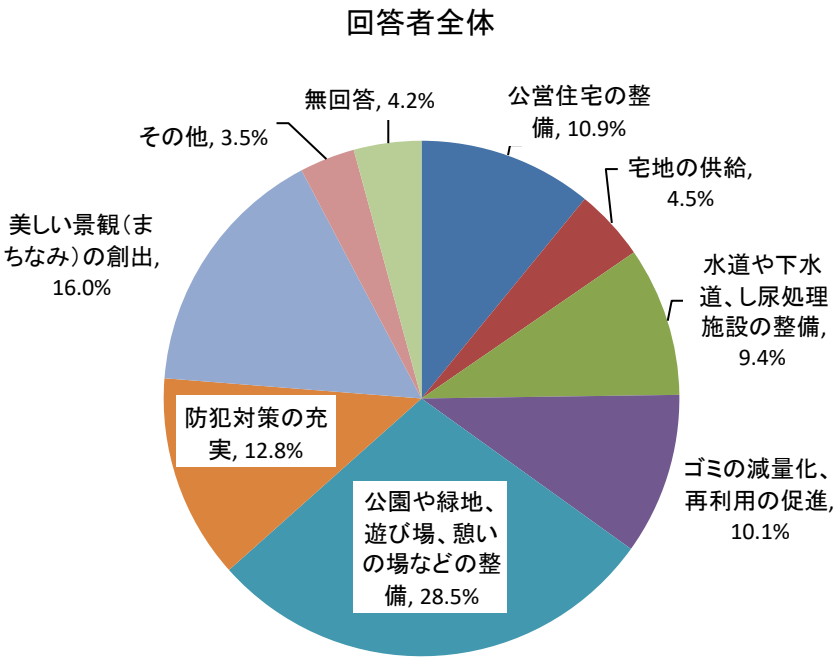
生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を 1 つ回答してもらった結果、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が最も多く、次いで、「美しい景観（まちなみ）の創出」、「防犯対策の充実」、「ゴミの減量化、再利用の促進」の順となっている。

選択肢や回答形式が同じである平成30年度の調査と比較すると、上位に上げられている項目は、ほぼ同じ結果となっているが、公営住宅の整備に対する重要度はやや低下の傾向がうかがえる。

＜令和元年度調査＞

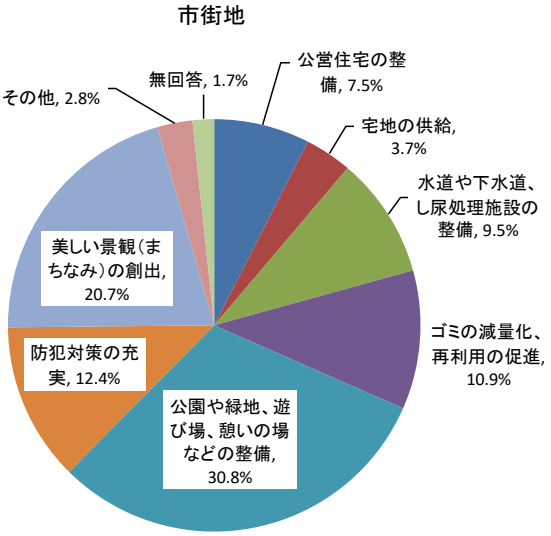


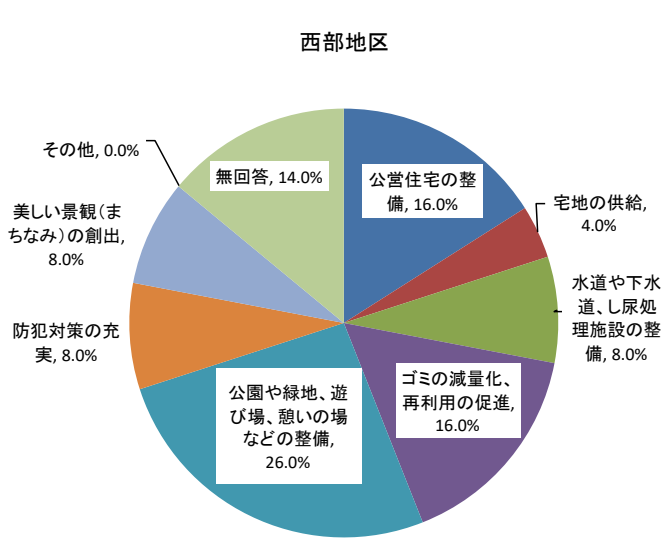
＜平成 30 年度調査＞

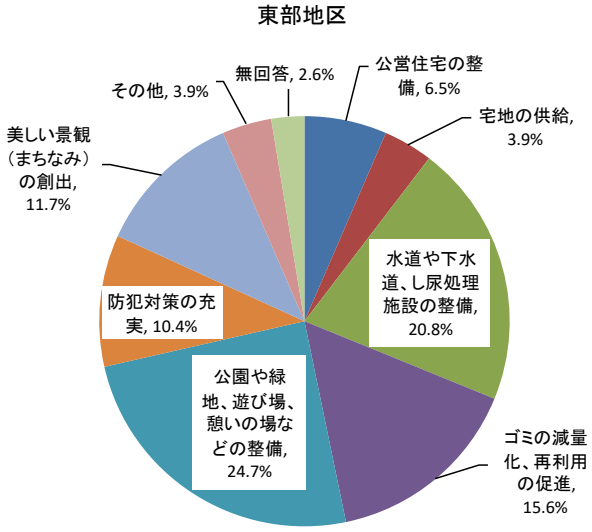


（２）地区別

地区別でみると、上位にあげられている項目に違いがあり、市街地では「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「美しい環境（まちなみ）の創出」、「防犯対策の充実」が、西部地区では、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に次いで「公営住宅の整備」、「ゴミの減量化、再利用の促進」が、東部地区では、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に次いで「水道や下水道、し尿処理施設の整備」、「ゴミの減量化、再利用の促進」が高くなっている。







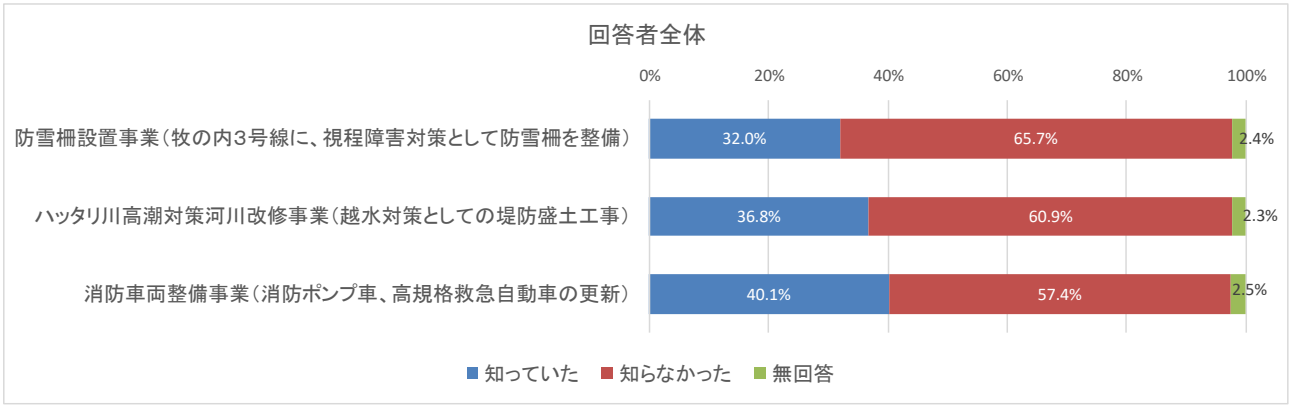
３．１１　防災・減災対策について

（１）施策に対する認知度

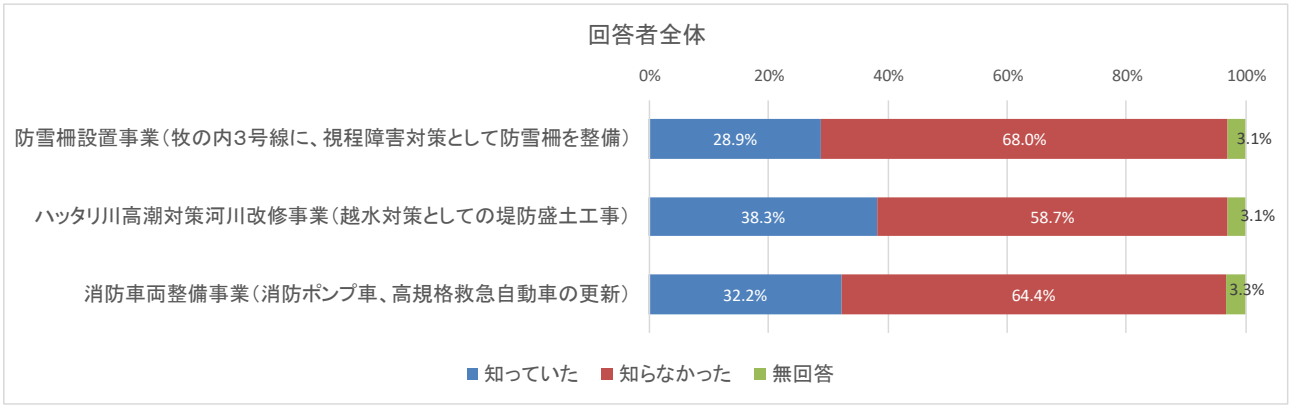
①全体

根室市で実施している防災・減災に関する主要施策についての認知度についてみると、いずれの施策も、その認知度は 30%台～40%台となっており、昨年度調査の結果よりもやや上昇している。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞

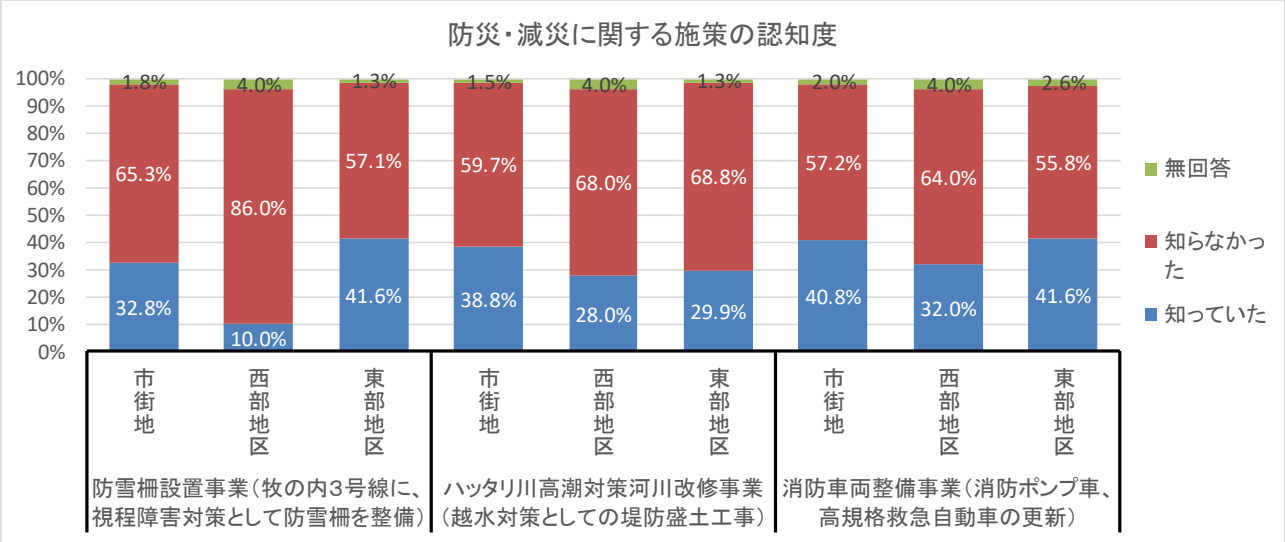


②地区別

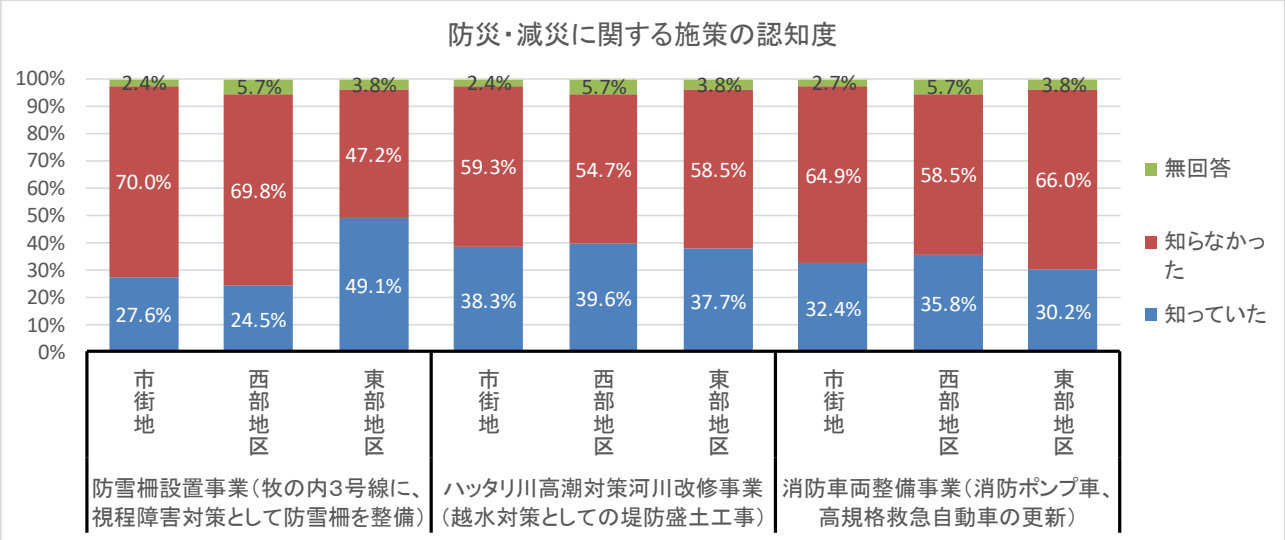
防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「防雪柵設置事業」に関して、当該地区である東部地区での認知度が高くなっている以外は、すべての施策に対して総じて認知度が低くなっている。

防災・減災に関する施策に対する認知度は、平成 30 年度調査の結果とほぼ同様にそれほど高くはない状況となっている。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



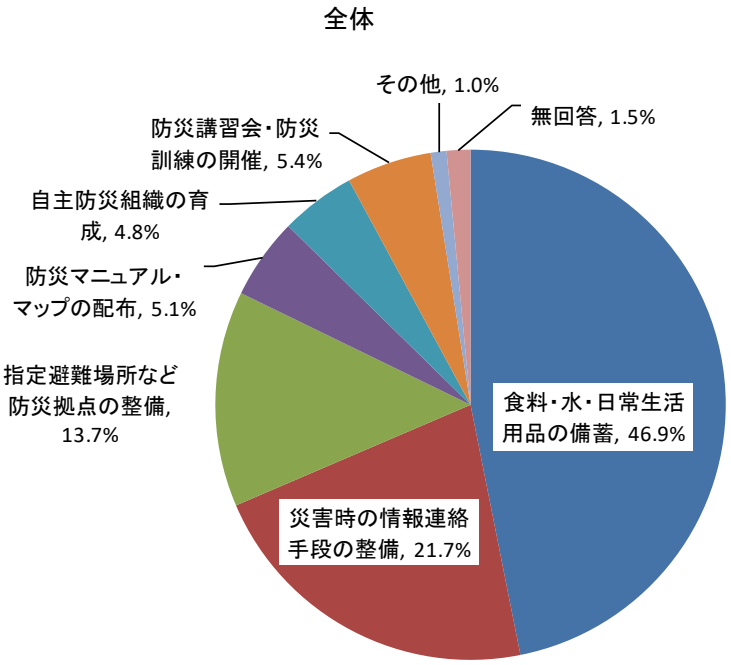
（２）防災対策に関する施策について

①市民全体

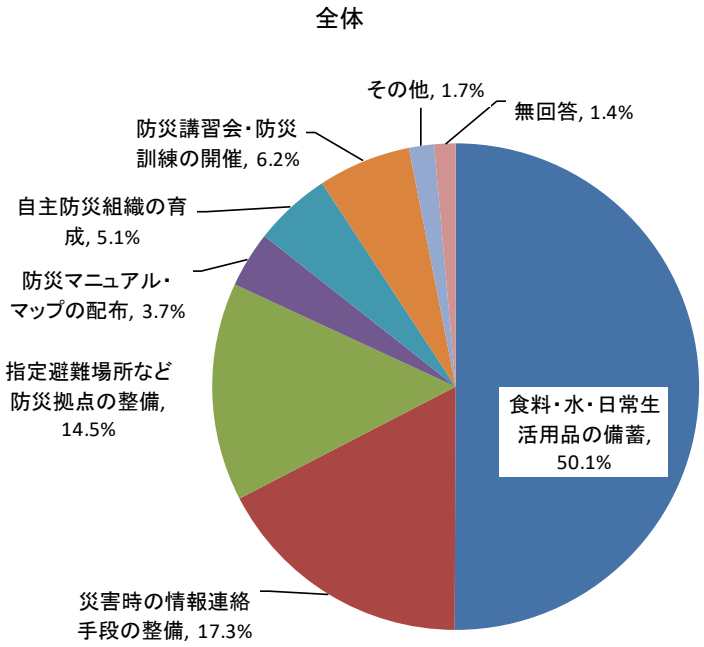
防災・減災対策として重要であると考える項目を１つ回答してもらった結果をみると、最も回答割合が高かった項目は、「食料・水・日常生活用品の備蓄」であり、46.9%を占めた。次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順となっている。

この結果は、平成 30 年度の調査結果とほぼ同様であった。

＜令和元年度調査＞



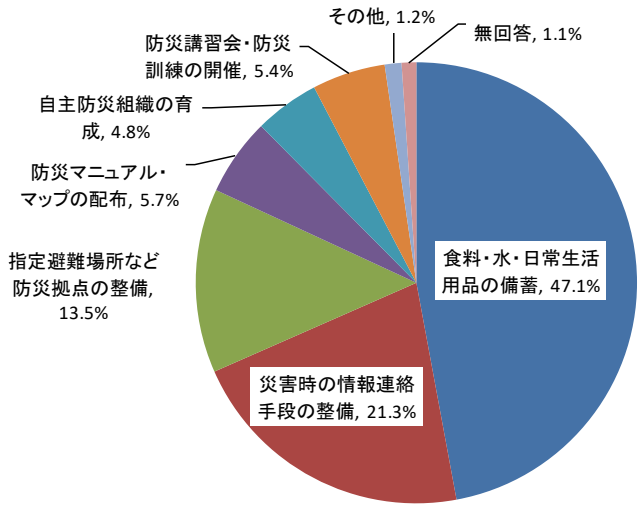
＜平成 30 年度調査＞



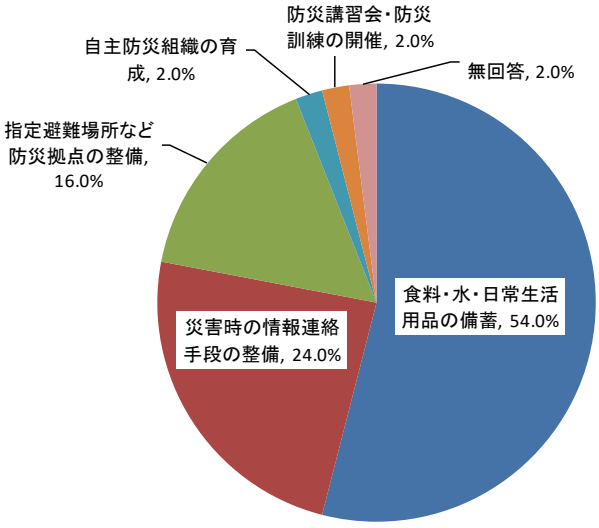
②地区別

いずれの地区とも「食料・水・日常生活用品の備蓄」が最も多く、次いで「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の順となっている。

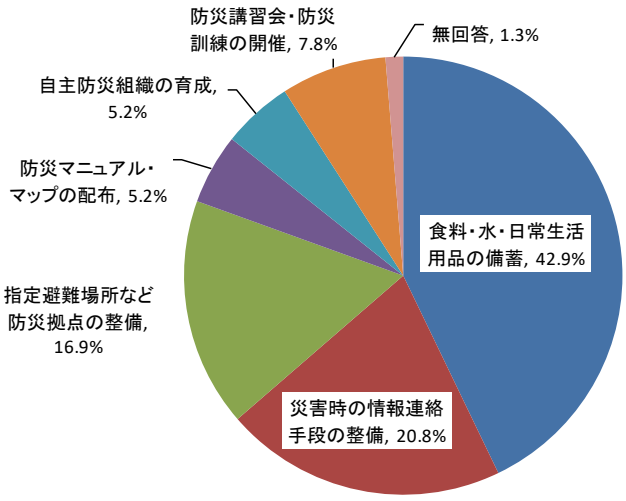
市街地



西部地区



東部地区



３．１２　学校教育・社会教育について

（１）施策に対する認知度

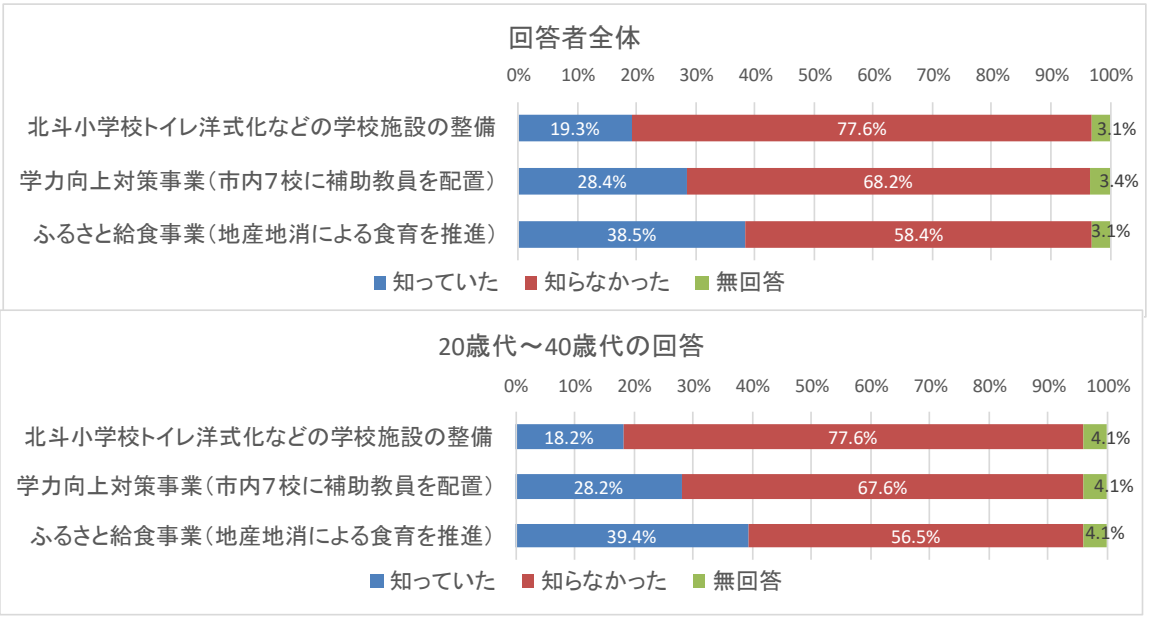
①全体

根室市で実施している学校教育に関する主要施策についての認知度を回答者全体についてみると、いずれの施策も、その認知度は 20%～30%台に留まっている。

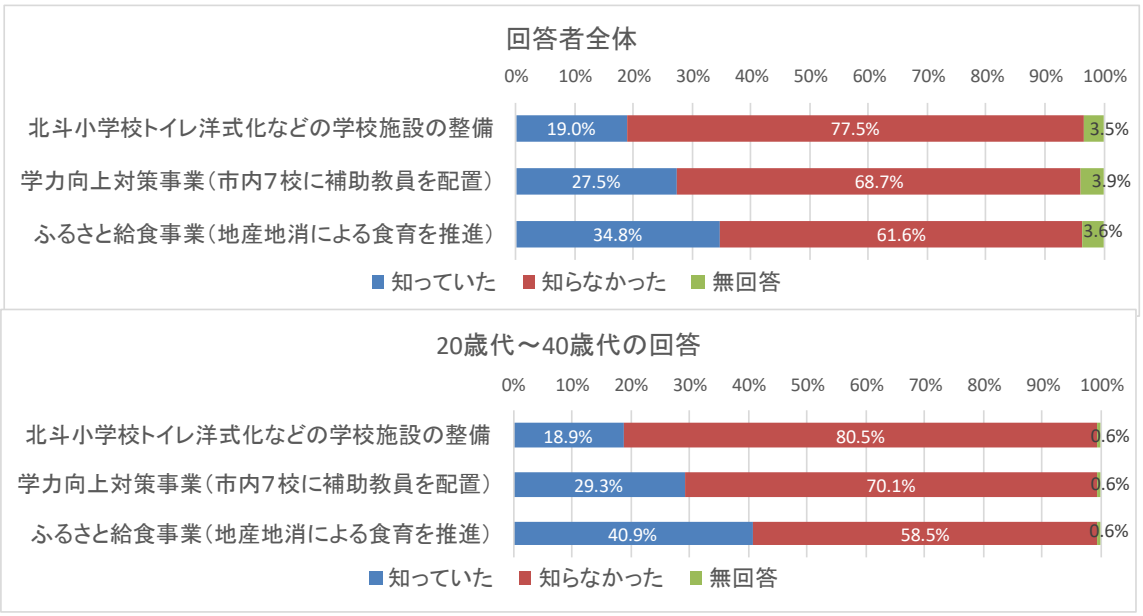
一方、子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者についてみると、「ふるさと給食事業」の認知度がやや高くなっている以外は、回答者全体と大きな違いはない。

今回の結果は、平成 30 年度調査の結果とほぼ同様の結果となっている。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞

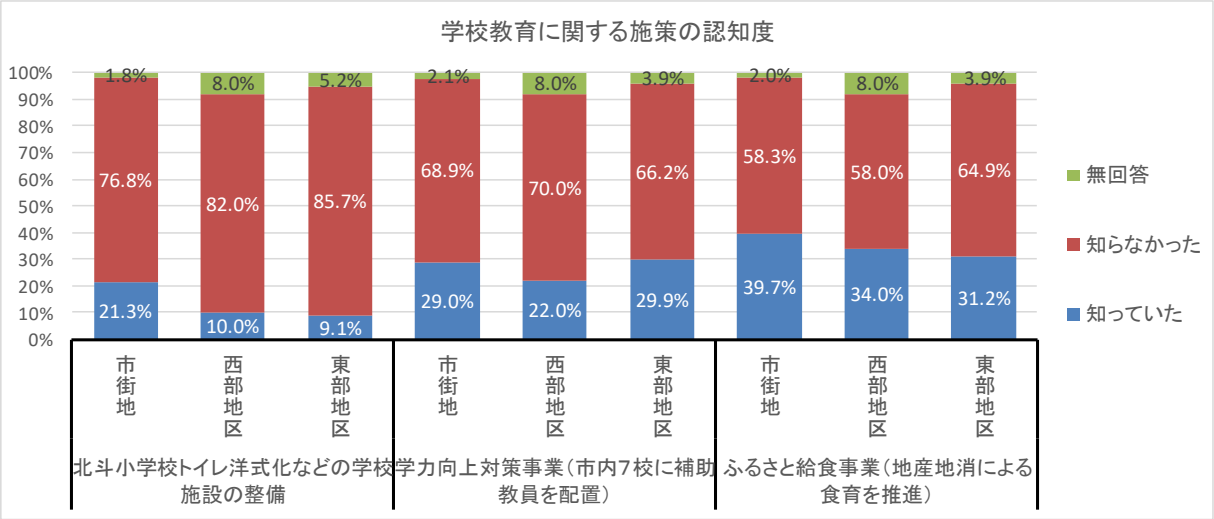


②地区別

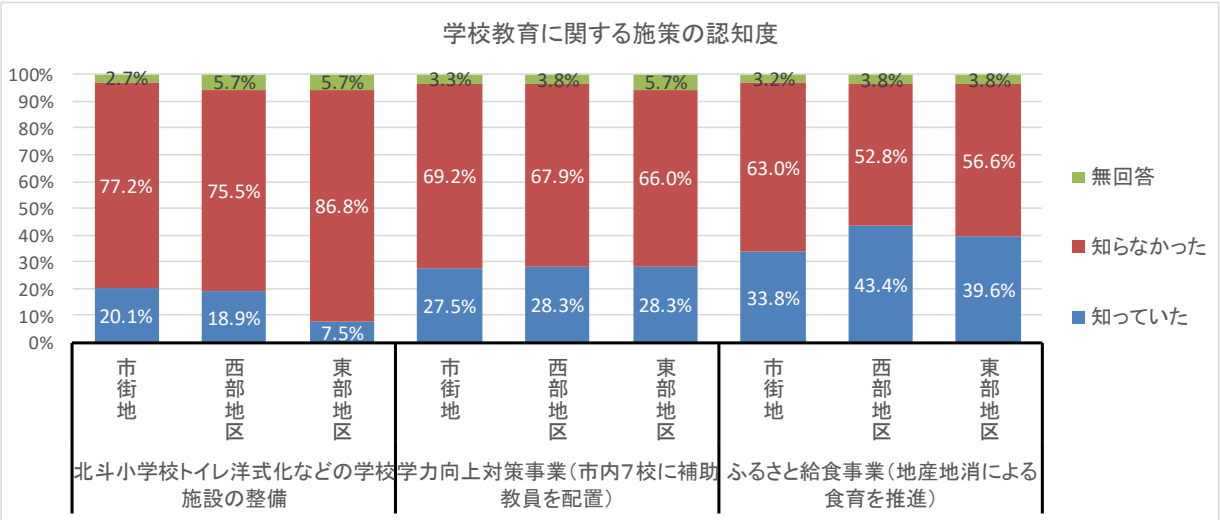
学校教育に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「ふるさと給食事業」でやや認知度が高くなっている以外は、地区にかかわらず総じて認知度が低くなっている。

地区別でみた認知度を平成 30 年度調査の結果と比較すると、「ふるさと給食事業」の認知度で西部地区と東部地区で低下しているが、回答数が少ない状況に留意する必要がある。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



（２）教育施設や教育環境に対する満足度

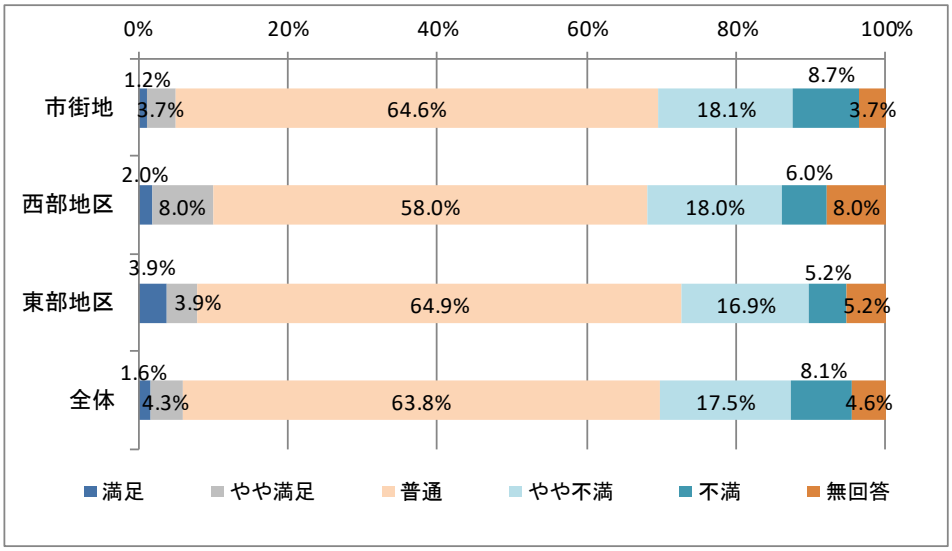
教育施設や教育環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は市民全体で 5.9%となっており、平成 30 年度の調査結果よりもやや向上している。また、「普通」以上とする評価の割合も昨年度までの結果よりも高い。

地域別でみると、平成 30 年度の結果から、市街地住民の「不満」、「やや不満」の評価がやや低下した。

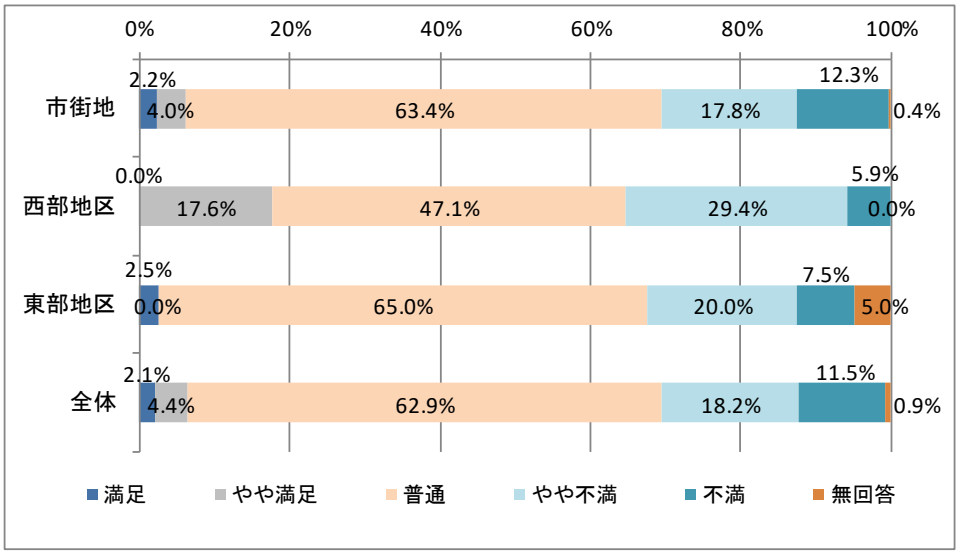
子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者の評価をみると、平成 30 年度調査と同様に回答者全体よりもやや厳しい評価となっているものの、回答数の多い市街地住民の評価が向上したため、厳しい評価もやや緩和している。

＜令和元年度調査＞

（回答者全体）

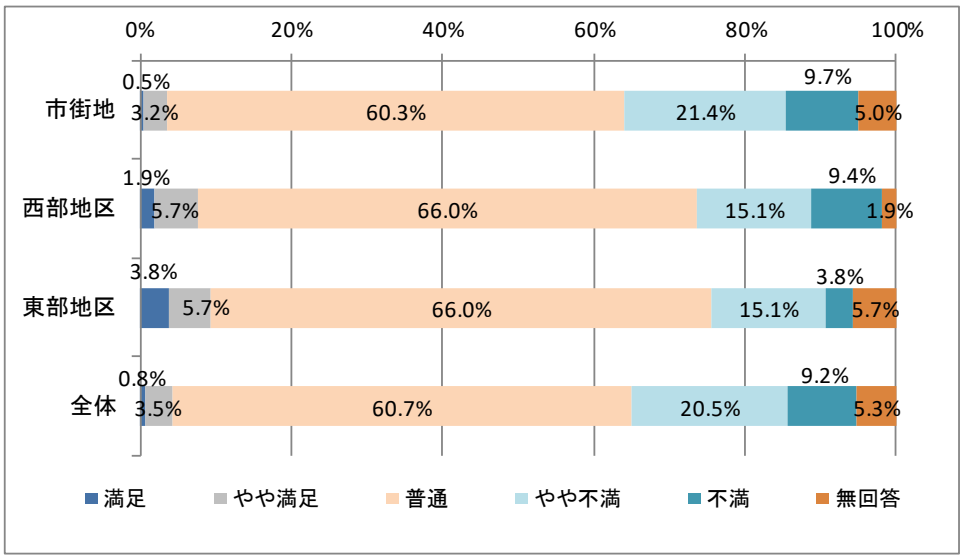


（20 歳代～40 歳代）

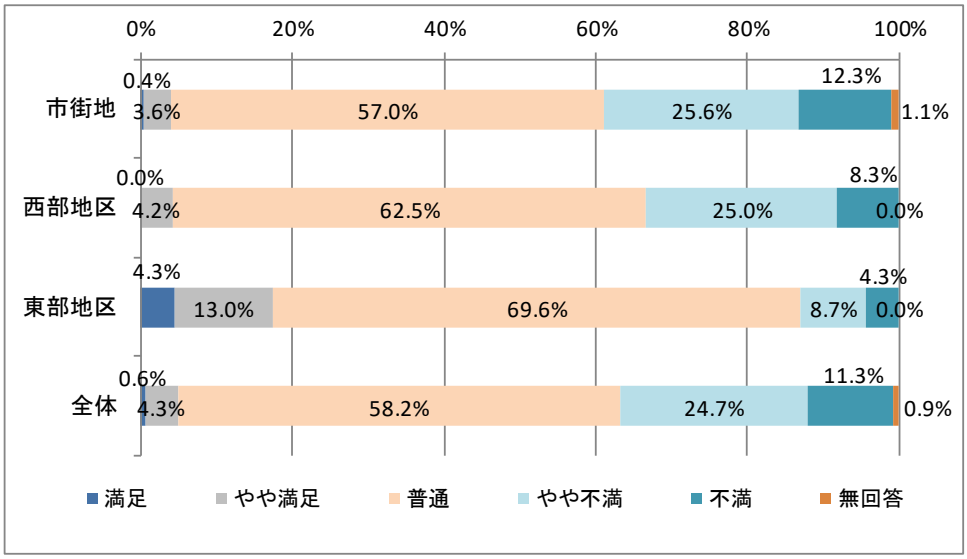


＜平成 30 年度調査＞

（回答者全体）



（20 歳代～40 歳代）



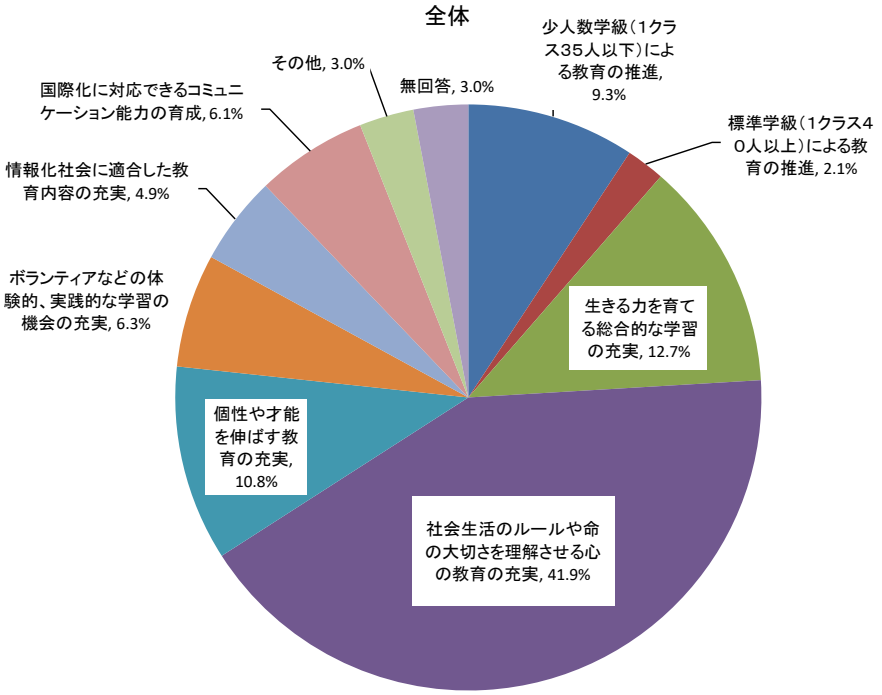
（３）学校教育に関する施策について

①市民全体

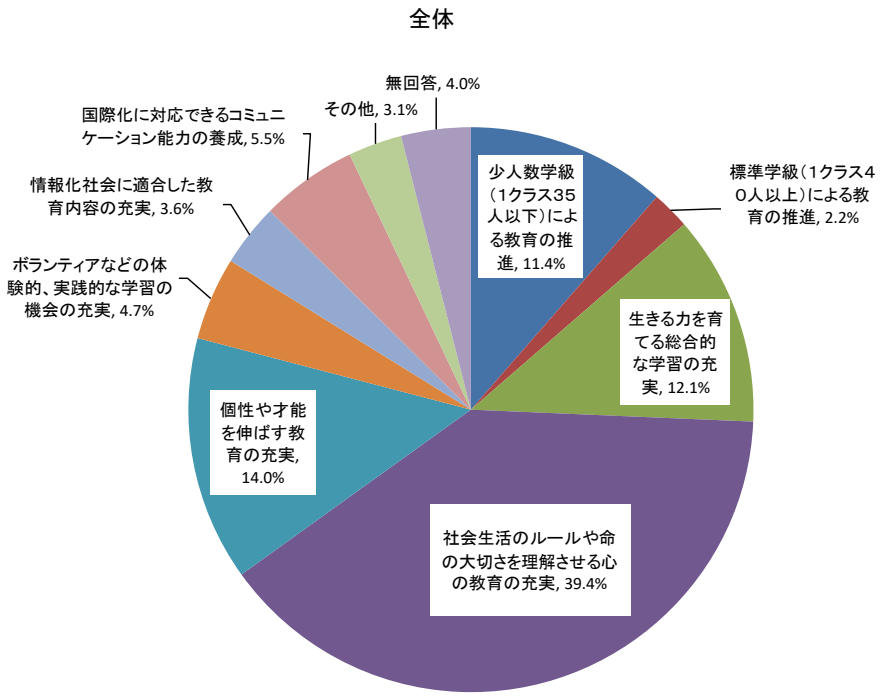
学校教育の充実のために市行政が力を注ぐべきと思う施策を１つ回答してもらった結果をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「少人数学級（１クラス 35 人以下）による教育の推進」の順となっている。

このように、上位にあげられている項目は、平成 30 年度調査の結果とほぼ同様となっている。

＜令和元年度調査＞



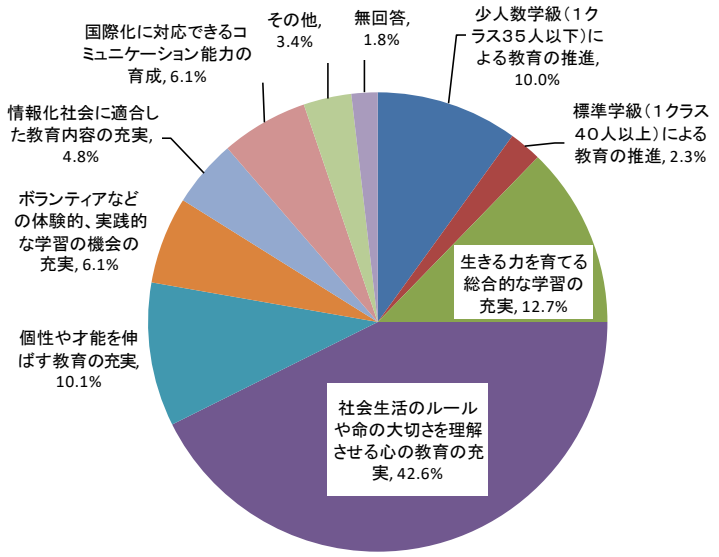
＜平成 30 年度調査＞



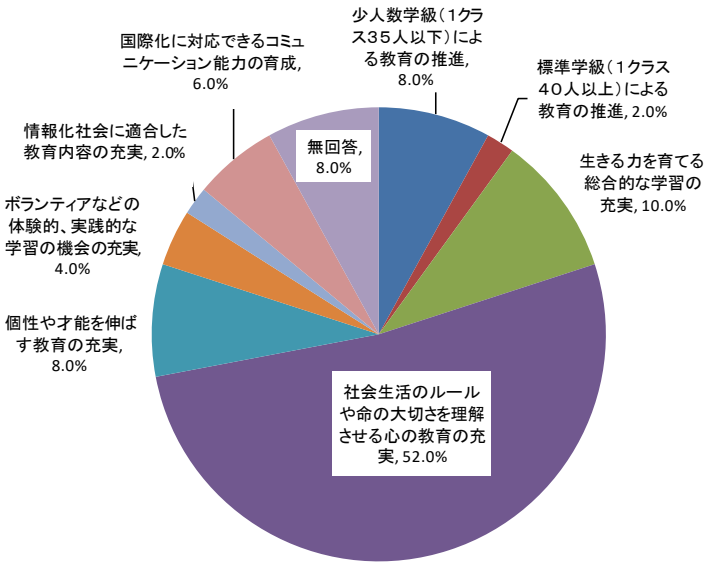
②地区別

いずれの地区も「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」の３項目が上位にあげられている。

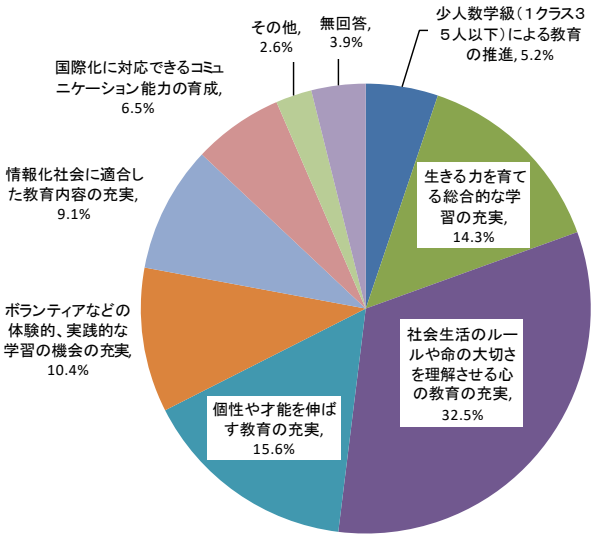
市街地



西部地区



東部地区



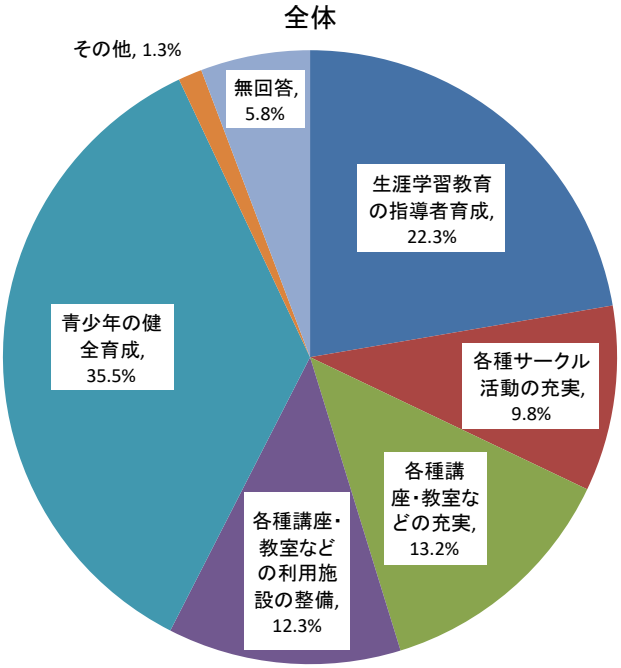
（４）社会教育に関する施策について

①市民全体

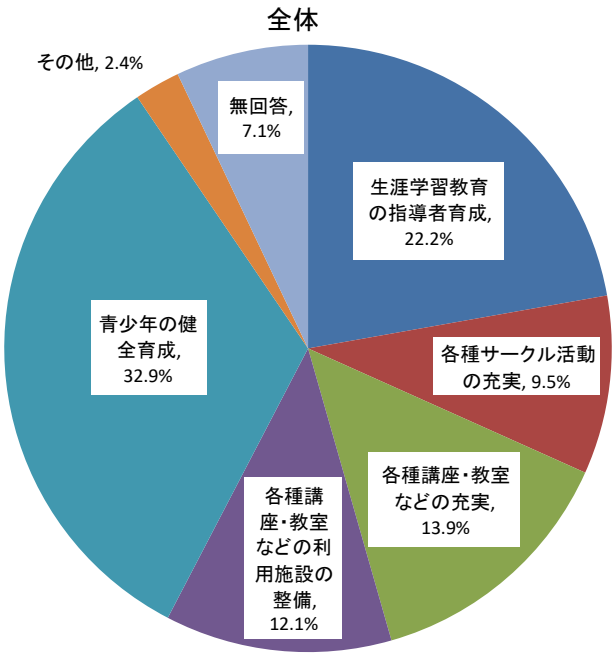
社会教育に関して重要であると考える項目１つを回答してもらった結果をみると、「青少年の健全育成」が最も多く、次いで、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」の順となっている。

この結果は、ほぼ平成 30 年度調査の結果と同様となっている。

＜令和元年度調査＞

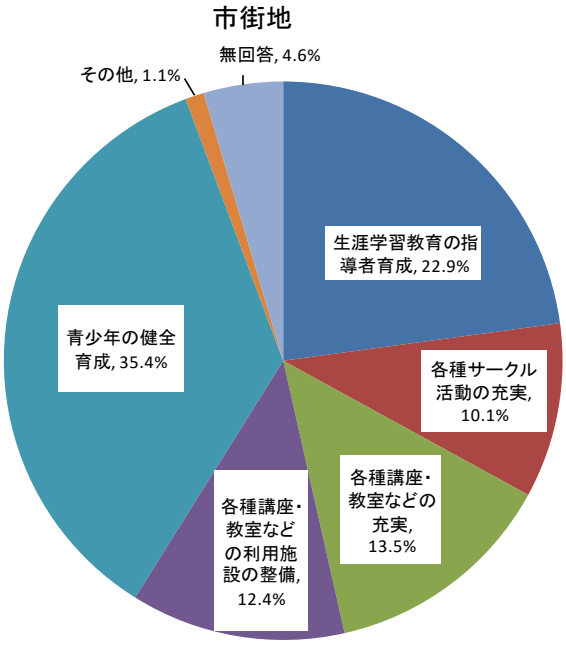


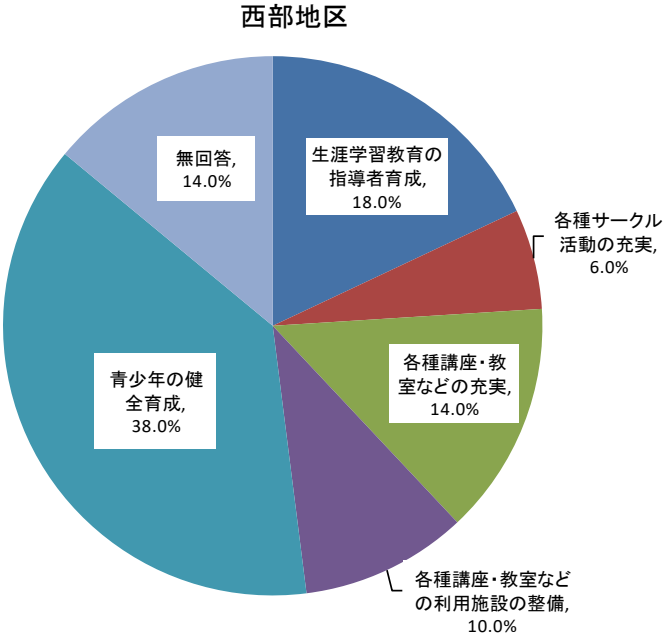
＜平成 30 年度調査＞

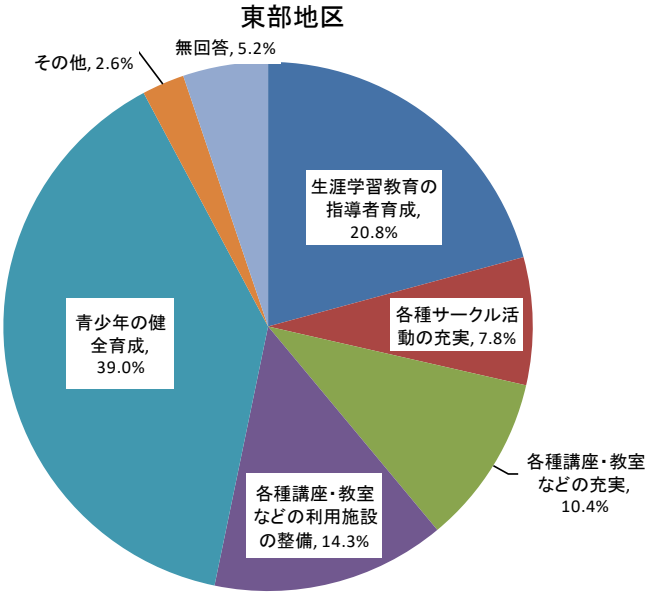


②地区別

いずれの地区も全体と同様に「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」が上位にあげられている。







３．１３　スポーツ・レクリエーション・文化について

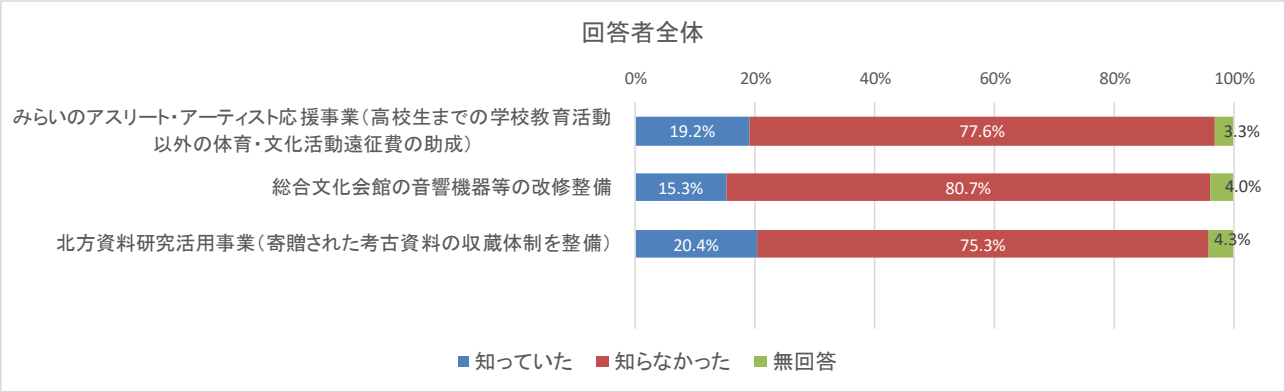
（１）施策に対する認知度

①全体

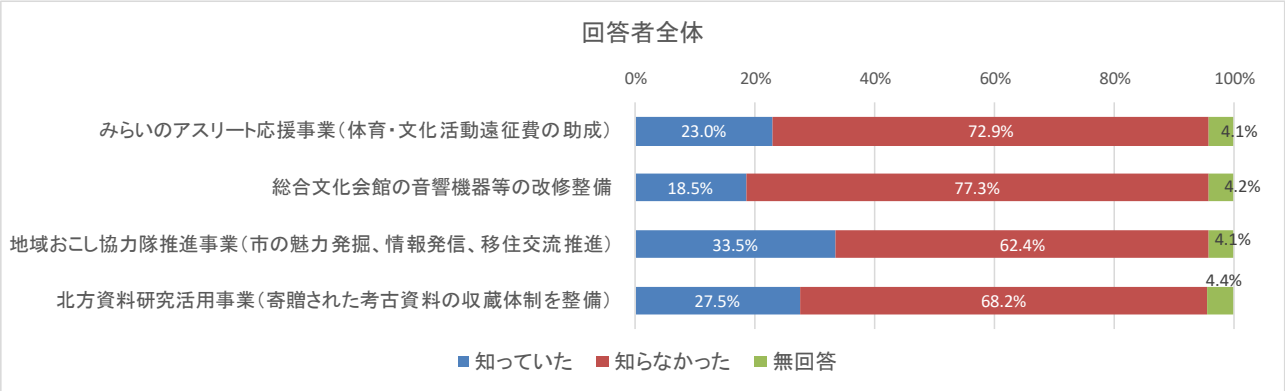
市で実施しているスポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度をみると、いずれの施策も、その認知度は 10%台～20%台に留まっている状況が把握された。

今回調査の選択肢は、平成 30 年度調査時の選択肢のうち「地域おこし協力隊推進事業」を除いた内容で設定したが、いずれの施策とも認知度はやや低下していた。

＜令和元年度調査＞



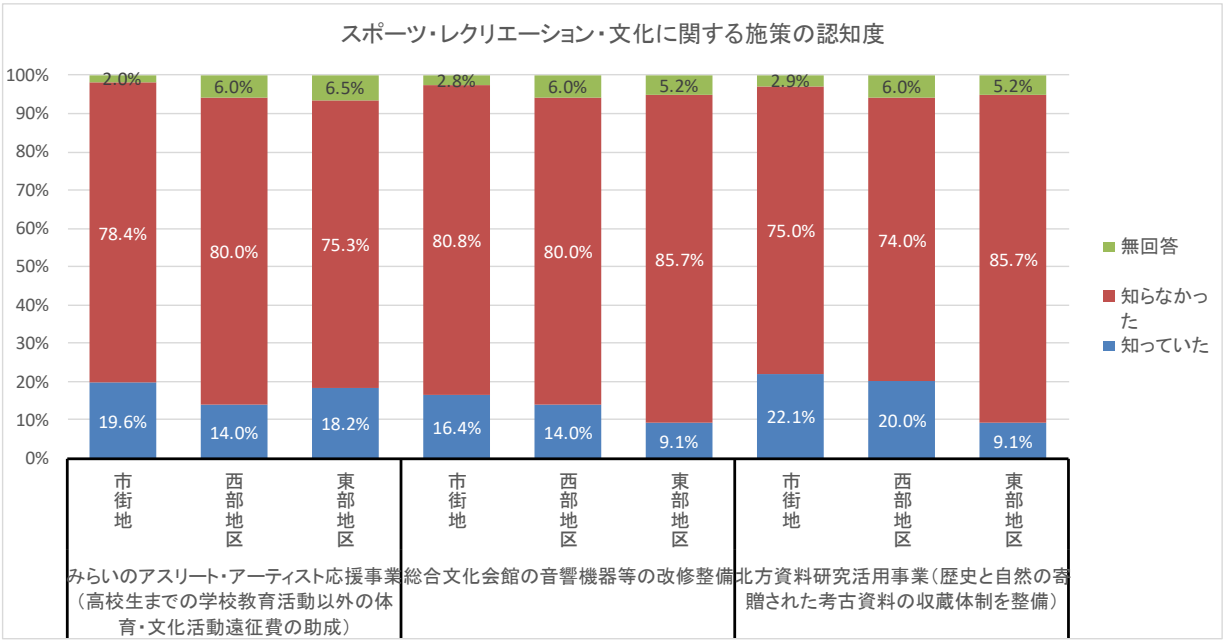
＜平成 30 年度調査＞



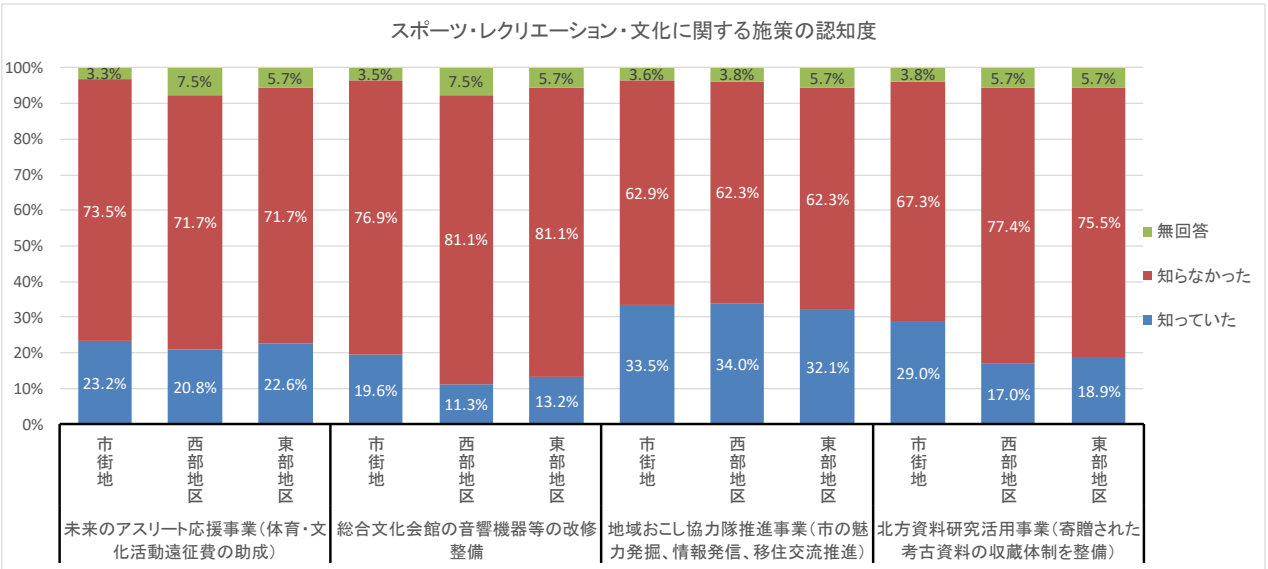
②地区別

スポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度は、地区別でみても大きな差はなく、平成 30 年度調査の結果と同様に総じて認知度が低い状況が把握された。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



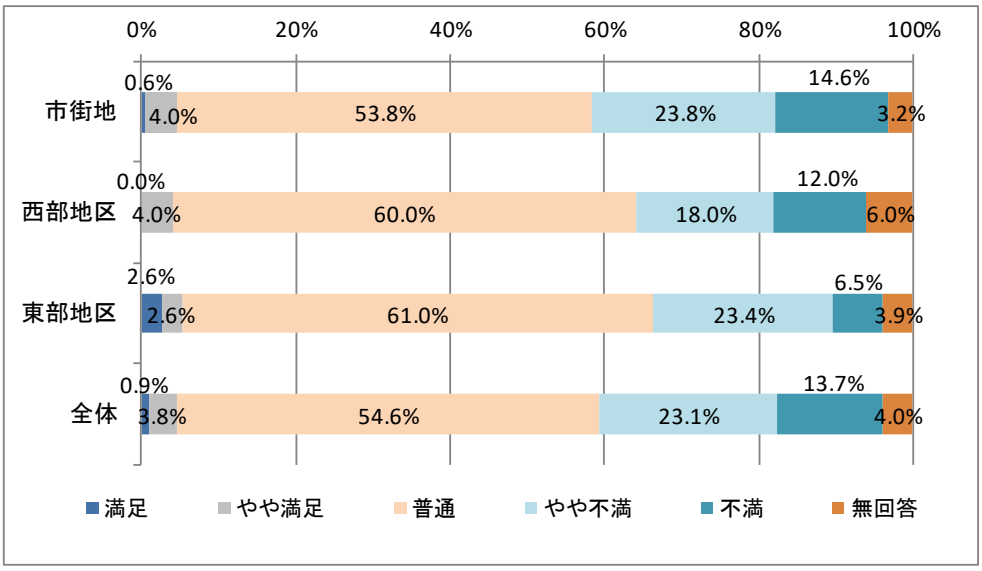
（２）スポーツ施設の状況に対する満足度

スポーツ施設の状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は 4.7%となっており、平成 30 年度の調査結果と同水準となっている。

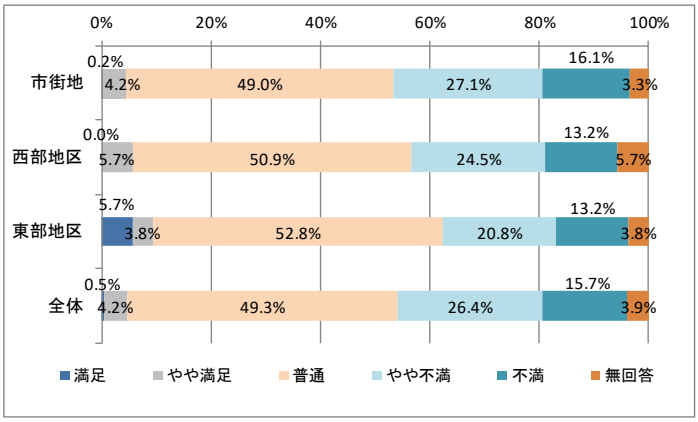
「普通」以上とする評価の割合は、昨年度の結果よりも高くなっている。

地域別でみると、いずれの地区とも「普通」以上の評価が平成 30 年度調査の結果よりも高くなっている。

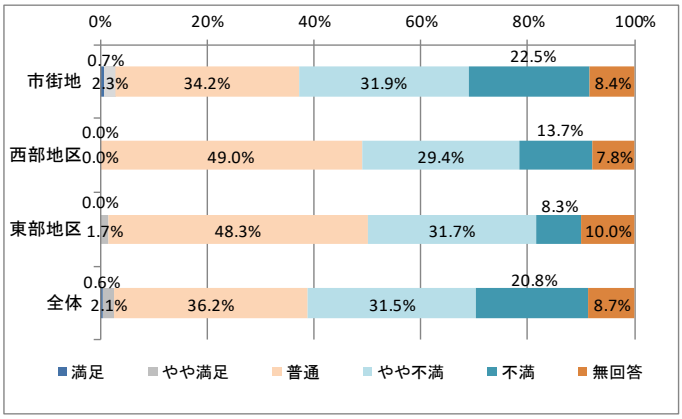
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞



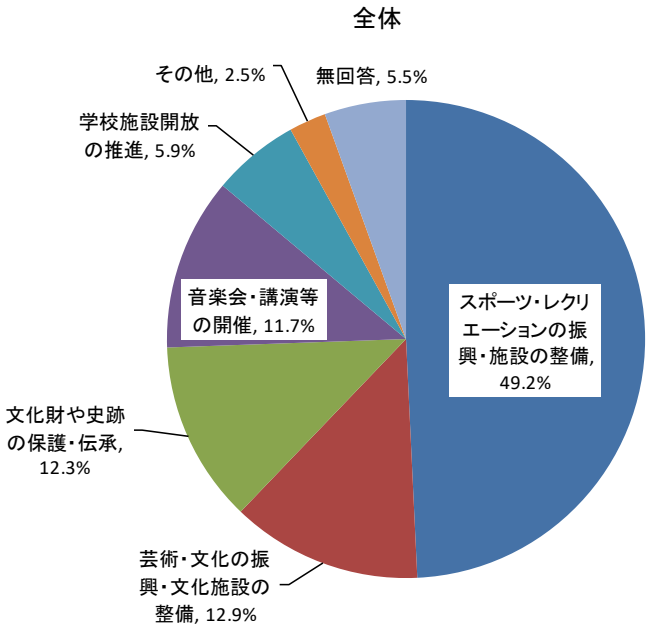
（３）スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

①市民全体

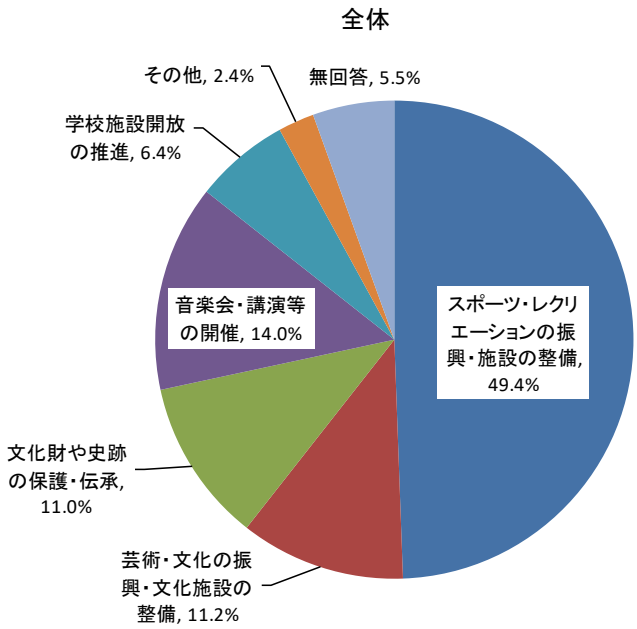
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策を１つ回答してもらった結果をみると、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も多くなっており、次いで、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「文化財や史跡の保護、伝承」の順となっている。

平成 30 年度の調査結果と比較すると上位にあげられている施策はほぼ同様の結果となっているが、「音楽会・講演等の開催」はやや低下した。

＜令和元年度調査＞

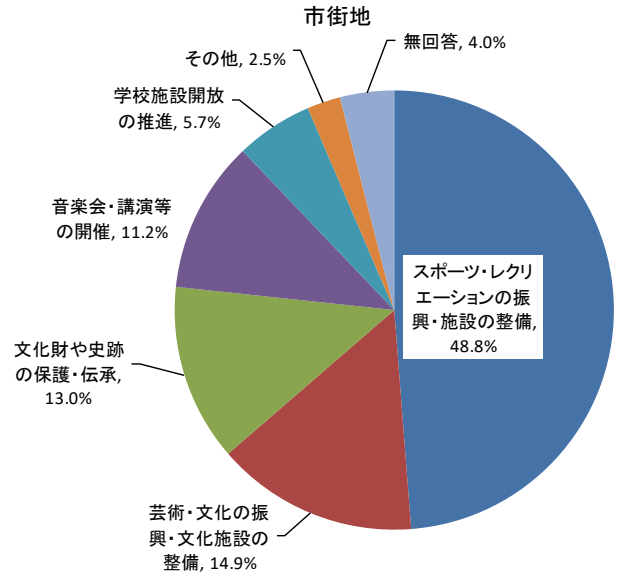


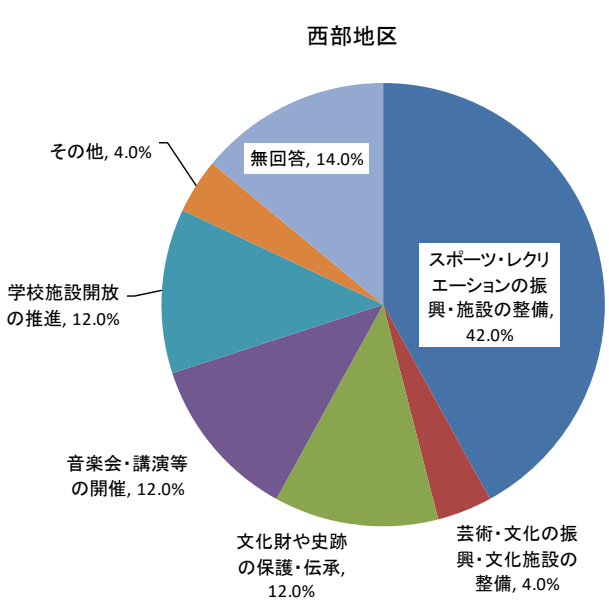
＜平成 30 年度調査＞

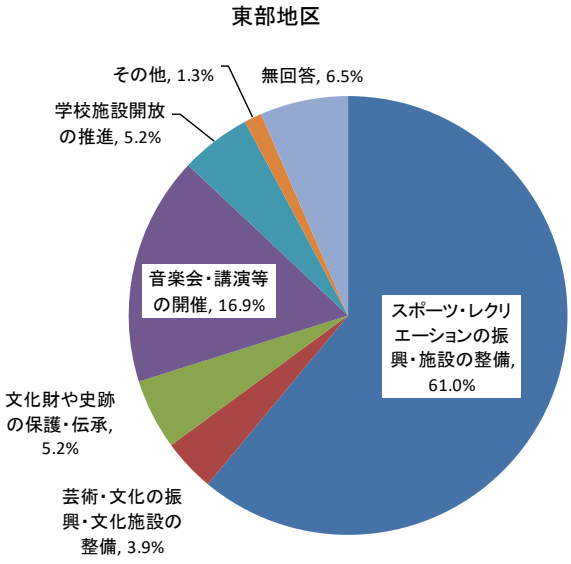


②地区別

いずれの地区とも「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も高い。西部地区と東部地区は、これに次いで、「音楽会・講演等の開催」が、市街地では「芸術・文化の振興・文化施設の整備」があがっている。







３．１４　産業の振興について

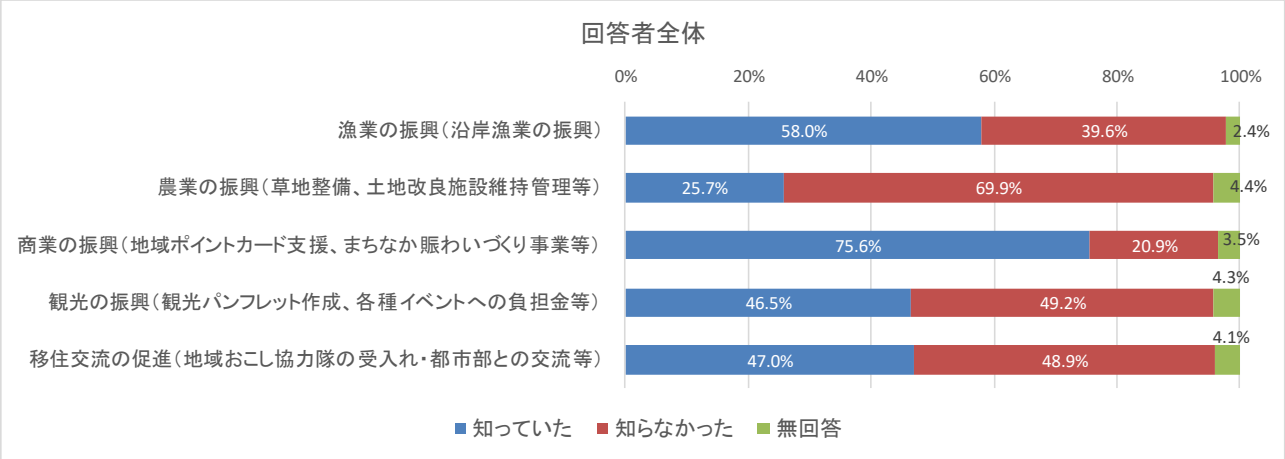
（１）施策に対する認知度

①全体

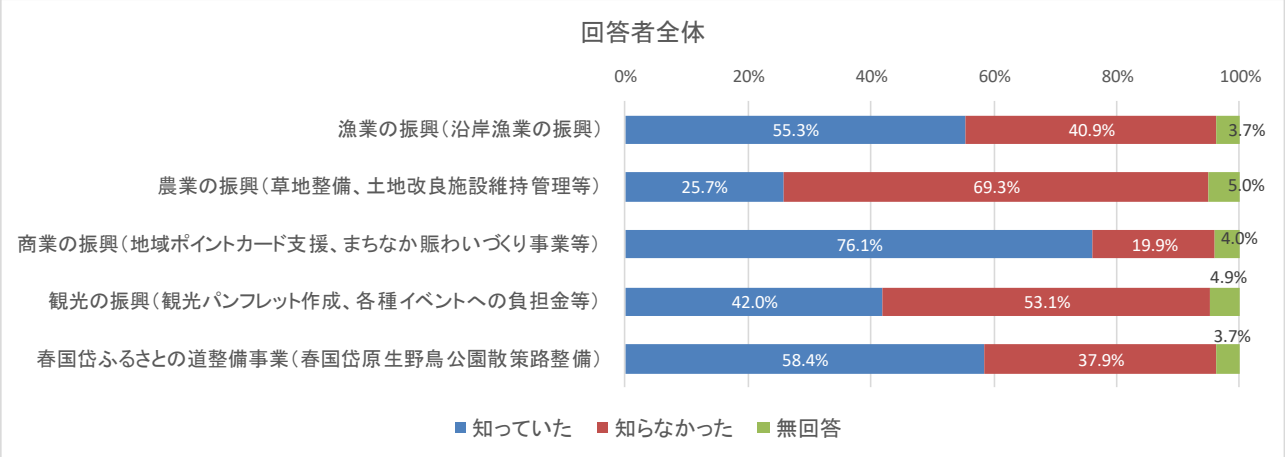
市で実施している産業振興に関する主要施策についての認知度をみると、総じて他の施策よりも認知度が高い傾向がみられ、特に、「商業の振興」、「漁業の振興」のほか、「観光の振興」に対する認知度が高くなっている。

平成 30 年度調査においても、今回調査の選択肢のうち漁業、農業、商業、観光の各産業振興について認知度を調査しているが、今回調査の結果はほぼ同様の認知度となっている。

＜令和元年度調査＞



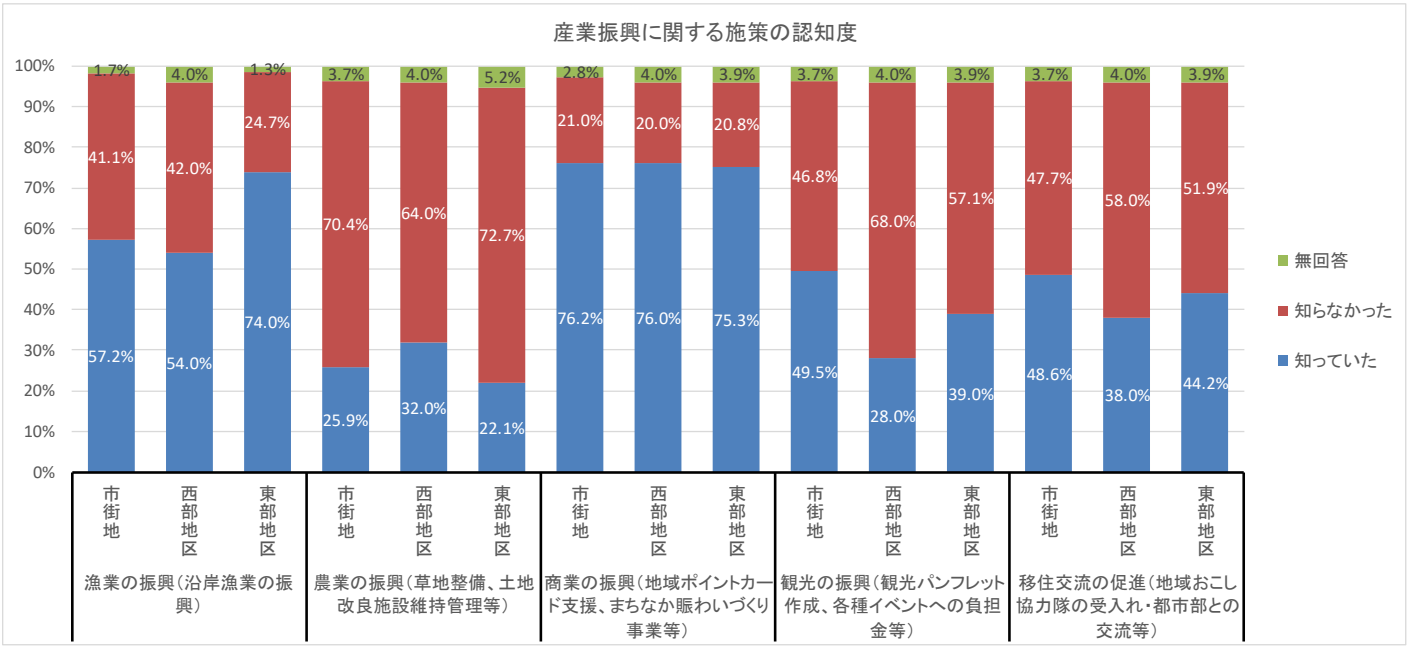
＜平成 30 年度調査＞



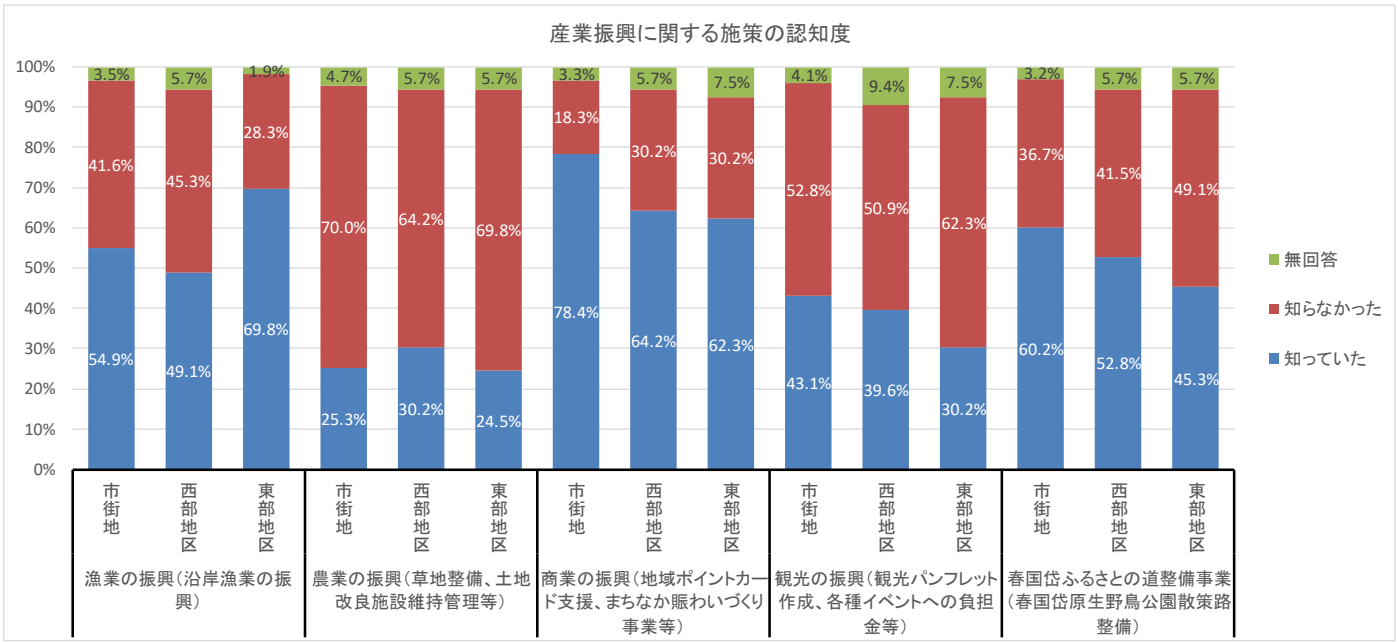
②地区別

産業振興に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、平成 30 年度調査の結果と同様に総じて認知度が高い傾向がみられている。特に、西部地区では「農業の振興」、東部地区では「漁業の振興」というように地域の産業経済特性を反映した結果となっている。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



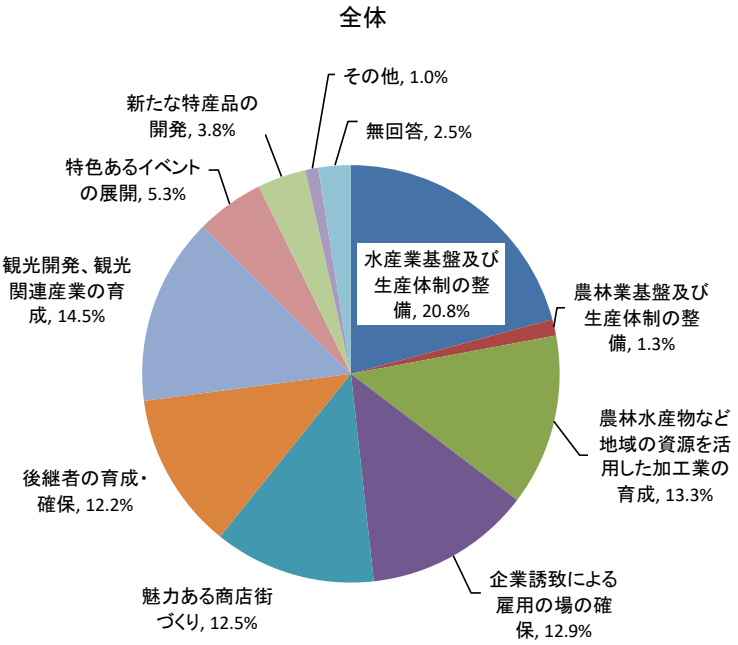
（２）産業振興施策について

①市民全体

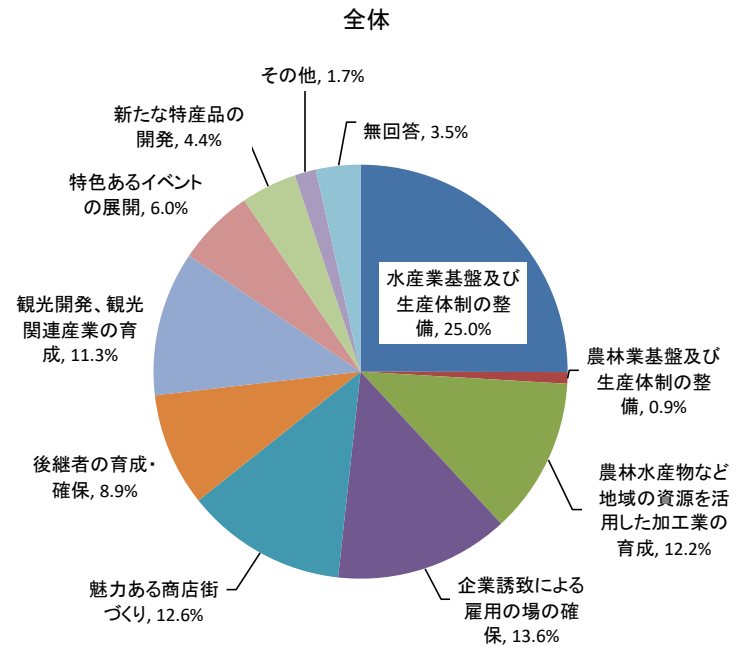
根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策１つを回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高かった。次いで、「観光開発、観光関連産業の育成」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「魅力ある商店街づくり」の順となっている。

平成 30 年度調査の結果と比較すると、ロシア 200 海里内サケマス流し網漁が禁止になった影響やサンマ漁獲高の減少などの影響を反映して基幹産業に対する関心の高さが伺えるものの、漁業の低迷が続く中、漁業振興に対する重要度がやや低下し、観光振興に対する期待が高くなっている状況がうかがえる。

＜令和元年度調査＞



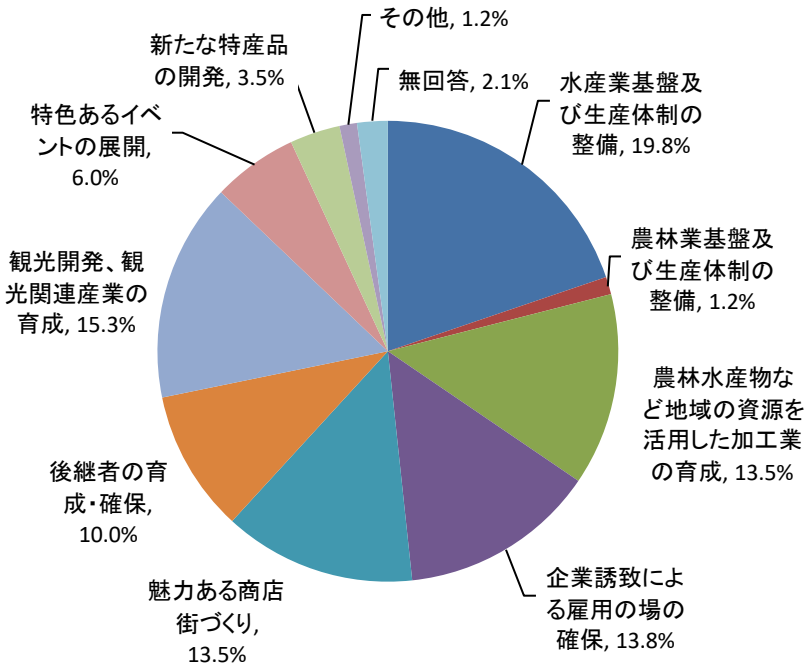
＜平成 30 年度調査＞



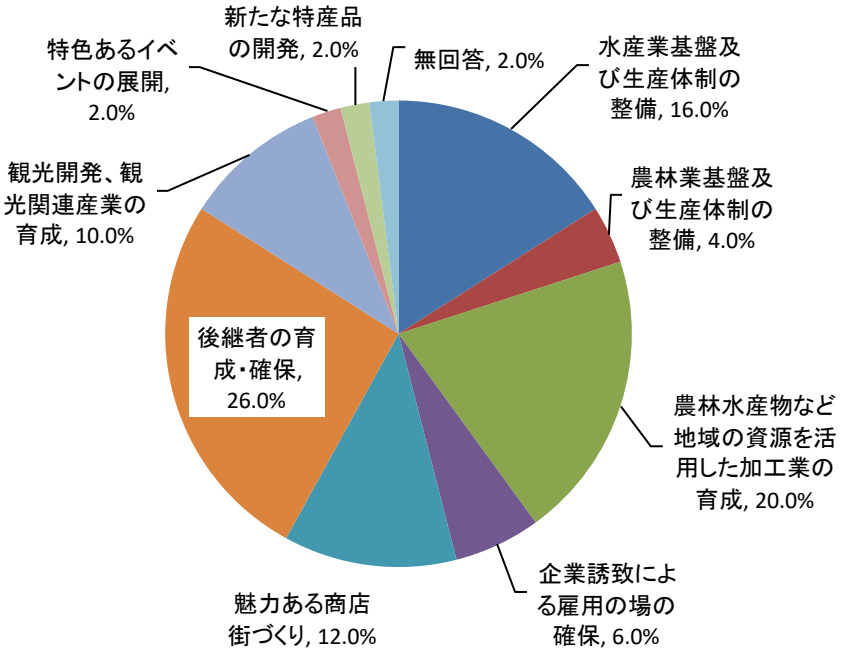
②地区別

地区別でみると、市街地はほぼ市民全体の傾向と同様の傾向を示しているが、東部地区と西部地区では、地区の主たる産業を反映して異なった傾向がみられており、東部地区では漁業者が多いことから「水産業基盤及び生産体制の整備」が、西部地区では酪農事業者も多く居住し、後継者問題に直面していることから、「後継者の育成・確保」が最上位にあげられている。

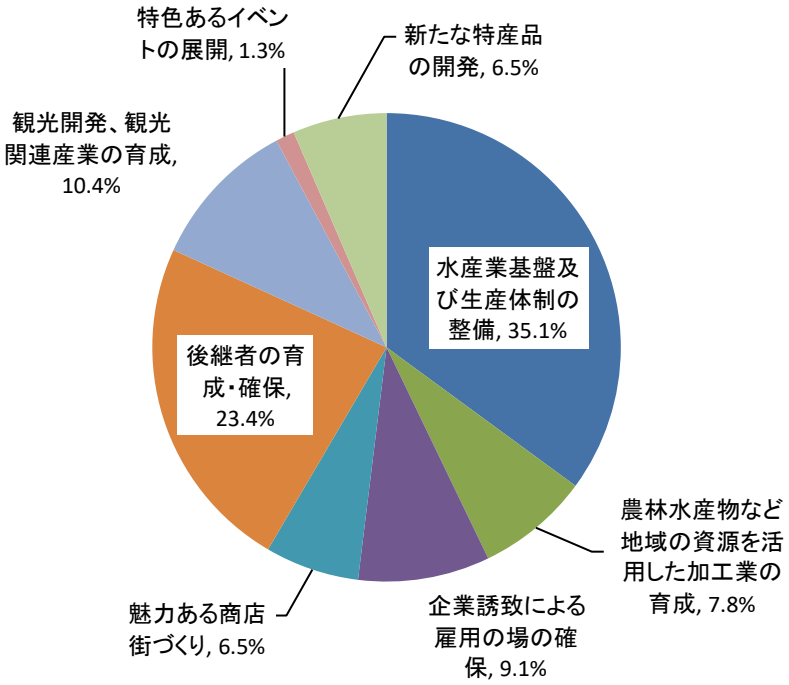
市街地



西部地区



東部地区


特色あるイベントの展開, 1.3%
新たな特産品の開発, 6.5%
観光開発、観光関連産業の育成, 10.4%
水産業基盤及び生産体制の整備, 35.1%
後継者の育成・確保, 23.4%
農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成, 7.8%
魅力ある商店街づくり, 6.5%
企業誘致による雇用の場の確保, 9.1%

３．１５　情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

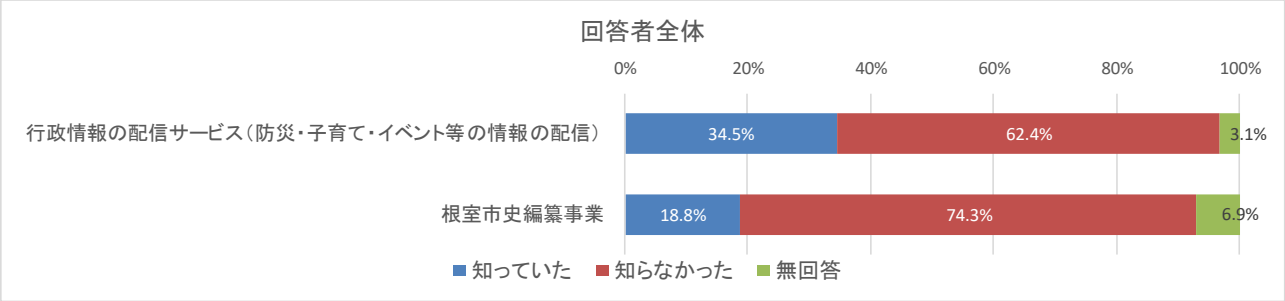
（１）施策の認知度

①全体

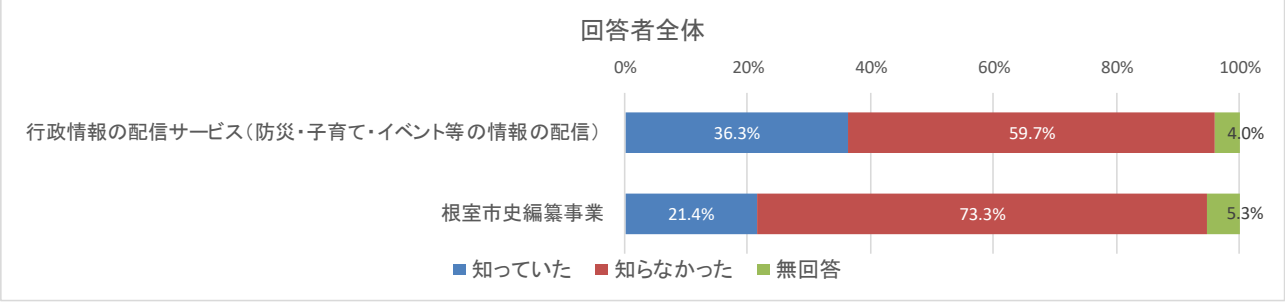
市で実施している情報の共有化に関する主要施策についての認知度をみると、「行政情報の配信サービス」が 34.5%の認知度に留まっている。また、根室市史編纂事業は 21.4%と低い状況が把握された。

これらの 2 つの施策の認知度は、平成 30 年度調査の結果よりやや低下している。

＜令和元年度調査＞



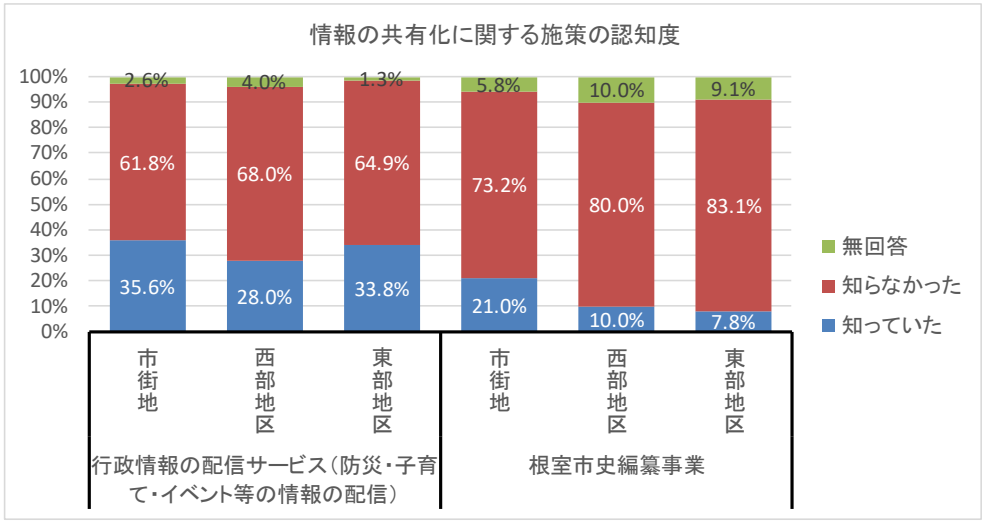
＜平成 30 年度調査＞



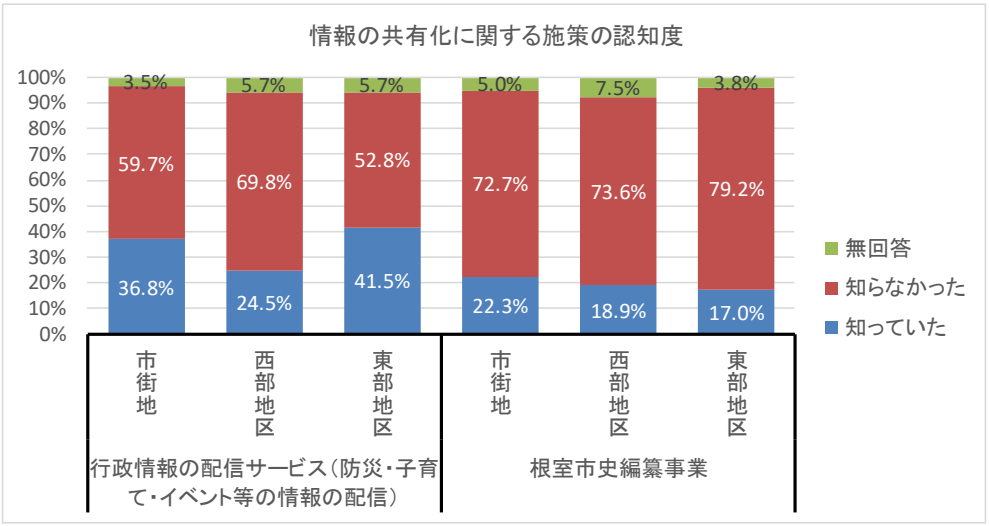
②地区別

情報の共有化に関する主要施策についての認知度は、平成 30 年度調査の結果よりも総じて認知度が低下しているものの、地区別での大きな差は見られていない。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



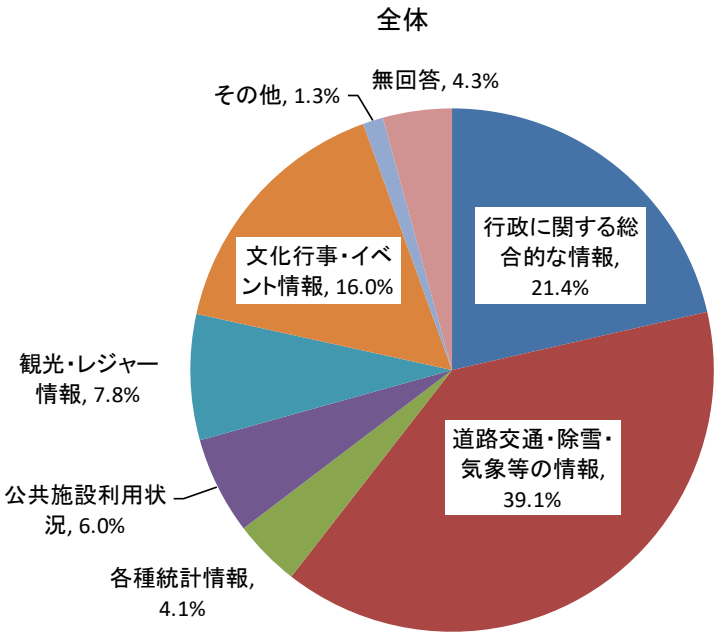
（２）情報の共有化に関する施策について

①全体

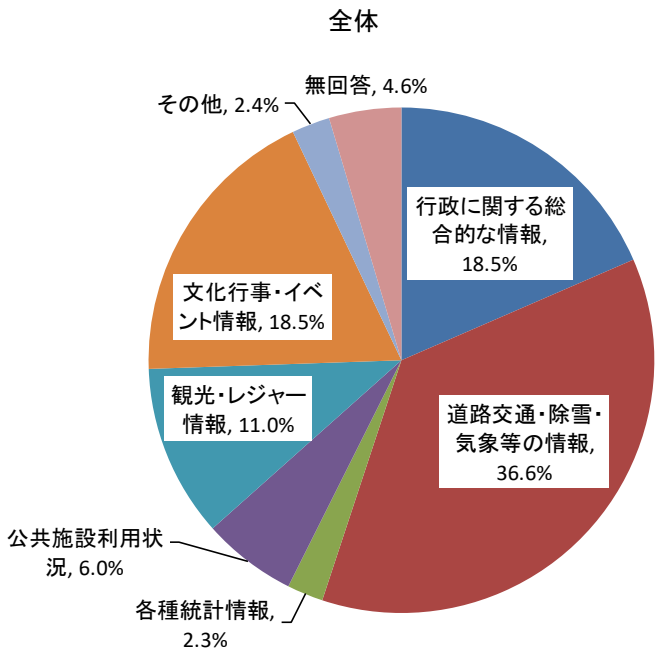
行政からの情報提供に対する要望を 1 つ回答してもらった結果をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」が高くなっている。

上位にあがっている項目は平成 30 年度調査の結果とほぼ同様である。

＜令和元年度調査＞



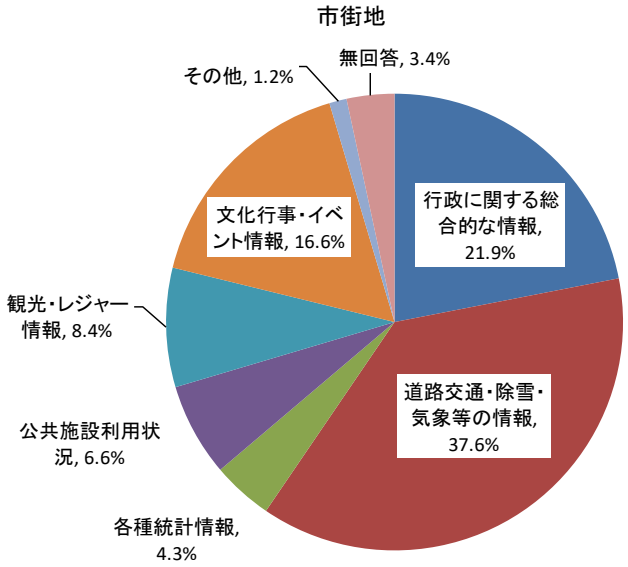
＜平成 30 年度調査＞

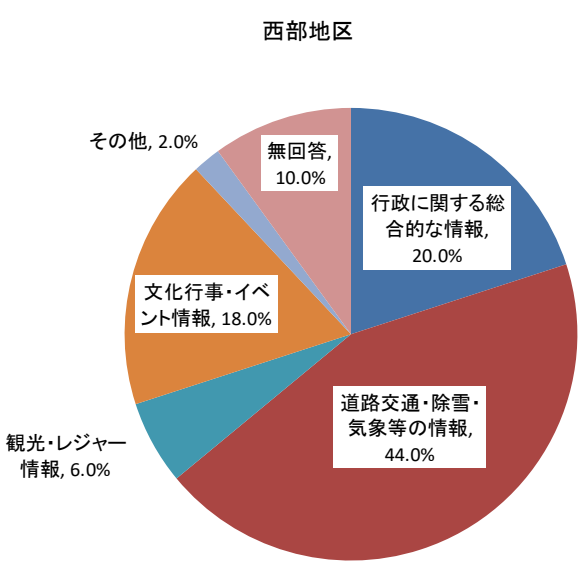


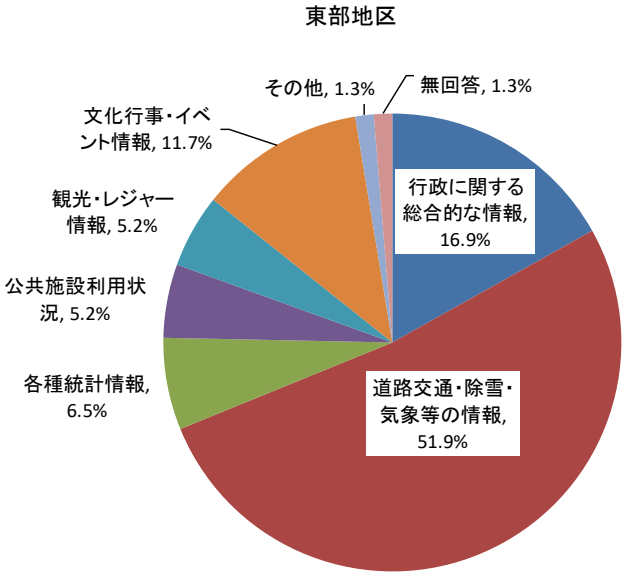
②地区別

「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」は、すべての地区で上位にあげられている。

特に、「道路交通・除雪・気象等の情報」に関しては、すべての地区で第１位となっている。とりわけ、東部地区では 51.9%の回答率と際立って高くなっていた。







３．１６　市民協働について（「誰もが何か１つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

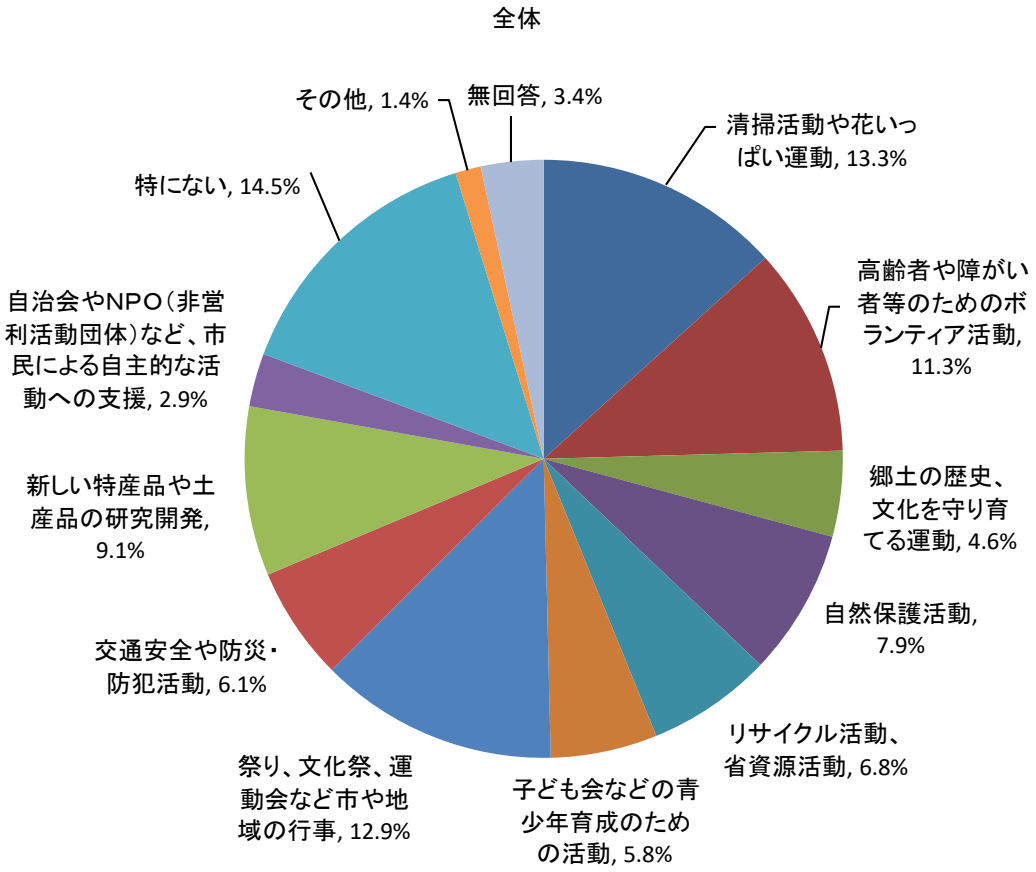
（１）市民全体

市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加するもの１つを回答してもらった結果、最も多かった活動は、「清掃活動や花いっぱい運動」であり、次いで、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「高齢者や障がい者のためのボランティア活動」の順となっている。

一方、「特にない」という回答も 14.5%と多くなっている。

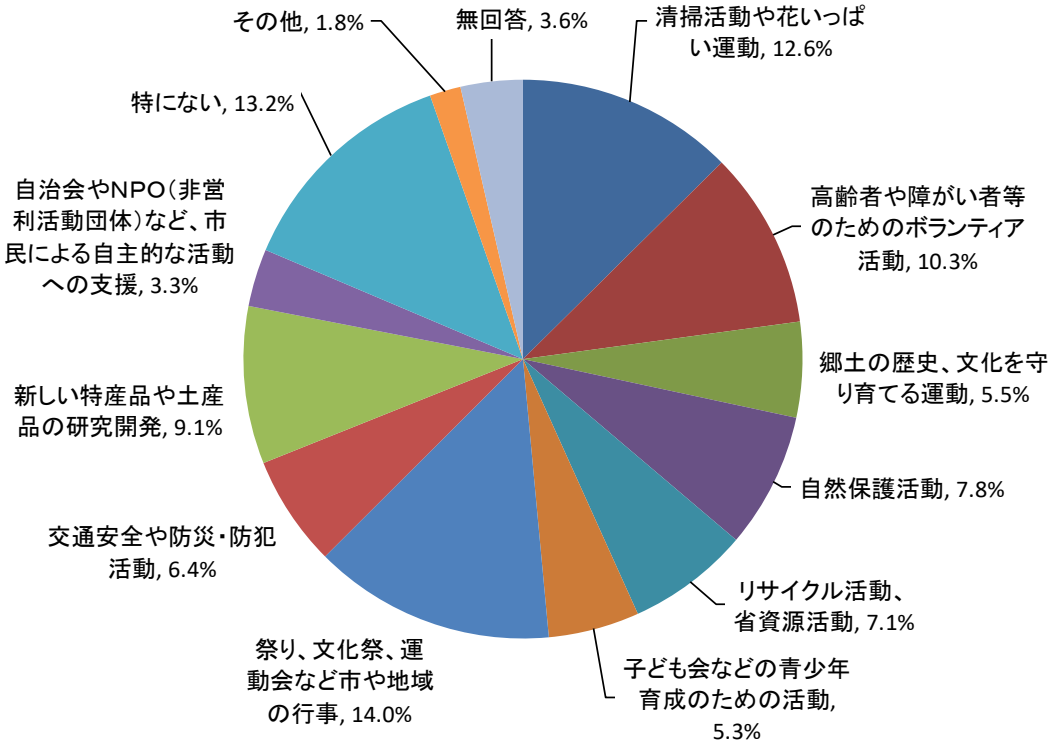
平成 30 年度の調査においても、「清掃活動や花いっぱい運動」や「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」などが上位にあげられている反面、「特にない」とする回答も比較的多い傾向がみられており、ほぼ同様の状況が続いている。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞

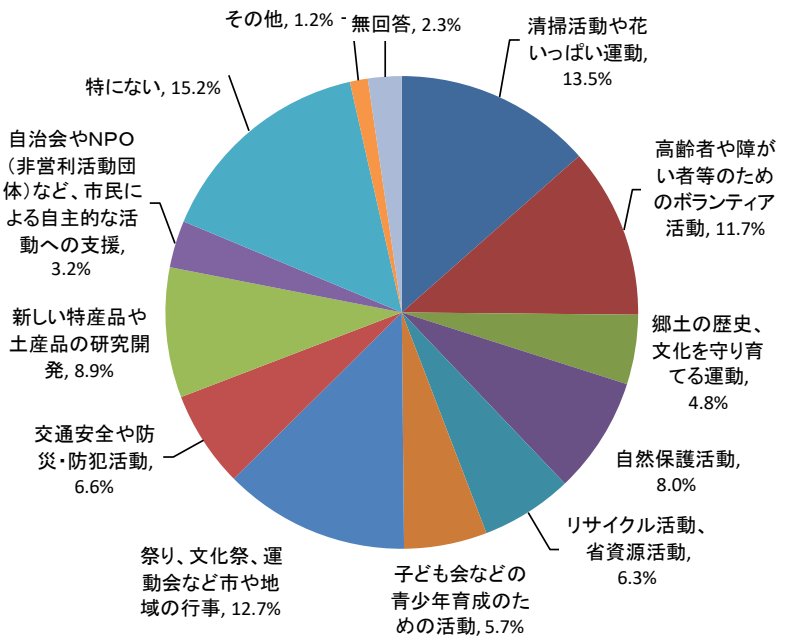
全体


清掃活動や花いっぱい運動, 12.6%
高齢者や障がい者等のためのボランティア活動, 10.3%
郷土の歴史、文化を守り育てる運動, 5.5%
自然保護活動, 7.8%
リサイクル活動、省資源活動, 7.1%
子ども会などの青少年育成のための活動, 5.3%
祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事, 14.0%
交通安全や防災・防犯活動, 6.4%
新しい特産品や土産品の研究開発, 9.1%
自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援, 3.3%
特にない, 13.2%
その他, 1.8%
無回答, 3.6%

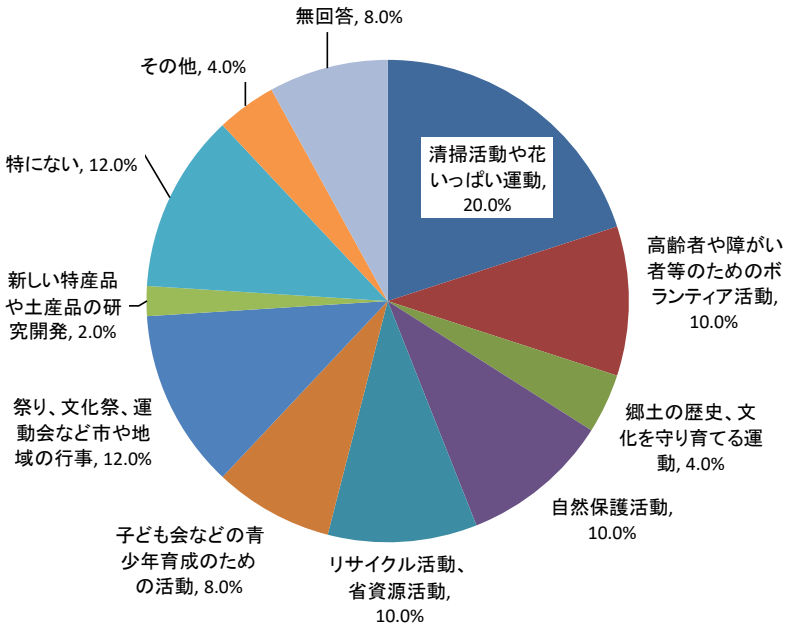
（２）地区別

市街地と西部地区では、「特にない」が最も多く、次いで「清掃活動や花いっぱい運動」「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」への参加希望率が高くなっており、東部地区では「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が最も多く、次いで「特にない」「新しい特産品や土産品の研究開発」の順となっており、地区による違いがみられている。

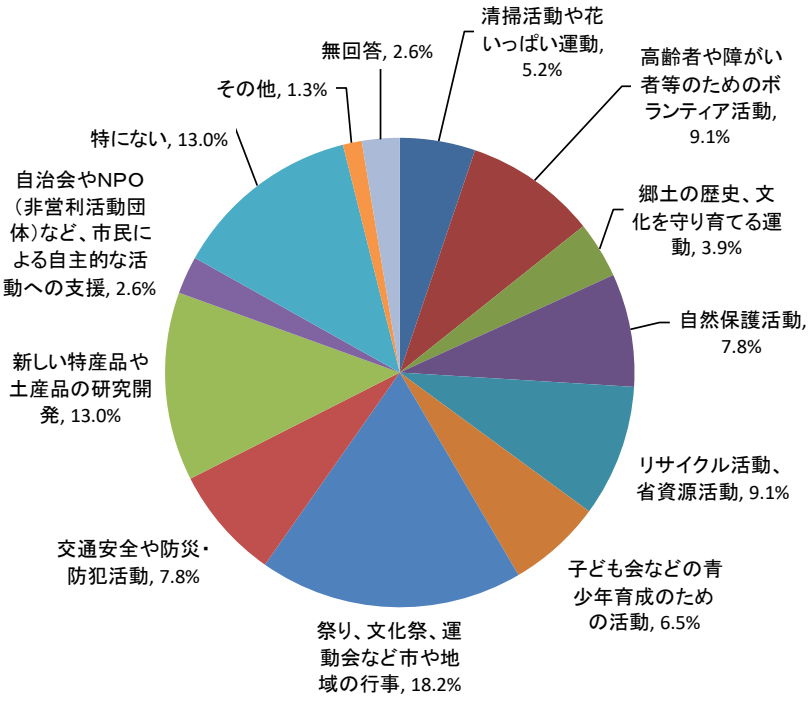
市街地



西部地区



東部地区


清掃活動や花いっぱい運動, 5.2%
高齢者や障がい者等のためのボランティア活動, 9.1%
郷土の歴史、文化を守り育てる運動, 3.9%
自然保護活動, 7.8%
リサイクル活動、省資源活動, 9.1%
子ども会などの青少年育成のための活動, 6.5%
祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事, 18.2%
交通安全や防災・防犯活動, 7.8%
新しい特産品や土産品の研究開発, 13.0%
自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援, 2.6%
特にない, 13.0%
その他, 1.3%
無回答, 2.6%

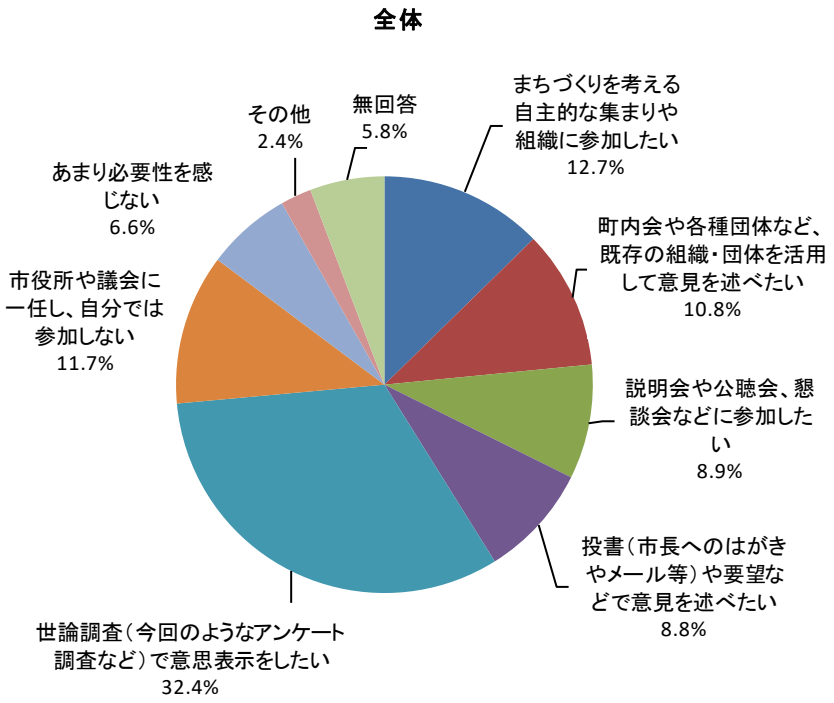
３．１７　市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

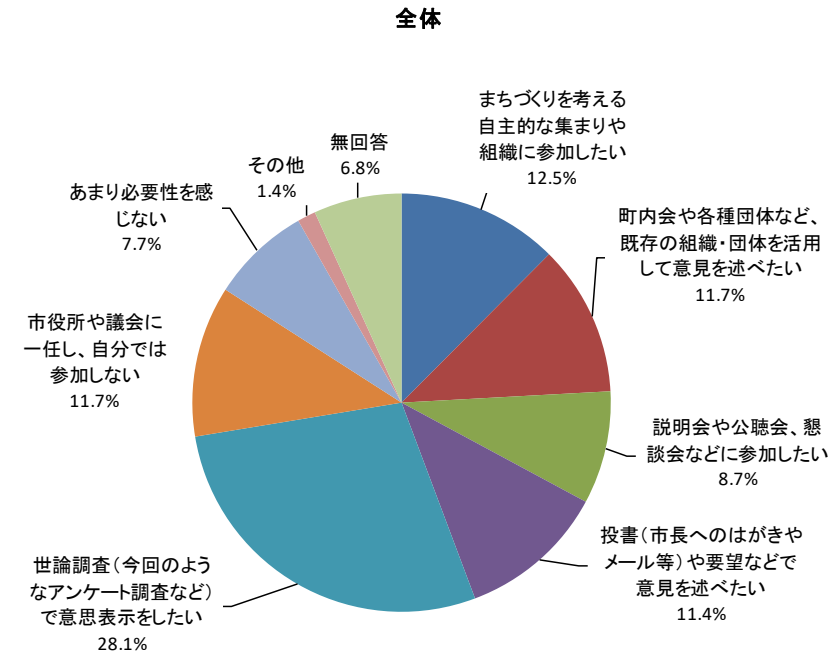
（１）全体

まちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望であった。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、といった要望も比較的多かった。一方、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」とする回答割合も比較的多かった。

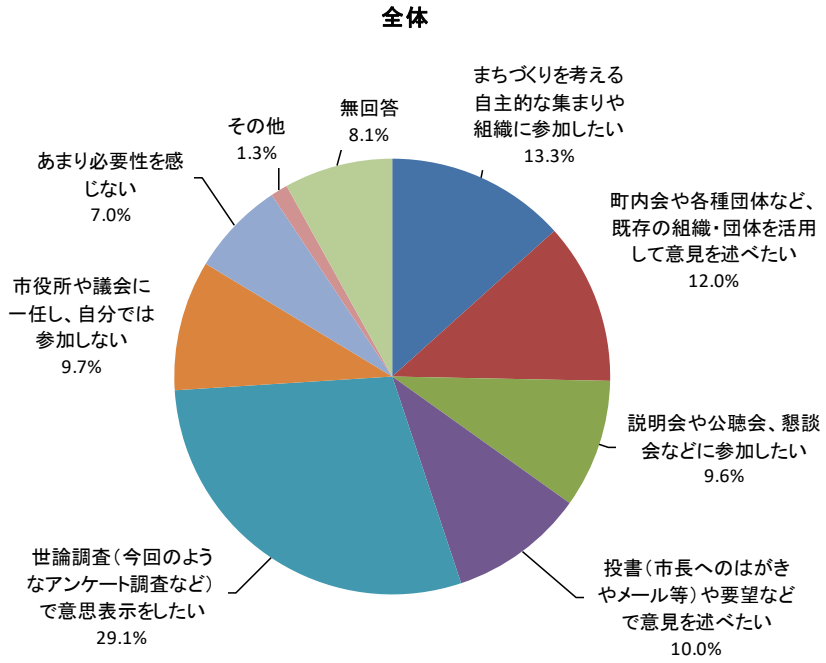
この結果は、平成 30 年度までの調査結果とほぼ同様の結果であった。

＜令和元年度調査＞



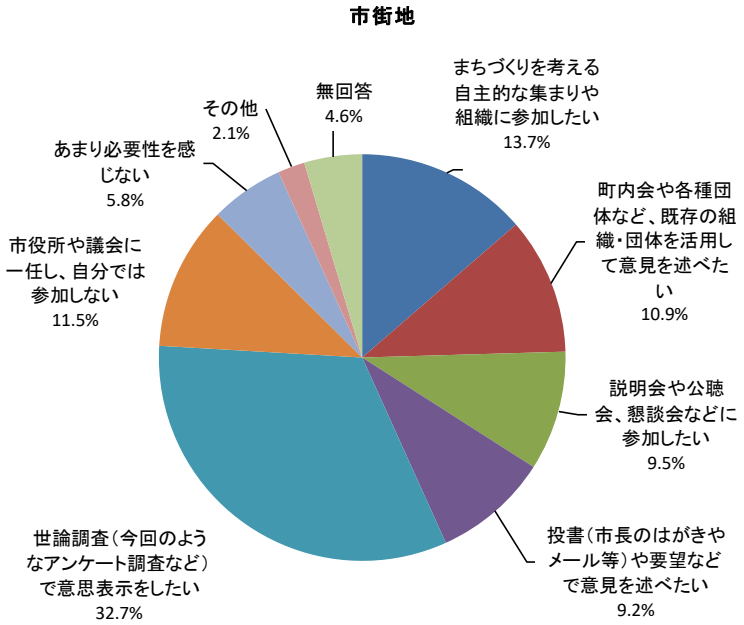


＜平成 29 年度調査＞

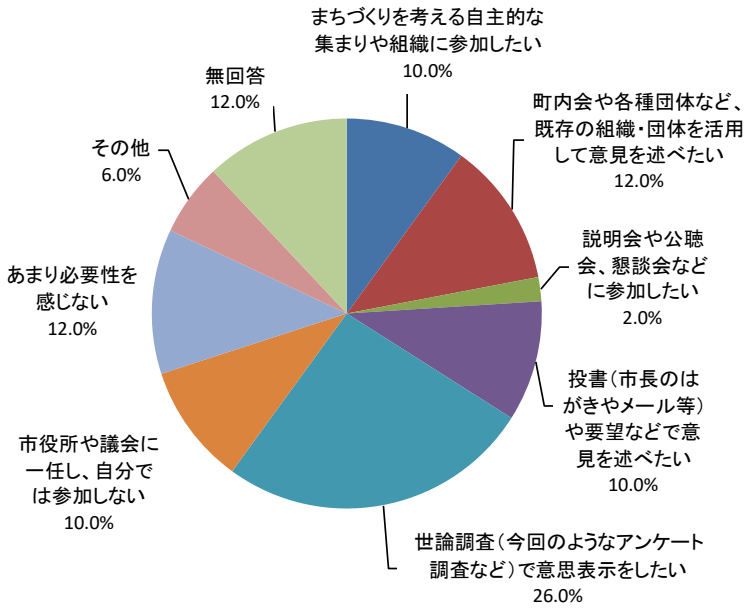


（２）地区別

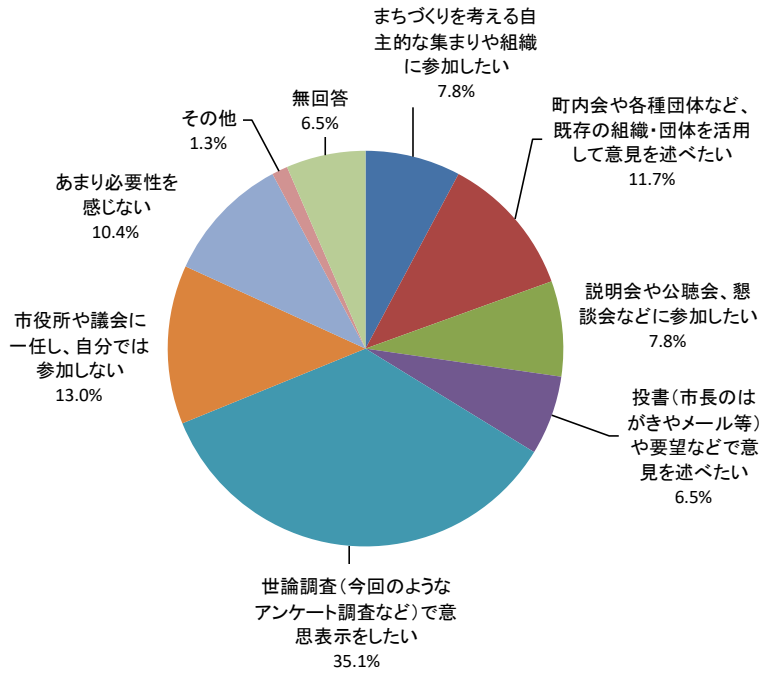
地区別にみると、いずれの地区とも、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」が最も多くなっており、これに次いで市街地では、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」が、西部地区では「あまり必要性を感じない」と「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が、東部地区では「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」となっている。



西部地区


まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
10.0%
町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
12.0%
説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
2.0%
投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
10.0%
世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
26.0%
市役所や議会に一任し、自分では参加しない
10.0%
あまり必要性を感じない
12.0%
その他
6.0%
無回答
12.0%

東部地区


まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
7.8%
町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
11.7%
説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
7.8%
投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
6.5%
世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
35.1%
市役所や議会に一任し、自分では参加しない
13.0%
あまり必要性を感じない
10.4%
その他
1.3%
無回答
6.5%

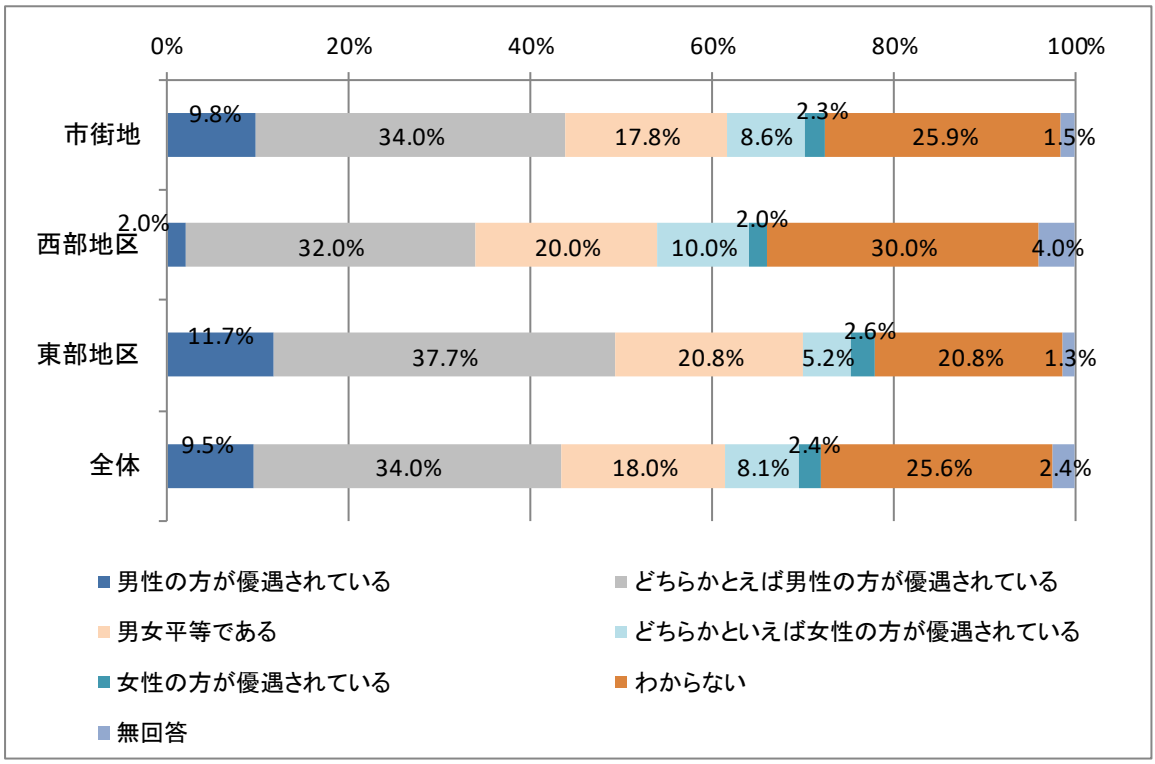
３．１８　男女共同参画について

生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて 43.5%となっており、「男女平等である」は 18.0%と、男女平等意識が低い状況となっている。

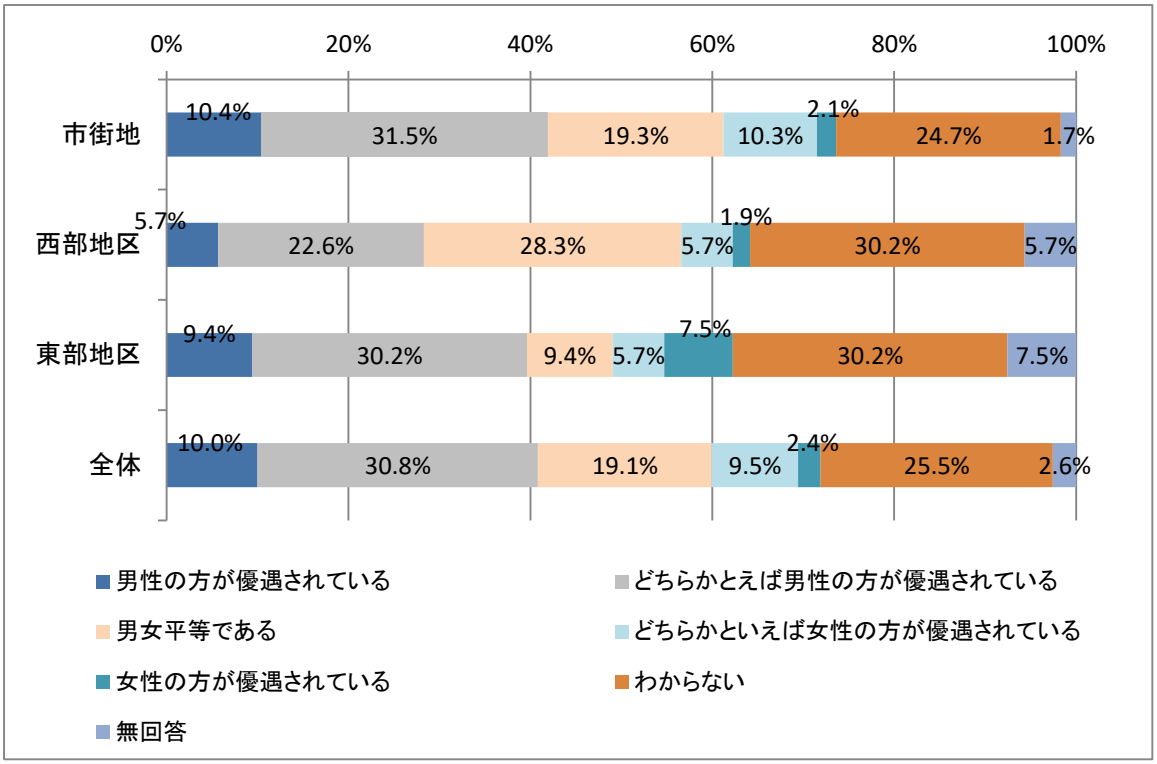
このように男性のほうが女性よりも優遇されていると考えている傾向は、ほぼ各地区とも同様となっている。

この結果は、平成 30 年度までの調査の結果と比較しても大きな変化は見られていない状況となっている。

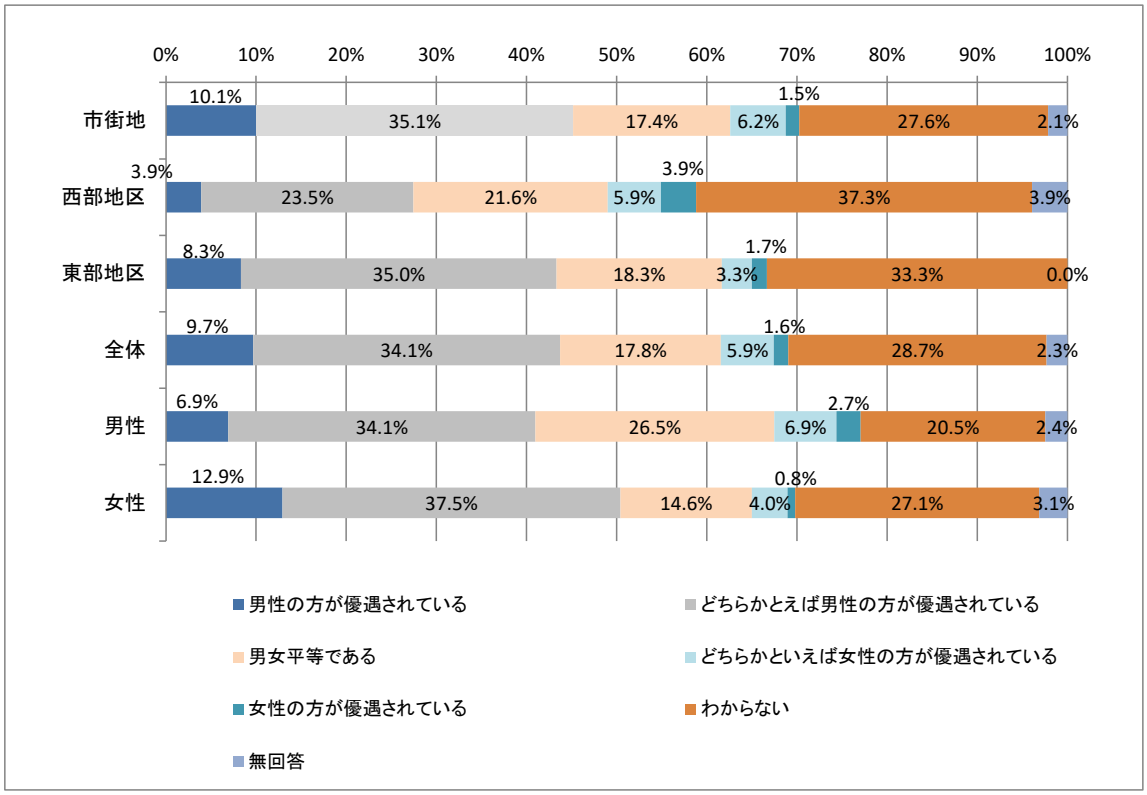
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



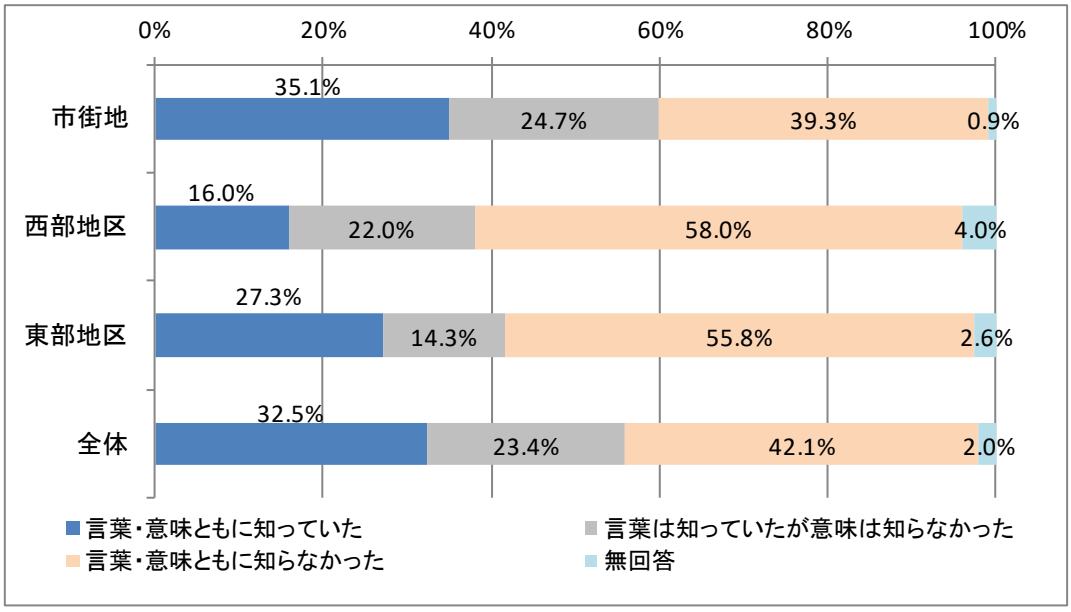
＜平成 29 年度調査＞



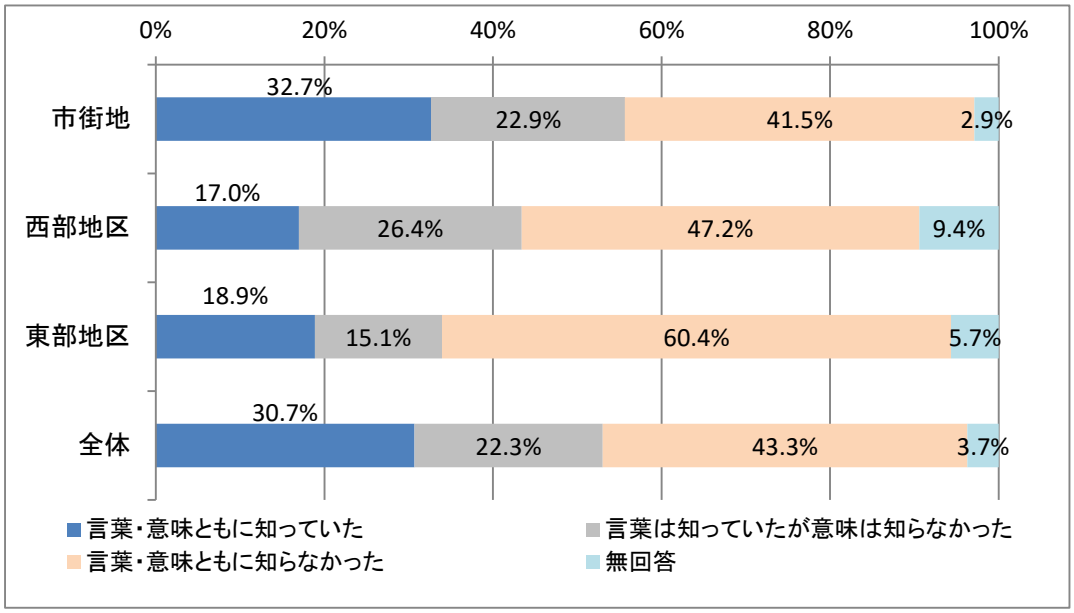
３．１９　「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

市民の「ワーク･ライフ・バランス」の認知度を平成 30 年度までの調査の結果と比較してみると、市民全体では、「言葉・意味ともに知らなかった」が 42.1%とやや減少しており、認知度は徐々にではあるが高まってきている状況が把握された。

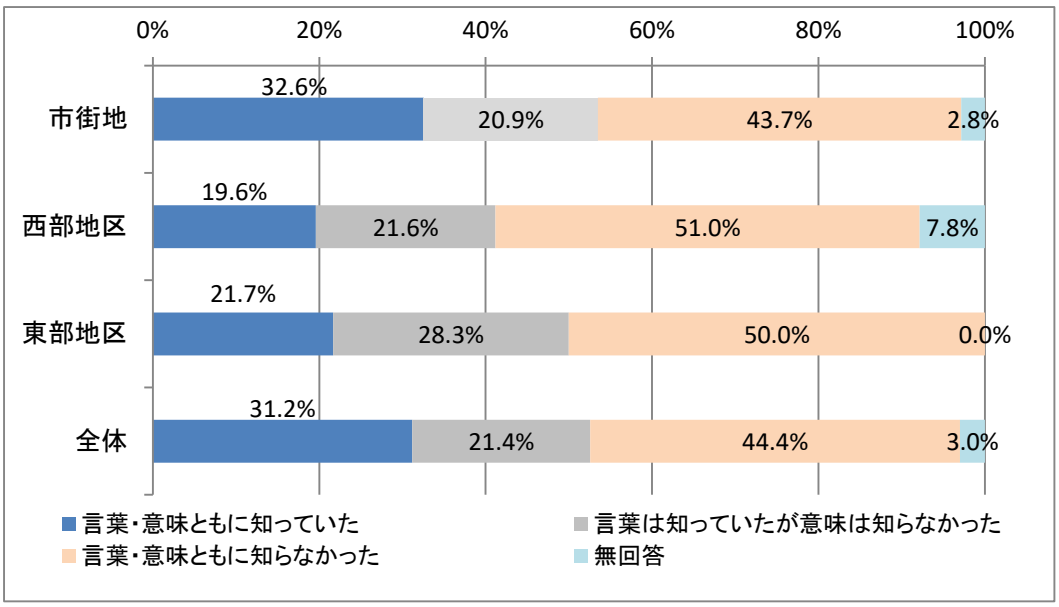
＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



＜平成 29 年度調査＞


0%
20%
40%
60%
80%
100%
市街地
32.6%
20.9%
43.7%
2.8%
西部地区
19.6%
21.6%
51.0%
7.8%
東部地区
21.7%
28.3%
50.0%
0.0%
全体
31.2%
21.4%
44.4%
3.0%
言葉・意味ともに知っていた
言葉は知っていたが意味は知らなかった
言葉・意味ともに知らなかった
無回答

４．市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第９期根室市総合計画（平成 26 年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成 27 年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはＫＰＩのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成 25 年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成 28 年度、29 年度、30 年度調査に引き続き設定した。

また、昨年度調査から市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政に関する周知も兼ねている。今回は 2 回目調査となり、昨年度との比較により、こうした周知効果の評価も可能となっている。

昨年度の調査においては、市の各種インフラ整備や生活環境に対する満足度を問う設問において「普通」との回答割合がそれまでの調査結果に比して高くなっていたが、今年度調査においても同様の結果がみられている。このことが、市で実施している各種施策を提示することによる回答内容への影響であるかどうかは必ずしも明確ではない。

本調査は、平成 25 年度に実施した市民意識調査実施時から 6 年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア 200 海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁など経済環境も大きく変化しており、市民の不安意識も増長されているなどの状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

＜回収率＞

- 本調査の有効回収率は 26.2%となっており、平成 29 年度調査の 29.1%、平成 28 年度調査の 31.4%を下回っているはいるが、昨年度の回収率を上回っている。
- 本調査の結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいという意向が平成 30 年度までの調査結果と同様に高いことからも、積極的に回答いただいた結果となっている。
- 特に、今年度の調査でも若い世代を含めた各年齢層で回答していただいており、幅広い年齢層の市民の市政に対する関心度合が高まっている状況が把握された。

＜根室市のイメージについて＞

- 平成 30 年度までの調査と同様に、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境のさらなる悪化などを背景に、全体的に根室市の否定的なイメージは改善されてはいない。
- しかし、根室市のイメージとしては、これまでの結果と同様に「個性のあるまち」「市民として誇りや郷土愛があるまち」をあげる住民が多く、引き続き市民の愛着の意識が高い状況が把握された。

＜定住意識＞

- 市民が抱く根室市のイメージで把握されたように、市民の根室に対する愛着意識の高さは、市民の定住意向の高さ（60%以上）に反映されているものと考えられる。
- しかし、住みたくないとする市民のその理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられており、昨年までの調査結果を踏まえると、以前として近年の定住意識の促進に向けた重要課題といえる。

＜保健医療支援・子育て支援・高齢者支援＞

・市民の健康管理意識は依然として高く、健康のための運動意識も平成 30 年度調査までの結果とほぼ同様であった。特に 60 歳以上の住民で意識が高くなっている。
・少子化・子育て支援に関しては、平成 29 年 4 月から市立根室病院で 11 年ぶりに分娩が再開されたことを 70%近くの市民が知っていたと回答している。この認知度は 70%を超える認知度を示していた昨年度調査に比してやや低下していたが、概ね周知されている状況が確認された。
・また、子育て支援に関する市の施策に対する認知度は、こども医療費給付、第 3 子目以降保育料・給食費無料化などの経済的支援に関しては高いが、人材育成や施設整備等の事業の認知度はそれほど高くはないという結果となっており、昨年度調査とほぼ同様であることが把握された。
・今後の子育てに関する支援策については、こうした経済的支援に加え、悪天候や冬期の子どもの遊び場所の整備に対する要望が例年と同様に多くなっている。
・市が実施している高齢者支援策のうち、高齢者見守りボランティア事業に関しては市民や高齢者の認知度が比較的高く、緊急通報サービス事業や人材育成事業に関しては認知度が低いという結果は、昨年度調査の結果とほぼ同様であるが、各施策に対する認知度はやや向上している。
・高齢者支援策としては、昨年度までの調査結果では、寝たきりの高齢者や独居の高齢者への在宅福祉の充実を望む意見が多かったが、今年度調査の結果では、高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくりといった、活動の場を求める意見が最も多かった。

＜交通・生活環境・防災・減災＞

・市民の交通インフラに対する満足度は、決して高くはないが、道路交通に関しては 7 割程度、公共交通機関に関しては 5 割程度が「普通」以上の満足度であることが把握された。
・交通に関する施策に関しては、JR 花咲線の存続が課題となっている現状を背景として、JR 花咲線の維持確保対策に対する認知度が比較的高いことが把握された。
・交通施策に対する要望としては、平成 30 年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多かったが、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」「鉄道便の確保」に対する要望も引き続き高まっている。
・市で実施している生活環境や防災・減災に関する施策に関しては、昨年度調査の結果と同様に総じて認知度が低く、概ね 2 割～3 割程度の認知度であることが把握された。
・今後の生活環境に関して要望が多かった施策は、ほぼ平成 30 年度までの調査の結果と同様であり、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」に対する要望が高かった。
・また、防災・減災に関しても平成 30 年度までの調査結果とほぼ同様の結果であり、「食料・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」が重要施策としてあげられている。

＜教育・スポーツ・文化＞

・市が実施している学校教育、社会教育、スポーツ・文化などの振興に向けた施策に関する認知度は低く、学校教育に関しては、子育て世代の年代の方に着目しても認知度が低くなっているなど、年齢や地区にかかわらず認知度が低い状況が把握された。この結果は、ほぼ平成 30 年度調査の結果と同様であった。

・学校教育に関して今後に望む施策に関しても、平成 30 年度までの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」が上位にあげられていた。
・社会教育に関して今後に望む施策としては、「青少年の健全育成」、「生涯学習教育の指導者育成」、「各種講座・教室などの充実」が上位にあげられており、平成 30 年度までの調査結果と概ね同様の結果となっている。
・スポーツ・文化に関しても、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」、「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興」が上位にあげられており、平成 30 年度までの調査結果とほぼ同様の結果であった。

＜産業＞

・市で実施している産業振興に関する施策については、ロシア 200 海里内サケマス流し網漁が禁止になったことに加え、さんまの不漁が続くなどの状況下にあることから、平成 30 年度調査の結果と同様に、「漁業の振興」に関する施策の認知度は高い。また、買い物の利便性に対する市民の満足度が低いことから、商業の振興に関する施策の認知度も引き続き高かった。
・産業施策に関しては「水産業基盤及び生産体制の整備」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「観光開発、観光関連産業の育成」が平成 30 年度調査の結果と同様に上位にあげられている。
・平成 30 年度調査の結果と比較すると、ここ数年漁業の低迷が続く中、漁業振興だけでなく、観光振興に対する期待がさらに高まっている状況がうかがえる。

＜行政情報・市民協働・市民参画＞

・市で実施している行政情報に関する施策の認知度は、行政情報サービスで 3 割程度の認知度に留まっており、昨年度調査よりもやや低下していた。
・今後に望む行政情報としては、「道路交通・除雪・気象等の情報」、「文化行事・イベント情報」、「行政に関する総合的な情報」が高く、平成 30 年度までの調査結果と同様であった。
・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を問うた設問に関しては、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「清掃活動や花いっぱい運動」が上位であるが、「特にない」との回答も平成 30 年度調査の結果より多くなっており、市民協働の意識がさらに低下している状況が把握された。
・まちづくりへの参加方法に関しては、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」が多くあげられており、平成 30 年度までの調査結果とほぼ同様となっている。
・男女平等意識は 20%程度と平成 30 年度の調査結果とほぼ同様あった。

５．総合計画における成果目標及び総合戦略におけるＫＰＩの動向

現行の第９期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

ただし、総合計画でも目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成 23 年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成 26 年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査だけではなく、継続的に実施することによる傾向を把握することで、より適切な評価が可能であることに留意することが必要である。

従って、ここでは今年度調査の結果を含めこれまでの調査結果については前年度調査との比較を避け、第９期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度との比較を行った。

＜上昇指標＞

・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

令和元年度調査において上昇が確認された指標

・健康管理に努めている市民の割合
・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）
・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）
・健康管理に努めている市民の割合（60 歳以上）
・上水道の整備におおむね満足している市民の割合
・下水道の整備におおむね満足している市民の割合
・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合
・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合
・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合
・週１回以上スポーツ（運動）をする市民の割合

・市民の健康管理意識、乳幼児や子どものための福祉施設の状況、高齢者の健康管理・生きがい意識などへの評価が高くなっている。
・「おおむね満足している」場合は、「普通」の回答も含めることになるが、今年度調査は、昨年度調査と同様に満足度意識の設問で普通との回答割合が多くなっている。

＜減少指標＞

・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（１ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

今回低下（１ポイント以上）が確認された指標
・健康状態が良好と感じている市民の割合
・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）
・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合
・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
・郊外の森林景観について満足している市民の割合
・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合
・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

・評価指標が計画策定時から低下している項目は、概ね、医療関連、子育て関連、公共交通関連、買い物利便性関連となっており、これらの項目については、これまでの調査と同様に複数の設問に対する回答からも不満意識が確認されていることから、さらに一層の重点的な対応が求められている分野と考えられる。

・ただし、指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることから、今後の継続的な調査から総合的に評価していくことが必要である。

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくは KPI		総合計画	総合戦略	目標値（H32）	計画策定時の値		H28 調査	増減	H29 調査	増減	H30 調査	増減	R01 調査	増減
					調査年	値								
1	健康状態が良好と感じている市民の割合	○		45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	35.3%	▼	36.1%	▼	37.3%	▼
2	健康管理に努めている市民の割合	○		66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	73.5%	△	70.5%	△	71.8%	△
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	7.8%	▼	7.7%	▼	6.7%	▼
4	子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	○	○	30.0%	H25	7.7%	6.3%（注 2）	▼	4.0%（注 2）	▼	5.8%（注 2）	▼	6.1%	▼
5	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	4.3%	▼	7.3%	△	7.9%	△
6	趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60 歳以上）	○		65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	68.2%	△	62.4%	△	63.7%	△
7	町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）	○		55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	55.7%	△	50.6%	▼	58.4%	△
8	高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）	○		30.0%	H23	21.9%	8.0%（注 3）	▼	11.4%（注 3）	▼	10.7%（注 3）	▼	10.6%（注 3）	▼
9	健康管理に努めている市民の割合（60 歳以上）	○		75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	85.1%	△	86.9%	△	83.2%	△
10	上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	81.7%	▼	85.8%	△	86.7%	△
11	下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	77.3%	▽	83.8%	△	82.3%	△
12	公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○		44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	17.7%	▼	15.4%	▼	17.3%	▼
13	住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○		59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	37.7%	△	30.2%	▼	31.3%	▼
14	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○		28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	5.2%	▼	5.8%	▼	7.3%	▼
15	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○		74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	54.1%	▼	66.8%	△	71.6%	△
16	教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	43.4%	▼	65.0%	△	69.7%	△
17	スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○		60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	38.9%	▼	54.0%	△	59.3%	△
18	週 1 回以上スポーツ（運動）をする市民の割合	○		45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	54.1%	△	54.3%	△	51.9%	△
19	郊外の森林景観について満足している市民の割合	○		43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	34.8%	▼	24.1%	▼	24.1%	▼
20	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○		36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	14.2%	▼	13.7%	▼	16.9%	▼
21	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○		25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	15.1%	▼	14.0%	▼	15.4%	▼
22	まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	74.0%	▼	72.4%	▼	73.6%	▼

注 1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は 1 ポイント以上減少を示す。
注 2：分母を 20 歳代～40 歳代の子育て世代の回答。（ちなみに市民全体では H28：5.2%、H29：4.9%、H30：5.8%）。
注 3：現状値は 65 歳以上 6,578 名の回答に対し、H28 調査は 275 名、H29 調査は 268 名、H30 調査は 243 名。R01 調査は 284 名
注 4：網掛けは目標値を達成していることを示す

６．根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくためのＰＤＣＡサイクルを構築している。

ここでは、この効果検証の一環として、令和元年 6 月～7 月にかけて実施した市民意識調査の結果をもとに、昨年度調査の結果を踏まえ、市民意識の観点から根室市創生総合戦略の施策実施効果についての評価検討を行うものである。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し市民意識を整理した。

なお、根室市創生総合戦略においては、「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性を始め、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、移住者の受入など新しい人の流れを創造することを目標として、以下３つの基本目標が設定されている。

（1）住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
（2）住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。
（3）みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

６．１　基本目標別の政策評価の検討

（1）基本目標１　住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

a)出会い、結婚、妊娠、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
b)子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担の軽減
c)保育施設の整備と多様な保育サービスの充実
d)家庭と仕事の両立を図り子育てに取組む環境づくりの推進

1)子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、平成 25 年度に実施された計画策定時の市民意識調査（以下、計画策定時調査とする）の結果と比較してみると、平成 30 年度調査と同様に、不満と感じている市民が大幅に減少した。これは、アンケート調査において「普通」との回答割合が増え、不満とする回答が減少したためである。

平成 30 年度までの調査結果と比較すると「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」や「子どもの教育施設や教育環境」では、ともに不満と感じている市民の割合がやや低下し、満足と感じている市民の割合も増加する結果となっている。満足と感じている市民の割合が増加する傾向は、平成 28 年度調査結果以降 3 年連続で続いており、保育所や民間幼稚園の整備推進等の市の施策効果が現れているものと推察される。特に、「子どもの教育施設や教育環境」は平成 30 年度調査結果までは計画策定時よりも満足度は低かったが今回の調査ではそれを上回っている。

子育て・少子化に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

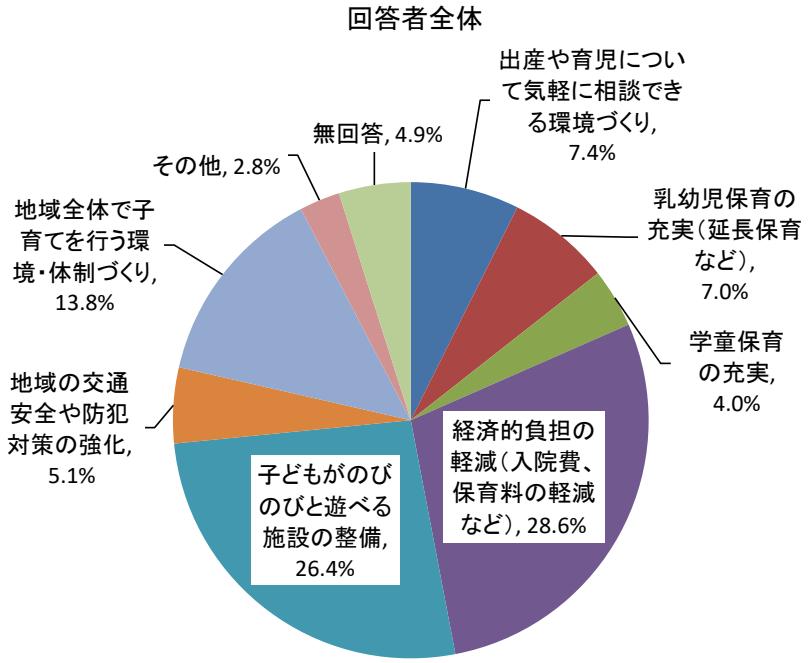
	満足						不満足					
	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減
「乳幼児や子どものための福祉施設の状況」について	7.9%	7.3%	4.3%	4.0%	5.8%	△	25.8%	28.9%	46.4%	47.8%	45.5%	▼
「子育ての環境や支援制度」の状況について※	6.1%	5.8%	4.9%	5.2%			28.1%	31.1%	42.1%	41.6%		
「子どもの教育施設や教育環境」について	5.9%	4.2%	4.1%	4.7%	5.4%	△	25.7%	29.8%	46.6%	42.8%	43.3%	▼

注：※は平成28年度調査から追加した項目
：増減は計画策定時に対する増減を示す
：△は満足または不満足が高まったことを、▼は満足または不満足が低下したことを示す

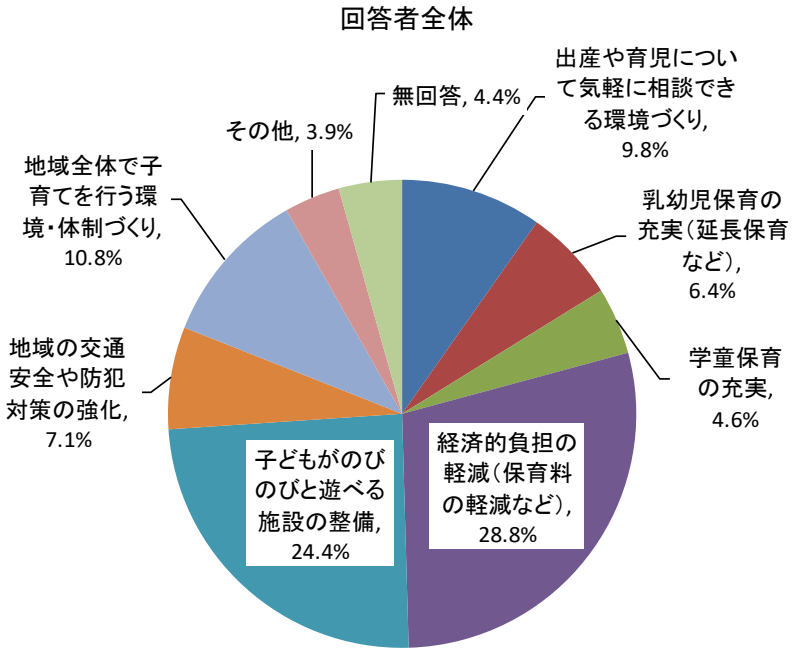
2) 子育て・少子化について重要だと思う施策

次に、子育て・少子化について重要だと思う施策についてみると、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」と「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が特に多く、平成 30 年度調査の結果と同様であった。

＜令和元年度調査の結果＞



＜平成 30 年度調査の結果＞



3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、経済的支援に関すること、託児機能に関すること、子どものための全天候室内施設に関することが多いことは平成 30 年度調査の結果と同様であった。

今回の調査では、さらに、幼児虐待への対応、幼児教育における地域教育のあり方など、近年の社会情勢を反映した意見もみられた。

その中で最も多い要望が、悪天候時や冬期でも子どもを遊ばせることのできる全天候型の施設であった。

＜子育て・少子化対策に関する意見＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
40	小学校の子どもがいますが、所得があるということで医療費の給付を一昨年から切られました。アレルギー体質ということもあり、薬を定期的にもらいに病院に通っていましたが、一度通院するだけで診察料、薬代含め約１万円もかかり定期通院しなくなりました。自然と足が遠のくというか、子供が風邪をひいたり少しひどくなってからついでにという風になってしまいました。 所得があるといっても漁師は月ごとの収入に波があります。私も働いていますが家の手伝いが主です。せめて小学校の間だけでも所得関係なく医療費の給付が受けられると良かったです
20	＜子育て支援について＞ 子どもが遊べる施設に保健センターを併設する。そこに保健師さんなどがいれば、子供を遊ばせながら相談したり、様子を見てもらえる機会になると思いました。土日も開放することで子育て支援の充実になると思います。
30	現在妊娠中なのですが、赤ちゃん用品やマタニティ用品がほとんど売っていなかったのが残念です。子供産む対策などもっと優しい根室市であってほしい。これから出産・子育てなので、何かと良い情報は欲しいです。
40	北斗小学校の児童玄関の天井がカビだらけです。身体に悪そうなので、修繕してもらえないでしょうか。
30	・睦の園幼稚園の建て替え支援、他の幼稚園も経済支援あるのでしょうか。
30	子ども向け屋内遊戯施設内に一周 333mか 400mか 500mのランニング（ウォーキング）コースを作ってほしい。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
40	・子ども達が遊べる場をもっと増やした方が良いのでは。ゆめの森公園みたいな場所もあっても良いのかと。幼稚園にふるさと納税を使用するのであれば障がい児や高齢者の施設を一つでも多く、ふるさと納税で増やしてほしい。（子供たちの遊べる場も）
40	学校給食について 量が少ない日が多く子供がおなかをすかせて帰ってきます。もし給食費未払いの家があり予算が足りないのであれば子ども手当から天引きするようにして全員から代金を集め、量を増やしていただきたいです。味は良いと聞いていますので中身の見直しをお願いしたいです。
30	子育てしやすい町をつくってほしい。遊び場、病院全てが足りない。
65-74	若者や子育て中の若い夫婦など休日に子供と一緒に楽しめる所が無いのが残念です。中標津町のゆめの森公園など、子供と楽しめる場所がなく、釧路などに買い物がてら出かけることが多いです。大きなことは望みませんが、根室にも親子で楽しめる所が欲しいです。
20	子ども達が遊べる施設があると良いと思います。中標津のゆめの森公園が良いです。根室は室内で遊べるところがありません。
40	・子供の遊び場、作ってほしい。公園も少ないし、遊具も中標津や標津、別海に負けている。
18-19	・安心して子供が産めて育てられる町になってほしいです。 ・市がしている事、頑張っている事をちゃんと伝える方が良いと思う。調べなければ知る事ができないのなら市民は知る事はありません。わざわざ調べないので積極的に発信してください。知らなければ何もしていないと思って不信感につながります。頑張っている事は頑張っているといった方が良いです。
30	保育・教育について 小さいうちから様々な体験をさせたいと思っています。根室ならではの水産（漁業）体験や農業体験等々、実際に目で見て体験してそこから何か感じてもらえるような行事を行ってもらいたいです。少子化になり、市内の子供の数も減っていますが、少人数だからできるようになることもあると思います。前例にとらわれず、様々な方向性を探ってもらいたいです。
30	子どもの遊ぶ施設を充実させてほしい。
30	・４月に引っ越してきたが、３歳の娘を連れてくる場所ではなかったと後悔している。ファミリーで楽しめる施設が少なすぎるし、一年のほとんどが寒いのに、なぜ公園ばかり整備するのでしょうか。根室の様な寒い土地こそ中標津ゆめの森公園のような屋内型の施設が必要なのでは。冬になったらいったいどうやって過ごせばいいのですか。
75	・明治公園を安心して散歩できるようにしてほしいです。今のままでしたら怖くて歩けません。 ・若いお父さん、お母さん達が中標津に出かけなくてもいいように根室の街も何とか知恵を出して頑張って下さい。
40	・子どもの医療費は中学生、高校生も無料にしてほしい。給食費の無料化。
40	・子ども達が安心安全に遊べる空間を。まず、早急に行って頂きたいことは、運動公園の河川敷の整備。とても危険でなおかつ、雑草だらけで近づく事もできない。
30	・自然がたくさんあり、子育てをする環境としては良いと思う。しかし、今の世の中、夫婦共働き世代が多いので、フルタイムで働くと、平日 15：00 までしか開いていない病院への受診が難しい。せめて 18：00 まで開いていると助かります。（耳鼻科や皮膚科） ・市内の公園には、乳幼児が遊べる遊具がないので、小さい子供でも安心して遊べる遊具を設置してもらえると、もっと小さいうちから外で遊ぶ機会が増える。 ・大変だとは思いますが、働きながら子育てをしている方々が、もっと住みやすい、今後も住みたいと思える街になるとうれしいです。
40	小中学生で不登校の子どもが多いと思います。家庭だけの問題とせず、教育現場や子どもの学力、環境、背景など対応しきれているのか不安に思う。学校へ行かないのはどうしてなのか。子どもの目線や立場など考えてくれる相談員、カウンセラーを増員したり、育成するなどの対応が根室市には足りないように思う。高校が一つである今、学力の向上とともに、心の成長、社会性を身につける教育が根室市には必要ではないかと思います。
40	根室市には、子供たちが遊べる施設、公園がないと思います。中標津のゆめの森公園の様な場所があれば、根室市以外からも人が集まり、なおかつ子供を作ろうと思う親も増えていくと思います。とにかくなにもイベントもないのに、人が集まる施設や場所があればもっともっと根室市が盛り上がっていくと思います。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	公園の遊具をもっと充実させて、子供が外で体を動かせる環境を作ってほしいです。
18	最近、小さな子供が被害を受けるニュースが多いので、もっと子供に気を使い真面目に取り組んで欲しい。これ以上悲しむ子供が出ないように。
40	・女性が働きやすい町に。子供育てたり、介護したりと色々役割がある中で 24 時間預かり保育してもらえる場所ができるといいと思います。 ・子育てが優しい町に。全天候型施設（中標津のゆめの森公園のような） ・大人にも優しい町に。全天候型ウォーキング、運動公園が施設になっている感じ。 ・健康な町。食・運動・景色・湯治など充実している施設で、観光客・地元の人が娯楽出来るところがあると良い。
40	小学校までの部活動が強くて盛んなのに中学へ行くとレベルが落ちる。その中に金の卵がいたとしても根室では育たない。育てられない。結局、高校は地方へ。 意味がない。根室のスポーツ、プロ選手になれるような子を育てる教育をしてほしい。根室から全国大会など出てほしい。もっと根室を知ってもらえる事をしてほしい。
65-74	・中標津のゆめの森公園までいかなくても、子供たちが遊べる施設（雨の日でも遊べる）を早く作ってほしいと思います。
30	・私はまだ小さな子供がいます。実家も根室ではないので、親からの助けはありません。夫婦ともに働いています。今は幼稚園が朝早くから夜遅くまで預かってくれているので働けていますが、小学校に入ったらきっと働けないと思います。放課後教室も 17：30 までで、特に夏・冬休み期間は 8：30～しか開かないと聞きました。とても仕事ができる時間ではないです。7：00～19：00 位までに変更してください。 ・市民の意識や考え方が低くてびっくりします。立場や位が上の者に対しての態度のひどさにびっくりします。また、家族以外の出しゃばり方にも。節度がなさすぎる。 ・交通の便が悪すぎです。バスの本数も少なすぎて、子供は部活もできないです。車がない家の事を考えて下さい。 ・歩道が狭くて危ない。車のマナーも悪く、歩行者優先になっていない。一時停止できない車多すぎです。
60-64	小学生のうちから、地域の施設や企業に体験学習ができる機会を増やし、交流と共に実践することによって、個性や能力開発のチャンスや喜びを味わってほしいです。高齢化している受け入れる側のモチベーションアップにもつながると思います。
30	子育てに関しては、小さな子供に目が行きがちですが、もう少し大きな子供達にも支援的な目を向けてほしい。子育てと言えば、小さな子供達ばかりですが、中学生、高校生等の子供達にも何かあれば良い。 中学校を卒業したら児童手当がもらえないが、実際は大きい子供たちの方がお金はかかる。お金がかかるというか何をするにも金額の負担は大きいと思う。 中学入学時にかかる制服やジャージ、指定靴にかかるものを一部行政が支援してくれるだけで親達は助かります。 高校も入学金や制服、ジャージ、教科書等色々かかります。その一部だけでも支援があると気持ち的に助かる方が多いのではないでしょうか。 乳幼児カードも小学生卒業までは、早くないですか。 子供が多い家庭ならなおさら医療費負担が大きくて、病院へ連れていく事も躊躇してしまいます。ただの風邪だからと病院へ行かないこともあるのでは。色々と大きな子供達は支援が、小さな子供達に比べ少なく感じてしまいますが、お金がかかるのは赤ちゃんや幼稚園児・保育園児だけではありません。 大きな子供達の方が一つ一つにかかる負担がかなり大きいです。

②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期再開はじめ医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成 29 年 4 月に市立根室病院で 11 年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

1) 周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、満足と回答した市民の割合は計画策定時に対して 3.7 ポイント減少し、平成 30 年度調査の結果よりもさらに低下している。

ただし、不満とする市民の割合は、平成 30 年度調査の結果よりも低下しており、不満意識はさらに緩和している結果となっている。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

	満足						不満足					
	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減
「病院などの医療機関の状況」について	6.6%	7.7%	7.8%	6.0%	10.3%	▼	55.1%	55.7%	64.1%	69.5%	61.9%	▼

注：増減は計画策定時に対する増減を示す
：△は満足または不満足が高まったことを、▼は満足または不満足が低下したことを示す

2) 医療環境についての自由意見

平成 30 年度調査における自由回答としては、小児科の充実、第 1 子出産への対応、難病児への対応及び市立根室病院における医療サービスの改善等に関することが多かった。

また、市立根室病院における医療関係者の患者に対する対応などへの不満も少なからずみられていた。

今回の調査の結果では、産婦人科だけでなく各診療科目における医師・看護師等のスタッフの充実に対する要望が多かった。

また、小児科に関する意見に加え、今回の調査では高齢者医療の充実に対する意見も多かった。

＜周産期医療と小児医療体制に関する意見＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
40	小学校の子どもがいますが、所得があるということで医療費の給付を一昨年から切られました。アレルギー体質ということもあり、薬を定期的にもらいに病院に通っていましたが、一度通院するだけで診察料、薬代含め約１万円もかかり定期通院しなくなりました。自然と足が遠のくというか、子供が風邪をひいたり少しひどくなってからついでにという風になってしまいました。 所得があるといっても漁師は月ごとの収入に波があります。私も働いていますが家の手伝いが主です。せめて小学校の間だけでも所得関係なく医療費の給付が受けられると良かったです
20	根室市は釧路市の医療に依存していると思います。小児科、外科など何かあれば釧路を紹介されますが、とても大変です。急性期病院として機能していないと思います。 そしてもっと回復期を増やし、リハビリなどを積極的に行っていくことで、要介護状態を予防できると思います。そのためには、病院自らが現状の課題と向き合う事が必要であると考えます（医師不足なのは分かりますが)。
75	・高齢者が大変なのは医療機関の制度です。出張医が来てくれなければ、ぞっとします。全国的に医師不足も理解してます。道内もそうです。しかし根室人はほとんど釧路・札幌へ通院、旅費も大変です。今後いったいどうなるのでしょう。治る病気も治らず苦しい。
20	・医師の充実、地方（釧路）に行かなくても良い病院作り。 ・医療・福祉の充実（安心して根室で暮らすため）
30	眼科、皮膚科等の個人病院が少ないというか無い。市立病院での待ち時間を考えると気軽に診てもらいに行けない。子供連れで行くとなるとなおさら行きづらい。
40	・不妊治療の専門外来を作る。釧路帯広にもあるが、札幌までいかないと満足ではないようです。
40	・子どもの医療費は中学生、高校生も無料にしてほしい。給食費の無料化。 ・医療機関、専門医の確保
65-74	・市立病院の医師充実、常勤医が居なくて出張医が多く、週に 2 日程度の診察で、そのたび先生が変わり、安心してみてもらえない状態です。特に整形は手術や急を要する患者がいても対応できず、助かる人も手遅れ状態か。釧路までいかなければならず、病院としての役目をはたしていないと思います。これは他の科も同様です。これからは高齢者が多くなり、心臓、脳等早期の手当てが必要となってきます。専門医の確保を早急にお願いします。
30	市立病院の小児科、少しでも症状の重い子は釧路や札幌などへ転院させられて、診てくれない。医師同士のやり方、意見の食い違いで患者や家族が惑わされています。子育てを安心してできません。大きい病院のある街へ住みたくなります。
30	・根室で出産をやらなくても良いのでは。何かあった時に危険。 ・産後１か月検診は釧路までいかなくても良いようにしてほしい。検診に行っても知らない医師だし意味がない。根室で十分だと思う。とにかく行くのが大変。
30	・難しいかもしれませんが、やはり整形外科の医者 2 名確保を頑張ってもらいたいです。
65-74	・市立病院の医師充実、患者さんの評判の良い先生などの待遇を良くして長く根室で活躍していただくように努力して下さい。

（３）基本目標２　住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け以下の経済・雇用対策が推進されている。

a)労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
b)ＵＩターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
c)商工業後継者の不足に伴う事業継承のための支援等の充実
d)農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
e)産学官金の連携及び農商工連携と６次産業化の促進

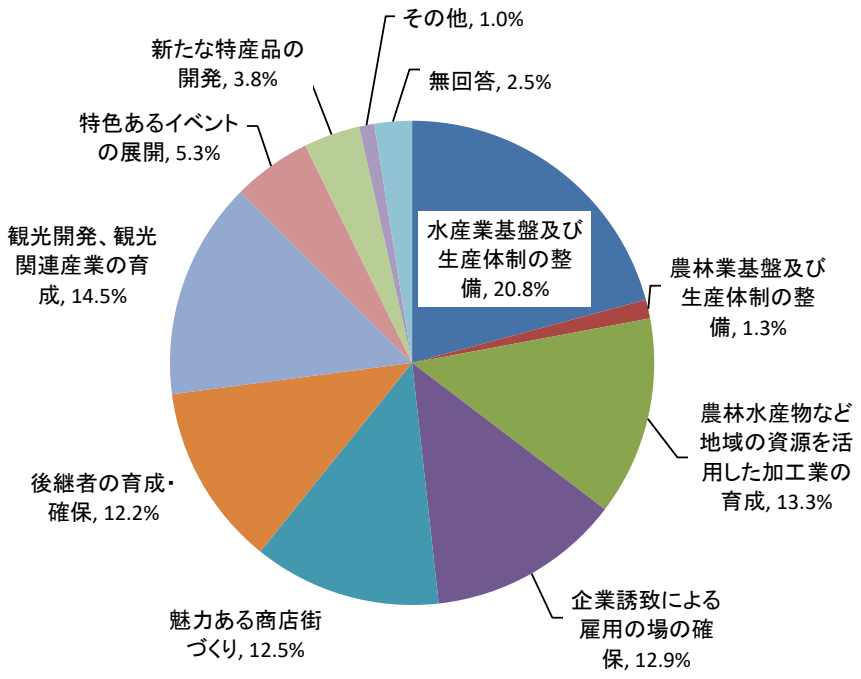
1) 産業振興について重要だと思う施策

根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高くなっている。この結果は平成 30 年度調査の結果と同様であった。しかし、これに次ぐ施策には「観光開発、観光関連産業の育成」があげられており、「企業誘致による雇用の場の確保」や「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」を上回る回答率となっている。

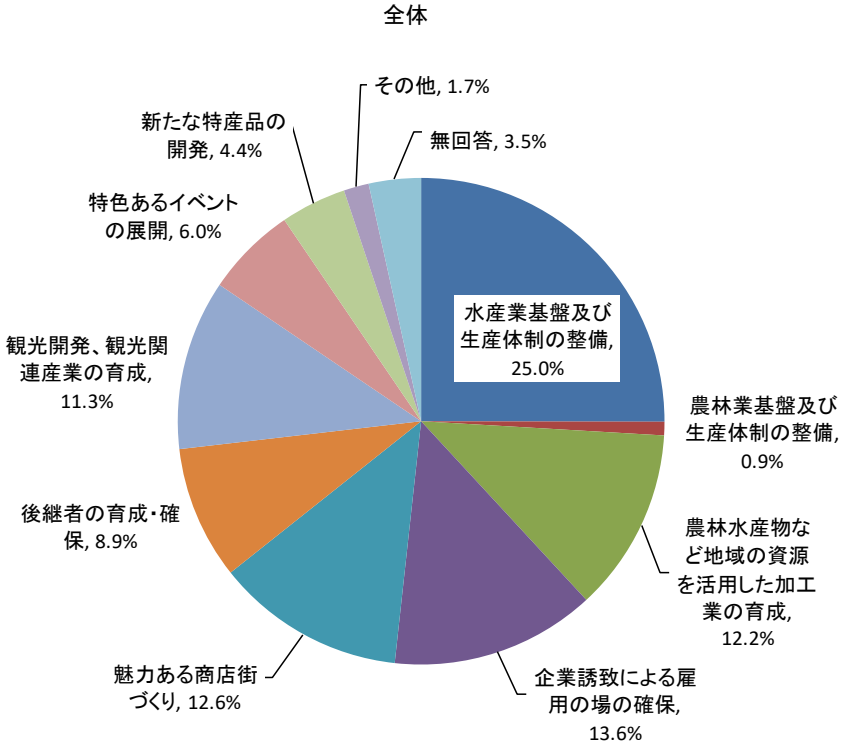
ロシア 200 海里内サケマス流し網漁が禁止になったことに加え、サンマの不漁などの影響は、今年度も同様であり、引き続き「水産業基盤及び生産体制の整備」に対する市民の関心が高くなっているが、漁業や水産加工業だけに依存するのではなく、観光振興にも多くの期待が寄せられている状況が伺える。

＜令和元年度調査の結果＞

全体



＜平成 30 年度調査の結果＞



2)経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から経済・雇用対策に関する意見をみると、近年の漁業や水産加工業を取り巻く環境の厳しさを反映して、これら産業の振興を望む意見に加え、水産だけに頼らない新たな産業振興に対する意見も多くみられた。

具体的には、観光関連産業に加え、企業誘致への期待が多くあげられていた。

しかし、一方では将来の根室経済の振興に向けた産業施策のあり方も難しさをあげる意見も多かった。

＜経済・雇用対策の推進＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
20	商業施設の充実（総合デパート、若者が遊べる場所、スポーツが気軽に大勢の方ができる場所、商店街の活性化など）、職業の充実（様々な職業を選ぶことができる）が人口減少を防ぐには必要かなと思います。 地域がもっと活性化すれば、給料のアップにもつながると思うので、とても願わしいです。
20	・能力の高い人材を求めている割には、教育にお金をかけていない町だと感じています。Ｉターンを望めないので、Ｕターンを期待するしかないと思います。中高にもっと手とお金をかけてあげたらいいのでは。
75	・現在の根室市の水産業が大変な事は十分理解しています。海の物が捕れなければ全ての人達の生活に影響し、水産業に携わっていたものは次から次へと倒産。結局は年金に頼るほかないです。年金だけじゃ生活できないのが現状。毎日が大変と皆の意見です。ふるさと納税の使い方も高齢者、子供達、母子家庭への生活支援、帆立加工業者ばかりじゃなくそちらの方へも向けてはいかがでしょう
20	職業の幅が広がれば良いとは思いますが、現実的には厳しいと思います。最低限、給与や雇用の安定と休日や連休をある程度確保できなければ、住み続けようとする若者は少ないと思います。
40	・第一次産業である現状の漁業を否定はしませんが、他の産業（企業誘致：事務所だけではなく工場も含む）の整備

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	が実現できれば人口増に繋がるのでは。
65-74	・漁業だけに頼らず寒冷地でも作れる野菜等、根室の特産品として育てる第三セクターを作って多くの雇用につなげ、人口減少を食い止め若者が住みやすい根室になってもらいたい。
30	・根室産の水産物は、本州でとても評価されている。根室産というだけでブランドになってきている感じがする。
30	・漁業・農業後継者を育てるために資格取得への経済支援など
20	・水産業では、高齢の漁師には医療支援を、若く子育てをしている漁師の家庭には生活支援を今まで以上に手厚くすることが大事だと思います。また、加工業の労働者を保護し、繁忙期の賃上げはできないのでしょうか。
50	頑張れ根室！
18 以下	・第一次産業の漁業、魚や昆布が採れなくなってきて漁業をやっている人は生活が苦しいと思います。それを踏まえた環境作りも対策をお願いします。根室市がこれから発展していくのを心から期待しています。
60-64	まちづくりは経済が循環しないと人口減少に拍車が係り、過疎化が進み、福祉、子育て等生活環境の充実は困難となる。
20	・根室は第一次産業の町です。水産業も漁獲量も減少し、人口も減少し、酪農家の後継者不足もあり、色々な所で減少傾向にあると思います。
65-74	人口減少に伴い、商店街がシャッター通りとなり、子供達も高校卒業と共に流出し、淋しい限りです。企業の誘致、観光客の案内などを充実させて少しでも若者が根室で働きたいと思う街づくりを目指してほしいです。 授業の一環として根室の名所・歴史などを教えて、将来根室のためにと思う人材育成を教育の中で取り入れてほしいです。
75	根室市は戦後、人口が 5 万人近くになったこともあったが、現在人口は半減し、水産都市根室と言われているが、水産物の水揚げ量は年々減少しており、危機感を募らせております。 炭鉱の町空知のようにならないよう、施策を講じていただきたいと願っております。今回の調査の中で、北方領土に関する事項がなかったのは残念です。
50	水産業、漁獲量で根室市民たちは、生活がなり立っている。今のままでは本当に未来は先細りのように感じます。人口減少にどうやって歯止めをかけられるかが市政の課題です。
65-74	第一次産業振興事業に対する市負担金の増を図り、事業実施率を促すべき。
65-74	少子高齢化が一番の心配事です。人口流出を止められないのは、働く場が無い事が最大の事由と私は思います。企業誘致もここ何十年もままならないのでは。官民一体で何らかの事業を起こせないものでしょうか。経済団体もしっかりしてほしいと思います。（努力している姿勢が私には見えません）例えば「ワイン城」の池田町のように、あるいは大規模な水族館やレジャー施設など（夕張市のようにならないように慎重さが必要ですが） 幸いに「ふるさと納税」の寄付額が好調ですが、いつまで続くとは限りません。財政的に今が良い機会ではないでしょうか。ともかく、人口移入も含め、人口増加に特化して知恵を出さなくては、大好きな根室はゴーストタウンと化してしまいそうです。そのための税負担が増えるのであれば喜んで受け入れます。
40	ニトリが市内にできるかもと話を聞きましたが、地元会社の反対があり、ダメになったとの事。新しい物を取り入れていかないと、街は活気づかないし、変わらないと思う。 地元会社も新しく入ってくる会社も共存できる街づくりが必要ではないでしょうか。市で行っている健診等も情報をどこから取り入れたらよいかわからない。今までの市町村は、家に郵送されてきたが、今回はまだ来ておらず。
65-74	現状の根室は、水産業の停滞と人口の急激な減少、このことが根室の将来に向けた一番の課題と思います。 水産業については、種々対策対応をしていることは少し理解するが、人口の減少は市民生活の基本に一番影響がある事なので、早急な対策の実施をした方が良いと思います。
30	・魚が捕れないと水産加工場の仕事がなくなります。左右されない食料品などの工場を誘致して、加工場以外の働き場所があるといいです。
65-74	・積極的な企業誘致をお願いします。
40	人口が減ってきて、商業を中心に不便になってきている現状がある。そのため企業に進出（企業誘致）してもらい、減少を食い止めてほしいです（厚床の明治も撤退するので何とか残ってほしいです）
18	市内をもっと活気溢れるようにしてほしい。例えば有名なコンビニや色々な店を建ててほしい。
65-74	・本アンケートで、根室市もいろいろな分野で力を注いでいる事がよく分かりました。今後も市民目線で頑張ってく

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	ださい。 ・当地は人口減と産業の衰退が市の財政を悪化させていると思います。北方領土問題の一般市民の意識調査がほとんど行われていないように思います。70 年以上も本問題に関わっている人達の努力には敬意を表しますが、この期においては返還運動もパフォーマンスにしか思えません。国の問題でもありますが、当地の事を考えると、ロシアとの友好を進めて交流、経済活動にシフトしていかないと、生きる道が無いように思います。引揚者の方々はわかりますが、それ以外の市民の北方領土問題に対してどのように考えているのか意識調査をしてみてほしい。他の人は理想論は言うが、現地市民は本音でどう思っているか。現実的に、正当論ばかりでは少しも動かないように思います。市民の総意を知りたい。漁業と観光で全体を引き上げなければ根室市に活況力が出ないと思います。返還運動を口実に国会議員と同じく税金を使って観光旅行に形骸化させぬようにしてください。

②交流人口の拡大（市民意見）

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

a)長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進 b)世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、昨年調査の結果と同様に観光振興に関する意見が多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

具体的な内容としては、特に意見として多かったのは、自然、水産資源など根室市が有する資源の有効活用である。多くの資源を有効に活用されていないという指摘が多い。特に、道の駅の有効活用に対する意見も多くみられた。

また、根室の観光のＰＲに対する意見も多かった。ＰＲ不足のほか、ＰＲ方法に対するアイデアも多く寄せられた。特に、ＳＮＳを活用した展開など、新しいアイデアもみられている。

こうした観光ＰＲに関しては、早期に取り組むことが可能なテーマであることから、関係機関の連携による具体化が望まれる。

一方、観光客の受入としての宿泊機能に関しては、近年根室市が抱える課題の重要テーマのひとつでもあることから、経済界を含めた継続的な検討が重要である。

＜交流人口の拡大＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
50	色々な自然があるのに、有効活用していない。ふるさと納税で収入があるうちに、温泉施設を作るべき。観光客が素通りしていくのは温泉施設が無い事が一番の理由だと思う。市内の中・高生がカラオケしか遊べるところがないと言っていた。小規模でよいので、スポッチャやラウンドワンの様な安価で体が動かせる施設があれば、子供だけではなく、中高年も利用する人は多いのではないか。
40	根室市は閉鎖的な町なので観光業に力を入れるべき。また来たいと思う町づくりを目指してほしい。
40	夏はそれほど気温が上がらない根室の風土を生かし、避暑地としての町のＰＲ等に力を入れるべきでは。少しでも外資を獲得する事が根室を豊かにすると思う。 ふるさと納税に頼りすぎてはいつか破産的ダメージが来る。
30	根室はおいしい食べ物や野鳥、史跡等たくさん魅力があると思います。これらを生かして、観光地としてもっと「根室」をアピール出来たらよいと思いました。他地域を見ても根室は宿泊施設があまり良くないように感じます。（部屋の清潔感、宿泊料など） 地元の特産品についてもう少し知識や関心を持ってほしい。根室人でも花咲ガニのシーズンを知らない人がいてびっくりしました。 世界的にもいろいろな野鳥が集まる場所は珍しいので、もっとイベントなどができれば日本人だけでなく外国人も根室に来てくれると思う。 「根室」は最東端なので、「旅行のついでに寄る」という気楽に来てもらえる街ではないと思います。なので、根室の特色を生かした観光地としてアピールをしてわざわざ「根室に行く」という人を増やせば良くなっていくのではと思いました。
30	・道の駅の影が薄い。じゃらんの道の駅ランキングに入るようなグルメをもっと強化してほしい。せっかく施設はきれいなのにもったいない。 ・納沙布岬の施設を整備して道の駅にしてはどうか ・ホテルが高い割に古いので、ドーミーインや東横インなどのチェーンのホテルがあればよいと思う。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
65-74	観光バス、マイカー等で、根室を訪れる観光客は、市民が思っている以上に来ていますが、どうしても素通りが多いのは、仕方がないので、先日、テレビでも放送された根室半島チャシ跡群等、お城 20 選です。私も何年も昔に行ったきりですが、整備、アクセス、その他、観光資源がいっぱいあるので。 大変でしょうが、大いに活用してほしい。
20	平成 31 年から根室に移住。6 月半ばの肌寒いのが慣れず、永住したいとは思えない。根室市というネームバリューと裏腹にこじんまりした街並みに衝撃をうけました。しかし、多くの大自然が残っているのは素晴らしい。森林や湿原が広がり、根室が自信をもって誇れる特色だと思います。 生物の多様性が高く、小学生を対象とした自然観察会を行うのはどうでしょうか 湿原で昆虫・小魚を採り、原生の植物を見るなど環境教育を提供するのが良いと思う。ほぼ手つかずの自然環境がどれほど貴重で、守っていく意味を理解し、外部へ発信してもらえれば、根室の魅力を知った自然愛好家がもっと訪れてくれると期待しています。
30	観光客が増えてくると良い。もう少し観光名所になるような街にしたい。
18-19	根室市の観光名所である納沙布岬ですが、その近くにあるオーロラタワーがやっているのかわかりづらいと思いました。隣には廃墟もありとても入りづらく感じます。良い建物があるのにもったいなく感じます。もう少し観光名所にお金を使ってもいいと思います。
30	根室は景色や野生動物を撮影するのに訪れる方がいっぱいいます。そのために撮影場所やルールをきちんと設ければ根室に来る人も増えると思います。根室の自慢は景色と動物で、そのための環境は整っていません。
65-74	キャンプ場の整備。明治公園の近くにキャンプ場があれば国道から離れていて静か。最近は宿を利用するというよりも車中泊、ライダーの方が公園の駐車場を利用しています。しかしキャンプ場ではないので隅の方にテント張っている人がいる。
40	・観光については、根室の良さを今後も継続的に行ってほしい。また、観光施設については冬期間の除雪、出来ないのなら、HP、パンフレットに掲載する。ねむろバードランドフェスティバル、釣大会等、根室らしさを前面に出した企画を今後も続け、増やしていけたら。根室は観光地としては魅力ある街だと思うので周辺施設の整備（駐車場や遊歩道や落石岬等（幅が狭く危険））が必要。宿泊施設のサービス（設備の充実、コインランドリーがないホテルがある）も併せて必要と思います。
30	根室にはおいしい物や面白いイベントがたくさんあるので、それをもっと宣伝してもらいたいのと、宿泊施設をもっときれいに、また泊まりたいと思えるように整備して、根室市街から観光客が来てもらえるようにしてほしいと思う。そうしたら、活気づくと思います。
40	・イベントについて。根室管内の羅臼町では特産である羅臼昆布をＰＲするために「こんぶフェスタ」というイベントを開催しており、別海町では乳製品をＰＲするためのイベントも開催。ぜひ根室市も何か特産を生かしてイベントを開催し、市内外からたくさんの客が来根し、根室の特産を、根室市を大いにＰＲする場を作っていただきたいです。
20	・水産業と観光業は根室市の両輪であると思います。 ・観光業ではまず観光地の設備の清掃が行き届いていないのではないでしょうか。また観光地へ続く道路のごみも目立っているようです。来根される方のため、市として呼びかけ、清掃ボランティアの主催を行うのはいかがでしょうか。さらに、観光で大切な接客についても、地元寄り地元中心の様な気がします。市の主催でマナー講座、接客講習などを開催してはいかがでしょうか。 ・街の景観について、各所で太陽光パネルが設置されていますが、自然の景観を損ねないよう対策が必要だと思います。
40	高速道路が整備されれば、病院にも行ける、買物にも行ける、水産物の流通が盛んになる、観光客も増える。
40	・最東端のとがった魅力が根室にはあると思うので、道外の、本州の、力のある市場調査会社に委託するなどして、魅力の掘り起こしをされるべきと考えます。 ・根室の人が根室にいながら（又は北海道内を基準に）考えるだけでなく、日本全体の中で、根室に寄って、それから近くの空港から帰路につくような流れを作っていただきたいです。 ・碓氷勝三郎商店の酒蔵を、もっと見学者の受け入れや、試飲コーナー、土産の販売など、「北の勝」を起爆剤に観光を作るのは難しいのでしょうか。何もないわけではない根室にあって、増毛の「国稀」のような売り出し方を見るにつけ、悔しい気持ちがあります。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	せっかく納沙布岬への観光客が多くいるので、もっときれいな土産店や地元料理の市場、レストラン等を整備して、魅力ある観光地にしていったらいいと思います。
30	東根室駅をもう少しきれいに整備してはどうか。せっかく遠くから観光客が来てもあれではがっかりさせてしまうだけ。二度と来ないと思う。もう一度来たいと思ってもらえるよう、草を刈るなどした方が良いと思う。
30	緑の自然が魅力的な根室の街ですから、そこをいつまでも大切にする根室であってほしいです。
65-74	味覚観光都市宣言で多くの観光客が根室を訪れてとてもうれしく思っています。毎年この時期になると残念に感じているのは、国道わきに雑草が多く生えていることです。どうにかなりませんか。他の地方都市には見られません、皆、整備されているように思います。整備して、観光客を迎えたいものです。
65-74	・観光スポットの案内標識を充実する。 ・観光スポットの整備・草刈はボランティアを募る。 ・観光スポット全てに散策路を整備する。→根室十景の遊歩道整備・充実
65-74	・官民あげて特産品を開発するとともに、水産の町の水産品の付加価値をより一層高める努力が必要であろうと思う。 ・水産品を求め、隠れた豊かな自然を満喫するために訪れる観光客の足を確保するための鉄道と道路整備が重要であると考えます。
65-74	観光客が長く根室に滞在するように、大きい海鮮市場があればそこで焼いて食べたり買物したり出来ると思います。
30	観光客の路上駐車がひどい。春国岱付近のバードウォッチングなどの車のための駐車場を作ってほしい。あと、スキー場を作ってほしい。

（３）基本目標３　みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

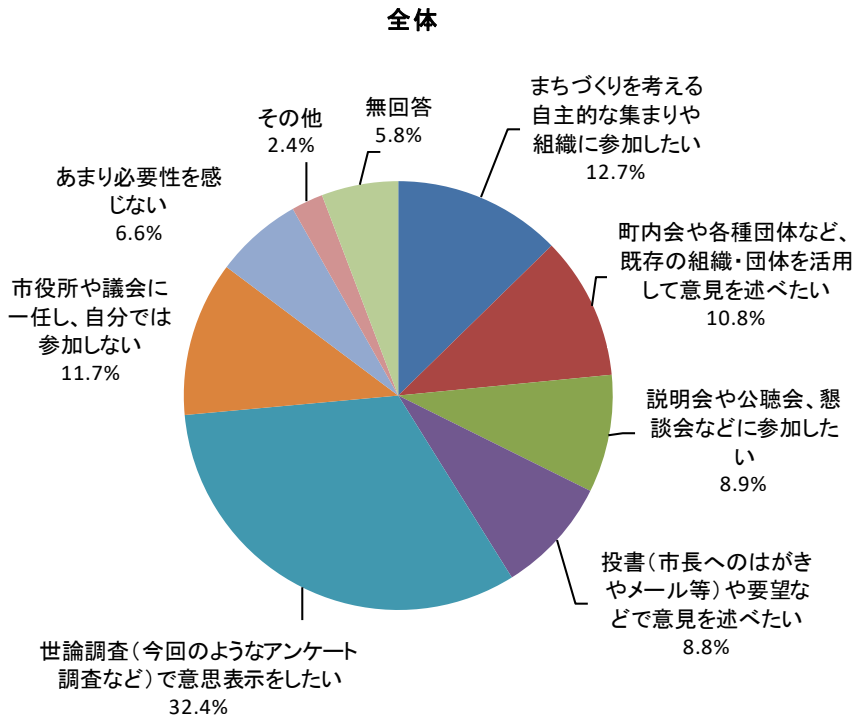
a)市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援 b)コミュニティ活動を牽引する「まちづくりコーディネーター」などの育成

1)市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

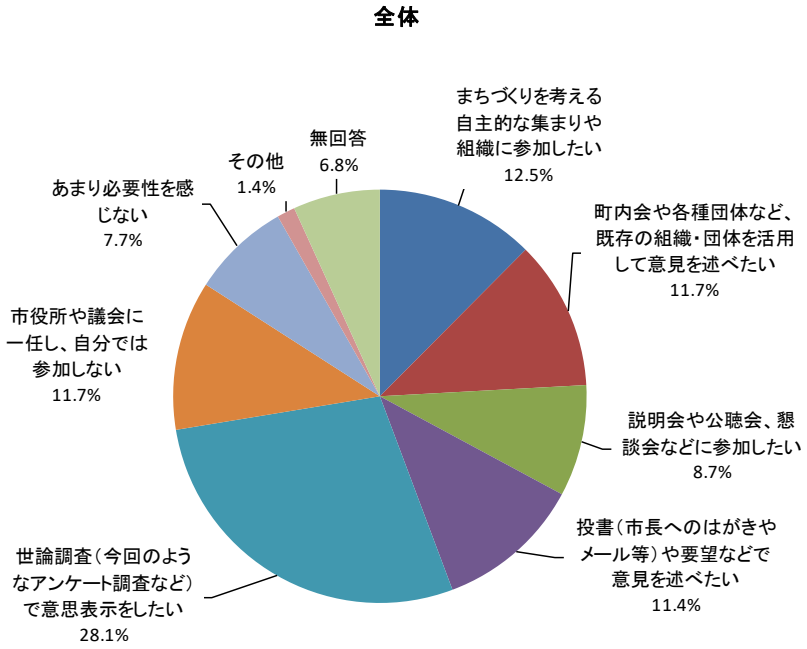
今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、昨年度調査の結果と同様に「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」、といった要望も今回調査でも多かった。

また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は 73.6%であり、昨年調査の 72.4%を上回ってはいるものの、29 年の 74.0%、28 年度調査の 79.3%と比較すると低下している状況が伺えることから、市民の参画意識の醸成はもとより、市民の意見や要望の施策への反映のあり方などを検討することは引き続き重要な課題と考えられる。

＜令和元年度調査＞



＜平成 30 年度調査＞



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、大きく、行政情報に関する要望、ボランティア活用のあり方、市民参加のまちづくり、地域活性化へのスポーツ振興のあり方に関する意見にまとめられる。

行政情報に関しては、災害情報やイベントなどの情報提供に対する要望などがあがっているが、すでに市で実施している行政情報サービスが知られていないことも要因と考えられるため、こうした事業の周知及び内容の検討が必要と考えられる。

ボランティア活動のあり方に関しては、ボランティアのものと、有償のもののあり方を問う意見が見られた。

まちづくりへの市民参加のあり方としては、昨年までの調査結果と同様に、市民意識調査の結果でもみられたようにアンケート等により市民からのアイデアや意見を募集する方法のほか、民間企業の活用・連携、市議会議員への期待に対する意見がみられている。

また、市民の意識の持ち方に対する前向きな意見など、まちづくりへの参画意向もみられているなど、市民の意見、要望を汲み取り、どのように反映していくかといった仕組みづくりが求められているといえる。

また、今回調査においては、特にスポーツ振興の重要性をあげる意見が多かった。

＜コミュニティの維持・活性化＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
40	アンケートであればいつでも協力します。
30	国道沿いの花壇や植栽をきれいに整備した方が良い。高齢者が介護を受けるようになっても安心して住める街（施設もそれを支える人材も足りないと思う）
30	根室市のみが実施しているというような特色を出すことに重点的にあらゆる資源を投入してはどうかと愚考します。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
50	・根室市議の方々の活動が全く見えない。伝わってこない。具体的にどのような活動をされているのか、毎日、市民に知らせてほしい。
18	スポーツのしやすい町づくりをすると、老若男女の交流も増えると思います。
20	・どうして若い人が根室から出ていくか考えるべき。進学校、専門学校、大学、仕事する場所、職場、一般企業がなさすぎる。無ければ無いなりに若い人の気持ちになって考えないと答えが出てこないと思う。とにかく人口が減るのを防止し、逆に根室の人口が増えることを考えなければならないと思います。
65-74	市の事業ばかりで、各町内会の出来事も市で取り組んでもらいたいです。一つは町内ソフトボール大会、運動会、できれば楽しくてよいと思います。
20	平成 31 年から根室に移住。6 月半ばの肌寒いのが慣れず、永住したいとは思えない。根室市というネームバリューと裏腹にこじんまりした街並みに衝撃をうけました。しかし、多くの大自然が残っているのは素晴らしい。森林や湿原が広がり、根室が自信をもって誇れる特色だと思います。 生物の多様性が高く、小学生を対象とした自然観察会を行うのはどうでしょうか 湿原で昆虫・小魚を採り、原生の植物を見るなど環境教育を提供するのが良いと思う。ほぼ手つかずの自然環境がどれほど貴重で、守っていく意味を理解し、外部へ発信してもらえれば、根室の魅力を知った自然愛好家がもっと訪れてくれると期待しています。
65-74	こどもの国を作る時、今、卓球ブームで小中高生が一生懸命に励んでおります。 卓球場が無いため、お寺を借りて練習している。根室の卓球は市技です。こどもの国に卓球場を作ってください。高齢者にも手軽で卓球人口が増えています。 子ども達も大人に教えられ、高齢者は若いパワーをもらい、元気になる。
75	光洋中学校前の教員住宅のうち 2 棟を地方からの人に使ってもらっているようですが、関係者の役所はもう少し目配りが必要では。外灯はつけっぱなし、除雪のママダンプ等の点検をもう少し強めてほしいです。
65-74	山内惠介の「風連湖」の歌碑を道の駅のそばに立ててほしい。テレビラジオで根室のことを話しています。全国で一番思い出に残る土地は根室と話していて、全国ファンは根室が一度は訪れたい憧れの地なのです。 歌碑建立の募金参加を呼び掛けてはいかかでしょうか。
40	・老人も子供の事も相談できる場所がない。カウンターで隣の人のプライバシーが丸聞こえになっている。相談するスペースをきちんと作るべきだと思う。
60-64	休日を利用して社会奉仕したいと思っても、情報手段がありません。広報で短時間でも誰でもできるボランティア等を知らせてくれればよい。
18-19	・安心して子供が産めて育てられる町になってほしいです。 ・市がしている事、頑張っている事をちゃんと伝える方が良いと思う。調べなければ知る事ができないのなら市民は知る事はありません。わざわざ調べないので積極的に発信してください。知らなければ何もしていないと思って不信感につながります。頑張っている事は頑張っているといった方が良いです。
65-74	・自分では住みやすい所と思うが、色々な行事等が終了した後に知ることが多いのでもう少し周知してほしい。 ・また障がい者、引きこもりの人達にもっと優しい街にしてほしい。
40	・今の根室には不安が大きすぎ、一生住み続けたいが、高齢になった時に住みにくい街になってしまうと思う。大好きな故郷なので住みよい街になってくれることを願う。
30	・活気ある街にするには、市民の協力は必要不可欠だが、自治体が率先して行動を起こしてくれなければ動きにくい。自治体が現在何をしているかは市民に届いていないのではないか。 ・根室市が街づくりに際し何をしているか、というのを市民が受動的にわかるようにしてほしい。少子化対策や高齢者支援も大事だが、人口を増やさなければ子どもがいない、高齢者しかいない街になるのも遠くないのでは。 ・市民協働については、お金を発生させてでも協力を仰ぐべきではないか。人口が少ないので、ボランティアを募っても人は集まるでしょうか。ボランティアで良くしようというのは少し生ぬるい感じがする。 ・根室市だけの特徴ある市民支援を実施して下さい。
75	・明治公園を安心して散歩できるようにしてほしいです。今のままでしたら怖くて歩けません。 ・若いお父さん、お母さん達が中標津に出かけなくてもいいように根室の街も何とか知恵を出して頑張って下さい。
18-19	ＳＮＳでの悪口などの投稿が多く、学生同士や学生と社会人など言い争いなどが起きてしまうことが多くなってき

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	ています。実際、けんかになってしまった事もありました。学校や市に匿名でそういったアカウントを報告し、対処してもらえると良いと思います。最近は小学生でもスマホをもっているので、そういうことが増えてしまいがちだと思います。スマホでのサイト規制だけでなく、ＳＮＳへのログイン規制もあるべきだと思います。
60-64	まず気軽に参加できるものを作ってほしい。
65-74	大きなスポーツセンターがあれば良いと思います。
40	・別海・中標津、標津、浜中、厚岸等の週辺市町村のイベント情報を集約したＨＰがほしいです。なかなか情報が入ってこない気がします。
65-74	花フェスタとか朝市など市内でやってほしいです。
65-74	緑町の商店街はイベント以外で歩いている人は見かけることが少なく寂しいです。買物以外、外に出かけないので、街中に年配者でも気軽にお茶したり、おしゃべりなどできる、集える場所、喫茶店などあったら良いと思います。
75	町中にいつでも時間を決めて老若男女が休息できる待合があると良いと思います。買物ができてお風呂があって、地方へ行ったときにこれは良い商業施設だと思ました。
75	民主主義の根本となる「地域コミュニティ」をどう作るのか。根室の特性は市民一人一人は人情の厚い街だと思う。しかし、色々なまとまりに欠けるところがある。確かに文化・スポーツのサークルの数、８月のお祭りなど「団結する力」もあるので日常生活、子ども達を育てること、高齢者の安心して暮らせる「まちづくり」等々には行政と地域の協働が不可欠になっているが、市民運動や自主活動などをやりやすい環境にはないと思われる。だからこそ、そうした活動がやりやすい状況を作るには、もっと、行政がしっかりした方針、施策を持つ必要があるのではないか。「自ら考え、自らが計画し、自らが実行する」こんな「まちづくり」に行政としてどう支援すべきか、本当の意味での「協働」の「まちづくり」について本格的な研究と取り組みを期待する。
75	1. 共同墓地をもう少しそれらしくして下さい。 2. 仏事に関して家々でばらつきがあって戸惑いと不安があるので、標準的な数字を示してもらえれば良いです（お布施等） 3. 地方の町にありがちですが、特定の組織、団体等と必要以上にかたまらないように。マンネリでもいつも決まった人々が集まって決まった事をやっているように見えると、市民から見られることが多いようです。
75	根室には、花いっぱい運動が活動している様子ですが、花と緑の町づくりに参加しませんか等と、ときわ台公園など噴水があり身近な場所で、子供からお年寄りまで活動を通じて交流を持ち、家の庭の小さな花一つでも持ち寄って、自分の都合に合わせて参加できる、気軽にお話ししながら花好き同士が小さな輪から大きな輪の花でどんどん広がっていくといいと思う。
75	75 歳過ぎ、犬と何となく１日１日過ごしていて、アンケート内容を見て知らないことがたくさんありましたが、この中の１つでも友達と話すこともない現実をつくづく感じました。私の周りの人達も知らないと思います。 「ワーク・ライフ・バランス」が良ければ何の苦労もないと思う。理想です。きっと楽しい人生でしょう。
75	私の住んでいる付近についていえば、隣人愛的な感覚を持っている人が少ないように思う。小さい頃住んでいた函館はもっと良かったように記憶しています。
18	・新しい設備、町の景観整備等に時間やお金、労力をかけても、すぐ壊れたり衛生面が良くなかったりしては意味がないと感じます。整備後の管理の仕方、しやすさももう少し視野に入れてはいただけないでしょうか。 ・私が見ている根室はほんの一部でしかないと思いますが、学生と先生、保護者の方々とのコミュニケーションに不安を感じています。いじめアンケートで答えられない方もいると思います。このままの状態で、中学校統合の件が進むのは町の学生の治安が悪化するように思います。知識が浅く、限界があるのもわかりますが、近くから見ているとそう感じました。高校が一つになったことで悪影響が大きかったと感じた。 ・アンケートを積極的に実施していただき、結果を開示してもいいと思います。 ・コミュニケーションの場や機会を多く作っていくと、ニーズが伝えやすく市民としても住みやすい町への考えも深まると思いました。
50	進まぬ北方領土の返還、じれったい程に薄れていくのでは。根室県庁があった根室の歴史など知らない方がいる。そういうことを忘れないため、子供から大人まで参加できるようなクイズなど交えて楽しく郷土の歴史に触れるイベントがあっても良いのでは。 たとえばアイヌ語の「ニムオロ」から「ネムロ」と聞いた。根室の花は、木は、根室十景等。ラスクマン、リンドバーグ、もっと知らないこともあるはずです。

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	きれいで活気ある街になってほしいです。
65-74	人口減少に伴い、商店街がシャッター通りとなり、子供達も高校卒業と共に流出し、淋しい限りです。企業の誘致、観光客の案内などを充実させて少しでも若者が根室で働きたいと思う街づくりを目指してほしいです。 授業の一環として根室の名所・歴史などを教えて、将来根室のためにと思う人材育成を教育の中で取り入れてほしいです。
30	市民参加で根室の河川の生物調査を行えたらと思う。小さな川の中でヤマメなどの姿が確認できる場所もあるので、調査によって水産資源の状態も知れるのではないかと思う。また、河川保護にも興味を持つきっかけになるかもしれない。ウチダザリガニが増えている中で、在来の二ホンザリガニの発見の可能性もあり、保護対策ができるかもしれない。
40	小学校までの部活動が強くて盛んなのに中学へ行くとレベルが落ちる。その中に金の卵がいたとしても根室では育たない。育てられない。結局、高校は地方へ。 意味がない。根室のスポーツ、プロ選手になれるような子を育てる教育をしてほしい。根室から全国大会など出てほしい。もっと根室を知ってもらえる事をしてほしい。
30	ふるさと納税、すばらしいです。これからも頑張ってください。
40	市からのメールを有効活用してほしい。防犯などでは不審者情報、クマ出没情報なども、どんどんメールを使って周知した方が助かります。 他の地域では市役所からのメールを、携帯電話で情報を知り、自分や家族の安全に気をつけています。根室ももっとメールを使い情報を提供してください。
50	最近の財政がふるさと納税やクラウドファンディング等に頼りすぎている様に感じます。いつまでも半永久的にあてにできるものならば良いのですが、少し先が心配です。
65-74	・北方領土対策事業が根室市と振興局に分かれているのが不自然、根室市に統合して予算の充実を。北方領土返還事業の各団体のトップが固定化、口では後継者不足を言っているが、まず現在のトップが降り、バックアップに回るべきと思います。 ・市役所の早期建て替えを実施して下さい。 ・根室市史編集事業は本にするとともに全てをネットで公開してください。 ・町内会活動を見直し、実状に合った活動へ。現在は老人クラブ化しています。
30	・長期的な視点で街づくりを考え、特に公共施設等の修繕を行う際は将来的な立地や周囲の環境、交通等を考慮する。 ・将来の災害に備えるため、思い切りのある計画を立てるべき。防災組織や体制の整備以上に減災を目指した計画が必要。結果的な被害額等の差を考え検討すべき。 ・市民が計画等に参加できるような仕組みづくりも良いと思う。
60-64	・行政、議会とも事なかれ主義になっている。老人が市政の中心なので、変化は期待できない。今のままでは 20 年後は夕張と同じになっていると思う。もっと 30 代の意見を取り入れるべき、若者に期待。 ・元島民の特権を無くしてほしい。島民以外は簡単に島へは行けないのに、国民に総意を求めている現状はおかしいと思う。
18	根室は個性的な街でイベントもたくさんあり良いと思います。ですが、同じイベントを文化として後世に残したり、自然や災害に関することが少ないと思います。今後、近い未来に大きな災害が来る前に「根室市」として確認すべきではないでしょうか。何より市民としても助かると思います。
50	根室市は昨年ふるさと納税額が約 49 億円、納税件数 31 万件あったと聞いています。納税額の 3 割は返礼品として出金されていると思います。残金約 35 億円はものすごい金額では。市民には使い道があまり見えていないような気がします（以前の納税にて落石地区の会館には使っています） もちろん無駄遣いしているとは思いませんが、これからの子供達のために大いに使うべきだ。中標津にあるような体育館の、早期の建設と指導者。中標津町は何かと日本体育大学とのことが話題になる。根室市にはそのようなことが何もない。市役所職員には日本体育大学卒業の人がいると聞いています。
65-74	やはり若い人の町にしたい。年寄りの多さはどこの町も同じと思います。 一番は働く所、住みたいと思う心、これからは気温の事とか、自然現象が気になる世の中。案外住みよい根室だと思うのですが。これから、年をとっても根室の土地問題、売却できなければ早く根室から去らなくては家の管理ができ

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
	ないのが今の悩みです。町内会のあり方、若い人の考え方が割り切りすぎている。
65-74	・本アンケートで、根室市もいろいろな分野で力を注いでいる事がよく分かりました。今後も市民目線で頑張ってください。 ・当地は人口減と産業の衰退が市の財政を悪化させていると思います。北方領土問題の一般市民の意識調査がほとんど行われていないように思います。70 年以上も本問題に関わっている人達の努力には敬意を表しますが、この期においては返還運動もパフォーマンスにしか思えません。国の問題でもありますが、当地の事を考えると、ロシアとの友好を進めて交流、経済活動にシフトしていかないと、生きる道が無いように思います。引揚者の方々はわかりますが、それ以外の市民の北方領土問題に対してどのように考えているのか意識調査をしてみてほしい。他の人は理想論は言うが、現地市民は本音でどう思っているか。現実的に、正当論ばかりでは少しも動かないように思います。市民の総意を知りたい。漁業と観光で全体を引き上げなければ根室市に活況力が出ないと思います。返還運動を口実に国会議員と同じく税金を使って観光旅行に形骸化させぬようにしてください。
60-64	・大きいバスではなく、小型のマイクロバスみたいな車を市内あらゆる方向で走らせ、少なくとも１時間かからず乗れれば老人も車を離すようになるのでは。月に２千円くらいの定期を買ってもらって乗り放題、バス乗り場も近くする。少ない年金で車を持たず、元気な老人は外で少しでも働く場所があれば、生活の足しになり、元気にもなると思います。
50	・高齢化に伴い、働く人口が減少するため、働ける人ができる能力を生かした職場で働き続けられるような環境が必要と思う。（難しいと思うが） ・児童館など時間に制限があり、核家族の中、働くことができない。（勤務時間が制限される）ので、時間の延長が必要なのかと思うが、休日とか高齢者のボランティアで子供たちの教育（パソコンや絵、習字など）をするようなコミュニティの場があれば良いと思う。 ・デイサービスと、児童館を一緒に建物の中に置くとか、高齢者と子供とを別々に考えるのではなく、共存すると良いと思う。 ・敷居の低い身近な相談所があれば良いかと思います。そこには「暮らしの保健室」なのか、ボランティアが常駐していて誰でも利用できる場を作れば、人との交流の場ができて、高齢化社会を迎え地元で暮らすためにも、高齢者の居場所が必要なのであれば良いと思います。
20	・根室で育ち、市外、道外に勉学、仕事へ行く若者が、帰ってこられる街づくりにしたい。地元愛とまでいかなくても、帰ってきて懐かしく活力をもらって、また頑張れる、そんな故郷にしたい。そのためには活気も確かに必要だけど、全体的に連携が取れていない。少なくとも下に降りていない。周知されていないのが目立ちます。 ・ずっと根室に住んでいるために見えてこない状況に胡坐をかいている気がします。上だけ頑張っても下がついてこないと活気は戻せないと思います。 ・店のつながりを支援する。子供達の遊べる広場等イベントや育児への支援、高齢者が外に出て買い物なり集会できる場、観光客へのおすすめ等、全てが中途半端な感じがします。同時進行していくのであれば、連絡や情報共有しなければ連携は取りにくいかと。

②地域環境との共生

根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下の地域環境との共生が推進されている。

a)既存公共施設の有効活用による都市機能の充実 b)地方創生の計画的な推進と財政運営

今回の市民意識調査における自由意見において、地域環境との共生に向けた意見としては、昨年度調査の結果と同様に、総じて、空家対策に関する意見が多かったが、これに加えて、雑草など身近な景観の再生に対する意見が多くなっている。

＜地域環境との共生＞

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	古い建物を壊してほしいです。子供たちが通るので危険です。早めにお願いします。港郵便局の所です。
60-64	花咲港地区に公営住宅がほしい。
65-74	市の事業ばかりで、各町内会の出来事も市で取り組んでもらいたいです。一つは町内ソフトボール大会、運動会、できれば楽しくてよいと思います。
60-64	昭和 30～40 年代、市内に映画館は４、５か所あったと思います。今は一日がかりで釧路に見に行くしかない。現在、市の状況を見れば映画館を開設するのは現実的に厳しいでしょう。ならば、既存の公的施設を利用して上映できないでしょうか。資金は市民から寄付を募り、一般の映画館より多少高い上映費でもいいと思います。映画を見たいと思っている市民は結構いると思うのです。
75	街の景観を考えてほしいのです。立派な建物が必要ではない。公共性のある建物の入口等の草が伸び放題です。近くのまつもと保育所はきれいだったのは新築された年だけ、今も草だらけです。子供達の情操を育てるためにも身近にあるものを利用して根室の短い夏を花と一緒に楽しむ。子供たちは喜ぶと思うのですが。他にホテル、ストア等も。地方へ出て小さな町でも国道沿いが花で飾られているとほっとします。ぜひ実現してください。郷土愛を育てる一つの課題でもあるかと思います。
65-74	市内にある教員住宅（空き家）について。空屋のまま放置されているのを見てもったいないと思います。個人に売却するとか賃貸にするとか利用することを考えたらと思います。前に出稼ぎの労務者に何か月か貸してほしいと申し出て断られたという話を聞いたことがあります。ただただ古くなり壊れていくのを見ているのはもったいないです。
65-74	・市内の花壇の草が伸び放題。少し市内を外れるとごみが道端にいっぱい。ごみのモラルの悪さ。 ・空家がいっぱい。花咲港は空家がたくさんあり、ひどいことになっている。
30	・根室市の街の景観があまり良くない気がする。塩害の影響で建物がさびやすいのが原因なのか見た目がさびている建物が多いので、建物を塗装すればかなり良くなると思う
65-74	パークゴルフ場の芝の管理について。もう少し費用をかけないと良くならない。悪くなっている。管理棟も他市町村に比べ劣っている。数年前に比べ費用を削減したのでは。
50	・青少年センターの建替え（新築）を早くしてほしい。中体連、高体連などの当番になった時の大会施設があの古い建物というのは、市民として恥ずかしいです。しらかば保育園を新築する前に、まずそこを建て直すのが良かったのではないでしょうか。
40	・根室市役所の建て替えはしないのですか。働く職員もきれいな建物で仕事した方が良いと思います。仕事で市役所へ行くことがありますが、階段上るのが辛いので建替えてエレベーターをつけてほしいです。職員もエレベーターがあった方が良いと思います。
18	・新しい設備、町の景観整備等に時間やお金、労力をかけても、すぐ壊れたり衛生面が良くなかったりしては意味がないと感じます。整備後の管理の仕方、しやすさももう少し視野に入れてはいただけないでしょうか。
30	根室に転入前は観光地に住んでおり、ボルダリングをしていました。冬は雪で外遊びもできず、春・夏も天気が良くない日が多いように感じます。冬の期間、また悪天候の日でも体を動かせる場所が欲しいです。三宅島（だったと思うのですが）雨で観光できなくても楽しんでもらえるようにと、廃校になった学校の体育館をボルダリングジムにしています。根室でも同じような事ができないでしょうか。こちらに来て半年になりますが、毎日ボルダリングで体を動かしていたのに、何もできずつまらない日々です

年齢	市民意識調査における自由意見・提案
30	東根室駅をもう少しきれいに整備してはどうか。せっかく遠くから観光客が来てもあれではがっかりさせてしまうだけ。二度と来ないと思う。もう一度来たいと思ってもらえるよう、草を刈るなどした方が良いと思う。
60-64	旧西高を高齢者専用住宅にできないでしょうか。
65-74	空家が目立ちます（公営住宅も含め）思い切って市が買い取り、賃貸業も必要では。もちろん第三セクターですが。
30	緑の自然が魅力的な根室の街ですから、そこをいつまでも大切にする根室であってほしいです。
30	・空家対策もしてほしい。花咲港周辺はその家があるだけで暗く感じます。風も強いのでいつか飛んでくるのではと不安です。撤去してほしい。網を張っているけど不気味です。そもそも不気味。市にお願いするのも変だと思うのですが。家の持ち主が何とかしなければいけないと思います。
30	市内には空き施設があると思います。新たな施設を建てるのであれば、目的外であっても既存の施設を再利用する方が良いと思います。
30	・シャッター街になっている所の再利用や外から企業や人が入ってきやすい環境を作らないと市民だけでは限度がある。
30	・どのお店や施設に行ってもあまりきれいな印象がなく古いイメージなので、きれいに見えるように工夫した方が良い。
20	施設建設など大きな動きよりも、道路わきの雑草を１本でも処理するような、小さなことをすることが、今の根室に必要ではないのかと思います。

６．２　まとめ

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

この総合戦略に基づく各種の施策の現時点での実施効果を把握するために、主として根室市総合計画に対する市民意識の変化を把握するためのアンケート調査結果から、総合戦略に対する意識調査に関連する項目や自由意見を抜粋し、市民意識を整理した。

今年度の調査では、現在、市で実施している施策の認知度の把握についても昨年度調査に引き続き行った。その結果、総じて、子育て、医療関連、水産業の振興に関する施策については、比較的認知度が高かったものの、生活環境、教育・文化関連、行政情報などに関する施策に対する認知度は低いことが把握されていることから、施策効果を把握するためには、こうした各種施策の周知を図ることが重要と考えられる。

ただし、自由意見の中には、この調査を通じて市で実施している施策を知ったという意見もみられていることから、周知のあり方を見直すことも重要と考えられる。

（１）住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。（基本目標１）

・平成 29 年 4 月に市内分娩が、経産婦限定ではあるものの、11 年ぶりにできるようになってから 2 年経過したことから不満意見は大幅に減少していた。

・今年度の調査も昨年度調査と同様に不満意識は低下しているものの、小児科など出張医に依存している科目や、診療できない科目などもあることから、引き続き、さらなる医療スタッフの充実に向けた対応が求められている状況にある。特に、高齢者からは整形外科の充実への要望もみられている。

・また、経済的支援に関しては、保育料や医療費、育児手当に関することに加え、母子家庭、障がい児家庭への支援などがあげられているほか、託児機能に関しては、共働き家庭や母子家庭における子どもの病気時の託児、親が病気がちな場合の託児機能などへの要望があがっている。

・一方、全天候型の施設に関しては、今年度調査でも多くあがっており、引き続き、その具体的対応が求められている状況にある。

（２）住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる。（基本目標２）

・現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられるが、最大の課題は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業の低迷にある。平成 28 年から禁止となったロシア 200 海里内サケマス流し網漁の影響に加え、近年のさんまの不漁など根室市の経済環境に大きな影響を与えている。

・こうした課題に対して、漁業に関しては育てる漁業（養殖事業）の推進、水産加工品の高付加価値化、ブランド化、新規産業の創出、商店街の活性化など、取り組み課題は多い。
・とりわけ、育てる漁業に関しては根室市でもホタテ漁場造成事業などが進められており、その成果もみえつつあることから、より一層の推進が求められる。
・一方、水産業だけに頼らない経済構造の創造に対する意見もみられており、その一番手として観光振興をあげる意見が多かった。
・観光振興に対する市民の期待は大きく、観光ポイント整備だけでなく漁業者をはじめ地域産業との連携や宿泊機能の強化、街並み景観の整備など、受入体制強化に向けた関係者、市民を含めた一体的検討を進めることが重要と考えられる。
・観光に関しては、根室観光のＰＲに関する意見が多かった。積極的なＰＲが必要とする意見に加え、今回の調査では、ＳＮＳなどのネットツールを活用したＰＲなど、そのＰＲ方法に関する意見も見られた。この根室のＰＲは、引き続き、早急に取り組むべきテーマのひとつといえる。

（３）みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。（基本目標３）

・市民意識調査の自由回答に対する意見をみると、根室市の再生に向けた意見やアイデアは、産業振興に関するものや、若者の定着あるいはＵターン促進対策に関するものが多かった。
・その中で、まちづくりへの参加方法としては、アンケート調査等による意見、要望の把握のほか、民間企業の活用・連携、市議会議員への期待に対する意見がみられている。ただし、アンケート調査で回答した市民の意見がどのように市政に反映されているのかがわからないとする意見もみられており、市政に関する認知度が高くはないという現状を踏まえると、市政の周知を図ることも重要と考えられる。
・一方、地域環境との共生に向けた意見は多くはなかったが、空家や空き地等の有効活用等に関する意見は、今年度調査においてもあげられている。

資　料　編

資料１　市民意識調査自由回答

年齢	問 22　意見・提案
40	アンケートであればいつでも協力します。
60-64	根室は気候のせいで暗くて寒いというイメージがありますが、日常生活では街がコンパクトで買い物や文化講演、コンサートなども 15～30 分で到着できます。これはスゴイ事です。 しかし文化体育各施設がバラバラでまとまりがなく、市は長期的に考え、箱物を造ることを望みます。 景観も根室十景はそれぞれ素敵な所ですが、観光客はどの動線ルートで流れるとベストなのかなどの提案も必要では？ 高齢者が増え益々病院や福祉施設の充実が必要となりますが、何より立派になった市立病院の医師確保が最重要と思います。 一時的なお金の釣り上げではなく安定したシステムが作れると良いのですが。大好きな街！根室市頑張れ！
20	ファミレスがほしいです。夜遅くまで営業している店が少ないと思いました。運転免許を持っていない学生（小・中学生と高校生）が遊べる場所が少ないです。カラオケとゲームセンター（かなり小規模）くらいしか思いつきません。ボウリング場もありますが、もう少し遅い時間まで営業してほしいです。気軽に運動ができる施設もほしいです。ジムを増やしてほしいです。パーソナルジムも欲しいです。
40	車いすもしくはストレチャー移動しか出来ない高齢者と老々介護の家族が土・日・祭日に体調急変により救急搬送した場合、そのまま入院となればよいが、点滴等の処置のみで自宅へ帰される場合、移送サービスや介護タクシー、各タクシー会社の介護車両どれも使えず、家族が抱えてタクシーに乗せることは難しく、大きな負担となっていると思います。
50	色々な自然があるのに、有効活用していない。ふるさと納税で収入があるうちに、温泉施設を作るべき。観光客が素通りしていくのは温泉施設が無い事が一番の理由だと思う。市内の中・高生がカラオケしか遊べるところがないと言っていた。小規模でよいので、スポッチャやラウンドワンの様な安価で体が動かせる施設があれば、子供だけではなく、中高年も利用する人は多いのではないか。
30	まちづくりに関係あるかどうかわかりませんが、動物病院が少ないかと。動物医療も考えていただきたい。
20	イベント等を無料で行うのはいかがなものだろうか。少なくても 500 円は取った方が良いと思う。開催者側が負担してはいないと思いたいが、開催者の交通費等を税金で確保しているのなら、その金を別に使うべきでは？せめて入場料位は少なくてももらうべきだと思います。キャンプ場の二の舞になります。
40	私は根室人ではありません。結婚で根室に移住しました。今まで道内外色々な所で暮らしましたがこんな住みにくい所はないといつも思っています。ずっとここに住んでいる人は過疎っていく街に仕方ないと思っているのだろうけど、他所から来た者にしたら不便でここでずっと暮らしたいとは思えないです。友人に根室に引っ越したと報告しても、いい所だとか良かったとか言ってくれる人はいないです。皆口々に「根室最悪だ」とか「遠い」「何もない」とばかり。でもそう思われているのが根室だと思います。北方領土返還の大きな看板や書いてある文言がまず怖い。暗くて戦争を思い起こさせるような雰囲気。ロシアと友好的なはずなのに淡々と並ぶロシア語。根室って怖いとよく言われます。返還、返還と負のイメージが強すぎて怖い。祖母も国後島出身で主人は北方三世だから返還に対しての並々ならぬ気持ちや思いは理解していますが、逆にそれが負のイメージに大きく加担している様に思います。明るいイメージでの返還運動はできないのでしょうか。何か考えてほしいです。 私は花咲港に住んでいますが、花咲灯台までの高台から見る海の景色がとても雄大で爽快だったのに太陽光パネルの設置がすごすぎて景色が台無しになってしまいました。とても残念です。道路から海に向かって写真をとるとパネルが写り込んでがっかりです。花咲港の住人はほぼ老人ばかりでバスを使いたい人が多いのにバス停が遠すぎてセイコーマートと出光のスタンドを左手に見た時のそこから花咲港小学校辺に住んでいる老人には出光のバス停まで歩くのは遠いし、かと言って郵便局のバス停まで行くには坂を下ったり、登ったりしないといけないので大変です。バス停を出光から花咲港小学校までの間に増やしてほしいし、バス路線を変えてほしい。検討してください。とにかく、暗いし負のイメージが大きい根室なので、根室をわざわざ行きたいと思わせる街にしてください。
30	国道沿いの花壇や植栽をきれいに整備した方が良い。高齢者が介護を受けるようになっても安心して住める街（施設もそれを支える人材も足りないと思う） ふるさと納税が好調なうちに市立病院の経営を立て直さないと、根室市が立ち行かなくなるのではと心配です。
40	小学校の子どもがいますが、所得があるということで医療費の給付を一昨年から切られました。アレルギー体質とい

年齢	問 22　意見・提案
	うこともあり、薬を定期的にもらいに病院に通っていましたが、一度通院するだけで診察料、薬代含め約 1 万円もかかり定期通院しなくなりました。自然と足が遠のくというか、子供が風邪をひいたり少しひどくなってからついでにという風になってしまいました。 所得があるといっても漁師は月ごとの収入に波があります。私も働いていますが家の手伝いが主です。せめて小学校の間だけでも所得関係なく医療費の給付が受けられると良かったです
30	根室市のみが実施しているというような特色を出すことに重点的にあらゆる資源を投入してはどうかと愚考します。
65-74	・昭和 33 年に来た頃は、街中の道路や建物の中も汚れて散らかっていましたが、今は道路もきれいにごみ等も片付いて良くなったと思います（昔は活気がありましたが今は静かな街です） ・娘夫婦の国保税が高すぎます。最高額を 20 年位払っています。それで転居したいと言っていました。もう少し安くして下さい。 ・私も昔店舗をしていましたけど国保税が高く北海道で 2 番目に高いのだそうです。 ・高齢者のアクセルとブレーキの踏み違いで東京都は 9 割助成費を出して（アクセルを強く踏んでもスピードが出ない）取り付けをするように、根室も実施して下さい。お願いします（私もそれで事故を起こしました） ・高齢者が多く病院（手術ができる）へ通うのに遠いので夫婦でも札幌等へ転居する人が多いようです（人口減の一因です）私も通うのに困っています。医療の充実をお願いします。
20	商業施設の充実（総合デパート、若者が遊べる場所、スポーツが気軽に大勢の方ができる場所、商店街の活性化など）、職業の充実（様々な職業を選ぶことができる）が人口減少を防ぐには必要かなと思います。 地域がもっと活性化すれば、給料のアップにもつながると思うので、とても願わしいです。
50	・根室市議の方々の活動が全く見えない。伝わってこない。具体的にどのような活動をされているのか、毎日、市民に知らせてほしい。 ・運動の場を作ってほしい。 ・市立病院のＤｒはもっとちゃんとした人が来てほしい。 ・緑町、駅前の活気づくり、何か淋しいイメージを変える。
20	＜高齢者について＞ 根室市は高齢者が多い割に、医療行為の伴った方（糖尿病、胃ろうなど）を見てくれる施設が少なく、改善されない現状に疑問をもっています。人材が少ないのはわかりますが、レスパイト入院などの充実をはかれると良いと思います。 ＜子育て支援について＞ 子どもが遊べる施設に保健センターを併設する。そこに保健師さんなどがいれば、子供を遊ばせながら相談したり、様子を見てもらえる機会になると思いました。土日も開放することで子育て支援の充実になると思います。 ＜医療について＞ 根室市は釧路市の医療に依存していると思います。小児科、外科など何かあれば釧路を紹介されますが、とても大変です。急性期病院として機能していないと思います。 そしてもっと回復期を増やし、リハビリなどを積極的に行っていくことで、要介護状態を予防できると思います。そのためには、病院自らが現状の課題と向き合う事が必要であると考えます（医師不足なのは分かりますが）。
20	・能力の高い人材を求めている割には、教育にお金をかけていない町だと感じています。Ｉターンを望めないので、Ｕターンを期待するしかないと思います。中高にもっと手とお金をかけてあげたらいいのでは。 ・根室は、観光資源が多いので、自然を楽しめる場を使えるといいです。外からお客さんに来てもらうなら、温泉の一つもあるといいと思います。これだけ地震の多い地域に温泉がないわけないですよ （色々書きましたがよりよい街になることを願っています。日々お疲れ様です）
40	根室市は閉鎖的な町なので観光業に力を入れるべき。また来たいと思う町づくりを目指してほしい。
18-19	欲しい服、靴、食べ物、車、その他色々完璧とは言えませんが、欲しい物が手に入る店を作ってほしい。お願いします。
30	最近よくニュースになっている高齢者による事故が非常に多く、それに伴っての被害にあうケースもあり、心が痛みますが、根室でも同様の事故が起こりうることも考えらえますので、高齢者で免許所有者への「自主返納」の強化や、運転の際の啓発（高齢者だけではありませんが）を今まで以上に行ってもらえたらと思います。これ以上、犠牲者や悲しむ方が増えない事を願わずにいられません。

年齢	問 22　意見・提案
40	夏はそれほど気温が上がらない根室の風土を生かし、避暑地としての町のＰＲ等に力を入れるべきでは。少しでも外資を獲得する事が根室を豊かにすると思う。 ふるさと納税に頼りすぎてはいつか破産的ダメージが来る。
30	現在妊娠中なのですが、赤ちゃん用品やマタニティ用品がほとんど売っていなかったのが残念です。子供産む対策などもっと優しい根室市であってほしい。これから出産・子育てなので、何かと良い情報は欲しいです。
40	北斗小学校の児童玄関の天井がカビだらけです。身体に悪そうなので、修繕してもらえないでしょうか。
40	イオンの２階出入口向かいの２車線道路で老人が信号のない場所を横断するので中央分離帯にガードレールの様なものを設置してはどうでしょうか。本当に危険です。何とかやめさせたいです。
50	景観、宿泊施設の充実、漁業の振興
30	・病院が建て直されたのに先生がいないのは意味がない。結局釧路に行かなければならない。 ・睦の園幼稚園の建て替え支援、他の幼稚園も経済支援あるのでしょうか。市役所の戸籍課もっとプライバシーが守られるようにしてほしい。 ・イオン前の一方通行逆走している人が多いです。交通標識だけではなくて、「一方通行です。通れません」と言葉で書いた看板もあった方が良いと思います。
65-74	・緑町の活性化に力を入れてほしいです。シャッター街を少しでもなくし市民が暮らしやすいようにしてほしいです。 ・文化会館や青少年センターなど皆様が上手に使えると良いと思います。障がい者が１年に１度の利用ができないのがおかしいと思います。６か月前に予約してほしいと言われ申し込みますともう一杯埋まっているのはなぜでしょうか。
30	子ども向け屋内遊戯施設内に一周 333mか 400mか 500mのランニング（ウォーキング）コースを作ってほしい。
50	・将来の生活に不安があります。病院の問題、皆がん等になると、札幌、釧路の病院へ。頭の病等も不便です。 ・内科と婦人科外来が同じ場所はおかしくないですか。婦人科を別のフロアにできませんか。受診がいやで釧路の個人病院中標津に行く人が多いようです ・子供達の大学、専門学校がなく、地方に出ることになり、仕送り等考えると、一人親の場合は、一緒に出る人が多くみられます。また、若者が根室から減ります、心配です。 ・60 歳になり仕事を探しますがなかなかなく、主人の年収等考えて働くと税金が増えてプラスマイナス、大した収入にならない。
30	根室はおいしい食べ物や野鳥、史跡等たくさん魅力があると思います。これらを生かして、観光地としてもっと「根室」をアピール出来たらよいと思いました。他地域を見ても根室は宿泊施設があまり良くないように感じます。（部屋の清潔感、宿泊料など） 地元の特産品についてもう少し知識や関心を持ってほしい。根室人でも花咲ガニのシーズンを知らない人がいてびっくりしました。 世界的にもいろいろな野鳥が集まる場所は珍しいので、もっとイベントなどができれば日本人だけでなく外国人も根室に来てくれると思う。 「根室」は最東端なので、「旅行のついでに寄る」という気楽に来てもらえる街ではないと思います。なので、根室の特色を生かした観光地としてアピールをしてわざわざ「根室に行く」という人を増やせば良くなっていくのではと思いました。
60-64	①　西浜町市道の除雪が以前と比較して粗い。具体的には車一台通るスペースしか除雪しない。また、雪の積もっていない方を除雪する等 ②　毎年春から夏にかけて、西和田の方より牧草地にまく牛糞尿のにおいがひどく窓も開けられず、においが部屋中に何日もとどまっていて改善が見受けらえない。 以上２点は生活に支障がある事であり、地域全体の問題となっている。
65-74	速く市立病院に整形外科の先生が来ていただきたい。老人が安心して入院できるように。
75	・現在の根室市の水産業が大変な事は十分理解しています。海の物が捕れなければ全ての人達の生活に影響し、水産業に携わっていたものは次から次へと倒産。結局は年金に頼るほかないです。年金だけじゃ生活できないのが現状。毎日が大変と皆の意見です。ふるさと納税の使い方も高齢者、子供達、母子家庭への生活支援、帆立加工業者ばかりじゃなくそちらの方へも向けてはいかがでしょう

年齢	問 22　意見・提案
	・高齢者が大変なのは医療機関の制度です。出張医が来てくれなければ、ぞっとします。全国的に医師不足も理解してます。道内もそうです。しかし根室人はほとんど釧路・札幌へ通院、旅費も大変です。今後いったいどうなるのでしょう。治る病気も治らず苦しい。
40	・障がい児（者）と高齢者が一緒に遊べたり気軽に預けたりできるような施設が多くできるようになる。若者が明るく働けるようになる。たくさんの人が仕事につけるような環境になる。 ・このような調査をするよりもイベントや行事等が市民全体にわかるように、各家庭にチラシ等を配布する等をすればよいのではないか。 ・職業安定所ももっと気軽に入れて通えるような所にあってほしいと思う。今の場所はなにか行きづらい。 ・子ども達が遊べる場をもっと増やした方が良いのでは。ゆめの森公園みたいな場所もあっても良いのかと。幼稚園にふるさと納税を使用するのであれば障がい児や高齢者の施設を一つでも多く、ふるさと納税で増やしてほしい。（子供たちの遊べる場も）
30	古い建物を壊してほしいです。子供たちが通るので危険です。早めにお願いします。港郵便局の所です。
40	学校給食について 量が少ない日が多く子供がおなかをすかせて帰ってきます。もし給食費未払いの家があり予算が足りないのであれば子ども手当から天引きするようにして全員から代金を集め、量を増やしていただきたいです。味は良いと聞いていますので中身の見直しをお願いしたいです。
60-64	花咲港地区に公営住宅がほしい。
20	ワーク・ライフ・バランスと言ってはいるが、実際は全く調和できていないと思う。 有給休暇義務化とあるが私の会社（歯科医）は、休みがほしいと言えばすごく嫌な顔をされる。それと同じ様に職に就いているが、経済的にきつい私の母は、加工係の仕事なので、朝 7 時から夜 9 時まで仕事して給料は 12 万くらい。経済的に自立というより、給料上げてほしい。仕事に追われすぎて本当にしんどい。私の仕事も安定はしているが、残業しても残業手当は出ない。保険外の治療でも 1 円も出ない。そんな職場で誰も働かないから働く気失せる。 安定した仕事・経済的に自立・安定しているのなんて役所関係くらい。 ワーク・ライフ・バランスとかいうなら、まず議員の給料減らして国民市民を安定させてほしい。
30	子育てしやすい町をつくってほしい。遊び場、病院全てが足りない。
40	「新たな提案」とあるが、何を提案されて今こうしてアンケートに答えているのかわからない。質問されたことは「良い面、良くしよう」としているのは理解できるが、「悪い面、良くない面」を目にしようとしていないように感じる。」「新しい事」を始めるよりは良くない面を改善すべき。私には子供がいるが、子供の年齢が進むにつれ、不安が大きくなっており、「改善」を望むより地方へ出ることを考えている。「教育面」では特に「根室の良さ」を全く感じないし、不安が増すばかり。仕方なく、通学させている。子自身も仕方なく･･･が現状。「地方へ出よう」と考えている私たちは根室へ望むことはない。ただ、せめて学校はきれいな方が良いのでは。学校は何を見ても残念賞。子供たちがかわいそうとさえ感じる。校舎がきれいなだけで、気持ちも違うのでは。
75	寝たっきりになった場合、施設は高いので安く入所できるようにしていただきたいと思います。施設が少ないのではないでしょうか。
18	スポーツのしやすい町づくりをすると、老若男女の交流も増えると思います。
30	・水道水の匂いの軽減（沼の様な匂いがする） ・道の駅の影が薄い。じゃらんの道の駅ランキングに入るようなグルメをもっと強化してほしい。せっかく施設はきれいなのにもったいない。 ・納沙布岬の施設を整備して道の駅にしてはどうか ・ホテルが高い割に古いので、ドーミーインや東横インなどのチェーンのホテルがあればよいと思う。 ・公園のトイレはきれい、スプレータイプのマジックリンがあるのできれいに使えていると思う。
65-74	観光バス、マイカー等で、根室を訪れる観光客は、市民が思っている以上に来ていますが、どうしても素通りが多いのは、仕方がないので、先日、テレビでも放送された根室半島チャシ跡群等、お城 20 選です。私も何年も昔に行ったきりですが、整備、アクセス、その他、観光資源がいっぱいあるので。 大変でしょうが、大いに活用してほしい。
18	私にはわからないところがほとんどですが、私の母はいろいろと不親切な市役所だと言っています。母子家庭で大変そうです。

年齢	問 22　意見・提案
20	・医師の充実、地方（釧路）に行かなくても良い病院作り。 ・医療・福祉の充実（安心して根室で暮らすため） ・娯楽、余暇施設の充実（遊ぶ所が少なすぎる） ・キャンプ場の作成（自然が多いのに生かせていない） ・宿泊施設の充実、増加（根室に来ても泊る所が無い） ・アーケード街の作成（札幌の狸小路みたいの） ・若い人達が根室から出ていかないようにすること。学校の充実、専門学校の設立、大学の設立。 ・どうして若い人が根室から出ていくか考えるべき。進学校、専門学校、大学、仕事する場所、職場、一般企業がなさすぎる。無ければ無いなりに若い人の気持ちになって考えないと答えが出てこないと思う。とにかく人口が減るのを防止し、逆に根室の人口が増えることを考えなければならないと思います。
20	・良く運動公園を利用するのですが、犬の糞が捨ててあったり、利用状況があまり良くないと思います。後、ドッグランをもう少し大きくしていただければ嬉しいです。大型犬だとあまり走り回れなくてかわいそうです。 ・宝林保育所の坂道、下の方は舗装されてきれいになったのですが、上の方がまだガタガタしていて危ないです。上の方も舗装していただければ喜ばしいです。
65-74	市の事業ばかりで、各町内会の出来事も市で取り組んでもらいたいです。一つは町内ソフトボール大会、運動会、できれば楽しくてよいと思います。
20	平成 31 年から根室に移住。6 月半ばの肌寒いのが慣れず、永住したいとは思えない。根室市というネームバリューと裏腹にこじんまりした街並みに衝撃をうけました。しかし、多くの大自然が残っているのは素晴らしい。森林や湿原が広がり、根室が自信をもって誇れる特色だと思います。 生物の多様性が高く、小学生を対象とした自然観察会を行うのはどうでしょうか 湿原で昆虫・小魚を採り、原生の植物を見るなど環境教育を提供するのが良いと思う。ほぼ手つかずの自然環境がどれほど貴重で、守っていく意味を理解し、外部へ発信してもらえれば、根室の魅力を知った自然愛好家がもっと訪れてくれると期待しています。
75	各市内の身近な生活道路の整備が必要です。
30	ソーラーパネル、防雪柵が増えたせいか、景観が悪くなっていると思うので、自然や景色を売りにするのであればどうにかした方が良い。
30	眼科、皮膚科等の個人病院が少ないというか無い。市立病院での待ち時間を考えると気軽に診てもらいに行けない。子供連れで行くとなるとなおさら行きづらい。
30	デコボコになったアスファルトが多々あるのできれいにしてもらいたい。
65-74	こどもの国を作る時、今、卓球ブームで小中高生が一生懸命に励んでおります。 卓球場が無いため、お寺を借りて練習している。根室の卓球は市技です。こどもの国に卓球場を作ってください。高齢者にも手軽で卓球人口が増えています。 子ども達も大人に教えられ、高齢者は若いパワーをもらい、元気になる。
30	観光客が増えてくると良い。もう少し観光名所になるような街にしたい。
30	・根室市の人口減少をどうにかしてもらいたいです。 ・ふるさと納税の使い道等を教えていただきたいです。
65-74	若者や子育て中の若い夫婦など休日に子供と一緒に楽しめる所が無いのが残念です。中標津町のゆめの森公園など、子供と楽しめる場所がなく、釧路などに買い物がてら出かけることが多いです。大きなことは望みませんが、根室にも親子で楽しめる所が欲しいです。
30	高齢ドライバーの問題が今あります。根室市は車がないとどこにも行けない。みんな根室市立病院ではなく、釧路の病院に行きます。そこを考えなくてはならないのでは。大事な問題だと思います。
75	光洋中学校前の教員住宅のうち 2 棟を地方からの人に使ってもらっているようですが、関係者の役所はもう少し目配りが必要では。外灯はつけっぱなし、除雪のママダンプ等の点検をもう少し強めてほしいです。
65-74	山内惠介の「風連湖」の歌碑を道の駅のそばに立ててほしい。テレビラジオで根室のことを話しています。全国で一番思い出に残る土地は根室と話していて、全国ファンは根室が一度は訪れたい憧れの地なのです。 歌碑建立の募金参加を呼び掛けてはいかかでしょうか。

年齢	問 22　意見・提案
20	子ども達が遊べる施設があると良いと思います。中標津のゆめの森公園が良いです。根室は室内で遊べるところがありません。
20	職業の幅が広がれば良いとは思いますが、現実的には厳しいと思います。最低限、給与や雇用の安定と休日や連休をある程度確保できなければ、住み続けようとする若者は少ないと思います。
40	・ポイントカードが使いづらい。ポイントをためる店も少ないし、どのくらいの人が使っているのか何の情報もない。利用が少ないならやめてしまえばいい。 ・市役所の裏玄関でタバコを吸っている人がたくさんいてはずかしい。休憩時間なのかさぼりなのかと思ってしまう。 ・老人も子供の事も相談できる場所がない。カウンターで隣の人のプライバシーが丸聞こえになっている。相談するスペースをきちんと作るべきだと思う。
30	他の小さな町に比べても観光に対する意欲が根室市は低い。なぜ、たくさん魅力的な食べ物や場所があるのにアピールしないのか。できているつもりなのか。足りない。今の時代メディアも昔より充実しているのに発信していかない理由がわからない。もっと熱意をもって根室市には頑張ってもらいたい。
60-64	昭和 30～40 年代、市内に映画館は４、５か所あったと思います。今は一日がかりで釧路に見に行くしかない。現在、市の状況を見れば映画館を開設するのは現実的に厳しいでしょう。ならば、既存の公的施設を利用して上映できないでしょうか。資金は市民から寄付を募り、一般の映画館より多少高い上映費でもいいと思います。映画を見たいと思っている市民は結構いると思うのです。
18-19	根室市の観光名所である納沙布岬ですが、その近くにあるオーロラタワーがやっているのかわかりづらいと思いました。隣には廃墟もありとても入りづらく感じます。良い建物があるのにもったいなく感じます。もう少し観光名所にお金を使ってもいいと思います。
60-64	休日を利用して社会奉仕したいと思っても、情報手段がありません。広報で短時間でも誰でもできるボランティア等を知らせてくれればよい。
40	・不妊治療の専門外来を作る。釧路帯広にもあるが、札幌までいかないと満足ではないようです。 ・北方領土が見える立派なタワーを作る。 ・テレビ番組（ナイナイのお見合い）に申し込む。根室市の宣伝になるし、嫁が来れば人口も増える。 ・子供の遊び場、作ってほしい。公園も少ないし、遊具も中標津や標津、別海に負けている。 ・市内にスポーツジムを作ってほしい。風も強くて寒いし、夏も暖かくないので室内で運動したい。温浴施設のあるジムが利用できればよい。 ・ＡＥＤ設置場所、使い方を広報で周知する。消防の講習。 ・アウトレットモールができたら、近隣市町村から人が来て、レジャープールやリゾートホテルもあればもっと集まる。 ・市内に大型ショッピングモール、アウトレットの店（千歳や北広島のような）、根室の人は中標津・釧路へ買い物に行く、これができると、近隣市町村や海外観光客の来客増、雇用の創出。市民にも便利、楽しみとなる。 ・根室の観光は、自然といってもほったらかしにしている様にみえる。人工的にでもきれいな花畑つくれないでしょうか。富良野ラベンダー、湧別チューリップ、滝川菜の花、東藻琴芝桜等名所を作り出す努力が必要と思います ・市内に鶴雅リゾート、星野リゾート、ラビスタ、カラカミ観光にリゾート施設を作ってもらう。観光客来ると思います。夏の暑い時期は涼しい根室で過ごす。 ・根室のおいしい魚介類をリゾート施設で出せば人気になる。夕日がきれいな所に立てるといいと思う。魚介のおいしい町になれば観光も増える。他市町村から遊びに来ても連れて行くところがない。お寿司や海産物は喜んでもらえる。
60-64	何か一つ特徴を持った街づくりを考えてほしい。日本一までとは言いませんが、道内１、２になれるようなことはできないのでしょうか。
18-19	・安心して子供が産めて育てられる町になってほしいです。 ・市がしている事、頑張っている事をちゃんと伝える方が良いと思う。調べなければ知る事ができないのなら市民は知る事はありません。わざわざ調べないので積極的に発信してください。知らなければ何もしていないと思って不信感につながります。頑張っている事は頑張っているといった方が良いです。
30	これだけ人がいないのだから、人が少ないことを逆手にとって何かイベントをやるべき。それに参加するとスタンプ

年齢	問 22　意見・提案
	を押してスタンプが多い人の税金を根室市が免除など。もっと生きることを楽しむことを市が率先してやるべき。仕事を増やすとかより楽しい日々を増やしてそのためにも若い人の力をもっと大事に。
65-74	冬、雪道での程の除雪確保。市議会議員を半分にして給料を育児支援に。
40	市立病院の各科の診療体制をととのえてほしい。
75	街の景観を考えてほしいのです。立派な建物が必要ではない。公共性のある建物の入口等の草が伸び放題です。近くのまつもと保育所はきれいだったのは新築された年だけ、今も草だらけです。子供達の情操を育てるためにも身近にあるものを利用して根室の短い夏を花と一緒に楽しむ。子供たちは喜ぶと思うのですが。他にホテル、ストア等も。地方へ出て小さな町でも国道沿いが花で飾られているとほっとします。ぜひ実現してください。郷土愛を育てる一つの課題でもあるかと思います。
65-74	・自分では住みやすい所と思うが、色々な行事等が終了した後に知ることが多いのでもう少し周知させてほしい。 ・また障がい者、引きこもりの人達にもっと優しい街にしてほしい。
40	・公共施設を建設する場合、離れた場所ではなく一か所にまとめてほしい。 ・国道は無駄な道路を整備するのではなく、今の整備（鹿などの動物飛び出し対策）を最優先し、制限速度も見直しする。 ・ある一定の意見を取り入れず、きちんとした政策の元、良い街にしてもらいたい。ふるさと納税の意味がなくなる。 ・市議の人達は、職員に無駄な時間を使わせないように、きちんと信念をもって質問してもらいたい。 ・病院は年配者の憩いの場ではない。我々世代が風邪で病院に行っても時間ばかりかかる。特定日受診も一日がかりとなる。釧路の病院で受診できるくらい時間を要する、改善してもらいたい。
50	・水道料金の値上げは仕方ないことだと思っていましたが、家計を少し圧迫します。冬場は灯油代、電気代が跳ね上がり老後の不安の材料になります。民間企業では給与も満足に上がらず、子供達にも学費でお金がかかります。 ・人口の流失を防ぐにはどうしたらいいかを考えてほしい。北方領土に頼っても進展なしだし、子供の学力も低下をたどり、釧路まで行くにもＪＲの便もわるいし、不安しかない。
30	根室は景色や野生動物を撮影するのに訪れる方がいっぱいいます。そのために撮影場所やルールをきちんと設ければ根室に来る人も増えると思います。根室の自慢は景色と動物で、そのための環境は整っていません。
40	・近い将来、屋内遊戯施設が建設されると聞いているが、せっかく作るなら内容も良いものにしてほしい。市立病院のように建物は立派でも中身が良くないはお金をかけても意味がないと思う。 ・根室市は子供の数が減り、人口も減り、将来大きな不安を抱える。子ども達も学力が全国・全道の中で低く、運動不足により肥満が多いと聞く。将来の根室を支える子供たちを良い方向に持っていけたらと考える。 ・今の根室には不安が大きすぎ、一生住み続けたいが、高齢になった時に住みにくい街になってしまうと思う。大好きな故郷なので住みよい街になってくれることを願う。
30	保育・教育について 小さいうちから様々な体験をさせたいと思っています。根室ならではの水産（漁業）体験や農業体験等々、実際に目で見て体験してそこから何か感じてもらえるような行事を行ってもらいたいです。少子化になり、市内の子供の数も減っていますが、少人数だからできるようになることもあると思います。前例にとらわれず、様々な方向性を探ってもらいたいです。
20	チェーン店を増やしてほしい。
30	子どもの遊ぶ施設を充実させてほしい。
65-74	キャンプ場の整備。明治公園の近くにキャンプ場があれば国道から離れていて静か。最近は宿を利用するというよりも車中泊、ライダーの方が公園の駐車場を利用しています。しかしキャンプ場ではないので隅の方にテント張っている人がいる。
40	市立病院の整形外科医師の確保をしてほしい。予約患者ばかりの診察で満足に病院に行くこともできない。
40	・第一次産業である現状の漁業を否定はしませんが、他の産業（企業誘致：事務所だけではなく工場も含む）の整備が実現できれば人口増に繋がるのでは。 ・医療については、信頼できる医療を、安心して任せられる医療体制を。 ・福祉については、保育所等の保育内容、保育時間のさらなる充実。運動会は土曜ではなく日曜にする。また、日曜保育等、そのためには人材確保も必要ですが。 ・交通については、バス運行時間の充実を。高規格道路の整備については、現在の国道を拡幅し、安全を確保したう

年齢	問 22　意見・提案
	えで制限速度の引き上げで十分と思う。 ・スポーツ文化に関しては、市民はもちろん、周辺都市および札幌等への開催告知。人の移動が増えれば（宿泊を伴えば）サービス業の利用が増えるのではないか。 ・観光については、根室の良さを今後も継続的に行ってほしい。また、観光施設については冬期間の除雪、出来ないのなら、HP、パンフレットに掲載する。ねむろバードランドフェスティバル、釣大会等、根室らしさを前面に出した企画を今後も続け、増やしていけたら。根室は観光地としては魅力ある街だと思うので周辺施設の整備（駐車場や遊歩道や落石岬等（幅が狭く危険））が必要。宿泊施設のサービス（設備の充実、コインランドリーがないホテルがある）も併せて必要と思います。
20	娯楽施設が無い事が一番つらいです。第一産業が盛んだと思うので、その後継者を育成したいなら、若者が「根室に来たい」と思えるような施設が必要だと思います。
30	・活気ある街にするには、市民の協力は必要不可欠だが、自治体が率先して行動を起こしてくれなければ動きにくい。自治体が現在何をしているかは市民に届いていないのではないか。 ・根室市が街づくりに際し何をしているか、というのを市民が受動的にわかるようにしてほしい。少子化対策や高齢者支援も大事だが、人口を増やさなければ子どもがいない、高齢者しかいない街になるのも遠くないのでは。 ・市民協働については、お金を発生させてでも協力を仰ぐべきではないか。人口が少ないので、ボランティアを募っても人は集まるでしょうか。ボランティアで良くしようというのは少し生ぬるい感じがする。 ・アパートの賃料が高いです。 ・根室市だけの特徴ある市民支援を実施して下さい。 ・納沙布岬が寂れすぎている。
40	・花咲線を廃止して、釧路－根室間のバスを充実させてほしい。地元住民は老人と通学の利用だけで市民が満足に利用しているとは思えない。 ・札幌－根室のバスを深夜だけでなく、日中便もできるように働き掛けてほしい。 ・歩道の整備状況が非常に悪く、除雪も後回しで徒歩メインの市民には他の市町村で経験したことがないぐらい不便を感じる。 ・春先や秋には市街中心部にも堆肥の悪臭がただよってきて洗濯物も外に干せず早急に改善してもらいたい。（根室に住みたくない理由の上位） ・鹿の駆除を徹底してほしい（ハンター以外の方法なし） ・こういうアンケートのとりまとめも委託せず、市役所がとりまとめすべき
30	ナイナイのお見合い大作戦へ応募を希望する。普段出会いの場を持てない方々への出会いの場、根室市の魅力のアピールと人口減少問題を考える場になると思います。
50	北方領土の早期返還と返還後には野鳥の保護区に指定し、野鳥の見ることのできる自然公園にすることが出来れば、人口減少に歯止めがかけられ、移住促進にもつながるものと考えます。また、北方領土と根室の間を大規模な養殖海域にすればいいと思います。
30	・４月に引っ越してきたが、３歳の娘を連れてくる場所ではなかったと後悔している。ファミリーで楽しめる施設が少なすぎるし、一年のほとんどが寒いのに、なぜ公園ばかり整備するのでしょうか。根室の様な寒い土地こそ中標津ゆめの森公園のような屋内型の施設が必要なのでは。冬になったらいったいどうやって過ごせばいいのですか。 ・根室わんぱくチャレンジの景品がバッジとは馬鹿にしているのですか。せめて自由帳や文房具でしょう。役に立たないバッジもらって何に使うのですか。 ・全体的に活気がなさすぎます。この街に住んでいるだけで、気が狂ってしまいそうです。夕日の美しさや、食べ物の美味しさ、良い所もあるのに、活かすどころか、ダメにしているような気がしてなりません。今回は夫の転勤の都合でやむなくついてきましたが、このままの状況なら、二度と住みたくありません。
75	・明治公園を安心して散歩できるようにしてほしいです。今のままでしたら怖くて歩けません。 ・若いお父さん、お母さん達が中標津に出かけなくてもいいように根室の街も何とか知恵を出して頑張って下さい。
30	根室にはおいしい物や面白いイベントがたくさんあるので、それをもっと宣伝してもらいたいのと、宿泊施設をもっときれいに、また泊まりたいと思えるように整備して、根室市街から観光客が来てもらえるようにしてほしいと思う。そうしたら、活気づくと思います。
18-19	ＳＮＳでの悪口などの投稿が多く、学生同士や学生と社会人など言い争いなどが起きてしまうことが多くなってき

年齢	問 22　意見・提案
	ています。実際、けんかになってしまった事もありました。学校や市に匿名でそういったアカウントを報告し、対処してもらえると良いと思います。最近は小学生でもスマホをもっているので、そういうことが増えてしまいがちだと思います。スマホでのサイト規制だけでなく、ＳＮＳへのログイン規制もあるべきだと思います。
65-74	市内にある教員住宅（空き家）について。空屋のまま放置されているのを見てもったいないと思います。個人に売却するとか賃貸にするとか利用することを考えたらと思います。前に出稼ぎの労務者に何か月か貸してほしいと申し出て断られたという話を聞いたことがあります。ただただ古くなり壊れていくのを見ているのはもったいないです。
65-74	①　提案について実施項目がない。 ②　提案についての解答のない提案は政策部の本気性がかけている。 ③　役所の人材育成が必要
65-74	・市内の花壇の草が伸び放題。少し市内を外れるとごみが道端にいっぱい。ごみのモラルの悪さ。 ・空家がいっぱい。花咲港は空家がたくさんあり、ひどいことになっている。
65-74	生活に車が必要で、病院、買い物などで運転しています。一時停止の交差点などで、草が伸びていて、車が来ているかどうか見通しが利かず、見通しの悪い場所が多いです。大正踏切でも草が伸びていて、見通しが悪いです。 花咲道路、酒泉館の所（元コカ・コーラ）、その他にも一時停止して左右を確認するのですが、草で見えづらい所が多いです。草刈りをしてほしいです。
40	・子どもの医療費は中学生、高校生も無料にしてほしい。給食費の無料化。 ・医療機関、専門医の確保
20	広報ねむろが届かない月もあり、健康診断の日程を過ぎてしまった事が何度かあったので、何らかの形で周知の拡大をしてほしいと思います。
65-74	・市立病院の医師充実、常勤医が居なくて出張医が多く、週に 2 日程度の診察で、そのたび先生が変わり、安心してみてもらえない状態です。特に整形は手術や急を要する患者がいても対応できず、助かる人も手遅れ状態か。釧路までいかなければならず、病院としての役目をはたしていないと思います。これは他の科も同様です。これからは高齢者が多くなり、心臓、脳等早期の手当てが必要となってきます。専門医の確保を早急にお願いします。 ・漁業だけに頼らず寒冷地でも作れる野菜等、根室の特産品として育てる第三セクターを作って多くの雇用につなげ、人口減少を食い止め若者が住みやすい根室になってもらいたい。
30	しばらく北海道を離れていたが、根室市は賃金が低すぎる。家賃も高い。これでは潤うはずがない。
30	・個人店の電子マネーやクレジットカードを使える店の増加。観光客は現金より電子マネーやクレジットカードを使う機会が多い。 ・なぜ根室市より中標津町の方が全国展開している店が多いのか疑問。買い物するのにわざわざ地方に行く人が多いのが現実。 ・根室半島の道路は、観光にはとても良いと思う。でもオホーツク海側の道路が根室市街から行くのにわかりづらいのでもっと看板などを建てて根室半島線を宣伝すればいいのでは。太平洋とオホーツク海が短い距離で見られるのはとても魅力だと思う。 ・高規格道路は観光客を呼び込むにはとても良いと思う。釧路～根室間は国道 44 号線だとやはり遠い。 ・根室産の水産物は、本州でとても評価されている。根室産というだけでブランドになってきている感じがする。 ・根室市の街の景観があまり良くない気がする。塩害の影響で建物がさびやすいのが原因なのか見た目がさびている建物が多いので、建物を塗装すればかなり良くなると思う
75	昭和 12 年生まれの高齢者ですので、市の提案その他何もありません。 根室市に住み、満足な日々です。福祉の件も雪かき申し込み来てくださいます。また水道の工事色々とみて下さいますので、大変有り難く暮らしております。根室は多変良い街です。最後の日まで暮らしたいと思います。
30	公共料金の金額が高すぎるので、どうにかして欲しい（基本料金等）。
30	市立病院の小児科、少しでも症状の重い子は釧路や札幌などへ転院させられて、診てくれない。医師同士のやり方、意見の食い違いで患者や家族が惑わされています。子育てを安心してできません。大きい病院のある街へ住みたくなります。
40	・子ども達が安心安全に遊べる空間を。まず、早急に行って頂きたいことは、運動公園の河川敷の整備。とても危険でなおかつ、雑草だらけで近づく事もできない。 ・冬の除雪体制。少量しか降っていない日に大型の除雪車を稼働させる理由がよくわからない。それで年度末には除

年齢	問 22　意見・提案
	雪費が赤字だと新聞報道されているのを見ると、本末転倒ではないかと思う。大雪の時の 44 号線の除雪の仕方（3 車線が 2 車線になってしまう）や、道道や市道の除雪の遅れを何とか改善していただきたい。 ・イベントについて。根室管内の羅臼町では特産である羅臼昆布をＰＲするために「こんぶフェスタ」というイベントを開催しており、別海町では乳製品をＰＲするためのイベントも開催。ぜひ根室市も何か特産を生かしてイベントを開催し、市内外からたくさんの客が来根し、根室の特産を、根室市を大いにＰＲする場を作っていただきたいです。
30	・漁業・農業後継者を育てるために資格取得への経済支援など ・防災・減災面では、大規模停電への対策として、市街地の郡部の数件に、試験的でも自家発電機（大型）を設置して数日の停電に備えるようにしてみるなど。場合によっては補助金などの支援をしていくといいと思う。停電時の給油体制の充実など。
60-64	まず気軽の参加できるものを作ってほしい。
65-74	大きなスポーツセンターがあれば良いと思います。
30	・自然がたくさんあり、子育てをする環境としては良いと思う。しかし、今の世の中、夫婦共働き世代が多いので、フルタイムで働くと、平日 15：00 までしか開いていない病院への受診が難しい。せめて 18：00 まで開いていると助かります。（耳鼻科や皮膚科） ・市内の公園には、乳幼児が遊べる遊具がないので、小さい子供でも安心して遊べる遊具を設置してもらえると、もっと小さいうちから外で遊ぶ機会が増える。 ・大変だとは思いますが、働きながら子育てをしている方々が、もっと住みやすい、今後も住みたいと思える街になるとうれしいです。
30	①　ゴミに関して オムツの無料回収、プラゴミの無料回収、資源ごみ袋の無料配布、大変助かっています。プラゴミの回収日が 2 週に 1 回が少し不便です。週 1 回だと助かります。 ②　ショッピングセンターについて 中標津東武のような大型郊外型ショッピングセンターがあるとありがたいです（浜中、別海、厚岸あたりからも人が集える場） ③　駐車場について 市街地（古くからの狭い土地が多いため、仕方ないかもしれませんが）1 家庭車 2 台持ちの時代の流れに対応できていないので、駐車場の整備をお願いしたいです。現状路上駐車が多く危ない。 ④　キャッシュレスについて クレジットカード、電子マネー、QR コード決済対応の店が少なく、キャッシュレス化の推進をお願いしたいです。魅力的なスーパー「マルシェ」の現金のみ対応には正直驚いております。マルシェ独自のハウス電子マネー。
40	小中学生で不登校の子どもが多いと思います。家庭だけの問題とせず、教育現場や子どもの学力、環境、背景など対応しきれているのか不安に思う。学校へ行かないのはどうしてなのか。子どもの目線や立場など考えてくれる相談員、カウンセラーを増員したり、育成するなどの対応が根室市には足りないように思う。高校が一つである今、学力の向上とともに、心の成長、社会性を身につける教育が根室市には必要ではないかと思います。
20	・水産業と観光業は根室市の両輪であると思います。 ・水産業では、高齢の漁師には医療支援を、若く子育てをしている漁師の家庭には生活支援を今まで以上に手厚くすることが大事だと思います。また、加工業の労働者を保護し、繁忙期の賃上げはできないのでしょうか。 ・観光業ではまず観光地の設備の清掃が行き届いていないのではないでしょうか。また観光地へ続く道路のごみも目立っているようです。来根される方のため、市として呼びかけ、清掃ボランティアの主催を行うのはいかがでしょうか。さらに、観光で大切な接客についても、地元寄り地元中心の様な気がします。市の主催でマナー講座、接客講習などを開催してはいかがでしょうか。 ・街の景観について、各所で太陽光パネルが設置されていますが、自然の景観を損ねないよう対策が必要だと思います。 ・花咲港地区、小学校裏の工事ですが、周囲に干場があるので、粉塵対策、交通安全対策が必要だと思います。
75	バス停にほとんど椅子がなく、荷物があるので立って待つ間がとてもつらいです。 場所で椅子がほしいのは、市役所の左側、昭和通りの前の薬局前。

年齢	問 22　意見・提案
40	・札幌行きのバスは現在、深夜バスしかないですが、朝市の便を作ってください。深夜バスは身体が辛いですが朝なら苦にはならないので。 ・別海・中標津、標津、浜中、厚岸等の週辺市町村のイベント情報を集約したＨＰがほしいです。なかなか情報が入ってこない気がします。
65-74	パークゴルフ場の芝の管理について。もう少し費用をかけないと良くならない。悪くなっている。管理棟も他市町村に比べ劣っている。数年前に比べ費用を削減したのでは。
65-74	幼児から老人まですべての年代の市民にとって住みよい街になっていくことを願っています。
65-74	花フェスタとか朝市など市内でやってほしいです。
65-74	緑町の商店街はイベント以外で歩いている人は見かけることが少なく寂しいです。買物以外、外に出かけないので、街中に年配者でも気軽にお茶したり、おしゃべりなどできる、集える場所、喫茶店などあったら良いと思います。
50	頑張れ根室！
18 以下	・16 歳なのでアンケートが難しすぎると思います。 ・根室の市立病院の医師がてきとうなので、なかなか治らないので、遠い釧路までいかなくてはならないので、もっと良い先生を連れてきてほしい。 ・根室市は現在衰退してきている。店はつぶれたり、あまり大きな店がないから不便です。人が少ないから、需要が減って店がつぶれるのはわかっているのですが、もっと早くからアンケートをとって、この田舎に人が住みつけるようにしたらよかったのではないでしょうか。大きなスーパーマーケットやスポーツショップなどがないのはとても生活しにくいと思います。 ・私は死ぬまで根室市に住んでいたいです。 ・第一次産業の漁業、魚や昆布が採れなくなってきて漁業をやっている人は生活が苦しいと思います。それを踏まえた環境作りも対策をお願いします。根室市がこれから発展していくのを心から期待しています。
40	住民が行政に頼り切っている。
75	町中にいつでも時間を決めて老若男女が休息できる待合があると良いと思います。買物ができてお風呂があって、地方へ行ったときにこれは良い商業施設だと思ました。
75	民主主義の根本となる「地域コミュニティ」をどう作るのか。根室の特性は市民一人一人は人情の厚い街だと思う。しかし、色々なまとまりに欠けるところがある。確かに文化・スポーツのサークルの数、8 月のお祭りなど「団結する力」もあるので日常生活、子ども達を育てること、高齢者の安心して暮らせる「まちづくり」等々には行政と地域の協働が不可欠になっているが、市民運動や自主活動などをやりやすい環境にはないと思われる。だからこそ、そうした活動がやりやすい状況を作るには、もっと、行政がしっかりした方針、施策を持つ必要があるのではないか。「自ら考え、自らが計画し、自らが実行する」こんな「まちづくり」に行政としてどう支援すべきか、本当の意味での「協働」の「まちづくり」について本格的な研究と取り組みを期待する。
50	・青少年センターの建替え（新築）を早くしてほしい。中体連、高体連などの当番になった時の大会施設があの古い建物というのは、市民として恥ずかしいです。しらかば保育園を新築する前に、まずそこを建て直すのが良かったのではないでしょうか。 ・これだけ漁業が不景気なら観光にもっともっと力を入れた方が良いのでは。せっかく野鳥の宝庫と言われている自然がもったいない。ホテルや旅館などの設備も市が助成して泊りやすくした方が旅行者も根室にお金を落としてくれると思います。 ・ふるさと納税を何にどのように使用したのか、わかりやすく知らせてほしい。せっかくの善意なので有効に使ってほしい。 ・市議の方々はきちんと仕事をされていますか。何をしているのかさっぱりわからない。アピール不足。定員を減らしてください。税金もったいないです。
65-74	生活保護の受給者をもう一度検討してください。年金受給者より多くお金をもらっているそうです。調べてください。
30	住民票など実の親であっても本人（成人した子）の同意なしに勝手に入手や閲覧できないようにしてほしい。実の親でも距離をとって住所を教えていないのに、根室市役所は親だからといって勝手に教える。教えていないのにはそれなりの理由がある。良い親ばかりじゃなく毒親もいるのだから、勝手に教えるのをやめてほしい。何かあった時に責任とれるのですか。他の市では本人の委任状なしに親であっても勝手に入手や閲覧できない所がある。根室もそうい

年齢	問 22　意見・提案
	った対応していただきたい。
40	・国道や道道の整備だけではなく市道も整備してほしい。少し細い道だとかなり隆起している道路がたくさんあり、車だけではなく歩行者（高齢者も幼児も）誰もが安全に通行できるようなきれいな生活道路が増えることが望ましい。難しいと思いますが。ただ、すごくありがたいと思ったのは、自宅前の道路がコンクリートで、とても大きく穴が開いていたのが、すぐ埋めてくれたようで、誰がやってくれたのかは分かりませんが、毎日通る道路を直してもらって感謝しています。 ・根室市役所の建て替えはしないのですか。働く職員もきれいな建物で仕事した方が良いと思います。仕事で市役所へ行くことがありますが、階段上るのが辛いので建替えてエレベーターをつけてほしいです。職員もエレベーターがあった方が良いと思います。
30	・運動公園に室内で遊べる場所を作ってほしい。公園らしさを作ってほしい（遊具が少ない） ・夜行バス運賃が高い。おしぼりの配布なくなったし、バスの席数を減らしてもう少し足を伸ばせたり、ゆったりできるバスを作ってほしい。8 時間も耐えられない（足のむくみ、腰の痛みなど）往復 14800 円もするならそれくらいのバスをつくってほしい。
75	書きたいことはいっぱいありますが、どう書けばいいかわかりません。5 歳から今の住所に住んで 75 年同じ所で何も変わらないまま年ばかりすぎて。何もなく過ぎたこの町にありがとうを言います。
20	・今の根室は昔の夕張市と同じだと思います。公共料金も値上げになり、家を買うにしても街から離れている所。古くて危ない家など建物はそのまま。今はニュースでも地震の事やっているのに対策は何もしていないと思います。若い人こそ、今、根室に必要なのに、何も対策もなければ変わらないし。 ・市立病院も医者がいないから満足できるわけない。 ・根室市は高齢者ばかりで、葬儀会社に人数もいない状況。国で決められているのに、葬儀会社は 24 時間、月に休みも１、２回しかない。有給も満足に使えない。人手不足な所をもっと市は調査していかないとだめではないですか。 ・根室を改善したいなら、大きな事やればいいかと。根室市は、上の人の頭が固い。時代はもう昭和でもない、挑戦がなさすぎます。 ・1 年 1 年、過ぎても何か大きなことはないし、つまらない。市長が変わっても結果何も変わらず。根室は市じゃなくて、町なり村になると思っています。
50	根室はこれからも北方領土問題の解決なくして発展は有り得ません。 北方領土。ロシア島民との間で水産、林業、軍事、領海、土地と占有権等、事前に各分野での問題を話し合い、解決の道を模索しておく。国が中心になると進まない話も「もしも」として市民レベルでいろいろ話すのは大切だと思う。これがまず最初の一歩だと思う。 ロシア側での反対運動などはもし何の保障も無く追い出されたらと考えたら当然の事。「例えばこんな保証が有る」「立ち退き希望者だけ保証される」「経済特別区化だとこんな良い事が有る」「日本が来るとこんないい事が有る」など、いろいろ話し合い、国に情報を上げるべき。反対運動の主催者がどんな事を考えているのか、意外な事もわかるかも。とにかく話し合いの基本は「お互いを主張しあう」のではなく、もし winwin の関係を築いていくためなら「何を妥協しえるか」という点で、進んでいかなくてはいけないということです。最初からテーマは「妥協しあう事で winwin を模索してみる」とするべきです。
75	1. 共同墓地をもう少しそれらしくして下さい。 2. 仏事に関して家々でばらつきがあって戸惑いと不安があるので、標準的な数字を示してもらえれば良いです（お布施等） 3. 地方の町にありがちですが、特定の組織、団体等と必要以上のかたまらないように。マンネリでもいつも決まった人々が集まって決まった事をやっているように見えると、市民から見られることが多いようです。
50	・根室には山や温泉がありませんが海や川など自然があります。冬は寒くて厳しい日もありますが、空気が澄み切った夜は星がとてもきれいです。無理せず、何もない、自然しかない町を売りにして、都会で忙しく働いて生活している人達を癒すような町づくりはどうでしょうか ・もっと健康的な生活を送れるよう、過ごしやすい季節には市民が外を歩くなど、市からも促してもらえないでしょうか。 ・別海町では、特に高齢者に優しく、一つの窓口で、必要な書類等を違う部署の職員が持参してくれます。根室市で

年齢	問 22　意見・提案
	窓口に同じ事を申請しても「たらいまわし」にされ、挙句に「うちの管轄ではないのに」と市役所内の問題を市民に愚痴り、とても嫌な思いをしました。私は歩けますが、足の悪い年寄りは大変だと思います。また、別海町役場のカウンターに色で識別できるような仕組みされていて、とても便利でした。ぜひ根室市も取り入れてほしいです。
75	根室には、花いっぱい運動が活動している様子ですが、花と緑の町づくりに参加しませんか等と、ときわ台公園など噴水があり身近な場所で、子供からお年寄りまで活動を通じて交流を持ち、家の庭の小さな花一つでも持ち寄って、自分の都合に合わせて参加できる、気軽にお話ししながら花好き同士が小さな輪から大きな輪の花でどんどん広がっていくといいと思う。
40	高速道路が整備されれば、病院にも行ける、買物にも行ける、水産物の流通が盛んになる、観光客も増える。
40	飲食店などを増やしてほしい。マクドナルド、ミスタードーナツ、ケンタッキーなど。落石にコンビニがほしい。
40	根室市には、子供たちが遊べる施設、公園がないと思います。中標津のゆめの森公園の様な場所があれば、根室市以外からも人が集まり、なおかつ子供を作ろうと思う親も増えていくと思います。とにかくなにもイベントもないのに、人が集まる施設や場所があればもっともっと根室市が盛り上がっていくと思います。
30	公園の遊具をもっと充実させて、子供が外で体を動かせる環境を作ってほしいです。
50	毎年人口が減っているので、特に若い人、進学などで札幌などに行っても根室では働く事はないので、帰って来たとしても働く所がないのが根室の事態だと思う。 若い人にとって地元の魅力って何。何もない。これも根室の実情。 若い人が根室から離れていき、残るのが年を取った高齢者ばかりで過疎化している。もっと安心して生活のできる根室、ここで生活できる幸せを味わえる根室、そんな根室だったらなと思う。
50	・根室市役所の人達、もう少ししっかりやってほしい。今まで給食費払いが悪かったり、新しい職員をなかなか入れてもらえなかったので、今になって足りないと言っている。もう少し上手に人使いしてほしいです。 ・市立病院もやぶ医者ばかりで反対に病気がひどくなったりした事もあります。 看護師が足りないからと言って、私の母はほったらかしにされて、亡くなる人が多いです。とても怖くて行けません。頑張っている人もたくさんいるのですが、淋しくなる根室です。介護も入れなくて待っている状態です。介護施設もあまりありません。まじめにやっている人が税金払ってやっているのに、もう少しわかりやすい市役所であってほしい。
40	役所の人間が根室からすぐ移住する。それだからだめなのです。根室で退職金をもらい地方で全て使う。
30	・税金が高すぎる。何に使っているのかいまいちわからない。市道がガタガタで車で走りづらい。飛び石がこわい。 ・市役所の職員の態度が悪い。怖い。
75	75 歳過ぎ、犬と何となく１日１日過ごしていて、アンケート内容を見て知らないことがたくさんありましたが、この中の１つでも友達と話すこともない現実をつくづく感じました。私の周りの人達も知らないと思います。 「ワーク・ライフ・バランス」が良ければ何の苦労もないと思う。理想です。きっと楽しい人生でしょう。
60-64	ふるさと納税の使い方をもっと詳しく知りたい。改善された結果、良好になった結果も知りたいと思います。
75	私の住んでいる付近についていえば、隣人愛的な感覚を持っている人が少ないように思う。小さい頃住んでいた函館はもっと良かったように記憶しています。
50	新しい公園を作るとしたら、もう少しセンスのある公園を作ってほしい。根室のセンスは悪すぎる。
18	最近、小さな子供が被害を受けるニュースが多いので、もっと子供に気を使い真面目に取り組んで欲しい。これ以上悲しむ子供が出ないように。
40	・これからももっと根室市をＰＲしていってください（全国的にも、全道的にも） ・色々なイベントや行事で根室の街をもっと活性化して盛り上げていけたら良いかなと思います。
30	・町が汚い。 ・道路わきの草木を早めに切ってほしい。（運転しづらい） ・夢原館の体育館の料金が高い。使いやすくしてほしい。 ・高齢者の住宅、ボランティアの育成を早くしてほしい。入所も入りやすくしてほしい。 ・市役所も駐車場が狭い。どうにかしてほしい。根室市は皆、車がないと不便な地域。特に郡部の方たちは。
30	・子供が遊べる施設を充実させてほしい。

年齢	問 22　意見・提案
	・高速道路開通　・診療体制の変更　・住宅購入の助成金 ・家賃が基本的に高いため、安い住宅の賃貸体制を充実させてほしい ・海産物が味わえる施設の建設
30	・根室で出産をやらなくても良いのでは。何かあった時に危険。 ・産後１か月検診は釧路までいかなくても良いようにしてほしい。検診に行っても知らない医師だし意味がない。根室で十分だと思う。とにかく行くのが大変。 ・ボストーク ラボがあまり営業していなくて残念。 ・ニホロは平日なぜ客がいないのか、もっと使い方がありそう。きれいな施設なのにもったいない。 ・根室の魚を焼いて出してくれる店があるといい。魚を食べたいが家で焼くのが面倒で焼いた魚を売ってくれないかと思ってしまう。
65-74	根室市の職員が多いのが、事務関係人口が減りワープロ時代のため、人員が多すぎる。職員が仕事せずパートが働いているため、人口減により、人員が多すぎ、事務職に人はあまりいらない。市立病院も事務の人が多すぎ。サービスも良くない。水産の町のため、水揚加工業の仕事を多くしてほしい。市内の活力、良い街にしたい。
40	・最東端のとがった魅力が根室にはあると思うので、道外の、本州の、力のある市場調査会社に委託するなどして、魅力の掘り起こしをされるべきと考えます。 ・根室の人が根室にいながら（又は北海道内を基準に）考えるだけでなく、日本全体の中で、根室に寄って、それから近くの空港から帰路につくような流れを作っていただきたいです。 ・碓氷勝三郎商店の酒蔵を、もっと見学者の受け入れや、試飲コーナー、土産の販売など、「北の勝」を起爆剤に観光を作るのは難しいのでしょうか。何もないわけではない根室にあって、増毛の「国稀」のような売り出し方を見るにつけ、悔しい気持ちがあります。
40	食育、今のままの献立ではかわいそうです。市町村で献立のメニューの違いがあるのはおかしいと思いますし、平等な食育を望みます（給食）
30	せっかく納沙布岬への観光客が多くいるので、もっときれいな土産店や地元料理の市場、レストラン等を整備して、魅力ある観光地にしていったらいいと思います。
60-64	大学等に進学した若者等が根室の戻ってきたいと思えるよう、働く場所の確保、暮しを楽しむための施設の充実等、ふるさとが好きと思えるように魅力ある市を目指してほしいと思います。 厳しい財源ではありますが、使い勝手の良い様、公共施設や憩いの場がコンパクトにまとまっていると便利です。
30	・難しいかもしれませんが、やはり整形外科の医者２名確保を頑張ってもらいたいです。 ・根室の規模に対して市議の人数が多い気がします。 ・外国人がそれなりに多いので（ロシア、ベトナム）彼らに向けて観光案内があればいいのかもしれない。
60-64	まちづくりは経済が循環しないと人口減少に拍車が係り、過疎化が進み、福祉、子育て等生活環境の充実は困難となる。 移入者を増やすのは難しいが交流人口を増やす為にも 1　柏陵中学校の場所に、貸しビルを建設し道に貸与し、振興局の撤退を抑制する。民間管理とし収益を上げ、根室振興局跡地に新市役所建設、現市役所跡地に道の駅・物産館を建設し駐車場も兼ねる。 2　根室病院のいずれかの診療科を特科し、最新の機器を充実させ管内、または道東からも患者が来るような診療科とする。 3　夏の冷涼な気候を利用し廃校小学校を宿泊付き夏期講習の場としてネット環境を整え全国の予備校に呼びかける。　等で交流人口を増やす。
18	・新しい設備、町の景観整備等に時間やお金、労力をかけても、すぐ壊れたり衛生面が良くなかったりしては意味がないと感じます。整備後の管理の仕方、しやすさももう少し視野に入れてはいただけないでしょうか。 ・私が見ている根室はほんの一部でしかないと思いますが、学生と先生、保護者の方々とのコミュニケーションに不安を感じています。いじめアンケートで答えられない方もいると思います。このままの状態で、中学校統合の件が進むのは町の学生の治安が悪化するように思います。知識が浅く、限界があるのもわかりますが、近くから見ているとそう感じました。高校が一つになったことで悪影響が大きかったと感じた。 ・アンケートを積極的に実施していただき、結果を開示してもいいと思います。 ・コミュニケーションの場や機会を多く作っていくと、ニーズが伝えやすく市民としても住みやすい町への考えも深

年齢	問 22　意見・提案
	まると思いました。
75	80 歳を過ぎて、自分の体の事で精一杯なのです。もう 10 歳若かったらまちづくりについて前向きになれるのでしょう。根室を悪く言う人には心が痛みます。
20	・根室は第一次産業の町です。水産業も漁獲量も減少し、人口も減少し、酪農家の後継者不足もあり、色々な所で減少傾向にあると思います。 ・病院も医師不足であり、難しい病気や出産は第２子からと不便だと思います。病院は平日しかやっていないので、出来れば土日も午前中やってもらえると、会社員でも行きやすくなるかと思います。 ・根室にいる人が、根室で買い物や大きいお金を消費し、根室に税を納めて頂く環境づくりを整えたらと思います。ふるさと納税はたくさん集まりましたが、使えるお金の範囲が決まっているので、違う形でこの根室が潤う経済活動が必要だと思います。 ・北方領土問題も長引いているばかりで進展が見えません。祖母が島出身ですが、高齢です。何か進展する事を願っています。北方領土２島でも還ってくれば、少なからず根室は潤うと思います。島民の皆さんも喜ぶと思いますし、政治のからみもあり、難しい点いくつもありますが、それでも還ってくることは根室に大きな利益につながると思います。
18	何か根室にしかないものがあれば、もっと人を呼び込めると思います。
50	進まぬ北方領土の返還、じれったい程に薄れていくのでは。根室県庁があった根室の歴史など知らない方がいる。そういうことを忘れないため、子供から大人まで参加できるようなクイズなど交えて楽しく郷土の歴史に触れるイベントがあっても良いのでは。 たとえばアイヌ語の「ニムオロ」から「ネムロ」と聞いた。根室の花は、木は、根室十景等。ラスクマン、リンドバーグ、もっと知らないこともあるはずです。 きれいで活気ある街になってほしいです。
65-74	人口減少に伴い、商店街がシャッター通りとなり、子供達も高校卒業と共に流出し、淋しい限りです。企業の誘致、観光客の案内などを充実させて少しでも若者が根室で働きたいと思う街づくりを目指してほしいです。 授業の一環として根室の名所・歴史などを教えて、将来根室のためにと思う人材育成を教育の中で取り入れてほしいです。
75	根室市は戦後、人口が 5 万人近くになったこともあったが、現在人口は半減し、水産都市根室と言われているが、水産物の水揚げ量は年々減少しており、危機感を募らせております。 炭鉱の町空知のようにならないよう、施策を講じていただきたいと願っております。今回の調査の中で、北方領土に関する事項がなかったのは残念です。
30	①　不法投棄されたゴミを撤去して自然景観を良くしてほしい。一度投棄されると犯人はなかなか見つからず撤去するにも土地所有者の負担が大きく撤去が進まない。せっかく豊かな自然（森林や湿原があるのにゴミによって台無しになっている） ②　市民参加で根室の河川の生物調査を行えたらと思う。小さな川の中でヤマメなどの姿が確認できる場所もあるので、調査によって水産資源の状態も知れるのではないかと思う。また、河川保護にも興味を持つきっかけになるかもしれない。ウチダザリガニが増えている中で、在来の二ホンザリガニの発見の可能性もあり、保護対策ができるかもしれない。
40	道内の他の市よりも劣っている感がとてもある。これから先に不安しかない。
30	高齢権力者の世代交代が必要だと思う。すぐに権力者の意思に従うのもやめた方がいい。
50	水産業、漁獲量で根室市民たちは、生活がなり立っている。今のままでは本当に未来は先細りのように感じます。人口減少にどうやって歯止めをかけられるかが市政の課題です。
65-74	中型犬を飼っています。以前は車で運動公園のドックラン（冬はなし）に連れていき公園を歩いた後にドックランにて走らせていましたが、小型犬が多いので、中型犬は申し訳なく、いつしか使用しなくなりました。高齢になりつつあるので、市内で散歩がてら利用できるドックランはできないものですか。空地もありますし、市の土地、個人の土地色々ありますが、使用料のＢＯＸと囲いを作りできませんか。色々問題は出てくると思いますが、喜ぶ人はいると思います。 運動公園は市内から徒歩で犬を連れてくるには遠すぎます。考えてみてください。
30	根室に転入前は観光地に住んでおり、ボルダリングをしていました。冬は雪で外遊びもできず、春・夏も天気が良く

年齢	問 22　意見・提案
	ない日が多いように感じます。冬の期間、また悪天候の日でも体を動かせる場所が欲しいです。三宅島（だったと思うのですが）雨で観光できなくても楽しんでもらえるようにと、廃校になった学校の体育館をボルダリングジムにしています。根室でも同じような事ができないでしょうか。こちらに来て半年になりますが、毎日ボルダリングで体を動かしていたのに、何もできずつまらない日々です
75	今日まで歯舞という地に生きて何事にも無関心というか、何事も人任せの人生の様な気がします。
40	・女性が働きやすい町に。子供育てたり、介護したりと色々役割がある中で 24 時間預かり保育してもらえる場所ができるといいと思います。 ・子育てが優しい町に。全天候型施設（中標津のゆめの森公園のような） ・大人にも優しい町に。全天候型ウォーキング、運動公園が施設になっている感じ。 ・健康な町。食・運動・景色・湯治など充実している施設で、観光客・地元の人が娯楽出来るところがあると良い。
30	東根室駅をもう少しきれいに整備してはどうか。せっかく遠くから観光客が来てもあれではがっかりさせてしまうだけ。二度と来ないと思う。もう一度来たいと思ってもらえるよう、草を刈るなどした方が良いと思う。
20	毎年アンケートばかりとっているが、現状は全く変わっていないと思います。アンケートをとる意味があるのでしょうか。数字で統計をとったところで、市民参加型のまちづくりをするには何も意味がないと思います。イベント・行事の情報発信をＳＮＳなどで、もう少し大きく分かりやすく発信してみたらどうでしょうか。
40	小学校までの部活動が強くて盛んなのに中学へ行くとレベルが落ちる。その中に金の卵がいたとしても根室では育たない。育てられない。結局、高校は地方へ。 意味がない。根室のスポーツ、プロ選手になれるような子を育てる教育をしてほしい。根室から全国大会など出てほしい。もっと根室を知ってもらえる事をしてほしい。
40	このようなアンケートや意見を書いたりしても何ら反映されているとは思えない。市立病院の対応等も全然変わっていないし、町全体をみても活気もないし、子供が遊べる施設もなく、つまらない所です。
65-74	第一次産業振興事業に対する市負担金の増を図り、事業実施率を促すべき。
65-74	信号のない道路や通学路の整備を強化してほしいです。朝の時間混んでいる場所等をお願いします。
30	ふるさと納税、すばらしいです。これからも頑張ってください。
40	市からのメールを有効活用してほしい。防犯などでは不審者情報、クマ出没情報なども、どんどんメールを使って周知した方が助かります。 他の地域では市役所からのメールを、携帯電話で情報を知り、自分や家族の安全に気をつけています。根室ももっとメールを使い情報を提供してください。
60-64	旧西高を高齢者専用住宅にできないでしょうか。
65-74	①　少子高齢化が一番の心配事です。人口流出を止められないのは、働く場が無い事が最大の事由と私は思います。企業誘致もここ何十年もままならないのでは。官民一体で何らかの事業を起こせないものでしょうか。経済団体もしっかりしてほしいと思います。（努力している姿勢が私には見えません）例えば「ワイン城」の池田町のように、あるいは大規模な水族館やレジャー施設など（夕張市のようにならないように慎重さが必要ですが） 幸いに「ふるさと納税」の寄付額が好調ですが、いつまで続くとは限りません。財政的に今が良い機会ではないでしょうか。ともかく、人口移入も含め、人口増加に特化して知恵を出さなくては、大好きな根室はゴーストタウンと化してしまいそうです。そのための税負担が増えるのであれば喜んで受け入れます。 ②　空家が目立ちます（公営住宅も含め）思い切って市が買い取り、賃貸業も必要では。もちろん第三セクターですが。
30	緑の自然が魅力的な根室の街ですから、そこをいつまでも大切にする根室であってほしいです。
30	・根室のイメージは明るいなどのイメージはなく、暗いとか色でいうとグレーのイメージです。居住の満足度は普通に〇を付けましたが、今は自分で車を運転できるので、今の所、不便は不便だがそこまでではない。しかし、これから年をとると不安しかない。医療、子供の学校（高校、大学）は、結局根室を出て、人は移動していく、人口減少。若者が少ないということはやはり明るいイメージが無くなるのではないかと思う。 ・郊外の森林に目をやるとゴミも気になります。小学校でのクリーン作戦等で小さいうちからゴミ拾いしてゴミを少なくする、捨てないよう教育した方が良いと思います。自然がたくさんだという割にゴミ（ポイ捨て）が多いと思います。森林だけでなく港周辺も。 ・空家対策もしてほしい。花咲港周辺はその家があるだけで暗く感じます。風も強いのでいつか飛んでくるのではと

年齢	問 22　意見・提案
	不安です。撤去してほしい。網を張っているけど不気味です。そもそも不気味。市にお願いするのも変だと思うのですが。家の持ち主が何とかしなければいけないと思います。
50	最近の財政がふるさと納税やクラウドファンディング等に頼りすぎている様に感じます。いつまでも半永久的にあてにできるものならば良いのですが、少し先が心配です。
40	・市内が老人会のようになっている。町会も老人会のようになって若い人が加入するメリットが全くない。市内にゴミが散乱している（モラルの問題）。老人が多く力を入れるのは分かるが、これでは町に活力はわかない。 ・市立病院しか内科以外の病院がないが、職員や医師の評判が悪く行く気がしない。
30	根室半島チャシ跡群の保全が不十分。
40	ニトリが市内にできるかもと話を聞きましたが、地元会社の反対があり、ダメになったとの事。新しい物を取り入れていかないと、街は活気づかない。新しい物を取り入れていかないと街は活気づかない。変わらないと思う。 地元会社も新しく入ってくる会社も共存できる街づくりが必要ではないでしょうか。市で行っている健診等も情報をどこから取り入れたらよいかわからない。今までの市町村は、家に郵送されてきたが、今回はまだ来ておらず。
75	漁業不振で、漁業基地の花咲港は活気が失われています。市内も同じことですが、花咲港で働き車で市内に帰る人が多いです。もし、花咲港に市内にある団地型住宅（大きくなくても良い）があれば住む人も出ます。それにより花咲港の活性化につながります。大型漁業基地港にふさわしい団地型住宅を望みます。港で働く人のためにも。
65-74	・北方領土対策事業が根室市と振興局に分かれているのが不自然、根室市に統合して予算の充実を。北方領土返還事業の各団体のトップが固定化、口では後継者不足を言っているが、まず現在のトップが降り、バックアップに回るべきと思います。 ・市役所の早期建て替えを実施して下さい。 ・根室市史編集事業は本にするとともに全てをネットで公開してください。 ・町内会活動を見直し、実状に合った活動へ。現在は老人クラブ化しています。
75	高齢運転者による重大事故が相次ぎ、免許自主返納の働きかけが言われていますが、返納してもタクシー券が出るなど優遇される面もあるようですが、その高齢者の免許を取る時代には色々事情で受けられなかった高齢者もたくさんいて、乗物の無いのには大変苦労しています。町の中は風呂がなくなったからとすぐバスを出す。歩いても行けるはずです。それなのに、落石、根室間は１本のバスも無く汽車も止まらず駅を通過するのも何本もあります。それなのに、バスと汽車の券を出しているのは、どこで使えという事なのか。以前に役所に話したこともあるそうですが、決まりだからという返事のようでした。高齢者は乗物が無いためだんだん外出も一人でできず閉じこもりがちになり、医療費の加算に繋がるのではないでしょうか。バスと汽車の券の分だけでもハイヤー券か他地区でやっている様に通学バスの行帰の空車を利用するなど考案はあるはずです。農漁村の高齢者は若い頃から身を粉にして働き納税組合を通して税金も納め市に貢献してきています。何とか検討していただくように高齢者からの強い要望です。
75	ロシアとのビザなし訪問事業廃止してください。意義・効果ほとんどなし。税金をどぶに捨てるようなもの。プーチン大統領は２島すら返還する考えはさらさらなし。とにかくロシアは信頼できない恐ろしい国家です。北方領土返還総決起大会の会場から政府首脳に一喝した声は住民の本音です。
65-74	・市民の森と運動公園との連動、一体化によりウォーキングの範囲と自然とのふれあいを大切にできる。
65-74	味覚観光都市宣言で多くの観光客が根室を訪れてとてもうれしく思っています。毎年この時期になると残念に感じているのは、国道わきに雑草が多く生えていることです。どうにかなりませんか。他の地方都市には見られません、皆、整備されているように思います。整備して、観光客を迎えたいものです。
40	根室市は北海道の端にあり、便利で都会とは言えませんが、豊かな水産資源など誇れるものはたくさんあると思います。特に自然はとても大切な財産と思います。市民がそこに気づくことも必要だと思います。
30	市内には空き施設があると思います。新たな施設を建てるのであれば、目的外であっても既存の施設を再利用する方が良いと思います。
65-74	現状の根室は、水産業の停滞と人口の急激な減少、このことが根室の将来に向けた一番の課題と思います。 水産業については、種々対策対応をしていることは少し理解するが、人口の減少は市民生活の基本に一番影響がある事なので、早急な対策の実施をした方が良いと思います。
30	・魚が捕れないと水産加工場の仕事がなくなります。左右されない食料品などの工場を誘致して、加工場以外の働き場所があるといいです。 ・人出不足なので仕方ないのは分かりますが、もう少し交通の便が良くなるといいです。他の街のように、乗り合わ

年齢	問 22　意見・提案
	せタクシーのような事はできませんか。
30	・長期的な視点で街づくりを考え、特に公共施設等の修繕を行う際は将来的な立地や周囲の環境、交通等を考慮する。 ・将来の災害に備えるため、思い切りのある計画を立てるべき。防災組織や体制の整備以上に減災を目指した計画が必要。結果的な被害額等の差を考え検討すべき。 ・市民が計画等に参加できるような仕組みづくりも良いと思う。
65-74	・中標津のゆめの森公園までいかなくても、子供たちが遊べる施設（雨の日でも遊べる）を早く作ってほしいと思います。 ・市立病院の医師充実、患者さんの評判の良い先生などの待遇を良くして長く根室で活躍していただくように努力して下さい（内科の伊藤医師、眼科の大谷医師、長く根室にいてほしいです)。
65-74	・道路標識を整備する。 ・観光スポットの案内標識を充実する。 ・観光スポットの整備・草刈はボランティアを募る。 ・観光スポット全てに散策路を整備する。→根室十景の遊歩道整備・充実 ・行政に頼らない気概を育て、地域住民の自主的な行動と自由を尊重する。
65-74	・積極的な企業誘致をお願いします。 ・人口減少による対策 運動公園の早期整備 緑町の市による街づくり 青年会議所等若年層による意見を聞く （年配者自己利益のみ効いていると思います） ・中学生、高校生に運動支援策を。道内、全国的なレベルの人々はたくさんいると思う。
40	・私の職場では長時間労働がまだまだ横行している。疲弊している毎日を送っている。「働き方改革」を市でも積極的に取り組み（労働本来の適切化を望む）適正なワーク・ライフ・バランスが実現することで「まちづくり」についても意見参加したいと思える余裕が生まれると思う（個人的に)。行政として見本を示しワーク・ライフ・バランスが実現できる社会環境を作っていただきたい。
60-64	根室市は家から外に出てとにかく坂の多い所です。バスの便も悪いし高齢者の人達が出歩くのは不便だと思います。あと、若い人はどこも遊ぶ所がありません。人口減少になるのは、それだけではないが、そういうこともあると思います。「まちづくり」は本当に大変だと思いますが、仕事をして、そのあと、ストレス解消できる所が必要だと思います。私も若い時からそう思っています。高齢者の人達ばかりになったら大変だと思います。
40	人口が減ってきて、商業を中心に不便になってきている現状がある。そのため企業に進出（企業誘致）してもらい、減少を食い止めてほしいです（厚床の明治も撤退するので何とか残ってほしいです）
30	・ゴミのポイ捨てが色々な場所でされている。きれいな町ではない。 ・観光施設が少ないのでまた来ようと思われない。 ・市営住宅の整備・新設をしてほしい。 ・子供の遊ぶ場所も少ない。のびのび育てられない。（人口減少につながる） ・若者が働くところも少ないので、根室から出てしまう。（人口減少につながる） ・シャッター街になっている所の再利用や外から企業や人が入ってきやすい環境を作らないと市民だけでは限度がある。 ・市役所の職員の態度・意識等の改善をした方が良い。市民に対する態度が悪い職員が多すぎる。 ・郊外の下水道整備がなされてない。
60-64	・行政、議会とも事なかれ主義になっている。老人が市政の中心なので、変化は期待できない。今のままでは 20 年後は夕張と同じになっていると思う。もっと 30 代の意見を取り入れるべき、若者に期待。 ・元島民の特権を無くしてほしい。島民以外は簡単に島へは行けないのに、国民に総意を求めている現状はおかしいと思う。
65-74	・根室は北海道の中でも運動施設や憩いの場などが圧倒的に不足しているし、貧弱であると思う。若者が根室を離れる大きな一因になっているのではないだろうか。

年齢	問 22　意見・提案
	・官民挙げて特産品を開発するとともに、水産の町の水産品の付加価値をより一層高める努力が必要であろうと思う。 ・水産品を求め、隠れた豊かな自然を満喫するために訪れる観光客の足を確保するための鉄道と道路整備が重要であると考えます。 ・一部の転勤者ではあるが、根室の街並みに、緑が豊かでおしゃれな雰囲気と佇まいと、魅力を感じている事に思いを致し、市道や歩道、公園整備にもっと市費を注入するべきと考えます。
50	・根室は、医者が居なくて、たばこ臭くて、水産資源が豊富にもかかわらず、それを美味しく食べさせる飲食店が無くて、まともな宿が少なくて、学力が低い所だと思います。一方、自然景観が素晴らしく、美味しい海の幸や生乳があります。 ・根室を将来魅力的な町にしていくためには、長所を伸ばし、短所を改善することだと思います。そのためには外からの人を増やし、新しい考え方などを取り入れ、旧態依然とした体質から脱却することが求められていると思います。 ・市役所の方々にはぜひ、既得権益を守ろうとする一部の土地の名士に屈すること無く戦ってほしいと思います。道内には東川町のように人口を増やしているところもあるので、そういう自治体の取り組みも参考に魅力ある町づくりをしてほしいと切に願います。
18	根室は個性的な街でイベントもたくさんあり良いと思います。ですが、同じイベントを文化として後世に残したり、自然や災害に関することが少ないと思います。今後、近い未来に大きな災害が来る前に「根室市」として確認すべきではないでしょうか。何より市民としても助かると思います。
30	・どのお店や施設に行ってもあまりきれいな印象がなく古いイメージなので、きれいに見えるように工夫した方が良い。 ・地震対策をしっかりとしてほしい。 ・障がい者や高齢者団体の旅行などにトイレ付きのバスを貸し出してほしい。市立病院のスタッフ等に接遇を見直してほしい。
18	高校生です。ショッピングモール等、商業施設がほしいと思っています。
18	市内をもっと活気溢れるようにしてほしい。例えば有名なコンビニや色々な店を建ててほしい。
50	根室市は昨年ふるさと納税額が約 49 億円、納税件数 31 万件あったと聞いています。納税額の 3 割は返礼品として出金されていると思います。残金約 35 億円はものすごい金額では。市民には使い道があまり見えていないような気がします（以前の納税にて落石地区の会館には使っています） もちろん無駄遣いしているとは思いませんが、これからの子供達のために大いに使うべきだ。中標津にあるような体育館の、早期の建設と指導者。中標津町は何かと日本体育大学とのことが話題になる。根室市にはそのようなことが何もない。市役所職員には日本体育大学卒業の人がいると聞いています。
75	根室市に今春採用された日本体育大女子軟式野球部の元エースが釧路市出身のようですが、とても気持ちよく拝読させていただきました。スポーツの街根室を謳う、これから先も子供達のためにも、育成できる根室市でありますよう、心から楽しみに見守りたいと考えています。
65-74	やはり若い人の町にしたい。年寄りの多さはどこの町も同じと思います。 一番は働く所、住みたいと思う心、これからは気温の事とか、自然現象が気になる世の中。案外住みよい根室だと思うのですが。これから、年をとっても根室の土地問題、売却できなければ早く根室から去らなくては家の管理ができないのが今の悩みです。町内会のあり方、若い人の考え方が割り切りすぎている。
65-74	①　子供達が安心して遊べる施設があればいいと思います。例えば中標津のゆめの森公園のような所です。 ②　観光客が長く根室に滞在するように、大きい海鮮市場があればそこで焼いて食べたり買物したり出来ると思います。 ③　若者が住みやすい街を作ってほしい。
30	根室市は人口が減少している現状から抜本的に改革が必要。外国人材の受け入れなど考えてみるべき。また、セカンドライフなど第 2 の人生を考える人を根室に来てもらうため、子供の医療の充実が必要。良い医者がいない話も聞く。 他の市町と同じ事をしてもだめなので、独自の取り組みを考えないといけないと思いますが難しいです。 ・外国人の受け入れ

年齢	問 22　意見・提案
	・高規格道路の延長 ・水産高校の創設 ・観光、イベント（音楽祭）の誘致（嵐・King & Prince・元ＳＭＡＰ等）
65-74	・本アンケートで、根室市もいろいろな分野で力を注いでいる事がよく分かりました。今後も市民目線で頑張ってください。 ・当地は人口減と産業の衰退が市の財政を悪化させていると思います。北方領土問題の一般市民の意識調査がほとんど行われていないように思います。70 年以上も本問題に関わっている人達の努力には敬意を表しますが、この期においては返還運動もパフォーマンスにしか思えません。国の問題でもありますが、当地の事を考えると、ロシアとの友好を進めて交流、経済活動にシフトしていかないと、生きる道が無いように思います。引揚者の方々はわかりますが、それ以外の市民の北方領土問題に対してどのように考えているのか意識調査をしてみてほしい。他の人は理想論は言うが、現地市民は本音でどう思っているか。現実的に、正当論ばかりでは少しも動かないように思います。市民の総意を知りたい。漁業と観光で全体を引き上げなければ根室市に活況力が出ないと思います。返還運動を口実に国会議員と同じく税金を使って観光旅行に形骸化させぬようにしてください。
30	水産業が衰退し、だんだん街（緑町）が寂れてきています。もっと、若者が「根室市にずっと永住したい」と思わせる何かがないと根室市はますます寂れて行ってしまいます。中標津は「町」で根室市は「市」なのに、中標津の方がまだ栄えているのは、何故でしょうか。根室市ももっと栄える様に色々考えてこれからの根室市に期待します。頑張ってください。
30	・市立病院に安心して通院できれば良い。 ・子供の遊び場が少ないので施設を作ってほしい。 ・雇用の場が少ない。 ・皆が気軽に行けるようなスポーツ施設があればよい（運動器具など）。 ・ファミリーレストランがあれば良い。
20	1 最近では高齢者ドライバーによる事故が増え、免許証の返納が推奨されている中、今の根室市の公共交通機関の体制では返納を考えている方もなかなか返納することができないと思うので、もう少し交通を充実させた方が良いと思います。 2 急発進防止装置購入者への補助制度を導入すると良いと思います。まず、購入者が全額を出し、その後市へ申請すれば何割か負担される制度を作れば購入者も増え、事故も減少されるのではないかと思います。
40	ワーク・ライフ・バランスについて、市や国は本当に理解しているのでしょうか。安定した仕事に就いていても少ない人員で働かせるため残業が多く、年休もとれない。体調不良でも休めない。仕事がきついと訴えれば、楽しみたいだけだと上司に言われる。そんな職場だらけだと思います。 十分な休養とリフレッシュができれば仕事にも意欲的に取り組めるようになると思います。地域にも活気が出ると思います。精神的な病気で休業する人も減ると思います。特に最近は公務員に多いように感じます。部署によって差が出たり、職種によって偏りはあるでしょうが、一度年休消化と残業について調べ公表してほしいです。民間企業でも残業の多い企業にはペナルティをつけるべきです。 今年から年休最低５日間とらなければいけなくなりましたが、何故、５日間なのでしょうか。完全消化しなければ、罰則を課すようにしてほしいです。公務員にも適応するべきです。もっと労働者を大切にするべきです。古い考えは捨てるべきです。
40	市街地の小・中学校では ①　精神面や体調を崩し、休職となる先生の割合が全国平均と比べてとても高い。 ②　他町で経験を積んだ先生がなかなか来てくれず、いつも新卒の先生が多くて大変な思いをしている。 ③　特別な支援を必要とする子ども達が適切な時期に在籍移動できずに手遅れとなるケースが多い。 という状況です。 市では学力向上や教員住宅の改善などに取り組んでいますが、他町と比べると、③が原因で①、②、学力、体力の不振につながっていると考えます。
60-64	・大きいバスではなく、小型のマイクロバスみたいな車を市内あらゆる方向で走らせ、少なくとも１時間かからず乗れれば老人も車を離すようになるのでは。月に２千円くらいの定期を買ってもらって乗り放題、バス乗り場も近くする。少ない年金で車を持たず、元気な老人は外で少しでも働く場所があれば、生活の足しになり、元気にもなる

年齢	問 22　意見・提案
	と思います。 ・人と会う事、話をする事は大事な事だと思います。若い人は年よりはいらないのですから、今ほとんどの人はそうです。お金は欲しい、でも親はいらない。お金を取られた老人を目にします。子供をしっかり育てられない親が多すぎます。その親を育てたのは私達ですが、私の若かった頃と今では世の中が違いすぎます。便利ばかり追うといいことはありません。
50	・高齢化に伴い、働く人口が減少するため、働ける人ができる能力を生かした職場で働き続けられるような環境が必要と思う。（難しいと思うが） ・児童館など時間に制限があり、核家族の中、働くことができない。（勤務時間が制限される）ので、時間の延長が必要なのかと思うが、休日とか高齢者のボランティアで子供たちの教育（パソコンや絵、習字など）をするようなコミュニティの場があれば良いと思う。 ・デイサービスと、児童館を一緒に建物の中に置くとか、高齢者と子供とを別々に考えるのではなく、共存すると良いと思う。 ・敷居の低い身近な相談所があれば良いかと思います。そこには「暮らしの保健室」なのか、ボランティアが常駐していて誰でも利用できる場を作れば、人との交流の場ができて、高齢化社会を迎え地元で暮らすためにも、高齢者の居場所が必要なのであれば良いと思います。
30	・私はまだ小さな子供がいます。実家も根室ではないので、親からの助けはありません。夫婦ともに働いています。今は幼稚園が朝早くから夜遅くまで預かってくれているので働けていますが、小学校に入ったらきっと働けないと思います。放課後教室も 17：30 までで、特に夏・冬休み期間は 8：30～しか開かないと聞きました。とても仕事ができる時間ではないです。7：00～19：00 位までに変更してください。 ・市民の意識や考え方が低くてびっくりします。立場や位が上の者に対しての態度のひどさにびっくりします。また、家族以外の出しゃばり方にも。節度がなさすぎる。 ・交通の便が悪すぎです。バスの本数も少なすぎて、子供は部活もできないです。車がない家の事を考えて下さい。 ・歩道が狭くて危ない。車のマナーも悪く、歩行者優先になっていない。一時停止できない車多すぎです。
75	①　市営の共同墓地がほしい（既存のものではなく）。 全天候型の建物が欲しい（いつでもお参りのできる） ②　市役所屋上からのスピーカーによる伝達が、全く緑町で聞き取れない。 市内のすべてに聞こえるよう改善してほしい。
20	娯楽がパチンコ店しかないので、マンガ喫茶などがあってもいいと思う。若い人や観光で来る人も利用すると思うので、それだけで人が今より増えると思います。
20	・根室で育ち、市外、道外に勉学、仕事へ行く若者が、帰ってこられる街づくりにしたい。地元愛とまでいかなくても、帰ってきて懐かしく活力をもらって、また頑張れる、そんな故郷にしたい。そのためには活気も確かに必要だけど、全体的に連携が取れていない。少なくとも下に降りていない。周知されていないのが目立ちます。 ・ずっと根室に住んでいるために見えてこない状況に胡坐をかいている気がします。上だけ頑張っても下がついてこないと活気は戻せないと思います。 ・店のつながりを支援する。子供達の遊べる広場等イベントや育児への支援、高齢者が外に出て買い物なり集会できる場、観光客へのおすすめ等、全てが中途半端な感じがします。同時進行していくのであれば、連絡や情報共有しなければ連携は取りにくいかと。
60-64	小学生のうちから、地域の施設や企業に体験学習ができる機会を増やし、交流と共に実践することによって、個性や能力開発のチャンスや喜びを味わってほしいです。高齢化している受け入れる側のモチベーションアップにもつながると思います。
30	観光客の路上駐車がひどい。春国岱付近のバードウォッチングなどの車のための駐車場を作ってほしい。あと、スキー場を作ってほしい。
30	子育てに関しては、小さな子供に目が行きがちですが、もう少し大きな子供達にも支援的な目を向けてほしい。子育てと言えば、小さな子供達ばかりですが、中学生、高校生等の子供達にも何かあれば良い。 中学校を卒業したら児童手当がもらえないが、実際は大きい子供たちの方がお金はかかる。お金がかかるというか何をするにも金額の負担は大きいと思う。 中学入学時にかかる制服やジャージ、指定靴にかかるものを一部行政が支援してくれるだけで親達は助かります。

年齢	問 22　意見・提案
	高校も入学金や制服、ジャージ、教科書等色々かかります。その一部だけでも支援があると気持ち的に助かる方が多いのではないでしょうか。 乳幼児カードも小学生卒業までは、早くないですか。 子供が多い家庭ならなおさら医療費負担が大きくて、病院へ連れていく事も躊躇してしまいます。ただの風邪だからと病院へ行かないこともあるのでは。色々と大きな子供達は支援が、小さな子供達に比べ少なく感じてしまいますが、お金がかかるのは赤ちゃんや幼稚園児・保育園児だけではありません。 大きな子供達の方が一つ一つにかかる負担がかなり大きいです。
20	施設建設など大きな動きよりも、道路わきの雑草を１本でも処理するような、小さなことをすることが、今の根室に必要ではないのかと思います。

資料２．市民アンケート調査票

市 民 意 識 調 査

「市民意識調査」へのご協力のお願い

根室市は、平成 26 年度に「第９期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、市政に反映していくことを目的として毎年実施しているもので、これまでに、産業振興施策、市内分娩の再開、保育施設の整備などの医療、子育て環境施策などの具体施策に取り組んできております。

今回の調査は、市内の１６歳以上の住民の方々の中から、無作為に３，０００名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

令和元年６月

根室市長　石　垣　雅　敏

「市民意識調査」記載要領

１．あて名のご本人がお答え下さい。
２．お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
３．「その他」などを選ばれた場合は、（　　）内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
４．ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、令和元年６月　　日（　）までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
５．この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

■根室市総合政策部
ＴＥＬ：０１５３－２３－６１１１（内線２２５５）
ＦＡＸ：０１５３－２４－８６９２
Ｅ－ｍａｉｌ：sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調　査　票

問１．最初に、あなた自身のことについてお伺いします。（１）～（５）の各項目について、該当する番号１つに○印をつけて下さい。

（１）年齢

１．１８歳未満	２．１８～１９歳	３．２０歳代	４．３０歳代
５．４０歳代	６．５０歳代	７．６０～６４歳	８．６５～７４歳
９．７５歳以上			

（２）職業（その他の方は、具体的に記入してください）

１．農業・林業	２．漁業	３．製造業・建設業
４．商業・金融・サービス業	５．公務員・教育・団体職員	６．パート・アルバイト
７．主婦（専業）	８．学生	９．年金受給者
１０．無職	１１．その他（　　）	

（３）根室市での居住年数（通算でお答えください）

１．５年未満	２．５～９年	３．１０～１９年	４．２０～２９年
５．３０～３９年	６．４０年以上		

（４）居住地域

１．北浜町	２．琴平町	３．弁天町	４．駒場町	５．汐見町
６．海岸町	７．千島町	８．栄　町	９．月見町	１０．明治町
１１．曙　町	１２．宝　町	１３．有磯町	１４．朝日町	１５．鳴海町
１６．本　町	１７．花咲町	１８．松ヶ枝町	１９．弥栄町	２０．幸　町
２１．大正町	２２．常盤町	２３．緑　町	２４．梅ヶ枝町	２５．弥生町
２６．清隆町	２７．光和町	２８．北斗町	２９．平内町	３０．岬　町
３１．定基町	３２．松本町	３３．敷島町	３４．花園町	３５．西浜町
３６．月岡町	３７．宝林町	３８．昭和町	３９．光洋町	４０．牧の内
４１．桂　木	４２．花咲港	４３．穂　香	４４．幌茂尻	４５．温根沼
４６．東　梅	４７．酪　陽	４８．東和田	４９．西和田	５０．長　節
５１．浜　松	５２．昆布盛	５３．落石東	５４．落石西	５５．別当賀
５６．初田牛	５７．東厚床	５８．厚　床	５９．西厚床	６０．明　郷
６１．湖　南	６２．川　口	６３．槍　昔	６４．友　知	６５．双　沖
６６．歯　舞	６７．珸瑤瑠	６８．納沙布	６９．温根元	７０．豊　里

≪根室市の印象について≫

問2．根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。
次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．明るいまち
2．清潔なまち
3．活気のあるまち
4．個性（特色）のあるまち
5．ふれあいや連帯感のあるまち
6．市民として誇りや郷土愛があるまち
7．その他（具体的に：　　）

≪居住の満足度について≫

問3．あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。
次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．とても住みよい
2．住みよい
3．普通
4．住みにくい（理由：　　）
5．とても住みにくい（理由：　　）

≪定住度について≫

問4．あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。
次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．ずっと住み続けたい
2．できれば住み続けたい　⇒問6へ
3．できれば住みたくない
4．住みたくない　⇒問5へ

問5．問4で、「3．できれば住みたくない」、「4．住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。
そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

1．自分にあう職業がない
2．商売や事業経営に不利
3．交通の便が悪い
4．買い物などの生活の利便が悪い
5．物価が高い
6．進学などの教育上の問題
7．医療・福祉面が不安
8．娯楽や余暇活動の場が少ない
9．自然が厳しい
10．その他（具体的に：　　）

≪保健医療について≫

問6．あなたの健康状態と根室市の保健医療についてお尋ねします。

（1）あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1．きわめて良好　2．良好　3．普通　4．悪い　5．きわめて悪い

（2）あなたは日頃の健康管理に努めていますか。

1．努めている　2．努めていない

（3）あなたは1日30分以上の運動をどの程度行っていますか。

1．毎日している　2．週に2日以上している　3．週に1日程度している
4．月に2～3日している　5．月に1日している　6．ほとんどしていない

（4）あなたは、平成29年4月1日から経産婦の方を対象に市立根室病院にて分娩が再開されていることをご存知でしたか。

1．知っていた　2．知らなかった

（5）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①人材確保対策（医師及び医療従事者として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付）	1．はい　2．いいえ

（6）あなたは、市内の病院などの医療機関の状況について、どの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（7）根室市の保健医療について、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．高齢者の医療の充実
2．乳幼児・母子等医療の充実
3．保健（健康づくり）対策の推進
4．健康診断や予防対策の充実
5．休日夜間などの救急医療対策
6．人材確保対策
7．その他（具体的に：　）

≪少子化・子育て支援について≫

問7．「少子化対策」、「地域の子育て支援」についてお尋ねします。

（1）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①こども医療費給付（小学生以下の外来・入院に加え、中学生・高校生の入院に係る医療費の負担を軽減）	1．はい　2．いいえ
②人材確保対策（子育て支援員の研修を実施、保育士・幼稚園教諭として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付）	1．はい　2．いいえ
③第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化	1．はい　2．いいえ
④幼保連携型認定こども園（睦の園幼稚園）建替に対する財政支援	1．はい　2．いいえ

（2）あなたは、乳幼児や子どものための福祉施設の状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　　2．やや満足　　3．普通　　4．やや不満　　5．不満

（3）あなたは、子育てのための環境や支援にどの程度満足されていますか。

1．満足　　2．やや満足　　3．普通　　4．やや不満　　5．不満

（4）あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、さらに、どのような施策が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．出産や育児について気軽に相談できる環境づくり
2．乳幼児保育の充実（延長保育など）
3．学童保育の充実
4．経済的負担の軽減（入院費、保育料の軽減など）
5．子どもがのびのびと遊べる施設の整備
6．地域の交通安全や防犯対策の強化
7．地域全体で子育てを行う環境・体制づくり
8．その他（具体的に：　　）

≪高齢者支援について≫

問8．根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

（1）あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることがありますか。

1．ある　　2．以前はあったが今はない　　3．以前からない

（2）あなたは、町会等の行事、サークル活動、地域イベントに出かけたりしていますか。

1．よく出かける　　2．たまに出かける　　3．あまり出かけない

（3）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①高齢者見守りボランティア事業（町会やボランティアの活動支援）	1．はい　2．いいえ
②高齢者等緊急通報サービス事業（警備会社による緊急時の駆けつけ確認）サービス	1．はい　2．いいえ
③人材確保対策（介護職員資格取得費用に対する助成、介護従事者として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付）	1．はい　2．いいえ

（4）あなたは、高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　　2．やや満足　　3．普通　　4．やや不満　　5．不満

（5）あなたは、高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　　2．やや満足　　3．普通　　4．やや不満　　5．不満

（6）あなたは、高齢者が健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、どのような対策が必要だと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．健康診断、検診機会の充実
2．寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実
3．スポーツや学習機会の充実
4．高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり
5．若い世代との交流の機会の充実
6．段差解消など公共施設・道路環境等の整備・改善
7．介護付き高齢者専用住宅の充実
8．自治会などの地域活動への参加促進
9．その他（具体的に：　　）

≪社会福祉全般について≫

問9．根室市の社会福祉政策について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．高齢者のための施策の充実
2．障がい者のための施策の充実
3．ひとり親家庭対策の充実
4．子育て支援対策の充実
5．保育サービスの充実
6．地域ボランティア活動の推進
7．その他（具体的に：　　）

≪交通について≫

問10．根室市内の交通状況についてお尋ねします。

（1） あなたは、市で実施している（実施した）下記の事業をご存知でしたか。

①市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替えバスへの財政支援	1．はい　2．いいえ
②ＪＲ花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み	1．はい　2．いいえ

（2） あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（3） あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（4） あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（5）根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
2．鉄道便の確保
3．バス便の確保
4．身近な生活道路の整備
5．高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
6．除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
7．街路灯・防犯灯や案内板の整備
8．信号・ガードレールなどの安全対策
9．駐車場や駐輪場の整備
10．その他（具体的に：　　）

≪生活環境について≫

問11．根室市内の生活環境についてお尋ねします。

（1）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①公園の遊具等更新	1．はい　2．いいえ
②市営住宅建替え（光洋団地）	1．はい　2．いいえ

（2）あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（3）あなたの住んでいる地域の緑の豊かさにどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（4）あなたは、上水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（5）あなたは、下水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（6）あなたは、公園や広場の利用しやすさにどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（7）あなたは、買い物の利便性にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（8）根室市の生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．公営住宅の整備
2．宅地の供給
3．水道や下水道、し尿処理施設の整備
4．ゴミの減量化、再利用の促進
5．公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備
6．防犯対策の充実
7．美しい景観（まちなみ）の創出
8．その他（具体的に：　　）

≪防災・減災対策について≫

問12．防災・減災対策についてお尋ねします。

（1）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①防雪柵設置事業（牧の内3号線（青少年センター付近）に、視程障害対策として防雪柵を整備）	1．はい　2．いいえ
②ハッタリ川高潮対策河川改修事業（越水対策として、両岸の堤防盛土工事）	1．はい　2．いいえ
③消防車両整備事業（消防ポンプ車、高規格救急自動車の更新）	1．はい　2．いいえ

（2）あなたは「防災対策」として何が重要だと考えますか。重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．食料・水・日常生活用品の備蓄
2．災害時の情報連絡手段の整備
3．指定避難所など防災拠点の整備
4．防災マニュアル・マップの配布
5．自主防災組織の育成
6．防災講習会・防災訓練の開催
7．その他（具体的に：　　）

≪学校教育・社会教育全般について≫

問13．学校教育についてお尋ねします。

（1）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①北斗小学校トイレ洋式化などの学校施設の整備	1．はい　2．いいえ
②学力向上対策事業（市内7校に補助教員を配置）	1．はい　2．いいえ
③ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）	1．はい　2．いいえ

（2）あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（3）あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進
2．標準学級（1クラス40人）による教育の推進
3．生きる力を育てる総合的な学習の充実
4．社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実
5．個性や才能を伸ばす教育の充実
6．ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実
7．情報化社会に適合した教育内容の充実
8．国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成
9．その他（具体的に：　　）

問14．根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．生涯学習教育の指導者育成
2．各種サークル活動の充実
3．各種講座・教室などの充実
4．各種講座・教室などの利用施設の整備
5．青少年の健全育成
6．その他（具体的に：　　）

≪スポーツ・レクリエーション・文化について≫

問15．根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

（1）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①未来のアスリート応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）	1．はい　2．いいえ
②総合文化会館の音響機器等の改修整備	1．はい　2．いいえ
③北方資料研究活用事業（歴史と自然の資料館にて寄贈された考古資料の確認を行い、収蔵体制を整備した）	1．はい　2．いいえ

（2）あなたは、スポーツ施設の状況にどの程度満足されていますか。

1．満足　2．やや満足　3．普通　4．やや不満　5．不満

（3）根室市のスポーツ・レクリエーション・文化について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1．スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備
2．芸術・文化の振興・文化施設の整備
3．文化財や史跡の保護・伝承
4．音楽会・講演等の開催
5．学校施設開放の推進
6．その他（具体的に：　　）

≪産業・地域の振興について≫

問１６．根室市の産業・地域振興についてお尋ねします。

（１）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①漁業の振興（沿岸漁業の振興（ホタテ資源増大、沿岸漁業資源の高付加価値化、根室産水産品の普及、販路拡大等））	１．はい　２．いいえ
②農業の振興（草地整備、土地改良施設維持管理等）	１．はい　２．いいえ
③商業の振興（地域ポイントカード支援、まちなか賑わいづくり事業等）	１．はい　２．いいえ
④観光の振興（観光パンフレット作成、各種イベントへの負担金等）	１．はい　２．いいえ
⑤移住交流の促進（地域おこし協力隊の受入れ・都市部との交流等）	１．はい　２．いいえ

（２）根室市の産業・地域振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を１つ選んで番号に○印をつけて下さい。

１．水産業基盤及び生産体制の整備
２．農林業基盤及び生産体制の整備
３．農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成
４．企業誘致による雇用の場の確保
５．魅力ある商店街づくり
６．後継者の育成・確保
７．観光開発、観光関連産業の育成
８．特色あるイベントの展開
９．新たな特産品の開発
１０．その他（具体的に：　　）

≪情報の共有化について≫

問１７．市政情報等の共有化についてお尋ねします。

（１）あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①行政情報の配信サービス（防災・子育て・イベント等の情報（ねむろメール）の配信）	１．はい　２．いいえ
②根室市史編纂事業	１．はい　２．いいえ

（２）あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。特に、受けたいと思う項目を１つ選んで番号に○印をつけて下さい。

１．行政に関する総合的な情報
２．道路交通・除雪・気象等の情報
３．各種統計情報
４．公共施設利用状況
５．観光・レジャー情報
６．文化行事・イベント情報
７．その他（具体的に：　　）

≪市民協働について≫

問１８．まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か１つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を１つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

１．清掃活動や花いっぱい運動
２．高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
３．郷土の歴史、文化を守り育てる活動
４．自然保護活動
５．リサイクル活動、省資源活動
６．子ども会などの青少年育成のための活動
７．祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
８．交通安全や防災・防犯活動
９．新しい特産品や土産品の研究開発
１０．自治会やＮＰＯ（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
１１．特にない
１２．その他（具体的に：　　）

≪市民参画の方法について≫

問１９．これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を１つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

１．まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
２．町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
３．説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
４．投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
５．世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
６．市役所や議会に一任し、自分では参加しない
７．あまり必要性を感じない（理由：　　）
８．その他（具体的に：　　）

≪男女共同参画について≫

問２０．あなたは生活全般を通して男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を１つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

１．男性の方が優遇されている
２．どちらかといえば男性のほうが優遇されている
３．男女平等である
４．どちらかといえば女性の方が優遇されている
５．女性の方が優遇されている
６．わからない

問２１．あなたは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉や意味を知っていましたか。次の中から該当する番号を１つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

１．言葉・意味ともに知っていた。　　２．言葉は知っていたが意味は知らなかった
３．言葉・意味ともに知らなかった

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と私生活との調和をとり、その両方が充実していることをいいます。

現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現です。

（内閣府ホームページより引用）

≪新たな提案について≫

問２２．根室市のまちづくりについて、ご意見・ご提案やアイデアがあれば、自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

＊記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、６月 30 日（日）までに、投函してください。